

令和5年度特許庁請負事業

令和5年度
特許情報に係る商用データベースの
機能水準に関する調査報告書

令和6年3月

NTTアドバンステクノロジー株式会社

緒言

本調査は、特許情報サービス「特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)」等にて、今後提供すべきサービス・機能を検討する際の基礎資料とすることを目的に、36 の特許情報に係る商用データベースを対象に、概要や収録データ、導入コスト、提供されている機能、特に選定した12の高度な機能の詳細について調査した。また、18の商用データベースについては、利用評価を実施した。さらに、商用データベースを提供する事業者10者にヒアリングを実施し、高度な機能を中心にその特徴や今後の提供予定、J-PlatPat に対する意見などを収集した。

選定した高度な機能の一つである類似検索・概念検索機能は、特許や実用新案などを簡便に検索することができ、調査した殆どの商用データベースで提供されていた。特に、ChatGPT など生成 AI でも用いられている大規模言語モデルを、類似検索・概念検索機能の検索エンジン等に用いている事業者も多く見受けられる。J-PlatPat のユーザーの多くは、日頃から特許検索をあまり行わない不慣れなユーザーであると考えられ、検索式策定が不要な本機能は、J-PlatPat のユーザーにとって非常に有益であると考えられる。

ただし、類似検索・概念検索の結果は、検索エンジンのロジックにより変わり、J-PlatPat と他のデータベースとで結果に差が生じる可能性があるため、これら機能を提供する場合は、曖昧さを極力排除しロジカルな結果を提示すべきと考えられる。また、検索支援を行う別の仕組みとして、AI チャットボットなどを利用して、ユーザーが AI からの質問に答える形式で、特許等の検索の条件を絞り込んでいく仕組みは、特許検索に不慣れなユーザーにとって有益と考えられる。

高度な機能とは言えないが、検索結果に対してフィルタを行う機能などは調査の効率化を図るために有用であり、商用データベースはもとより欧州特許庁の Espacenet など無償のデータベースでも提供されていることから、このような一般的な機能についても、J-PlatPat での提供を検討することが有効であると考えられる。

J-PlatPat の高度化については、自社事業への圧迫を危惧する事業者と、初めて特許検索を行う人の入口として有益だと考えている事業者に分かれる。事業への圧迫を危惧している事業者は、商用データベースでは、IP ランドスケープなど付加価値が高い機能を提供しているが、多くのユーザーが利用する機能は単純な特許検索であるため、J-PlatPat などの無償の検索ツールがより使いやすくなると、有償で契約しているユーザーが減ることを懸念している。そのため、何らかの制約をつけて、民業圧迫にならない配慮を望んでいる。

一方で、特許調査のニーズがそれほど高くないユーザーにとっては、月額数万円程度の安価な商用データベースでも利用するハードルが高いため、無償の検索ツールの存在は貴重であると考えている事業者もいる。これら事業者の中には、初めて特許検索するユーザーが有償ツールを使うのはハードルがある中で、まずは無償ツールでスタートして徐々に慣れて、より効率良く調査を行なうニーズが生じた際に、有償の商用データベースのサービスに声がかかるのが健全と考えている事業者がいる。

商用データベースを提供している事業者により考えは異なるが、これら事業者と協調しての J-PlatPat の利便性向上は、日本における特許情報のさらなる普及に貢献すると考えられる。

なお、本調査報告書作成にあたり、調査にご協力頂いた商用データベース提供事業者並びに代理店の皆様方に感謝致します。

目次

| | |
|---|-----|
| 1. 調査の目的と概要..... | 1 |
| 1.1 調査の目的..... | 1 |
| 1.2 調査の概要..... | 1 |
| 1.3 調査対象の商用データベースの選定..... | 2 |
| 1.4 調査対象の商用データベースの機能の選定..... | 3 |
| 1.5 調査方法..... | 9 |
| 2. 商用データベースの高度な機能..... | 11 |
| 2.1 類似検索・概念検索..... | 12 |
| 2.2 類似画像検索..... | 36 |
| 2.3 特許情報分析(IP ランドスケープ等)..... | 45 |
| 2.4 独自の Patent ファミリー表示..... | 66 |
| 2.5 引用ネットワークの可視化..... | 77 |
| 2.6 価値評価の提供..... | 96 |
| 2.7 出願人名等の名寄せ..... | 107 |
| 2.8 辞書機能..... | 116 |
| 2.9 マップ表示..... | 120 |
| 2.10 チャットボット機能..... | 129 |
| 2.11 特許自動生成機能..... | 131 |
| 2.12 特許性判断機能..... | 135 |
| 3. 各商用データベースの概要及び機能等..... | 141 |
| 3.1 「AcclaimIP」..... | 143 |
| 3.2 「Amplified」..... | 153 |
| 3.3 「Biz Cruncher」..... | 158 |
| 3.4 「Brand Mark Search」..... | 166 |
| 3.5 「CAS Scientific Patent Explorer」..... | 169 |
| 3.6 「CAS STNext」..... | 175 |
| 3.7 「CKS Web」..... | 183 |
| 3.8 「Cotobox」..... | 187 |
| 3.9 「CyberPatent Desk」..... | 190 |
| 3.10 「Derwent Innovation」..... | 199 |
| 3.11 「Design Scope」..... | 208 |
| 3.12 「Design Search」..... | 212 |

| | |
|--|------------|
| 3.13 「Dialog」..... | 215 |
| 3.14 「HYPAT-i2」..... | 220 |
| 3.15 「IncoPat」..... | 226 |
| 3.16 「Japio 世界特許情報全文検索サービス(Japio-GPG/FX)」..... | 235 |
| 3.17 「JP-NET/NewCSS」..... | 239 |
| 3.18 「Kangxin IP Platform」..... | 248 |
| 3.19 「Markify」..... | 252 |
| 3.20 「ODI-GAZETTE」..... | 255 |
| 3.21 「ODIS-NET」..... | 258 |
| 3.22 「Orbit Intelligence」..... | 261 |
| 3.23 「PatBase」..... | 269 |
| 3.24 「Patentfield」..... | 277 |
| 3.25 「PatentSQUARE」..... | 288 |
| 3.26 「PatSnap Analytics」..... | 298 |
| 3.27 「Quid」..... | 306 |
| 3.28 「SAEGIS」..... | 309 |
| 3.29 「Shareresearch」..... | 312 |
| 3.30 「TM go365」..... | 319 |
| 3.31 「Tokkyo.Ai」..... | 322 |
| 3.32 「Toreru 商標登録」..... | 333 |
| 3.33 「ULTRA Patent」..... | 335 |
| 3.34 「WebPat」..... | 344 |
| 3.35 「WIPS-Global」..... | 347 |
| 3.36 「XLSCOUT」..... | 353 |
| 4. まとめ..... | 363 |
| 4.1 高度な機能の現状と今後..... | 363 |
| 4.2 J-PlatPat の今後について..... | 367 |
| 用語集・略語集..... | 371 |
| 登録商標および商標一覧..... | 372 |

1. 調査の目的と概要

1.1 調査の目的

特許庁は、高度化・多様化する特許情報¹に関するユーザーニーズに応えるべく、インターネットを介した特許情報提供サービス「特許情報プラットフォーム (J-PlatPat)」等の企画を行っており、ユーザーからの要望等を受けて機能改善を進めている。

一方、特許情報提供サービスを行う民間事業者は、特許庁から発行される公報や各種データの一次情報をもとに、独自の情報を付加した特許情報や高度な検索機能、特定のユーザーへ特化したサービス等、高付加価値の情報・サービスを提供している。こうした民間事業者によるサービスは、特許情報の普及において大きな役割を担っている。

公的な特許情報提供サービスのあり方について、平成28年5月に産業構造審議会 知的財産分科会 情報普及活用小委員会においてとりまとめられた報告書では、「グローバル化の動きに十分対応しつつ、IT の進展、海外庁のサービスの状況、民間事業者のサービスの状況、中小企業、個人なども含む我が国ユーザーの要望などを十分に踏まえた上で、我が国ユーザーが享受するサービスの質が全体として世界最高水準となるように特許情報サービスを提供していき、特許情報を広く普及していくための基盤を引き続き整備していくべき」との基本的な考え方が示されている。IT の進展に関しては、近年、民間事業者による AI の活用の活発化が見られる²。特許庁が今後の特許情報提供サービスを検討するにあたっては、このような状況の変化を的確にとらえ、特許情報提供サービスの水準を把握することが重要である。

そこで、本調査では、民間事業者が提供する特許情報サービスの内容を調査し、今後特許庁が提供すべき特許情報サービスを検討する際の基礎資料とすることを目的とする。

1.2 調査の概要

令和5年度 特許情報に係る商用データベースの機能水準に関する調査の概要は、以下である。

1) 民間事業者が提供する商用データベースの機能

民間事業者が提供する商用データベースにおいて、法域（特許・実用新案、意匠、商標）ごとに提供している機能を、調査や機能等に応じた料金などについて調査した。

本調査では、表 1.3.1 に示す 36 の商用データベースを選定し、表 1.4.1 から表 1.4.3 に示す法域ごとに選定した機能についてその機能の有無を調査した。さらに、商用データベースの概要、収録データ、機能一覧、高度な機能及び導入コストについても調査した。

また、10 の商用データベース事業者に対し、ヒアリングを実施し、提供している高度な機能の特徴や今後の提供予定などや、J-PlatPat に関する意見等を収集した。

¹ 「特許情報」とは、特許、実用新案、意匠、商標の出願や権利化に伴って生み出される情報のことをいう。

² 例えば、「令和4年度 特許情報提供サービスの現状と今後に関する調査」を参照。

2) 民間事業者が提供する高度な商用データベースの機能

上記1)にて調査した民間事業者が提供する商用データベースにおいて、高度な機能と考えられるもの（例えば、特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）にて提供している機能よりも高度な機能）について調査した。

表 1.4.1 から表 1.4.3 に示す法域ごとに選定した機能のうち、表 1.4.4 に示す高度な機能を 12 種選定し、高度な機能ごとに調査を行なった。なお、表 1.4.1 から表 1.4.3 の複数の機能をまとめて一つの高度な機能として調査を実施している機能もあるので、注意が必要である。

1.3 調査対象の商用データベースの選定

特許庁ホームページに掲載されている「特許情報提供事業者リスト集」における「1. インターネット・オンライン情報提供サービス」³及び日本特許情報機構の Japio YEAR BOOK 2022⁴を参考に、商用データベースを 40 以上抽出し、そのうち、情報が得られた 36 の商用データベースを、本調査の調査対象とした。表 1.3.1 に、調査対象の商用データベース一覧を示す。

そのうち、18 の商用データベースについては実際に操作して、また、7 の商用データベースは提供事業者のデモンストレーションを見て高度な機能等の評価を行った。さらに、10 の商用データベースの提供事業者に対し、ヒアリングを実施し、提供している高度な機能の特徴や今後の提供予定などや、J-PlatPat に関する意見等を収集した。

表 1.3.1 調査対象の商用データベース一覧

| No. | サービス名 | 事業者名 | 法域 | ヒアリング |
|-----|--------------------------------|----------------------------|----------|-------|
| 1 | AcclaimIP | Anaqua | 特実 | — |
| 2 | Amplified | amplified ai | 特実 | — |
| 3 | Biz Cruncher | パテント・リザルト | 特実 | — |
| 4 | Brand Mark Search | 日本パテントデータサービス | 商標 | — |
| 5 | CAS Scientific Patent Explorer | CAS(化学情報協会) | 特実 | — |
| 6 | CAS STNext | CAS(化学情報協会) | 特実 | — |
| 7 | CKS Web | 中央光学出版 | 特実、意匠 | — |
| 8 | Cotobox | cotobox | 商標 | — |
| 9 | CyberPatent Desk | サイバーパテント | 特実、意匠、商標 | ○ |
| 10 | Derwent Innovation | Clarivate | 特実 | ○ |
| 11 | Design Scope | 知識産権出版社有限責任公司(プロパティ) | 意匠 | — |
| 12 | Design Search | InQuartik | 意匠 | — |
| 13 | Dialog | Dialog(ジー・サーチ) | 特実 | — |
| 14 | HYPAT-i2 | 発明通信社 | 特実、意匠、商標 | — |
| 15 | incoPat | BEIJING INCOPAT(Clarivate) | 特実 | ○ |

³ 特許情報提供事業者リスト集 1. インターネット・オンライン情報提供サービスのホームページ：
<https://www.jpo.go.jp/toppage/links/johoteikyoku/01online.html>

⁴ Japio YEAR BOOK ホームページ：<https://japio.or.jp/00yearbook/index.html>

| | | | | |
|----|----------------------|-------------------------|-------------------------|---|
| 16 | Japio 世界特許情報全文検索サービス | 日本特許情報機構 | 特実 | — |
| 17 | JP-NET/NewCSS | 日本特許情報機構 | 特実、意匠、商標 | — |
| 18 | Kangxin IP Platform | Kangxin Partners(プロパティ) | 商標 | — |
| 19 | Markify | Markify(サイバー特許) | 商標 | — |
| 20 | ODI-GAZETTE | オーデイス | 商標、意匠 | — |
| 21 | ODIS-NET | オーデイス | 特実 | — |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | 特実、意匠 | ○ |
| 23 | PatBase | RWSグループ | 特実 | — |
| 24 | Patentfield | Patentfield | 特実、意匠 | ○ |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | 特実、意匠 | ○ |
| 26 | PatSnap Analytics | PatSnap(中央光学出版) | 特実、意匠 | ○ |
| 27 | Quid | Quid(伊藤忠テクノソリューションズ) | 特実 | — |
| 28 | SAEGIS | Clarivate | 意匠、商標 | — |
| 29 | Shareresearch | 日立製作所 | 特実、意匠 | ○ |
| 30 | TM go365 | Clarivate | 意匠、商標 | — |
| 31 | Tokkyo.Ai | Tokkyo.Ai(プロパティ) | 特実、(意匠、商標) ⁵ | ○ |
| 32 | Toreru | Toreru | 商標 | — |
| 33 | ULTRA Patent | ウィズドメイン | 特実 | — |
| 34 | WebPat | InnoVue(プロパティ) | 特実 | — |
| 35 | WIPS-Global | WIPS(プロパティ) | 特実 | — |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | 特実 | ○ |

(注) ヒアリングの「○」は実施、「-」は未実施、事業者名の () は、日本の代理店名

1.4 調査対象の商用データベースの機能の選定

本調査では、特許・実用新案を取り扱っている商用データベースは表 1.4.1 に示す機能について、意匠を扱っている商用データベースは表 1.4.2 に示す機能について、商標を取り扱っている商用データベースは表 1.4.3 に示す機能について調査した。また、これらの選定した機能のうち、表 1.4.4 に示す 12 種の機能を高度な機能と選定した。高度な機能の選定条件は、J-PlatPat に実装されておらず、また、複数の商用データベースで提供されている機能とした。なお、表 1.4.1 から表 1.4.3 の複数の機能を一つの高度な機能としてまとめた機能もあるので、注意が必要である。

表 1.4.1 調査対象の商用データベースの機能 (特許・実用新案)

| 種別 | 機能区分 | 機能詳細区分 | J-PlatPat の実装状況 | 調査対象の高度な機能 |
|----|-------|------------|--------------------|------------|
| 検索 | 番号検索 | 出願番号 | ○ | |
| | | 公報番号 | ○ | |
| | | 優先権番号 | ○ | |
| | | ファミリー情報 | ○ | |
| | | その他の番号検索機能 | - | |
| | 出願人検索 | 出願時情報検索 | ○ | |

⁵ Tokkyo.Ai は、意匠及び商標も提供しているが、本調査では特許・実用新案についてのみ調査を実施

| | | | | |
|-------------|------------------|-------------------------------|-----------|----------------|
| | | 日本語名検索 | × | |
| | | 英語名検索 | × | |
| | | 出願人検索支援機能 | × | |
| | | その他の出願人検索機能 | - | |
| | キーワード等 検索 | 発明の名称 | ○ | |
| | | 要約 | ○ | |
| | | 請求項 | ○ | |
| | | 詳細な説明 | ○ | |
| | | 課題・従来技術などのその 他の項目での検索 | × | |
| | | 外国文献の日本語検索 | × | |
| | | その他キーワード検索機能 | - | |
| | 日付検索 | 出願日 | ○ | |
| | | 公開日 | ○ | |
| | | 登録日 | ○ | |
| | | 優先権主張日 | ○ | |
| | | その他検索日 | ○ | |
| | 分類検索 | IPC | ○ | |
| | | FI | ○ | |
| | | F ターム | ○ | |
| | | CPC | ○ | |
| | | その他分類検索機能 | - | |
| | 検索式を用い た検索 | 論理式による検索 | ○ | |
| | | 部分一致、ワイルドカード による検索 | ○ | |
| | | 近接検索、近傍検索 | ○ | |
| | | 検索式のエディット支援 | × | |
| | | その他検索式を用いた機 能 | - | |
| | ステータスを加味した検索 | ○ | | |
| | 入力支援機能 | ○ | | |
| | 類似特許の検索 | × | 類似検索・概念検索 | |
| | 自然文検索(概念検索) | × | 類似検索・概念検索 | |
| | 辞書機能 | × | 辞書 | |
| | 検索条件保存・参照 | ○ | | |
| 検索履歴の保存・再利用 | × | | | |
| その他検索機能 | - | | | |
| 閲覧・ 表示 | 公開特許文献の閲覧 | ○ | | |
| | 書誌情報の閲覧 | ○ | | |
| | 図面の閲覧 | ○ | | |
| | 英文抄録の閲覧 | ○ | | |
| | 引用・被引用情報の閲覧 | × | | |
| | 検索結果の一覧表示 | ○ | | |
| | パテントファ ミリーの表示 | INPADOC ファミリー 独自のパテントファミリー | △ × | 独自のパテントファミリー表示 |
| | 経過情報の表示 | ○ | | |
| | 優先権主張データの表示 | ○ | | |
| | 法的ステータスの表示 | × | | |
| | 法的紛争情報の表示 | × | | |
| | ライセンス情報の確認 | × | | |
| | 外国文献の日本語表示 | ○ | | |
| | ハイライト表示 | ○ | | |
| | 検索結果のソート | ○ | | |
| | 検索結果のフィルタリング | × | | |

| | | | |
|--------------|-----------------------|-------------------|---------------------|
| | 検索結果の保存 | × | |
| | 自動分類機能 | × | |
| | その他閲覧機能 | - | |
| 分析 | ランキング | △ | |
| | マップ表示 | × | マップ表示 |
| | 価値評価の提供 | × | 価値評価の提供 |
| | 審査無効文献の推定 | × | |
| | タイムライン表示 | × | |
| | 分析レポートの生成 | × | |
| | 引用ネットワークの可視化 | × | 引用ネットワークの可視化 |
| | 特許情報分析(IP ランドスケープの分析) | × | 特許情報分析(IP ランドスケープ等) |
| | その他分析 | - | |
| | データ ダウン ロード | 書誌リスト | × |
| PDF 公報 | | △ | |
| その他データダウンロード | | - | |
| その他 | 書誌情報の訂正 | × | |
| | 出願人名等の名寄せ | × | 出願人名等の名寄せ |
| | アラート機能(SDI・ウォッチング機能) | × | |
| | 情報共有機能 | × | |
| | チャットボット機能 | × | チャットボット |
| | 不慣れなユーザー向け機能 | × | |
| | ユニバーサルデザイン対応 | × | |
| 高度な機能や独自の機能 | × | 特許文書自動作成 特許性判断 | |

凡例: J-PlatPat の実装状況の「○」は実装、「△」は一部実装、「×」は未実装、「-」は対象外を表す

表 1.4.2 調査対象の商用データベースの機能（意匠）

| 種別 | 機能区分 | 機能詳細区分 | J-PlatPat の実装状況 | 調査対象の高度な機能 |
|--------|----------|--------------|--------------------|------------|
| 検索 | 番号検索 | 出願番号 | ○ | |
| | | 意匠公報番号 | ○ | |
| | | 協議不成立意匠出願番号 | ○ | |
| | | 審判番号 | ○ | |
| | | 優先権主張番号 | ○ | |
| | | その他の番号検索機能 | - | |
| | 出願人検索 | 出願時情報検索 | ○ | |
| | | 日本語名検索 | × | |
| | | 英語名検索 | × | |
| | | 出願人検索支援機能 | × | |
| | | その他の出願人検索機能 | - | |
| | キーワード等検索 | 意匠に係る物品 | ○ | |
| | | 意匠に係る物品の説明 | ○ | |
| | | 意匠の説明 | ○ | |
| | | 原本の説明 | × | |
| | | 意匠の特徴 | × | |
| | | 外国文献の日本語検索 | × | |
| | | その他キーワード検索機能 | - | |
| | 日付検索 | 出願日 | ○ | |
| | | 登録日 | ○ | |
| 公報発行日 | | ○ | | |
| 秘密解除日 | | × | | |
| その他検索日 | | - | | |

| | | | | |
|-------------|-------------------------|-------------------|-----------|--|
| 分類検索 | (現行)日本意匠分類・Dターム | ○ | | |
| | (旧)日本意匠分類 | ○ | | |
| | (旧)Dターム | ○ | | |
| | 国際意匠分類(0カルノ分類) | ○ | | |
| | その他分類検索機能 | - | | |
| | 検索式を用いた検索 | 論理式による検索 | × | |
| | | 部分一致、ワイルドカードによる検索 | × | |
| | | 近接検索、近傍検索 | × | |
| | | 検索式のエディット支援 | × | |
| | | その他検索式を用いた機能 | - | |
| | 関連意匠(類似意匠)検索 | ○ | 類似検索・概念検索 | |
| | ステータスを加味した検索 | × | | |
| | 入力支援機能 | ○ | | |
| | 類似画像検索 | ○ | 類似画像検索 | |
| | 要素検索 | × | | |
| | 辞書機能 | × | | |
| | 検索条件保存・参照 | ○ | | |
| | 検索履歴の保存・再利用 | × | | |
| | その他検索機能 | - | | |
| 閲覧・表示 | 公開意匠文献の閲覧 | ○ | | |
| | 書誌情報の閲覧 | ○ | | |
| | 秘密公報 | ○ | | |
| | 図面の閲覧 | ○ | | |
| | 検索結果の一覧表示 | ○ | | |
| | 関連意匠(類似意匠) 関連/類似意匠の一覧表示 | ○ | | |
| | 関連/類似意匠の系図表示 | ○ | | |
| | 経過情報の表示 | ○ | | |
| | 外国文献の日本語表示 | ○ | | |
| | ハイライト表示 | ○ | | |
| | 検索結果のソート | ○ | | |
| | 検索結果のフィルタリング | × | | |
| | 検索結果の保存 | × | | |
| | 自動分類機能 | × | | |
| 表示のカスタマイズ | × | | | |
| その他閲覧機能 | - | | | |
| 分析 | ランキング | × | | |
| | マップ表示 | × | マップ表示 | |
| | その他分析 | - | | |
| データダウンロード | 書誌リスト | × | | |
| | PDF 公報 | △ | | |
| | その他データダウンロード | - | | |
| その他 | 書誌情報の訂正 | × | | |
| | 出願人名等の名寄せ | × | 出願人名等の名寄せ | |
| | アラート機能(SDI・ウォッチング機能) | × | | |
| | 情報共有機能 | × | | |
| | チャットボット機能 | × | チャットボット | |
| | 不慣れなユーザー向け機能 | × | | |
| | ユニバーサルデザイン対応 | × | | |
| 高度な機能や独自の機能 | × | | | |

凡例:J-PlatPat の実装状況の「○」は実装、「△」は一部実装、「×」は未実装、「-」は対象外を表す

表 1.4.3 調査対象の商用データベースの機能（商標）

| 種別 | 機能区分 | 機能詳細区分 | J-PlatPat の実装状況 | 調査対象の高度な機能 |
|-------------|--------------|-------------------|--------------------|------------|
| 検索 | 番号検索 | 出願番号 | ○ | |
| | | 登録番号 | ○ | |
| | | 国際登録番号 | ○ | |
| | | 公告番号 | ○ | |
| | | 審判番号 | ○ | |
| | | その他の番号検索機能 | - | |
| | 出願人検索 | 出願時情報検索 | ○ | |
| | | 日本語名検索 | × | |
| | | 英語名検索 | × | |
| | | 出願人検索支援機能 | × | |
| | | その他の出願人検索機能 | - | |
| | キーワード等検索 | 商標 | ○ | |
| | | 呼称 | ○ | |
| | | その他キーワード検索機能 | - | |
| | 日付検索 | 出願日・国際登録日 | ○ | |
| | | 公開日 | ○ | |
| | | 登録日 | ○ | |
| | | その他検索日 | ○ | |
| | 分類検索 | 図形等分類 | ○ | |
| | | 類似群コード | ○ | |
| | | 区分 | ○ | |
| | | 商標のタイプ | ○ | |
| | | その他分類検索機能 | - | |
| | 検索式を用いた検索 | 論理式による検索 | × | |
| | | 部分一致、ワイルドカードによる検索 | △ | |
| | | 検索式のエディット支援 | × | |
| | | その他検索式を用いた機能 | - | |
| | ステータスを加味した検索 | × | | |
| | 入力支援機能 | ○ | | |
| | 日本国周知・著名商標検索 | ○ | | |
| | 不登録標章検索 | ○ | | |
| | 類似画像検索 | × | 類似画像検索 | |
| | 要素検索 | × | | |
| 辞書機能 | ○ | | | |
| 検索条件保存・参照 | × | | | |
| 検索履歴の保存・再利用 | × | | | |
| その他検索機能 | - | | | |
| 閲覧・表示 | 公開商標文献の閲覧 | ○ | | |
| | 書誌情報の閲覧 | ○ | | |
| | 図面の閲覧 | ○ | | |
| | 検索結果の一覧表示 | ○ | | |
| | 経過情報の表示 | ○ | | |
| | 外国文献の日本語表示 | ○ | | |
| | ハイライト表示 | ○ | | |
| | 検索結果のソート | ○ | | |
| | 検索結果のフィルタリング | × | | |
| | 検索結果の保存 | × | | |
| | 自動分類機能 | × | | |

| | | | |
|-------------|----------------------|---|-----------|
| | 表示のカスタマイズ | × | |
| | その他閲覧機能 | - | |
| 分析 | ランキング | × | |
| | マップ表示 | × | マップ表示 |
| | その他分析 | - | |
| データダウンロード | 書誌リスト | × | |
| | PDF 公報 | △ | |
| | その他データダウンロード | - | |
| その他 | 書誌情報の訂正 | × | |
| | 出願人名等の名寄せ | × | 出願人名等の名寄せ |
| | アラート機能(SDI・ウォッチング機能) | × | |
| | 情報共有機能 | × | |
| | チャットボット機能 | × | チャットボット |
| | 不慣れなユーザー向け機能 | × | |
| | ユニバーサルデザイン対応 | × | |
| 高度な機能や独自の機能 | × | | |

凡例：J-PlatPat の実装状況の「○」は実装、「△」は一部実装、「×」は未実装、「-」は対象外を表す

表 1.4.4 調査対象の高度な機能

| No. | 種別 | 機能名 | 法域 | 機能概要 |
|-----|------|---------------------|----------------|--|
| 1 | 検索 | 類似検索・概念検索 | 特実 | 公報番号や明細書の文章、あるいはキーワード関連語や技術分類等を入力して、検索対象と似ているもの(関連度の高い特許・実用新案、意匠)を抽出する機能 |
| | | | 意匠 | |
| 2 | 検索 | 類似画像検索 | 意匠 | 形状、模様、色彩、あるいは登録番号等、特に対象の画像を入力して、検索対象と似ているもの(関連度の高い意匠、商標)を抽出する機能 |
| | | | 商標 | |
| 3 | 分析 | 特許情報分析(IP ランドスケープ等) | 特実 | 特許情報の分析方法として、ランキング分析、課題・解決分析、引用・被引用分析、相関関係分析等、その動向等をビジュアル化する機能 |
| 4 | 閲覧表示 | 独自の特許トファミリー表示 | 特実 | 優先権によって直接的、間接的に結び付けられた 2 カ国以上の特許出願の束である特許ファミリーを、独自の基準で束ねて表示する機能 |
| 5 | 分析 | 引用ネットワークの可視化 | 特実 | 関連特許・実用新案の引用・被引用関係のつながりをネットワーク形式で見える化する機能 |
| 6 | 分析 | 価値評価の提供 | 特実 | 特許・実用新案の知的財産としての価値、すなわち排他権に伴う事業価値や経済的価値等を、定性的、あるいは定量的に評価して、その結果を提供する機能 |
| 7 | その他 | 出願人名等の名寄せ | 特実 意匠 商標 | 特許・実用新案、意匠、商標を出願した団体/個人の名前である出願人名が、同じ団体/個人であるのに、何らかの理由で出願時期により記載が異なっていたものを、同じ記載にまとめる機能 |
| 8 | 検索 | 辞書 | 特実 | 特許・実用新案に記載された、キーワードとその類義語(同義語・上位語・下位語)等を辞書として持ち、望む検索に適切なワードの候補(選択肢)を表示する機能 |
| 9 | 分析 | マップ表示 | 特実 意匠 商標 | 特許情報を目的に応じて整理、分析、加工(ビジュアル化)し、マップ表示する機能 |
| 10 | その他 | チャットボット | 特実 商標 | AI 技術等を活用した自動会話プログラム(AI ロボット)により、AI ロボットとの自然文による会話を通じて必要とする情報を得る機能 |

| | | | | |
|----|-----|----------|----|-------------------------------------|
| 11 | その他 | 特許文書自動作成 | 特実 | AI技術により、特許・実用新案の明細書等を自動的に生成して出力する機能 |
| 12 | その他 | 特許性判断 | 特実 | 特許性の有無を判断する機能 |

凡例:「特実」は、特許・実用新案のこと

1.5 調査方法

1) 商用データベースに実装されている機能一覧の調査

商用データベースに実装されている機能の一覧の調査は、商用データベースを提供している事業者に対し、Microsoft Forms 又は Microsoft Excel を用いたアンケートを依頼し、それら回答を集約して行った。なお、海外の商用データベースについては、日本の代理店等にアンケートを依頼した。なお、回答が得られなかった商用データベースに関しては、Web ページなど公開情報から得られる情報を基に独自に作成を行っており、これら商用データベースに関しては、実際に実装されている機能と異なる場合があります。注意が必要である。

2) 高度な機能の調査

表 1.4.4 に示す高度な機能の調査は、当該商用データベースを提供している事業者や代理店のホームページなどから得られる情報を基に、機能の概要、機能が搭載されている商用データベース、利用用途（ユーザメリット）及び機能の詳細について調査を行なった。また、商用データベースごとの調査で実施した、ヒアリングで得られた情報も加味して、調査結果をまとめた。

3) 商用データベースごとの調査

表 1.3.1 に示す商用データベースのうち、36 の商用データベースについて、当該商用データベースを提供している事業者や代理店のホームページなどから得られる情報を基に、商用データベースの概要、収録データ、機能一覧、高度な機能及び導入コストについて調査した。そのうち、18 の商用データベースについては実際に操作して、また、7 の商用データベースは提供事業者のデモンストレーションを見て高度な機能等の評価を行った。さらに、10 の商用データベースの提供事業者に対し、ヒアリングを実施し、提供している高度な機能の特徴や今後の提供予定などや、J-PlatPat に関する意見等を収集した。

2. 商用データベースの高度な機能

1.3 調査対象の商用データベースの選定の表 1.3.1 に示す 36 の特許情報に係る商用データベースの実装機能を調査し、それら機能のうち J-PlatPat に実装されておらず、AI などを活用した高度な機能を 12 種抽出した。抽出した高度な機能を表 2 に示す。

本章では、これら高度な機能 12 種についてその機能の特徴や利用用途(ユーザーメリット)、複数の商用データベースで提供されている機能についてはそれぞれの機能の解説等を示す。

なお、これら高度な機能が搭載されている商用データベースの一覧やそれぞれの機能の解説等は、本調査を実施した 2024 年 2 月現在のものである。

表 2 調査対象の高度な機能一覧

| No. | 種別 | 機能名 | 法域 | 機能概要 |
|-----|------|--------------------|----------------|---|
| 1 | 検索 | 類似検索・概念検索 | 特実 意匠 | 公報番号や明細書の文章、あるいはキーワード関連語や技術分類等を入力して、検索対象と似ているもの(関連度の高い特許・実用新案・意匠)を抽出する機能 |
| 2 | 検索 | 類似画像検索 | 意匠 商標 | 形状・模様・色彩、あるいは登録番号等、特に対象の画像を入力して、検索対象と似ているもの(関連度の高い意匠・商標)を抽出する機能 |
| 3 | 分析 | 特許情報分析(IPランドスケープ等) | 特実 | 特許情報の分析方法として、ランキング分析、課題・解決分析、引用・被引用分析、相関関係分析等、その動向等をビジュアル化する機能 |
| 4 | 閲覧表示 | 独自のパテントファミリー表示 | 特実 | 優先権によって直接、間接的に結び付けられた 2 カ国以上の特許出願の束であるパテントファミリーを、独自の基準で束ねて表示する機能 |
| 5 | 分析 | 引用ネットワークの可視化 | 特実 | 関連特許・実用新案の引用・被引用関係のつながりをネットワーク形式で見える化する機能 |
| 6 | 分析 | 価値評価の提供 | 特実 | 特許・実用新案の知的財産としての価値、すなわち排他権に伴う事業価値や経済的価値等を、定性的、あるいは定量的に評価して、その結果を提供する機能 |
| 7 | その他 | 出願人名等の名寄せ | 特実 意匠 商標 | 特許・実用新案・意匠・商標を出願した団体/個人の名前である出願人名が同じ団体/個人であるのに、何らかの理由で出願時期により記載が異なっていたものを、同じ記載にまとめる機能 |
| 8 | 検索 | 辞書 | 特実 | 特許・実用新案に記載された、キーワードとその類義語(同義語・上位語・下位語)等を辞書として持ち、望む検索に適切なワードの候補(選択肢)を表示する機能 |
| 9 | 分析 | マップ表示 | 特実 意匠 商標 | 特許情報を目的に応じて整理・分析・加工(ビジュアル化)し、マップ表示する機能 |
| 10 | その他 | チャットボット | 特実 商標 | AI 技術等を活用した自動会話プログラム(AI ロボット)により、AI ロボットとの自然文による会話を通じて必要とする情報を得る機能 |
| 11 | その他 | 特許文書自動作成 | 特実 | AI 技術により、特許・実用新案の明細書等を自動的に生成して出力する機能 |
| 12 | その他 | 特許性判断 | 特実 | 特許性の有無を判断する機能 |

2.1 類似検索・概念検索

1) 機能の概要

類似検索・概念検索機能は、公報番号や明細書の文章、あるいはキーワード関連語や技術分類等を入力して、検索対象と似ているもの（関連度の高い特実・意匠）を抽出する機能である。自然言語で表現された文章（話し言葉）による検索や、公報番号で特定した公報に似ているものを抽出する等の機能も、この機能に含まれる。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.1.1 類似検索・概念検索機能が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|--------------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 1 | AcclaimIP™ | Anaqua | ログインアウト検索 |
| 2 | Amplified | amplified ai | AI 特許調査、自然文検索（概念検索）、キーワード提案機能 |
| 3 | Biz Cruncher | パテント・リザルト | 類似検索・概念検索（類似特許の検索、自然文検索） |
| 5 | CAS Scientific Patent Explorer | CAS（化学情報協会） | 簡易検索モード |
| 6 | CAS STNext | CAS（化学情報協会） | Prior Art Analysis（先行技術調査） |
| 9 | CyberPatent Desk | サイバーパテント | 概念検索 |
| 10 | Derwent Innovation | Clarivate | Smart Search |
| 13 | Dialog | Dialog（ジー・サーチ） | 類似記事の検索 |
| 14 | HYPAT-i2 | 発明通信社 | 自動検索（検索アシスト） |
| 15 | incoPat | BEIJING INCOPAT（Clarivate） | AI 検索 |
| 17 | JP-NET/NewCSS | 日本パテントデータサービス | 文字の自動補完（類似検索）、自然文検索（概念検索） |
| 21 | ODIS-NET | オーディス | 類似特許の検索、自然文検索（概念検索） |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | セマンティックサーチ、類似検索 |
| 23 | PatBase | RWS グループ | Semantic Search（類似検索・概念検索機能） |
| 24 | Patentfield | Patentfield | AI セマンティック検索（類似文書検索） |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | AI 検索機能・概念検索 |
| 26 | PatSnap Analytics | PatSnap（中央光学出版） | セマンティック検索 |
| 29 | Shareresearch | 日立製作所 | 概念検索 |
| 31 | Tokkyo. Ai | Tokkyo. Ai（プロパティ） | AI テキスト検索 |
| 34 | WebPat | InnoVue（プロパティ） | 概念検索（AI 類似特許） |
| 35 | WIPS-Global | WIPS（プロパティ） | AI サーチ |

| | | | |
|----|---------|---------|--|
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | NOVELTY CHECKER (類似検索・概念検索)、 INVALIDATOR (無効資料検索) |
|----|---------|---------|--|

凡例:事業者名の()は、日本の代理店名。

3) 利用用途 (ユーザーメリット)

類似検索・概念検索機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 本機能による検索結果から、非常に類似した技術を扱っている潜在的な権利者、関連企業や競合企業を特定し、製品開発・実施・権利化を阻害する可能性を検討できる。
- ・ 検索式の構築に必要なスキルを有しておらず、経験の浅いユーザーでも求める技術内容に近い特許公報を検索できる。手軽に、簡単に、しかもできる限りしっかりした検索結果を得たい、また、新しい分野の検索時等、どのようなキーワードを使ったら良いか分からない場合、まずは大まかな対象技術範囲での特許を集めたいニーズに応える。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。また、具体的な情報が得られなかった商用データベースについては、記載を省略している。

【AcclaimIP¹: ノックアウト検索】

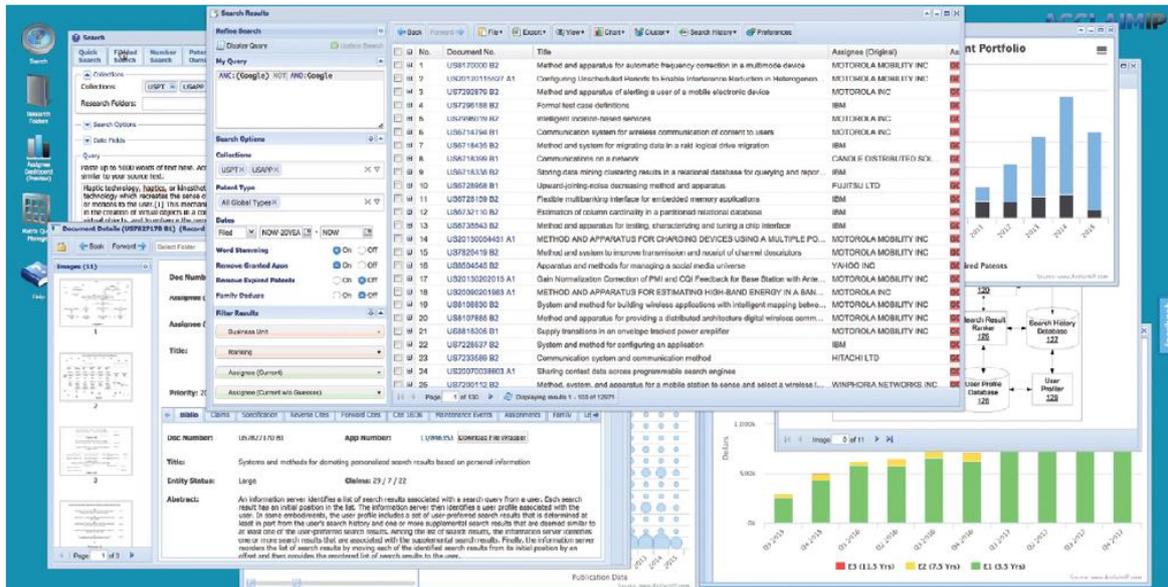
ノックアウト検索は、直観的に使用できるユーザーインターフェースで効果的な調査・検索を可能にする機能であり、以下のような特徴を持つ。

- ・ 自然言語検索、そして容易なフィルタリングが可能
- ・ 開示された発明情報に基づき、先行技術を幅広く適格に素早く検索
- ・ 重要用語を使い明確な先行技術を発見
- ・ 費用をかけた先行技術調査を詳細に行うべきかの判断に貢献
- ・ ノックアウト検索を綿密な先行技術調査と兼ね合わせることで無駄なりソース消費を回避

図 2.1.1 に、AcclaimIP の検索画面の例を示す。

¹ Anaqua ホームページ: <https://www.anaqua.com/ja/analytics/patent-search/>

図 2.1.1 AcclaimIP の検索画面例



出典：Anagua

【Amplified^{2,3} : AI 特許調査】

調査はとても簡単で、特許番号か文章（発明提案、技術明細）を入力するだけで、世界中の特許を読み込んだ AI が類似文献リストを即時に表示する。ユニークな AI 対話型インターフェースで、調査中にユーザーの意図を AI に随時再学習させ、結果リストを最適化できる。ユーザーは、調査開始から平均約 25 分以内に重要な結果を見つけられる。これはキーワードや特許分類を使った検索クエリの設定にかかる時間より、はるかに短い時間である。

特許調査ツールにおいて最も重要なのは類似文献を高い精度で見つけられることである。Amplified では精度を客観的に評価するために、147 万 307 件の国際調査レポートを対象にベンチマーク試験を実施し、提示する結果が人間と同等か、それ以上の精度を持つことを実証した。CPC メイングループにおける精度の差異はわずか±4%で、どの技術分野にも対応できる一貫した精度であり、人間が重要な分析に集中できる時間と環境を作ることができる。

その他、以下の特徴がある。

- ・ 文書全体の類似性に応じて全データベースを並べ替える。
- ・ 調べたい技術を説明した文章や関連する特許番号に類似した順に、データベース全体がソートされる。

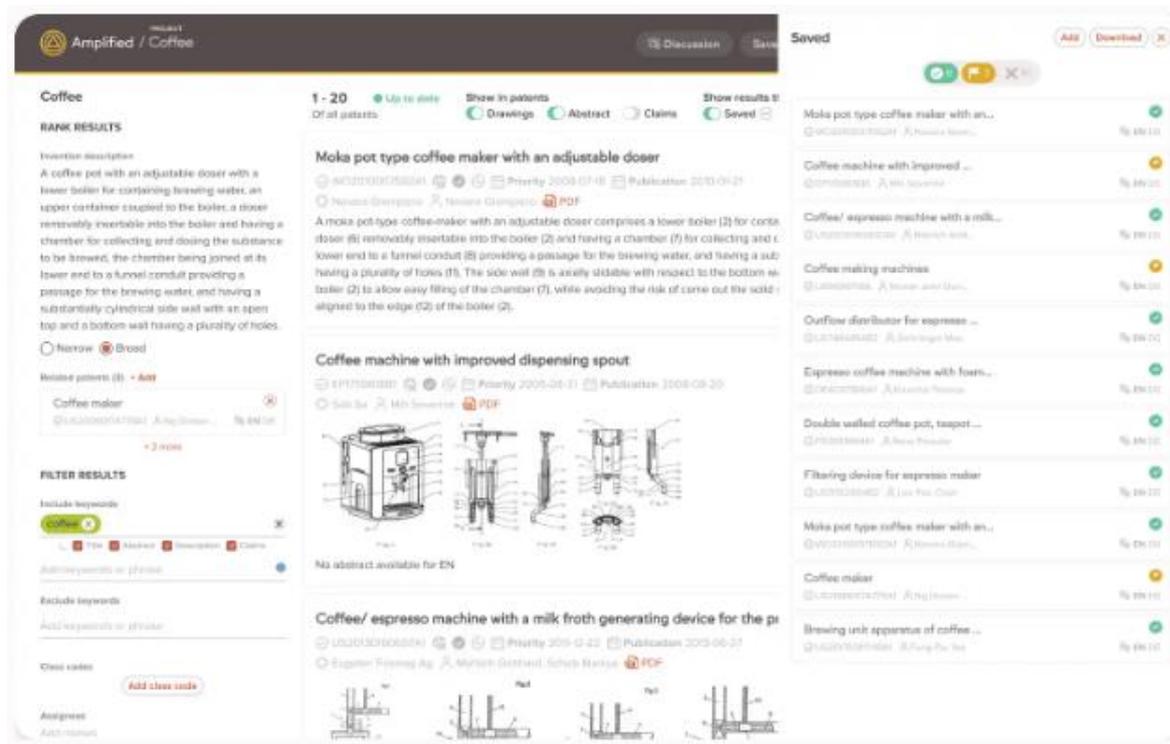
² amplified ai ホームページ： <https://www.amplified.ai/ja/how-it-works>

³ Aismiley ホームページ： <https://aismiley.co.jp/product/amplified/>

- ・ AI は全データベースを並び替えているだけで、恣意的な絞り込みはしない。調査範囲の限定はいつでもユーザーのクエリで制御され、その履歴を追うことができる。

図 2.1.2 に、Amplified の画面例を示す。

図 2.1.2 Amplified の画面例



出典：amplified ai

【Amplified²：自然文検索（概念検索）】

Amplified では、機械学習による長文埋め込みを使ったベクトル検索、自然文によるベクトル検索とキーワードやメタデータによるブーリアン検索を任意に組み合わせることで検索可能である。この機能により、クエリではなく、文書を書くことで、検索を行うことができる。

ユーザーは、検索式を作るのではなく、発明の提案や特許の草案を作成することに集中でき、文章が書き進められるに従って、最適な先行技術文献が常に手元に表示される。また、文書全体での類似比較は、類似技術の書き方に依らずに機能し、キーワードに縛られず類似特許等を見落とす可能性を除外できる。さらに、システムからのレスポンスが早く、ハイライトや図面表示などの表示設定が可能で、ストレスなく調査できる。

【Amplified⁴：キーワード提案機能】

キーワード提案機能は、類似検索によって得られた特許群から、そこに含まれる技術的概念を推論し、関連するキーワードを提案する機能である。ユーザーは特許情報とキーワードを参照して、あたかも人間とブレインストーミングをしているかのように、AI とともに発想を膨らませることができる。

この機能は、Amplified の文書類似評価モデルと、新たに生成モデルを組み合わせることで実現している。なお、Amplified の生成機能の特徴は、特許情報だけを利用しており、利用者が入力する情報を一切学習や生成に使わない点にある。生成モデルを使うことで発明の創出が加速されることを期待しつつも、秘匿性の高い情報を扱う業務での生成モデルの使用に不安を感じるユーザーも安心して活用できるようにしている。

【Biz Cruncher⁵：類似検索・概念検索（類似特許の検索、自然文検索）】

特許に関する公報を類似検索の手法で、パワフルに抽出する。検索された特許公報は「分析対象母集団」として登録され、ワンクリックで分析・調査が可能である。分析対象の個別公報と課題・解決手段が類似する公報を探したい場合、より類似度の高い事例から、対策・戦略を検討することが可能である。

また、米国、中国、韓国、台湾、ドイツ、英国、フランス、ロシア、インド、PCT 出願、欧州特許庁の特許文献の翻訳機能を有し、日本語の自然文を用いて海外特許の類似技術を横断的に検索することが可能である⁶。図 2.1.3 に、Biz Cruncher の画面例を示す。

図 2.1.3 Biz Cruncher の画面例



The screenshot shows the 'Biz Cruncher' search interface. It features a search bar at the top with a '検索' (Search) button. Below the search bar, there are several sections for refining the search:

- 類似検索:** A section for similar search with a dropdown menu and a '検索' button.
- キーワード:** A section for keyword search with a text input field and a '検索' button.
- 特許分類:** A section for patent classification with a dropdown menu and a '検索' button.
- 出願人:** A section for applicant search with a text input field and a '検索' button.
- 出願日:** A section for filing date search with a text input field and a '検索' button.
- 公開日:** A section for publication date search with a text input field and a '検索' button.
- 登録日:** A section for registration date search with a text input field and a '検索' button.
- 類似度の調整:** A section for adjusting similarity with a dropdown menu and a '検索' button.
- 公報種別:** A section for document type with checkboxes for '公開特許公報(A)', '公表特許公報(T)', '高公表特許公報(S)', '特許公報(B)', and '特許公報(B9)'.

At the bottom of the interface, there are buttons for '検索' (Search), '条件をクリア' (Clear conditions), and '閉じる' (Close).

出典：パテント・リザルト

⁴ PR TIMES の記事：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000033344.html>

⁵ Biz Cruncher ホームページ：<https://www.bizcruncher.com/about.html>

⁶ パテント・リザルトホームページ：<https://www.patentresult.co.jp/news/2020/10/biz-cruncher-search.html>

【CAS Scientific Patent Explorer⁷：簡易検索モード】

直感的に特許調査できるため、特許についての専門知識のない研究者や現場の技術者におすすめの機能である。簡易検索モードは検索語を入力するだけの簡単な検索で、以下の項目で検索することができる。

- ・ 標題、抄録、クレーム、ディスクリプション中のキーワード*
 - ・ 特許出願人、発明者、代理人*
 - ・ 特許番号、出願番号*、優先権出願番号*
 - ・ 発行日、出願日、優先権出願日*
 - ・ 4 種の特許分類～IPC、CPC、FI*、F ターム*
 - ・ 法的状況ステータスなど法的状況**
- (*は「上級検索モード」の項目、**は絞り込みのフィルタで利用可能)

図 2.1.4 に、CAS Scientific Patent Explorer の画面例を示す。

図 2.1.4 CAS Scientific Patent Explorer の画面例



出典：化学情報協会

【CAS STNext⁸：Prior Art Analysis（先行技術調査）】

Prior Art Analysis は、CAS が独自に開発した AI ベースの類似特許検索エンジンを使用して自動的に先行技術文献を検索する機能である。CAplus/CA ファイルの特許レコードからクリック操作だけで簡単に利用できる。ブラジルの知的財産庁 (INPI) が膨大なバック

⁷ 化学情報協会ホームページ：

<https://www.jaici.or.jp/stn-ip-protection-suite/cas-scientific-patent-explorer/>

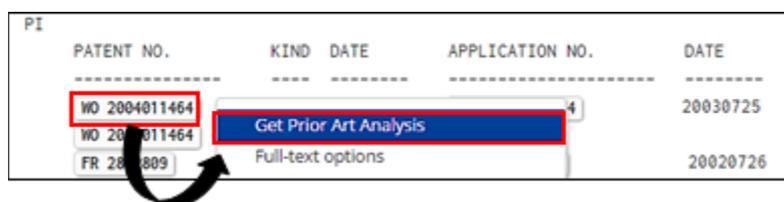
⁸ 化学情報協会 STNews ISSUE Vol.38：

<https://www.jaici.or.jp/application/files/6016/5354/1458/38-2.pdf>

ログを削減することを目的に CAS とパートナーシップを組んだことから開発が始まった⁹。CAS の索引情報や特許分類(IPC)を利用した AI ベースの検索エンジンを活用することで、他の検索方法では見つけれなかった先行技術文献を得られる可能性があり、しかも、簡単かつ迅速に情報を得られる。先行技術文献には特許のみならず非特許レコードも含まれる。図 2.1.5 及び図 2.1.6 に、Get Prior Art Analysis の入力例、並びに検索結果の例を示す。

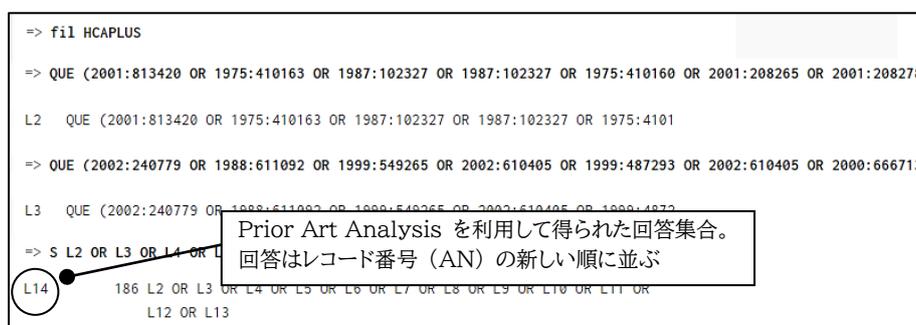
先行技術文献の検索は、図 2.1.5 に示すように、特許番号をクリックし、Get Prior Art Analysis を選択して行う。AI による検索が開始し、得られた複数のレコードが HCAplus ファイルで一つにまとめられ、回答集合が得られる (図 2.1.6)。なお、回答は関連度の高い特許 100 件、非特許 100 件の最大 200 件が得られる。

図 2.1.5 Get Prior Art Analysis の入力例



出典：化学情報協会

図 2.1.6 Get Prior Art Analysis の検索結果の例



出典：化学情報協会

【CyberPatent Desk¹⁰：概念検索】

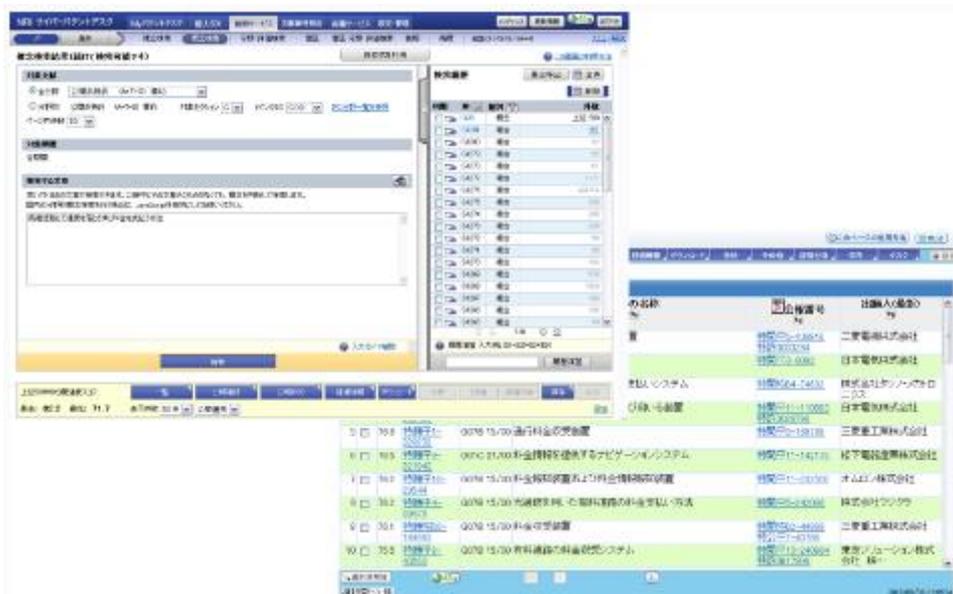
概念検索は、自然文を使って簡単に特許・実用新案・意匠を検索できる機能であり、知財担当者だけでなく発明者にも簡単に扱うことができる。AI を活用して事前学習した独自のエンジンにより、概念検索の精度が向上した。また、入力した文章や指定した対象に

⁹ CAS ホームページ: <https://www.cas.org/resources/press-releases/cas-inpi-collaboration>

¹⁰ サイバーパテントホームページ: <https://www.patent.ne.jp/service/patent/search.html>

内容に近い順に検索結果が表示されるので、類似度の高い文献からチェックすることが可能である。図 2.1.7 に、概念検索の画面例を示す。

図 2.1.7 CyberPatent Desk の概念検索の画面例



出典：サイバーパテント

【Derwent Innovation¹¹ : Smart Search】

Smart Search テクノロジーは効率性と使いやすさを実現するべく構築された、独自の直感的な特許検索・分析プラットフォームで、特許の検索方法とワークフローを最適化する。簡単に入力した単語から、DWPI コンテンツを利用し、自動的に検索語のバリエーションを広げ、IPC/DWPI マニュアルコード、引用特許を含めた検索を行い、検索結果を関連度スコア順に表示する機能である。Derwent Innovation の Smart Search では、AI 技術にはさほど頼らず、キュレーションされた DWPI の抄録などの情報を用いることで、高い精度の検索を実現している。なお、自然文の検索は英語のみで、日本語の場合は、単語単位で区切って入力して検索をする必要がある。図 2.1.8 に、Smart Search の画面例を示す。

¹¹ Clarivate ホームページ:

<https://clarivate.com/derwent/ja/solutions/derwent-innovation/>

<https://clarivate.com/products/ip-intelligence/patent-intelligence-software/>

図 2.1.8 Derwent Innovation の画面例

検索

①ホーム画面の検索で“Smart Search”を選択し、**単語（英語、日本語、フランス語、ドイツ語）**または**文章（英語）**を入力し、虫眼鏡のマークをクリックします。
※入力する文字数に制限はありません

リチウム 電池 正極 活物質 酸化鉄

Smart Search 公報番号

スマートサーチ実行時にDerwent Innovationが内部で行っている操作

スマートサーチの活用方法例

未知の技術分野について、
①日本語の単語でスマートサーチを行い、
②結果から自分が求めている技術に近い特許のDWPIタイトル、DWPI抄録の英文をスマートサーチする

より自分が知りたい技術の母集団を抽出でき、
**他社技術の把握、
検索式を作成する条件（IPC、キーワードなど）のサポート**
になります。

A : DWPIタイトル
Active material used for forming layer of positive electrode of lithium-ion secondary battery comprising positive electrode active material

B : 特許分類
IPC H01M 4/325 C01G 53/00 H01M 4/131 H01M 4/08

(1)の母集団内で頻繁に共通で使われている用語
secondary battery, comprises positive electrode active material

(1)の母集団内で共通で使われているIPC,CPC,マニュアルコード

C : 引用文献

(1)の母集団内で共通で使われている引用文献

(2) (1)で抽出した特許の A : DWPIタイトル、B : 特許分類、C : 引用文献の内容をみて、A or B or Cの検索式を作成し、全世界の特許を検索する

検索結果

重みづけの例

A : DWPIタイトル ヒットした言語数
ヒットしたキーワードの場所

B : 特許分類 ヒットした特許分類のコード数
ヒットした特許分類の順位

C : 引用文献 ヒットした引用文献数

最高値を100とし、100に近づけば技術の関連性が高い

出典：Clarivate

【Dialog¹²：類似記事の検索】

「類似記事の検索」は、入力ボックスに文章を貼り付けて検索することが出来る。タイトルなどの短い文は当然ながら、抄録や本文など長い文章を貼り付けて検索することも可能である。なお、類似記事の検索は一部のデータベースでのみ利用可能で、対象データベ

¹² ProQuest Dialog ユーザーマニュアル第5章

ースを絞り込むことはできない。

なお、Dialogには、「類似記事の検索」の他に、「基本検索」「詳細検索」「コマンドライン検索」なども用意されており、利用者の習熟度やニーズに合わせてどの検索モードを使用するかを選択できる。また、複数のデータベースを用いた検索が可能であり、検索結果の重複も自動的に除去される。

Dialogは、特許以外にも、各専門分野の研究開発のためのグローバルな研究動向の調査、複数のデータベースでの網羅的なエビデンス収集が必要な調査、グローバルな市場、規制、最新の製品トレンドの調査に活用できる。

図 2.1.9 に、Dialog の「類似記事の検索」の入力画面及び検索結果の画面例を示す。

図 2.1.9 Dialog の「類似記事の検索」の入力画面及び検索結果の画面例

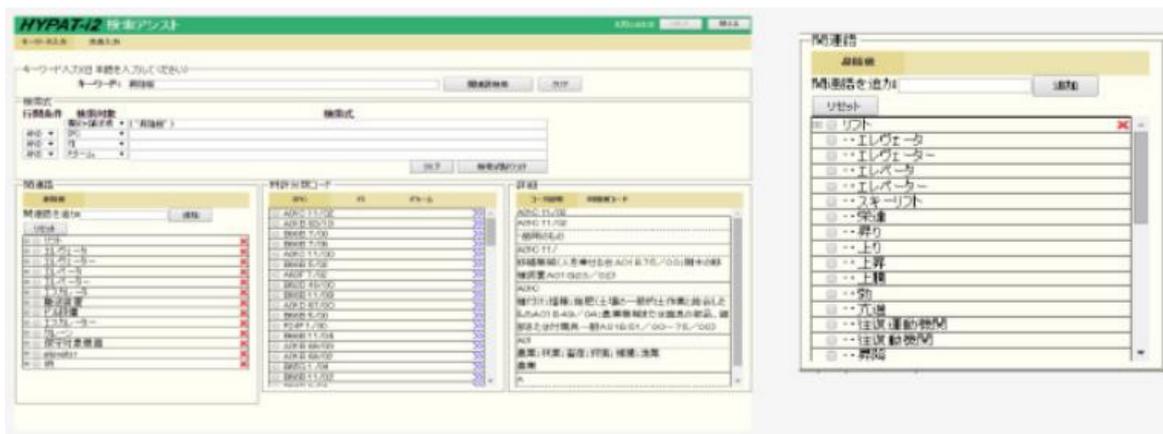


出典：ジー・サーチ

【HYPAT-i2¹³：自動検索（検索アシスト）】

検索アシストは、入力した単語や文章から同義語や特許分類を提案する機能で、特許特有の用語を収録した関連語辞書を搭載している。また、思いついた文章で検索できる概念検索と組み合わせて自動検索することも可能である。図 2.1.10 に、HYPAT-i2 の検索アシストの画面例を示す。

図 2.1.10 HYPAT-i2 の検索アシストの画面例



出典：発明通信社

【incoPat¹⁴：AI 検索】

AI 検索は、技術の要約（技術明細）から特許文献を検索する機能であり、新規性検索、無効検索、権利侵害リスク検索の 3 つの機能がある。

技術明細を入力すると、類似度の高い上位 2000 件の記事に関連性の高い順にソートして表示する。さらに、DNA 技術マップ分析(現在、中国特許のみ)では、ユーザーと incoPat システムをインタラクティブに関連キーワードの選択や構造化をサポートし、検索結果の精度を高める。

図 2.1.11 から図 2.1.14 に、incoPat の新規性検索画面例を示す。

¹³ 発明通信社ホームページ:

<https://www.hatsumei.co.jp/hypat/function/>

<https://www.hatsumei.co.jp/hypat/option/>

¹⁴ incoPat ホームページ: <https://www.incopat.com/login?locale=ja>

図 2.1.11 incoPat の新規性検索画面（STEP1）例



出典：Clarivate

図 2.1.12 incoPat の新規性検索画面（STEP2）例



出典：Clarivate

図 2.1.13 incoPat の新規性検索画面（STEP3）例



出典：Clarivate

図 2.1.14 incoPat の新規性検索画面 (AI 検索結果) 例



出典：Clarivate

【JP-NET/NewCSS¹⁵：文字の自動補完（類似検索）】

漏れに繋がりがやすい文字、例えば全角・半角の違いやデータを見ないと分からない形状類似文字等を検索時に自動補完する。

<一例>

- ・ 拗音・通常文字→同一視
- ・ 全角・半角→同一視
- ・ 大文字・小文字→大文字利用の場合は同一視（小文字利用の場合はそのまま検索）
- ・ 二文字に分かれている濁点／半濁点→同一視（例：かゝ ≡ がが）
- ・ 形状類似文字→同一視（例：へ（ひらがな） ≡ へ（カタカナ）・カ（カタカナ） ≡ 力（漢字））

【Orbit Intelligence¹⁶：セマンティックサーチ、類似検索】

Orbit Intelligence の類似検索は、セマンティックサーチと類似検索の2つの機能に分かれている。

セマンティックサーチは、特定の文章（自然文）を入力すると、その文章に書かれている言葉などから判断して、類似の記載事項がある特許を探す機能である。

類似検索は、特許を基に似ている特許を探す機能である。類似の基準となるのは、特許分類・引用関係・ファミリーコンセプトの類似性である。ここでコンセプトとは、フルテキストより名詞や名詞句を切り出して技術的用語を抽出したキーワードで、出現頻度・出

¹⁵ 日本パテントデータサービスホームページ:

https://www.jpds.co.jp/jp-net/various_functions/original.html

¹⁶ Questel ホームページ:

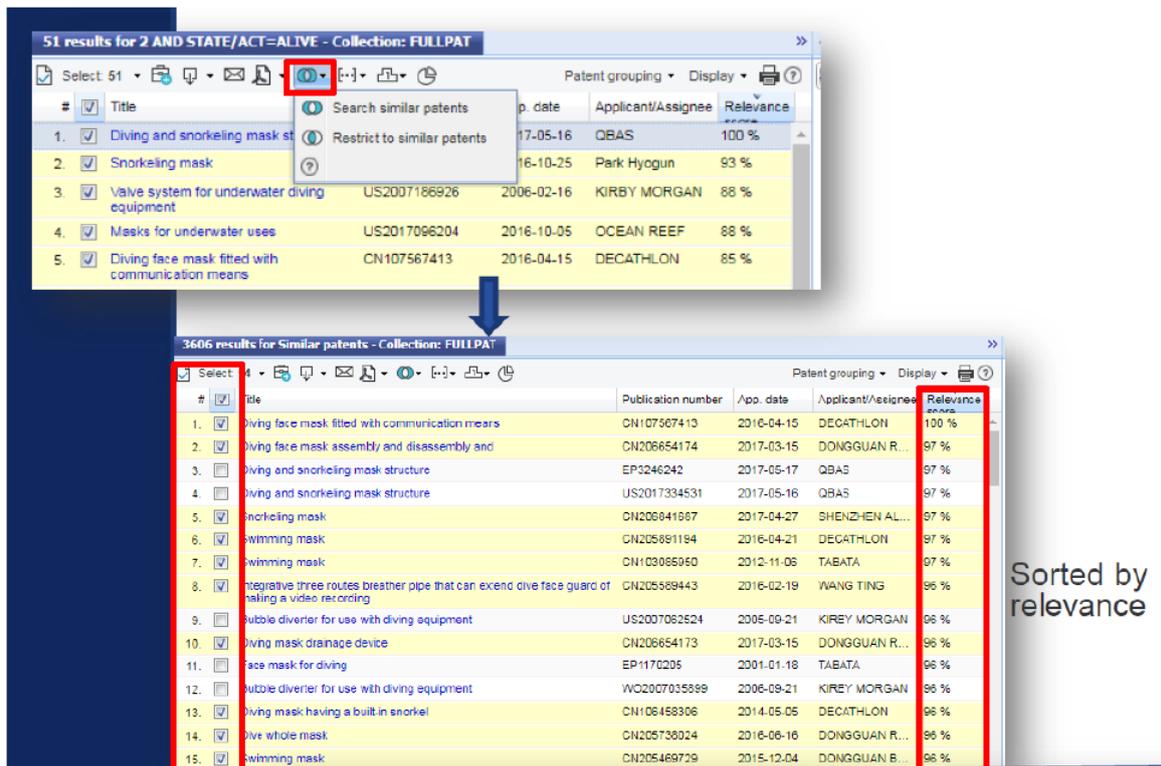
<https://www.questel.com/ja/patent/ip-intelligence-software/orbit-intelligence/>

現場等から独自に統制された概念である。

いずれの場合においても、その類似度をシステムが判断して結果を類似度順に表示するが、何が類似していたかという条件も提示することが大きな特徴である。

図 2.1.15 に類似検索の画面例を示す。

図 2.1.15 Orbit Intelligence の類似検索画面



出典：Questel

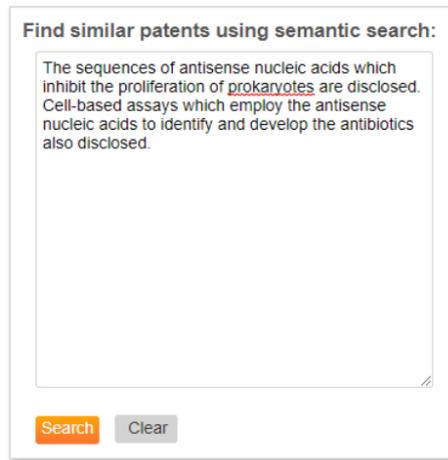
【PatBase¹⁷：Semantic Search（類似検索・概念検索機能）】

Semantic Search は、調査対象の特許内の重要な概念を素早く特定し、PatBase の検索に組み込む機能である。

文書の抄録、特許請求の範囲、または説明文のテキストを検索ボックスに入力または貼り付け、「検索」をクリックしてセマンティック検索を実行すると、検索結果ページに結果が表示される。図 2.1.16 に、Semantic Search の入力ダイアログの例を示す。

¹⁷ RWS から提供された情報を基に記載

図 2.1.16 Semantic Search の入力ダイアログの例



出典：RWS グループ

【Patentfield¹⁸：AI セマンティック検索（類似文書検索）】

1000 万件以上の大規模な特許文書から言葉の意味を学習し、探している技術内容に近い特許文献から調査できる。探したい任意の自然文書又は特定の文献から類似度が高い順にスコアリングすることにより、教師データなどを用意せずともすぐに調査できる。例えば「ソーラパネル」で検索すると、「太陽電池パネル」や「太陽光発電パネル」などが含まれる類似概念の文書を検索することができる。図 2.1.17 にセマンティック検索の画面例を示す。

図 2.1.17 セマンティック検索の画面例



出典：Patentfield

¹⁸ Patentfield ホームページ: <https://patentfield.com/#/>

【PatentSQUARE¹⁹：AI 検索機能・概念検索】

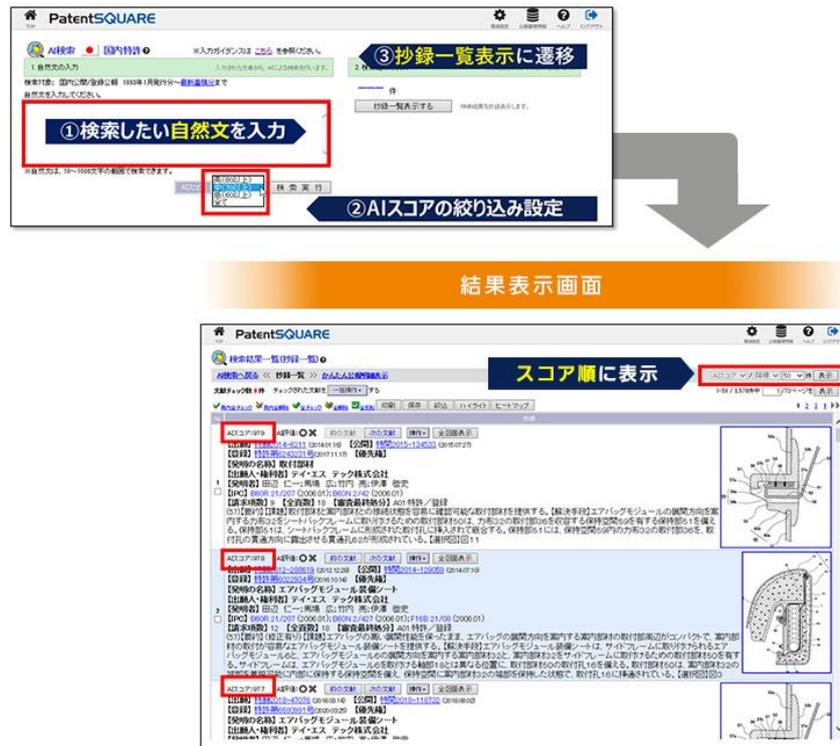
AI 検索機能は、AI を使って類似特許を検索するもので、自然文で検索すると類似度に応じて AI スコアを表示してくれる。特許調査に慣れていない現場技術者にとっても使いやすい AI オプション機能である。新しい技術分野を調査したい、短時間で調査を行いたい、調査ツールを簡単に素早く使いこなしたい等、もっと手軽に、もっと素早く特許調査をしたいというニーズに応え、特許調査を強力にサポートする。表記ゆれを気にしたり、同義語などのキーワードを追加したりする必要がない。また、検索結果は、代表図又は全図面と一緒に AI スコアの降順に表示されるため、関連性の高いと思われる文献から査読できる。高速検索エンジンを搭載し、素早いレスポンスと、直感的に使えるユーザーインターフェースで快適な検索環境を提供する。なお、AI 再検索機能により、検索して見つかった文献の記載内容をもとに、技術内容が近い文献を更に検索可能である。

概念検索機能は、検索に利用した自然文と公報に出現するキーワードの出現頻度から類似特許を検索するもので、自然文を入力するだけで、それに該当する特許が関連度と共に表示されるため、検索式が思いつかないときや特許分類の当たりを付けたいときは、同義語などの考慮は必要だが文章だけで簡単に検索できる。検索条件を出願番号で入力することや、公報表示画面で閲覧中の文献に類似した文献をワンタッチで検索し「類似文書一覧（書誌一覧）」として表示する機能も搭載している。なお、概念検索は、特徴語、重みを使って検索するが、引用文献、被引用文献、FI を使った検索（拡張概念検索）も可能である。図 2.1.18 に、PatentSQUARE の AI 検索機能画面例を、図 2.1.19 に、PatentSQUARE の概念検索（自然文検索）画面例を、図 2.1.20 に、PatentSQUARE の概念検索（類似検索）画面例を示す。

¹⁹ パナソニック ソリューションテクノロジーホームページ:

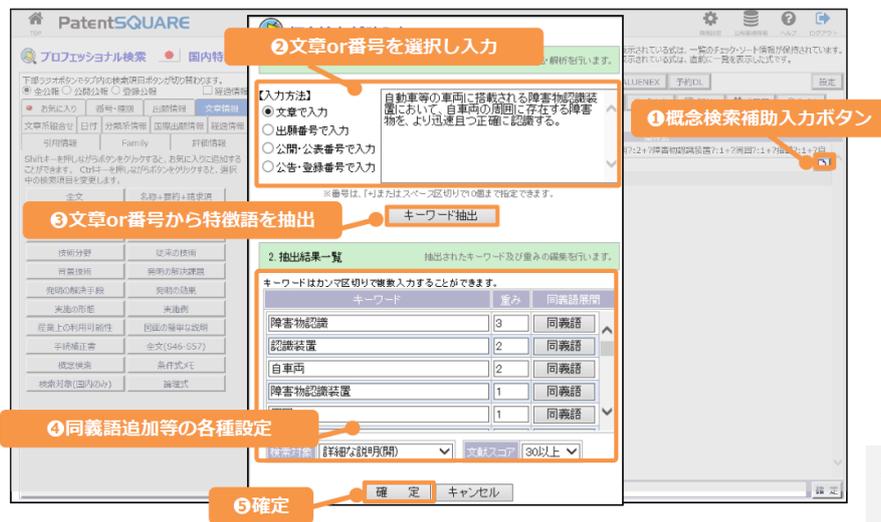
<https://www.panasonic.com/jp/business/its/patentsquare.html>

図 2.1.18 PatentSQUARE の AI 検索機能画面例



出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

図 2.1.19 PatentSQUARE の概念検索（自然文検索）画面例



出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

図 2.1.20 PatentSQUARE の概念検索（類似検索）画面例

検索結果一覧(書誌一覧)

概念検索へ戻る << 書誌一覧 / 抄録一覧 >> **かんたん公報明細表示**

文献チェック数 2 件 チェックされた文献を 一括操作▼ する

頁内全チェック
 頁内全チェック解除
 全チェック
 全チェック解除
 印刷 保存 絞込 簡易分析▼

| No | スコア | 出願番号 | 出願日 | 公開・公表番号 | 公開・公表日 |
|--|------|-------------------------------|------------|------------------------------|--------------------------|
| 1 <input checked="" type="checkbox"/> | 80.4 | 特願2001-214987 | 2001.07.16 | 特開2003-28437 | 2003.01.29 |
| 2 <input checked="" type="checkbox"/> | 78.2 | 特願2004-519230 | 2003.07.02 | W004/004809 | 2005.11.04 2004.01.15 |

公報明細表示

2 件中
1-2 件目表示
前 2件目 次

呼出元文庫一覧

[特開2003-28437](#)
 [W004/004809](#)

この文庫をどうしますか?
評価 ウォッチ登録

この文庫の何をみますか?
詳細情報 紙公報PDF **類似文庫検索**
関連情報 サイテーション

チェックされた文庫をどうしますか?
ファイル保存 印刷

公開公報

(10)【発行国】日本国特許(JP)
 【公報種別】再公表特許(A1)
 (11)【国際公開番号】W02004/004809
 (43)【国際公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)
 【発行日】平成17年11月4日(2005.11.4)
 (54)【発明の名称】医療用自動吸引器具
 (61)【国際特許分類第7版】
 A61M 5/20
 【FI】
 A61M 5/20
 【審査請求】未請求
 【予備審査請求】未請求
 【全頁数】20
 【出願番号】特願2004-519230(P2004-519230)
 (21)【国際出願番号】PCT/JP2003/008301
 (22)【国際出願日】平成15年7月2日(2003.7.2)
 (31)【優先権主張番号】特願2003-163057(P2003-163057)
 (32)【優先日】平成14年7月2日(2002.7.2)
 (33)【優先権主張国】日本国(JP)
 (81)【指定国】EP,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HU,IL,IT,LU,MC,NL,PT,RO,SE,SI,SK,TR, CN,JP,US
 (71)【出願人】
 【登録番号】J010005827
 【氏名又は名称】松下電器産業株式会社
 【住所又は居所】大阪府門真市大平門真1000番地
 (74)【代理人】
 【登録番号】J00081819
 【弁護士】
 【氏名又は名称】早瀬 憲一
 (72)【発明者】
 【氏名】石川 徳秀
 【住所又は居所】徳島県三好郡三加茂町加茂4774-1
 (73)【発明者】
 【氏名】鳥塚 徳雄
 【住所又は居所】徳島県美馬郡美馬町宇宮前296-9
 (57)【要約】

1区画表示 / 全図画表示
戻る 拡大 縮小

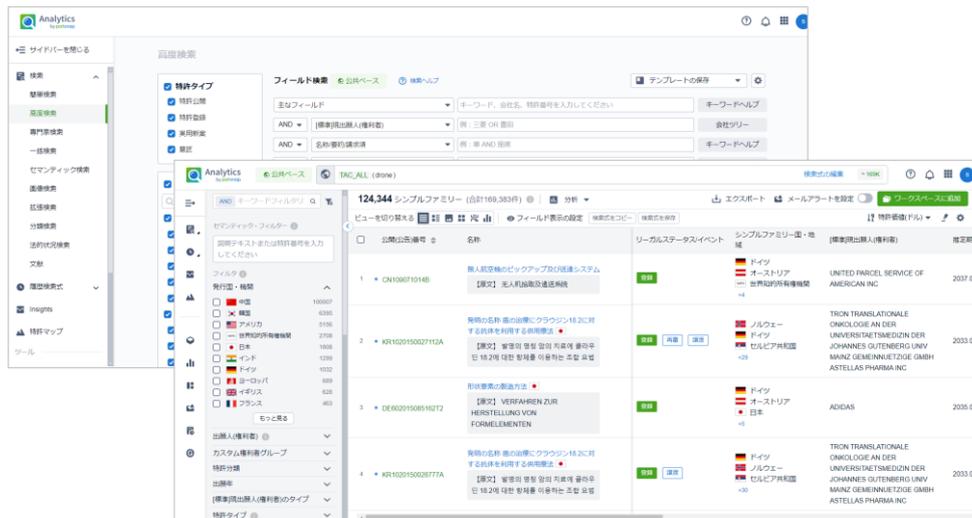
出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

【PatSnap Analytics²⁰：セマンティック検索】

様々な検索機能を提供する共通のインターフェースからタブを切り替えることで、AI を利用した特許・実用新案の検索モードであるセマンティック検索に対応する。検索結果からはパワフルなフィルタや出力機能、ワークスペースなどが利用でき、利用者の調査業務を支援する。図 2.1.21 に PatSnap Analytics の検索画面例を示す

²⁰ 中央光学出版ホームページ：https://www.cks.co.jp/home/Products/PatSnapAnalytics.html

図 2.1.21 PatSnap Analytics の検索画面例



出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

【Shareresearch²¹：概念検索】

概念検索は、文書にて類似した公報を検索する。探している技術情報から似ている特許を広く検索し、書誌事項等で絞り込みを行える。また、概念検索機能を活用し、検索結果一覧にて目的にあった類似公報を上位にソートできる。（類似順ソート）

検索結果一覧から類似している公報を指定し、指定公報に類似するものを再度抽出（再検索）することも可能であり、概念検索を繰り返し行うことで、精度を高めながら目的にあった特許にたどりつくことができる。また、初心者向けの概念検索機能として対話型検索を提供している。ガイドにより調査の進め方をサジェストしてくれる。必要な文献に絞り込む（フィルタ）機能にも特化しており、目的の特許を初心者でも容易に探し出せる。図 2.1.22 に、Shareresearch の概念検索機能を活用した対話型検索画面を、図 2.1.23 に、Shareresearch の類似順ソートを示す。

²¹ 日立製作所から提供された情報を基に記載

図 2.1.22 Shareresearch の概念検索機能を活用した対話型検索画面



出典：日立製作所

図 2.1.23 Shareresearch の類似順ソート

| 順位 | 出願番号 | 発明名称 | 出願人 | IPC | 発日 | 審査権利状況 | 出願年 | 出願数 | 類似度 | 類似順位 |
|----|----------|------|-----------|------------|-----------|---------|------------|-----|-----|------|
| 1 | 2014-024 | 4865 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 91 | 10 |
| 2 | 2014-024 | 2144 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 28 | 8 |
| 3 | 2014-024 | 1187 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 19 | 12 |
| 4 | 2014-024 | 1127 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 40 | 10 |
| 5 | 2014-024 | 1087 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 39 | 10 |
| 6 | 2014-024 | 1047 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 18 | 8 |
| 7 | 2014-024 | 899 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 20 | 10 |
| 8 | 2014-024 | 895 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 18 | 10 |
| 9 | 2014-024 | 891 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 17 | 10 |
| 10 | 2014-024 | 887 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 20 | 10 |
| 11 | 2014-024 | 883 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 40 | 10 |
| 12 | 2014-024 | 879 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 20 | 10 |
| 13 | 2014-024 | 875 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 22 | 10 |
| 14 | 2014-024 | 871 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 28 | 10 |
| 15 | 2014-024 | 867 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 17 | 10 |
| 16 | 2014-024 | 863 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 24 | 10 |
| 17 | 2014-024 | 859 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 40 | 10 |
| 18 | 2014-024 | 855 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 19 | 10 |
| 19 | 2014-024 | 851 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 19 | 10 |
| 20 | 2014-024 | 847 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 40 | 10 |
| 21 | 2014-024 | 843 | 株式会社日立製作所 | 半導体装置の製造方法 | 株式会社日立製作所 | 2014024 | 2014/02/24 | 出願 | 30 | 10 |

出典：日立製作所

【Tokkyo.Ai²² : AI テキスト検索】

AI テキスト検索は、文章を入力するだけで、簡単に類似特許検索を行う機能である。文脈（文章）で類似度を判断することが大きな特徴で、キーワード検索とは異なり文脈を意識した検索が可能である。出願したい特許の文章（請求項に関する記載等）をそのまま文章検索画面で入力して、類似する権利範囲の特許を確認することができる。

以下に代表的な特徴を示す。

- 文章で簡単に検索
キーワードや複雑な検索式を使うことなく、簡単な文章の入力だけで高度な検索を行うことができる。これにより、専門的な検索式やキーワードの知識を必要とせず、特許検索のハードルが大きく下がる。
- 入力した文章と特許の類似率を表示
AI 技術を用いて、入力された文章と特許文献の類似性を具体的な数値で示す。これにより、関連性の高い特許文献を効果的に特定することができ、情報の優先順位付けが容易になる。
- わずか数秒で結果を表示
AI の高度な計算能力を活用し、膨大な特許データベースを高速にスキャンする。入力後、わずか数秒で関連する文献とその類似度を表示する。

図 2.1.24 に、AI テキスト検索画面例を示す。

図 2.1.24 AI テキスト検索画面例



出典 : Tokkyo.Ai

²² Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/pvt/function/>

【WebPat²³：概念検索（AI 類似特許）】

概念検索（AI 類似特許）は、文書及び特許番号で検索できる。日本語、英語、中国語（簡/繁）で台湾の特許を検索することができる。図 2.1.25 に、WebPat の検索画面例を示す。

図 2.1.25 WebPat の画面例



出典：プロパティ

【WIPS-Global²⁴：AI サーチ】

WIPS-Global は基本的な特許検索の入口として、FIELD サーチ、NUMBER サーチ、STEP サーチ、AI サーチの 4 つを設けている。AI サーチは、文章又は特許番号による類似特許検索を可能とする。図 2.1.26 に、WIPS-Global の画面例を示す。

図 2.1.26 WIPS-Global の画面例



出典：プロパティ

²³ プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/asia/webpat/>

²⁴ プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/sysytem/wipsglobal-search/>

【XLSCOUT²⁵：NOVELTY CHECKER（類似検索・概念検索、特許性判断）】

NOVELTY CHECKER は、AI を利用してアイデアを検証できる。自然言語処理と機械学習を利用した迅速な先行技術分析により、手作業による時間を削減し、検索を迅速化し、最初の方向性を提示する。簡単な言葉でアイデアを送信、AI の提案から関連するものを選択、高精度の分析と自動化されたレポートへのアクセスの 3 ステップでシンプルに使える。そのメリットは、次のとおりである。

- ・ 数回のクリックで、初回のアイデア類似性レポートを提供する。
- ・ 迅速なアイデア検証及びイノベーション・インテリジェンス・ツールとして機能する。
- ・ 特許及び非特許の先行技術を含む。
- ・ 専門家を必要としない。

図 2.1.27 に、XLSCOUT の NOVELTY CHECKER 画面例を示す。

図 2.1.27 XLSCOUT の NOVELTY CHECKER 画面例



出典：XLSCOUT

【XLSCOUT²⁶：INVALIDATOR（無効資料検索）】

INVALIDATOR は、AI と事前学習済の独自コーパス辞書を利用して、特定の競合他社の特許請求項に焦点を当てて、先行技術に素早くアクセスできる。「対象となる特許番号を入力」「興味のあるクレームや技術的バリエーション、キーワードを選択して AI に指示する」「分析結果やレポートとともに、ランク付けされた先行技術文献を入手する」の 3 ステップでシンプルに使える。そのメリットは、次のとおりである。

- ・ 完全に自動化された迅速な無効資料調査レポート
- ・ 特定のクレームに焦点を当てた分析
- ・ 使いやすいインターフェース

²⁵ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/novelty-checker>

²⁶ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/invalidator>

- ・ 事前学習済の独自コーパス辞書との統合
- ・ 特許番号を入力してクイック検索が可能

XLSCOUT の特徴としては、母集団を作った段階で IP ランドスケープの画面ができていますので、検索した結果や無効資料・先行技術文献調査の結果を、IP ランドスケープですぐに見ることができます。図 2.1.28 に、XLSCOUT の INVALIDATOR 画面例を示す。

図 2.1.28 XLSCOUT の INVALIDATOR 画面例



出典：XLSCOUT

5) まとめ

AI 技術の普及に伴い、手軽に、簡単に、まずはラフに該当エリアの特許を集めたいニーズに応える機能として、多くのベンダが本機能を実装済みの状況となっている。前記のうち 5 社 (CAS STNext、Derwent Innovation、incoPat 及び XLSCOUT) は、差別化要素として、類似特許の検索により特許性の評価が可能と謳っているが、その評価精度は公表されておらず、検証結果が待たれる。なお、概念検索と呼ばれる機能には、AI 活用によるものと AI を使わないものの 2 種類が、また、自然文検索するタイプと類似検索するタイプも存在する。

2.2 類似画像検索

1) 機能の概要

形状・模様・色彩、あるいは登録番号等、特に対象の画像を入力して、検索対象と似ているもの（関連度の高い意匠・商標）を抽出する機能である。ここで類似の基準となるのは、画像（イメージ）である。特に AI 技術の活用により、検索対象が入力情報と似ているか否かを判定できる。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.2.1 類似画像検索が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|-------------------|------------------|-------------------|
| 4 | Brand Mark Search | 日本パテントデータサービス | 類似画像検索 |
| 8 | Cotobox | cotobox | 画像検索 |
| 11 | Design Scope | 知識産権出版社有限責任公司 | 類似画像検索 |
| 12 | Design Search | InQuartik | 画像意匠検索 |
| 17 | JP-NET/NewCSS | 日本パテントデータサービス | 類似画像検索 |
| 18 | Kangxin | Kangxin Partners | 商標調査（類似画像検索） |
| 19 | Markify | Markify | ProSearch（類似画像検索） |
| 20 | ODI-GAZETTE | オーディス | 関連意匠（類似意匠）検索 |
| 24 | Patentfield | Patentfield | 類似画像検索 |
| 26 | PatSnap Analytics | Patsnap | 類似画像検索（意匠） |
| 30 | TM go365 | Clarivate | DIY 商標検索 |
| 32 | Toreru 商標登録 | Toreru | 画像商標検索 |

3) 利用用途（ユーザーメリット）

類似画像検索機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 本機能による検索結果から、非常に類似した技術を扱っている潜在的な権利者、関連企業や競合企業を特定でき、製品開発・実施・権利化を阻害する可能性を検討できる。
- ・ 検索式の構築に必要なスキルを有していない経験の浅いユーザーでも、求める技術内容に近い意匠・商標を検索できる。手軽に、簡単に、しかもできる限りしっかりした検索結果を得たい場合、まずは大まかな対象技術範囲での該当エリアの意匠・商標を集めたいニーズに応える。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。また、具体的な情報が得られなかった商用データベースについては、記載を省略している。

【Cotobox²⁷：画像検索】

5MB以下、縦横それぞれ1180px以内のjpgファイルを選択して、似たような商標が登録されていないか、確認できる。オンライン商標登録サービス「Cotobox」への申し込みを前提に、無料で画像検索できる。図 2.2.1 に、画像情報入力画面の例を、図 2.2.2 に検索結果の画面の例示す。

図 2.2.1 画像情報入力画面の例

The screenshot shows the Cotobox trademark registration application form. It is divided into three main sections:

- 1 商標情報の入力 (Trademark Information Input):** This section includes a logo upload area with a Cotobox logo example, a text input field for the trademark name (Cotobox), and a dropdown for the phonetic name (よみがな) set to 'ことぼっくす'. There are also radio buttons for 'ロゴ内の文字' (Text in logo) set to 'あり' (Yes).
- 2 区分の選択 (Category Selection):** This section shows a list of categories with '42類 調査、分析、設計、開発' (Class 42: Investigation, Analysis, Design, Development) selected. Other categories include '1類 化学品', '41類 教育、娯楽、スポーツ、文化', and '43類 飲食、宿泊'.
- 3 商標情報の確認 (Confirmation):** This section has a '次へ進む' (Next) button.

出典：cotobox

²⁷ cotobox ホームページ: <https://cotobox.com/>

図 2.2.2 検索結果の画面の例



出典：cotobox

【Design Scope：類似画像検索】

イメージファイルをアップロードすることによって、類似した画像を検索できる。具体的には、画像をアップロードするだけで検索可能な「簡単検索」、1枚の画像と書誌事項を掛け合わせた検索が可能な「単一ビュー検索」及び複数の画像と書誌事項を掛け合わせた検索が可能な「マルチビュー検索」が備わっている。さらに、「マルチビュー検索」においては、一次検索画面から上下左右の対称・非対称や、構造などの複数の要素から絞り込み検索が可能である。図 2.2.3 から図 2.2.5 に、Design Scope の検索画面を示す。

図 2.2.3 Design Scope の「簡単検索」画面



出典：プロパティ

図 2.2.4 Design Scope の「単一ビュー検索」検索画面

出典：プロパティ

図 2.2.5 Design Scope の「マルチビュー検索」検索画面

出典：プロパティ

【Design Search²⁸：画像意匠検索】

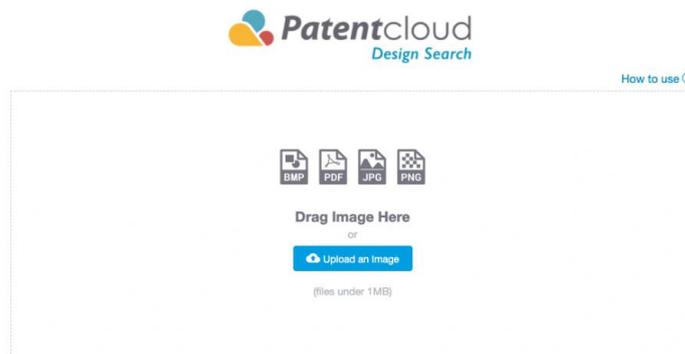
検索は画像間のドラッグ&ドロップで簡単に完了できる。図、製品写真又はプロトタイプの描写から画像を選択して、インポートするのみである。

²⁸ InQuartik ホームページ: <https://www.inquartik.jp/patentcloud/design-search/>

画像をアップロードすると、その画像に類似したデザイン（検索範囲を設定した場合はその範囲内）がリストアップされる。検索結果のいずれかをタップすると、新しい検索に直接進むことができ、画像を再アップロードすることなく、更に多くの類似デザイン特許を検索することもできる。AI 画像認識技術による画像検索を用いて意匠登録がなされているデザイン画像を検索することで、事実に関わりなく近い検索が可能となり、意匠検索の精度とスピードを向上させることができる。

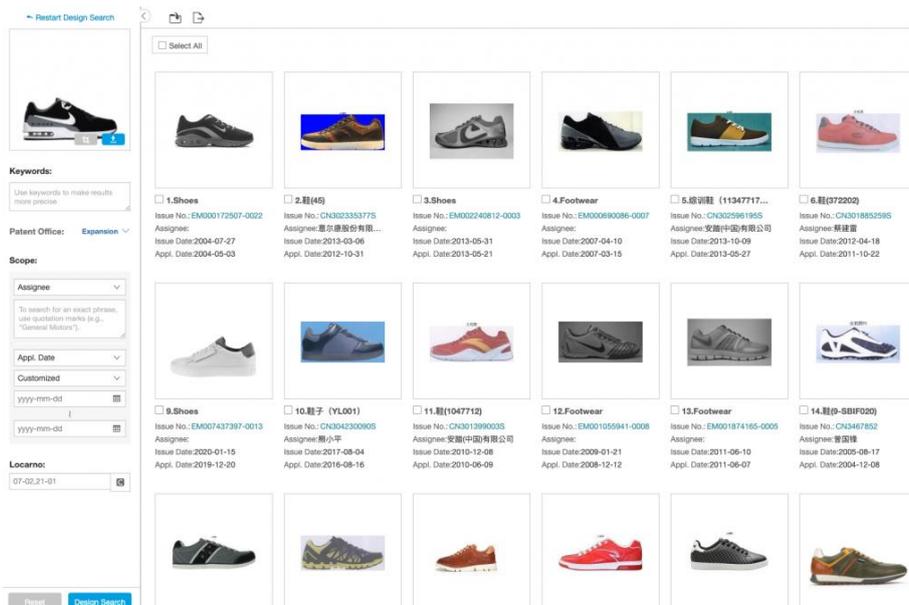
図 2.2.6 に、Design Search の画像検索入力ページの例を、図 2.2.7 に、Design Search の検索結果の例を示す。

図 2.2.6 Design Search の画像検索入力ページの例



出典：InQuartik

図 2.2.7 Design Search の検索結果の例

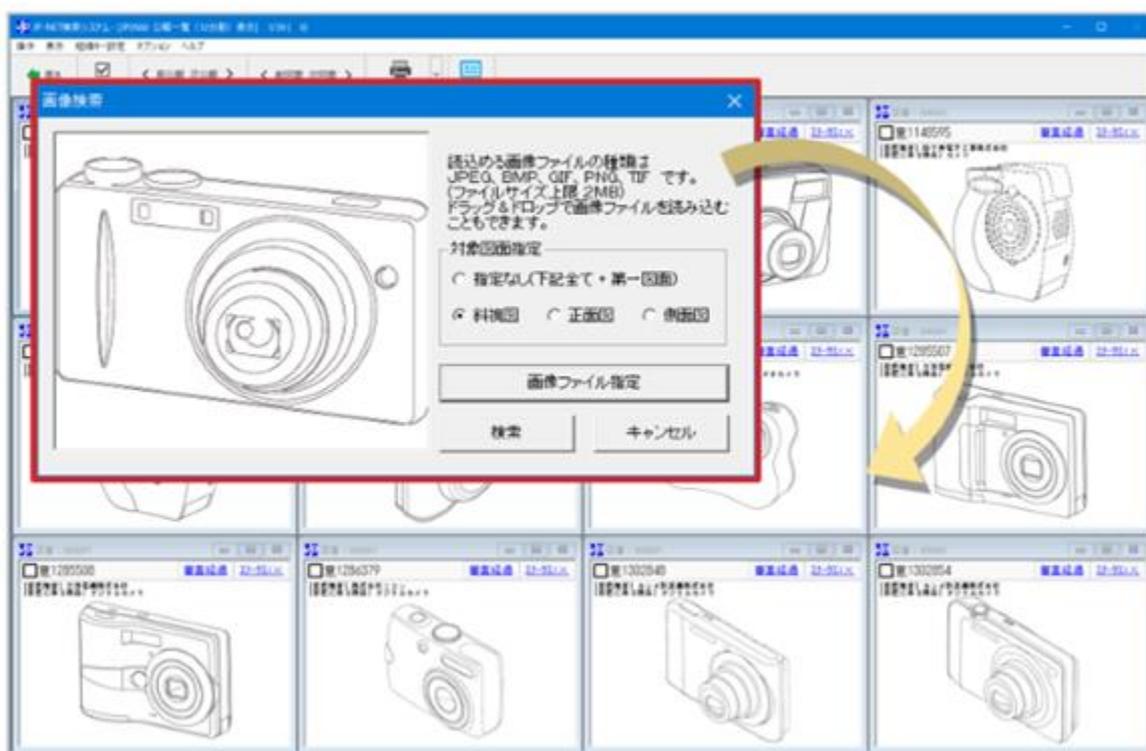


出典：InQuartik

【JP-NET/NewCSS²⁹：類似画像検索】

AI を利用し、イメージファイルから類似と思われる意匠公報を検索できる。分類情報を確認するための予備検索にも活用できる。図 2.2.8 に、JP-NET/NewCSS の検索結果の例を示す。

図 2.2.8 JP-NET/NewCSS の検索結果の例



出典：日本パテントデータサービス

【Kangxin IP Platform³⁰：商標調査（類似画像検索）】

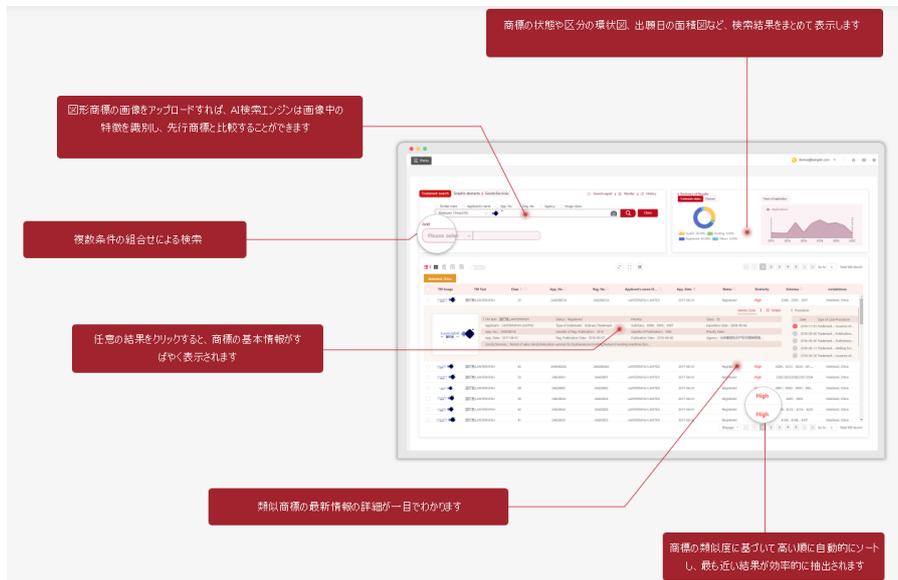
Kangxin IP Platform の商標調査では「図で図を調べる」方式による図形商標の検索ができる。AI 技術を用いてコンピュータ視覚アルゴリズムを結び付け図中の各要素を識別し、要素の顕著性占有率に基づいて類似商標を自動検索・分析し、ビッグデータと専門技術者による訓練を通じて、システム識別と類似度判断の精確率を高めた。すべての調査結果は、商標類似度の高い順にソートされてから、効率的な選別と後続の作業が行われる。何時間も掛かるウィーン分類を使った図形検索も数分で完了する。図 2.2.9 に、商標調査の操作

²⁹ 日本パテントデータサービスホームページ：https://www.jpds.co.jp/jp-net/degihn_trademark.html

³⁰ Kangxin Partners ホームページ：
<https://jservice.kangxin.com/html/1/177/296/index.html>

画面を示す。

図 2.2.9 商標調査の操作画面



出典：Kangxin Partners, P.C.

【Markify³¹：ProSearch（類似画像検索）】

ProSearch は、単語と画像ベースの商標の両方についてあらゆる種類の検索及び分析ツールをまとめている。迅速なワークフローで高品質の結果を処理するように最適化されており、効率的な商標スペシャリストの要求に応えられる。具体的には、ブール演算子とその他の文字列演算子の完全なライブラリがサポートされる。あらゆる種類の商標データ（所有者、商品役務、ウィーン分類・米国意匠分類、日付等）に対して高度なブール検索を実行できる。共存検索は、関連する商品やサービスと共存する同一の商標（ただし、同じ所有者ではない）を識別するためのツールであり、混同の可能性を拒否する可能性を克服するのに役立つ。グローバルな医薬品カバレッジを持ち、専用の製薬アルゴリズムで関連するすべての医薬品ソースを検索できる。意匠商標／デバイス商標／具象商標の画像ベースのアルゴリズムは、商標の世界最高の深層学習アルゴリズムとしてテストされている。

【Patentfield³²：類似画像検索】

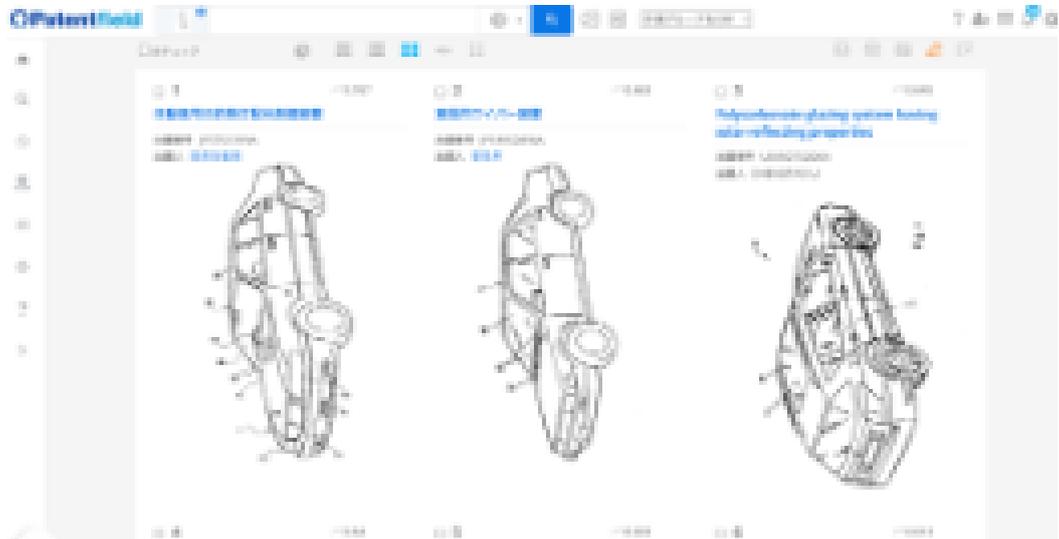
類似画像検索は、画像データを入力して、公報図面を対象に類似画像をもった特許・意匠公報を検索する機能である。複数図面の入力にも対応しており、意匠の6面図単位や、画像の組み合わせでの類似画像検索も可能である。図 2.2.10 に意匠の検索結果の例を示

³¹ Markify ホームページ：<https://www.markify.com/services/prosearch.html>

³² Patentfield ホームページ：<https://patentfield.com/#/>

す。

図 2.2.10 Patentfield の検索結果の例

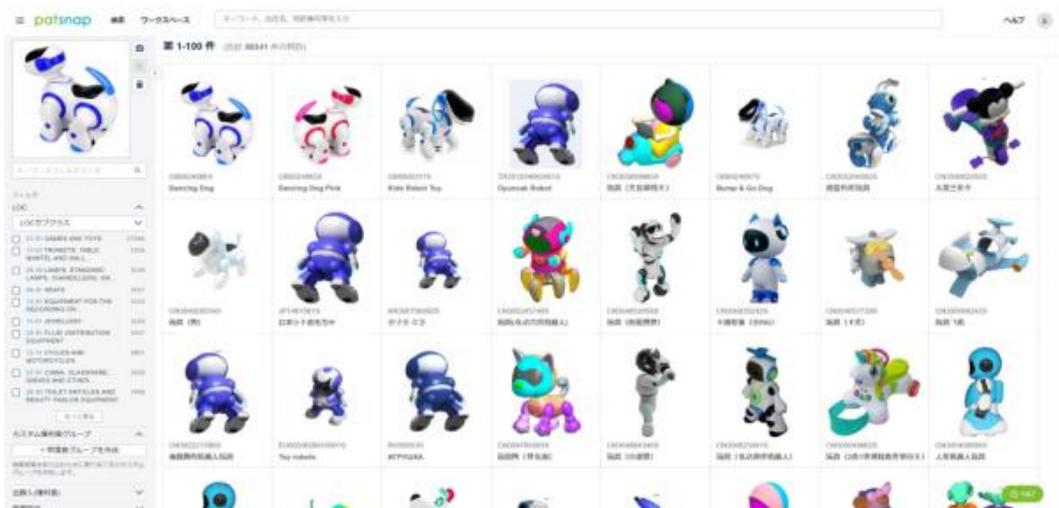


出典：Patentfield

【PatSnap Analytics³³：類似画像検索（意匠）】

画像をドラッグ&ドロップするだけで簡単に類似意匠の検索ができる。図 2.2.11 に意匠検索結果の例を示す。

図 2.2.11 PatSnap Analytics の意匠検索結果の例



出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

³³ 中央光学出版ホームページ： <https://www.cks.co.jp/home/Products/PatSnapAnalytics.html>

【TM go365³⁴：DIY 商標検索】

TM go365 の類似画像検索は、イメージデータをドラッグ&ドロップするだけでイメージマッチングが可能で、AI による画像認識技術により高い精度の調査を実現する。画像の中から自動的に重要な要素を特定し、それらを Clarivate の図形商標データベースに含まれる数百万件の図形と比較して、視覚的に類似した商標を特定し、類似性の高い順に結果を表示する。TM go365 の画像認識アルゴリズムは特許登録済であり、アルゴリズムとディープラーニングを使用して、対象を認識するものである。

【Toreru 商標検索³⁵：画像商標検索】

Toreru 商標検索は、商標検索に慣れていないユーザーでも簡単に商標を検索することができる簡易商標検索サイトで、誰でも無料で使える。初めてのユーザーにとってもわかりやすい検索画面で、これまでわかりにくかった商標調査がもっと簡単になる。図 2.2.12 に、Toreru の検索画面を示す。

図 2.2.12 Toreru の検索画面



出典：Toreru

5) まとめ

意匠は形状・模様・色彩に特徴があり、ユーザーとしては画像から判定する本検索機能が使いやすく、その利用に対してハードルが低いと想定される。ただし、潜在的な権利者、関連企業や競合企業を確実に特定するには、キーワード等から判定する自然文検索（概念検索）機能も併用するのが肝要と考える。

³⁴ Clarivate TM go365 紹介資料を参考に記載

³⁵ Toreru 商標検索ホームページ: <https://search.toreru.jp/>

2.3 特許情報分析（IP ランドスケープ等）

1) 機能の概要

特許情報分析とは、ランキング分析、課題・解決分析、引用・被引用分析、相関関係分析等、その動向等をビジュアル化する機能である。本調査では、その機能に IP ランドスケープも含めている。IP ランドスケープとは、自社、競合他社、市場の研究開発、経営戦略等の動向及び個別特許等の技術情報を含み、自社の市場ポジションについて現状の俯瞰・将来の展望等を示すものである³⁶。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.3.1 特許情報分析機能（IP ランドスケープ等）が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|--------------------|----------------------|--|
| 1 | AcclaimIP | Anaqua | 特許分析レポート、技術分析、競合分析 |
| 2 | Amplified | amplified ai | ビジュアライザ |
| 3 | Biz Cruncher | パテント・リザルト | 権利者スコアマップ、課題・解決マトリクス、製品分類、技術分類スコアマップ、発明者分析、類似特許マップ |
| 9 | CyberPatent Desk | サイバーパテント | テキストマイニング |
| 10 | Derwent Innovation | Clarivate | Derwent Data Analyzer 連携 |
| 15 | incoPat | incoPat | 統計分析 |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | 特許情報分析機能 |
| 23 | PatBase | RWS グループ | PatBase Analytics（ランドスケープ分析） |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | ヒートマップ |
| 26 | PatSnap Analytics | Patsnap | 3D ランドスケープ機能 |
| 29 | Shareresearch | 日立製作所 | 特許情報分析サービス（IP ランドスケープ、マップ、ランキング等） |
| 31 | Tokkyo. Ai | Tokkyo. Ai | 検索結果の分析、パテントマップ、技術分野分析 |
| 33 | ULTRA Patent | ウィズドメイン | テキストマイニング（ワードクラウド・キーワードマップ）、分析レポート |
| 35 | WIPS-Global | WIPS | SmartAngle |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | TECH SCAPER、COMPANY EXPLORER |

³⁶ 平成 28 年度特許庁産業財産権制度問題調査研究報告書「企業の知財戦略の変化や産業構造変革等に適応した知財人材スキル標準のあり方に関する調査研究報告書」の 21 頁脚注を参照：

https://www.jpo.go.jp/support/general/document/chizai_skill_ver_2.0/2016_05.pdf

3) 利用用途（ユーザーメリット）

特許情報分析機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 権利者スコアマップにより、特許の注目度から見た権利者ごとの競争力や競合状況が把握できる。
- ・ 課題・解決マトリクスにより、業界全体と企業単位の両面からの調査が可能で、技術開発の傾向を詳細に分析できる。
- ・ 製品分類を利用することで、発明の対象から技術開発の傾向を知ることができる。
- ・ 発明者分析により、特定の企業や技術分野において「注目度の高い発明者」が把握でき、競合企業の動向や、注目の技術分野におけるキーマンのトレンドをとらえるのに有効である。
- ・ 類似特許マップにより、分析対象の個別公報と課題や解決手段が似ている公報をマップ表示することで、より類似度の高い事例から、対策・戦略を検討することが可能となる。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。また、具体的な情報が得られなかった商用データベースについては、記載を省略している。

【AcclaimIP³⁷：特許分析レポート】

AcclaimIP の特許分析ツールは現状理解を促進するだけでなく、将来傾向や予測に対する理解・分析を可能にする。特許分析を通して特許情報を検索し、必要なデータを可視化、所有する特許ポートフォリオや市場に対する知見を提供し、情報に基づいた知財判断を可能にする。

AcclaimIP には、約 1.5 億件の特許情報が含まれ、それぞれの特許には複数のデータポイントが付随している。特許検索の単純な結果・情報に留まらず、図表やグラフが活用されたレポートを活用することで、より深い理解と知見を得ることが可能になる。

特許分析レポートには主に以下の特徴がある。

- ・ 特許データ検索、データポイント検索
- ・ 特許データや関連データポイント情報の理解、データ比較
- ・ 多様な分析結果出力フォーマット
- ・ 分析結果に基づいた知財戦略構築

図 2.3.1 に、特許分析レポートの画面例を示す。

³⁷ Anaqua のホームページ：<https://www.anaqua.com/analytics/patent-analytics/>

図 2.3.1 特許分析レポートの画面例

Displaying the representative application family member of US10235034 B2

ANAQUA Patent Analysis Report: US10235034 B2

| | | | |
|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| Document No. 10235034 B2 | Related Docs A1 B2 | App. No. 13/300240 | Doc Status ACTIVE |
|-----------------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|

PScore: 84 99 Cite 44 Tech

Computer-implemented tactile feedback method includes receiving user input on a computing device, identifying a term input by the user that does not match a term known to the device, accessing an auto-correction service in order to provide a replacement for the term, and energizing a haptic feedback device in response to identifying the term input by the user that does not match a known term.

| | | |
|---------------------|-----------------------|-------------------------|
| Filed 2011-11-18 | Granted 2019-03-19 | Est. Exp. 2034-03-22 |
|---------------------|-----------------------|-------------------------|

Assignee Original: GOOGLE INC
Agent: FISH & RICHARDSON PC

| Prosecution Statistics | | Family Statistics | | Document Statistics | |
|------------------------|-----------|-------------------|----------|---------------------|-------------|
| Claims | 6 | Apps. Filed | 26 | Total Words | 14175 words |
| Claims | 1 | Apps. Active | 2 | Len. Claim 1 | 172 words |
| Priority | 7.34 yrs. | Apps. Abandoned | 8 | No. Figures | 11 pgs. |
| Priority | No | Grants | 16 | Rem. Annuities | \$12600 |
| Priority | No | Grants Active | 12 | Next Payment | 2022-09-19 |
| Claims | No | Term. Disc. | No | | |
| Claims | 9 | Term Ext. | 855 days | | |

Claims: 9 Length Claim One: 172 words

Replacement for the term is not identified.

Computer-implemented method comprising:

- receiving, by a computing device, first user input that specifies a first term;
- representing, by the computing device with a graphical user interface, the first term responsive to the first user input;
- identifying, by the computing device, likely error in the first term specified by the first user input;
- determining, by the computing device, that a replacement term is identified for the first term;
- energizing, by the computing device, a haptic feedback device with a first mode of energizing the haptic feedback device responsive to having determined that the replacement term is identified for the first term;
- receiving, by the computing device, second user input that specifies a second term;
- representing, by the computing device with the graphical user interface, the second term responsive to the second user input;
- identifying, by the computing device, likely error in the second term specified by the second user input;

出典：Anaqua

【AcclaimIP³⁷：技術分析】

特許戦略を構築しているテクノロジーや市場傾向の可視化を通して、それらの将来傾向予測を可能にする。競合他社の動きや技術トレンドを理解することで、優れた知財計画や技術拡張計画が可能になる。

技術分析には主に以下の特徴がある。

- ・ 他社比較を通して所有するテクノロジーの市場ポジションを把握
- ・ 情報に基づいた特許戦略の構築
- ・ クロスレファレンス・テクノロジーのデータポイントを活用したテクノロジー・ランドスケープ
- ・ 分析に基づいた技術計画判断

図 2.3.2 に、技術分析の画面例を示す。

図 2.3.2 技術分析の画面例



出典：Anaqua

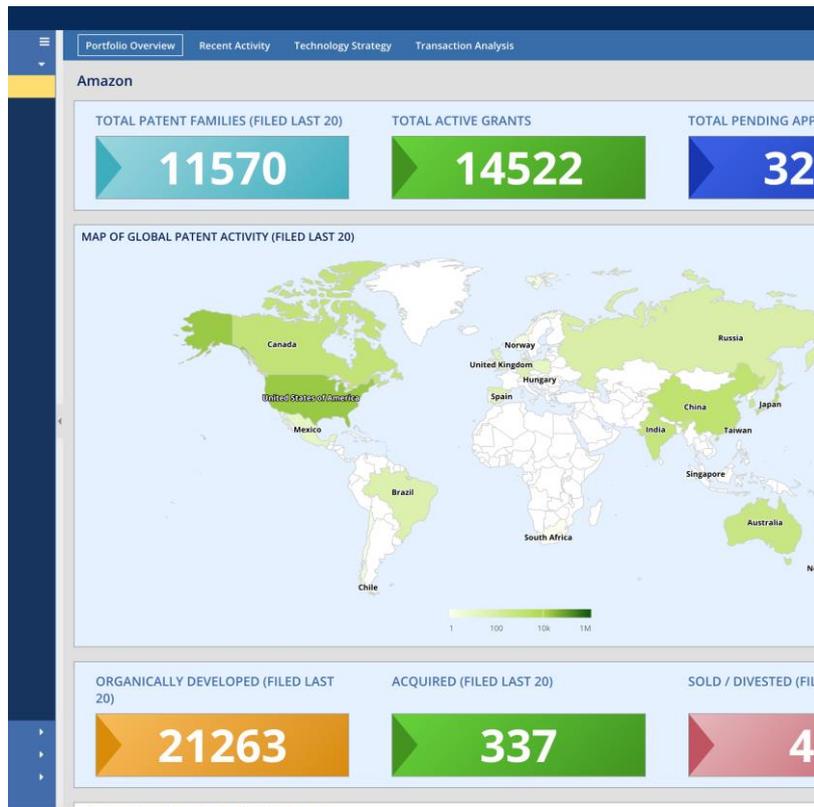
【AcclaimIP³⁷：競合分析】

競合他社や競合技術への対応は重要度を増しつつある知財業務の一つである。AcclaimIPは競合動向や、投資を拡大・縮小している分野の特定を可能にする。変化の激しい市場で先を見据えた知財計画を構築し、市場におけるポジションを確実にするサポートを提供する。

競合分析には主に以下の特徴がある。

- ・ 市場や競合他社・競合技術に対する理解
 - ・ 類似したテクノロジーを持つ競合他社の特定
 - ・ 競合他社・競合技術を考慮した知財戦略の構築
 - ・ 競合他社・競合技術の動向調査
 - ・ 競合他社・競合技術の傾向からライセンスの潜在性を特定
- 図 2.3.3 に、競合分析の画面例を示す。

図 2.3.3 競合分析の画面例



出典：Anaqua

【Amplified^{38, 39}：ビジュアライザ】

Amplifiedの「ビジュアライザ」では、プロジェクト内で検索・分析されるデータ群をクラスタリングされた散布図として表示し、マクロな視点での分析を可能にする。

ビジュアライザによって、ユーザーはベクトル検索で集められた正しい分野のデータを瞬時に集められるため、データ整備の必要性なくリアルタイムに可視化が可能になる。さらに、ビジュアライザのマップには、Amplified上に蓄積された様々なユーザーデータを反映できる。例えばマップ上のどの特許を自分が重要と認識しているか、ユーザータグを反映してマップ上のどの領域が現行製品のポートフォリオに対応するか、といった情報が重畳されている。

ユーザー自身がAmplified上に蓄積してきた「信頼できるデータ」を参照しながらマクロな視点で分析を行うことで、自社と競合とのポートフォリオの対比を精確に行うことができる。さらに、時系列変化や権利登録状況を反映させることで、出願戦略から権利の棚卸し、競合の切り崩し方など様々な目的に活用できる。

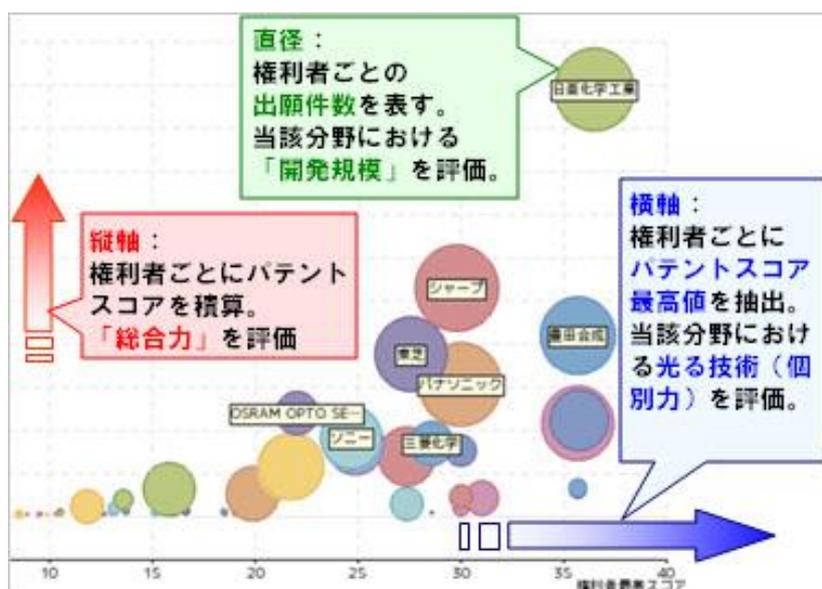
³⁸ Amplified AI ホームページ：<https://www.amplified.ai/ja/>

³⁹ PR TIMESの記事：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000033344.html>

【Biz Cruncher⁴⁰：権利者スコアマップ】

特許の注目度から見た権利者ごとの競争力や競合状況が把握できる。「特許の総合的な強さ」「個別特許の強さ」「特許件数」の3つの指標を1つの図表で視覚的にとらえることが可能である。図 2.3.4 に、権利者スコアマップの表示例を示す。

図 2.3.4 権利者スコアマップの表示例



出典：パテント・リザルト

【Biz Cruncher⁴⁰：課題・解決マトリクス】

分析対象の特許公報群を、発明の課題とその解決手段別に分類し、マトリクス表示する「課題・解決マトリクス」を作成する。業界全体と企業単位の両面からの調査が可能で、技術開発の傾向を詳細に分析する。図 2.3.5 に、課題・解決マトリクスの表示例を示す。

⁴⁰ Biz Cruncher ホームページ： <https://www.bizcruncher.com/>

図 2.3.5 課題・解決マトリクスの表示例



出典：パテント・リザルト

【Biz Cruncher⁴⁰：製品分類】

製品分類を利用することで、発明の対象から技術開発の傾向を知ることができる。分析対象公報群が、どのような製品（発明）を対象としているのかを、その構成比と共に把握することが可能である。図 2.3.6 に、製品分類の表示例を示す。

図 2.3.6 製品分類の表示例

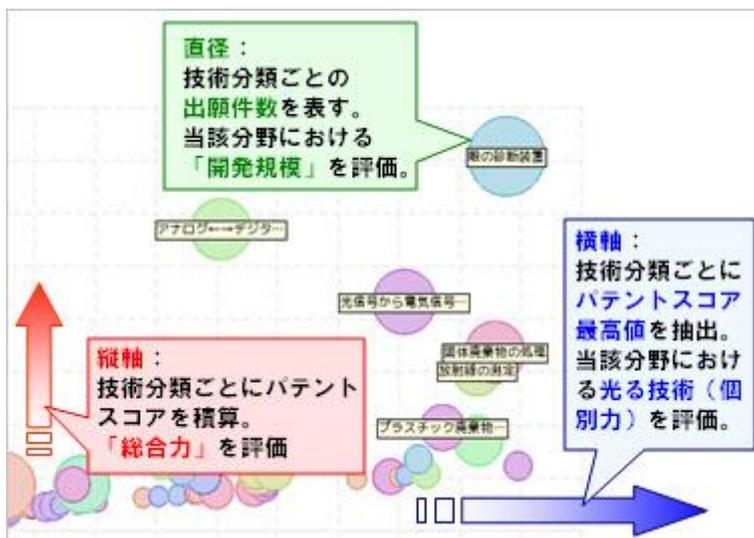


出典：パテント・リザルト

【Biz Cruncher⁴⁰：技術分類スコアマップ】

企業の出願・保有する特許について技術分野とその注目度をスコアで可視化する。図 2.3.7 に、技術分類スコアマップの表示例を示す。

図 2.3.7 技術分類スコアマップの表示例

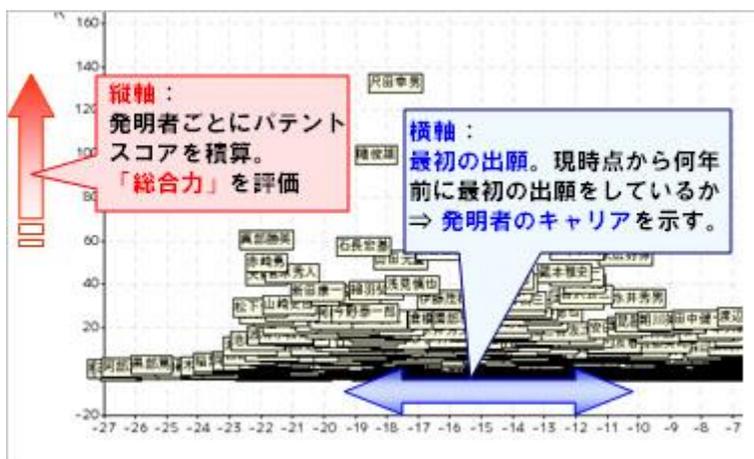


出典：パテント・リザルト

【Biz Cruncher⁴⁰：発明者分析】

特定の企業や技術分野において「注目度の高い発明者」が把握できる。競合企業の動向や、注目の技術分野におけるキーマンのトレンドをとらえるのに有効である。図 2.3.8 に、発明者分析の表示例を示す。

図 2.3.8 発明者分析の表示例



出典：パテント・リザルト

【Biz Cruncher⁴⁰：類似特許マップ】

分析対象の個別公報と課題や解決手段が似ている公報をマップ表示する。より類似度の高い事例から、対策・戦略を検討することが可能である。図 2.3.9 に、類似特許マップの表示例を示す。

図 2.3.9 類似特許マップの表示例



出典：パテント・リザルト

【CyberPatent Desk⁴¹：テキストマイニング】

CyberPatent Desk のテキストマイニングは、数万件の特許、論文データをもとに、技術動向や知財ポートフォリオを可視化するもので、分析結果の査読、共有及びデータ出力までサポートする知的財産分析サービスである。

テキストマイニングには主に以下の特徴がある。

- ・ 「CyberPatent Desk」との関係によりシームレスに知財情報の利用が可能
- ・ 最先端の自然言語処理（NLP）解析技術で「特許分析に適したテキストマイニング」処理を実行
- ・ 「クリック操作のみの簡易分析」から「分析者の知見を反映した精緻な分析」までをサポート
- ・ AI を活用した自動分類により業務の効率化や新たな気づきを示唆
- ・ 独自の知財価値評価指標（Technology Size＝権利の広さ）を用いた分析が可能
- ・ 母集団を簡単に更新することができ、継続的な分析が可能
- ・ コワークによる分析、ポータル機能を使った分析結果の共有が可能

⁴¹ サイバーパテントホームページ：<https://www.patent.ne.jp/service/patent/macro.html>

- ・ 特許分析結果を様々な手法でビジュアル化することが可能
テキストマイニングのサービスイメージを、図 2.3.10 に示す。

図 2.3.10 テキストマイニングサービス



出典：サイバーパテント

【Derwent Innovation⁴²：Derwent Data Analyzer 連携】

Derwent Innovation 単体の分析機能として、ThemaScape やテキストマイニング機能が提供されているが、より詳細に分析するためのツールとして、Derwent Data Analyzer が提供されている。Derwent Data Analyzer はインストール型データマイニングプラットフォームで、高度なデータサイエンスアルゴリズムが使用されている。特許データ、学術文献、顧客の保有するビジネス情報を、実用的で事業に役立つインサイトに変換する。

また、直感的なワークフロープロセスと強力な可視化機能によって、ユーザーは迅速にデータ分析結果を理解し、レポート化することができる。

Derwent Data Analyzer には主に以下の特徴がある。

- ・ 増大する手作業の分析プロセスを、反復可能な方法で改良し続けることにより、効率性の向上と時間の節約を実現
- ・ 大量の特許検索データを迅速かつ的確にビジネス インサイトに変換
- ・ ユーザーのデータを簡単にインポートし、機械と人間の知能の最も優れた部分をシームレスに組み合わせた動的な分析が実行可能

⁴² Derwent Data Analyzer は、高度なデータサイエンスアルゴリズムを使用するインストール型データマイニングプラットフォームのこと(<https://clarivate.com/derwent/ja/solutions/derwent-data-analyzer/>)

【incoPat^{43,44}：統計分析】

3D 特許サンドテーブル分析は、技術的なトピックでグループ化して、その比較をすることができる。サンドテーブルにさまざまな色のドットでステータスが提示され、カラーバースマークは、グループ内の複数の出願人の案件数の比較結果を示す。3D 特許サンドテーブル分析により、特許の分布がより直感的に俯瞰でき、複数の次元(出願人、地域等)で、マクロレベルからの競争状況の全体的な管理、競合他社又は業界の研究開発の方向性、重要な特許の明確なマーキング、技術の進化の時間軸での動的理解が可能である。

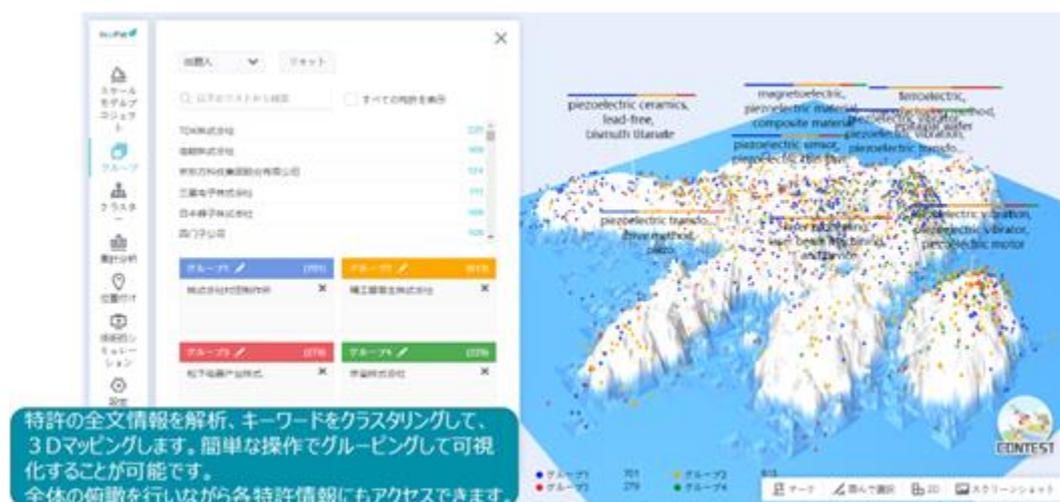
3D 特許サンドテーブル分析を使用してシミュレーションを行うことで、ユーザーは特許レイアウトのホットスポットに焦点を当て、競争の研究開発の方向性と特許ポートフォリオを捉えて、特許の品質と市場競争力を向上させることができる。

また、3D 特許サンドテーブル分析では、特許全文情報を解析し、キーワードをクラスタリングして、3D マッピングを行う。簡単な操作でグルーピングして可視化することが可能で、全体の俯瞰を行いながら各特許情報にもアクセスできる。

さらに、3D 地形パターンを使用して、技術の競争状況について、山はテクノロジーが密集した領域を示し、谷はテクノロジーの空白部分を示す。異なる企業を異なる色でマークすることで、競争状況を明確に示すことができる。本分析では、特許番号、特許価値、技術の影響、特許請求の範囲、経験値などの比較が提供され、ユーザーは特許の強さを迅速かつ視覚的に把握できる。

図 2.3.11 に、3D 特許サンドテーブル分析の表示例を示す。

図 2.3.11 3D 特許サンドテーブル分析の表示例

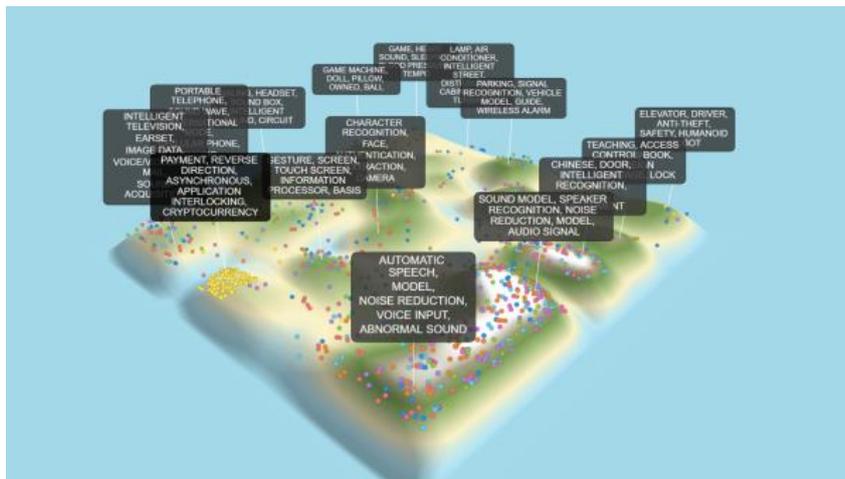


出典：Clarivate

⁴³ WIPO ホームページ：<https://inspire.wipo.int/incopat-global-patent-database>

⁴⁴ Clarivate ホームページ：https://clarivate.com/derwent/wp-content/uploads/sites/3/2020/12/210729_incoPat_presentation.pdf

図 2.3.14 3D ランドスケープ機能の表示例



出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

【Sharersearch⁴⁹：特許情報分析サービス（IP ランドスケープ、マップ、ランキング等）】

日立製作所では、2023 年 10 月より、IP ランドスケープの支援を目的とした「特許情報分析サービス」の提供を開始している。

特許情報分析サービスでは、分析の目的に沿った効果的なグラフを自動生成する機能や、だれでも迷うことなく分析ができるようガイドを表示し、より多くの方がご自身で特許情報を効率的に分析し、IP ランドスケープを推進できるよう IT の力で支援する。また、Sharersearch で検索して得られた特許情報をシームレスに取り込むことが可能であり、分析実行までにかかる時間を大幅に短縮することが可能となる。

各特許出願技術の動向を、複雑な操作なく簡単にマップ形式に可視化するクラスタマップ機能についても、この「特許情報分析サービス」にて提供している。

【Tokkyo. Ai⁵⁰：検索結果の分析】

特定期間内に出願や登録がどれほど行われているかを即座に表示する。ワンクリックで、過去の特許出願数や登録数の傾向を確認できる。これにより、特許活動の時間的な流れを把握し、新たな技術トレンドを読み取ることに役立つ。

図 2.3.15 に、検索結果の分析機能の画面例を示す。

⁴⁹ 日立製作所から提供された情報を基に記載

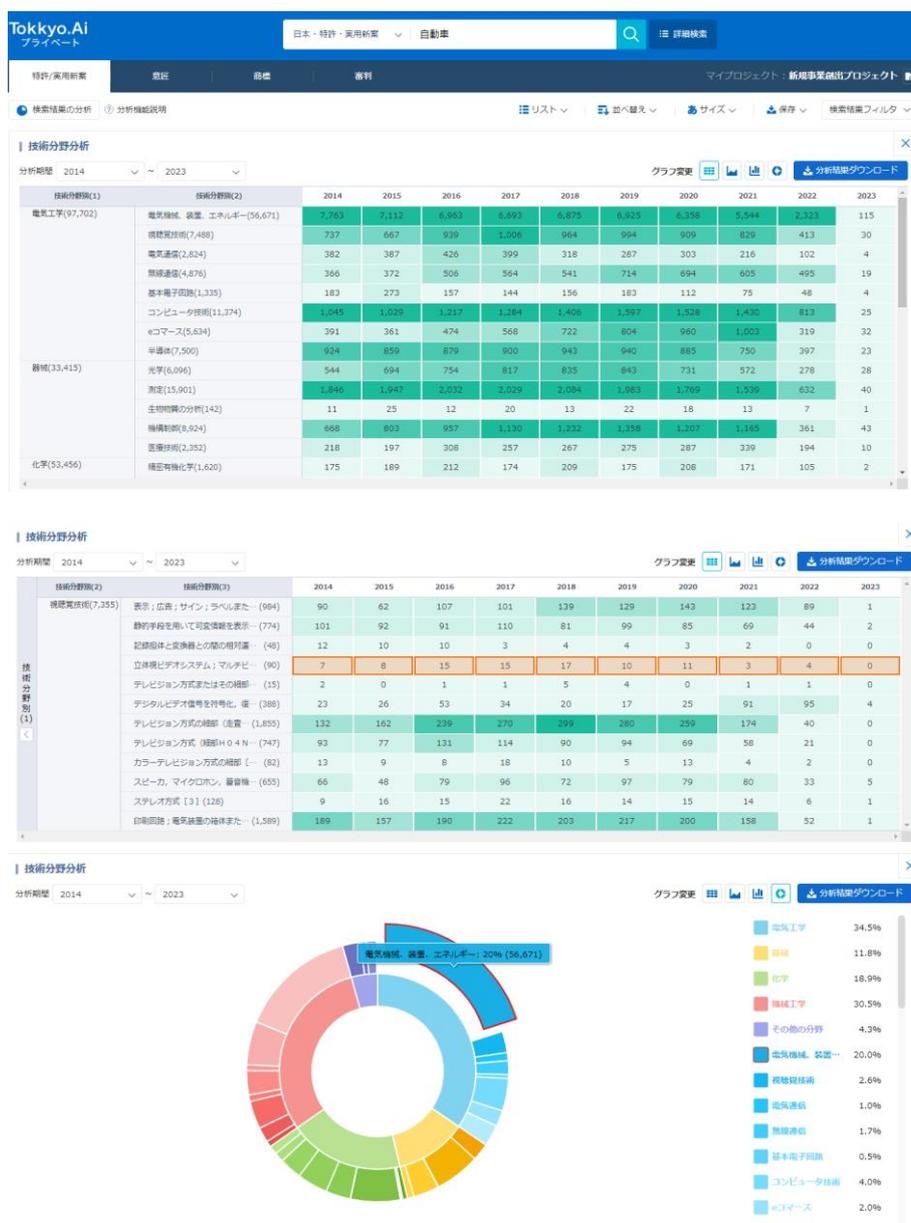
⁵⁰ Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/tokkyo-wiki/patent-analysis-function/>

【Tokkyo. Ai⁵⁰：技術分野分析】

技術分野分析機能では、特許がどのような産業で活用されているかを視覚化する。様々なマップ表示を切り替えることで、特定の技術分野の動向を詳しく調査し、特許の具体的な内容を深く理解することができる。また、各産業での特許出願動向を俯瞰的に知ることが可能になる。

図 2.3.17 に、技術分野分析機能の画面例を示す。画面の右上の「グラフ変更」ボタンでいくつかのパターンを切り替えることができる。

図 2.3.17 技術分野分析機能の画面例



出典：Tokkyo. Ai

【ULTRA Patent⁵¹：テキストマイニング（ワードクラウド・キーワードマップ）】

テキストマイニングのワードクラウドでは、リストで選択した特許又は検索結果リスト内の頻出単語をマップで表示する。発明の名称・要約を分析し、出現頻度が高いほど単語が大きく表示される。キーワードマップでは、特許情報の技術用語を分析し、関係性を把握して大量の特許情報を分かりやすくマップ形式で表示する。技術分野の IP 環境や特定技術分野の中で優位がある企業、競争関係がある企業などを素早く把握できる。ワードクラウドの表示例を図 2.3.18 に示す。

図 2.3.18 ワードクラウドの表示例



出典：ウィズドメイン

【ULTRA Patent⁵¹：分析レポート】

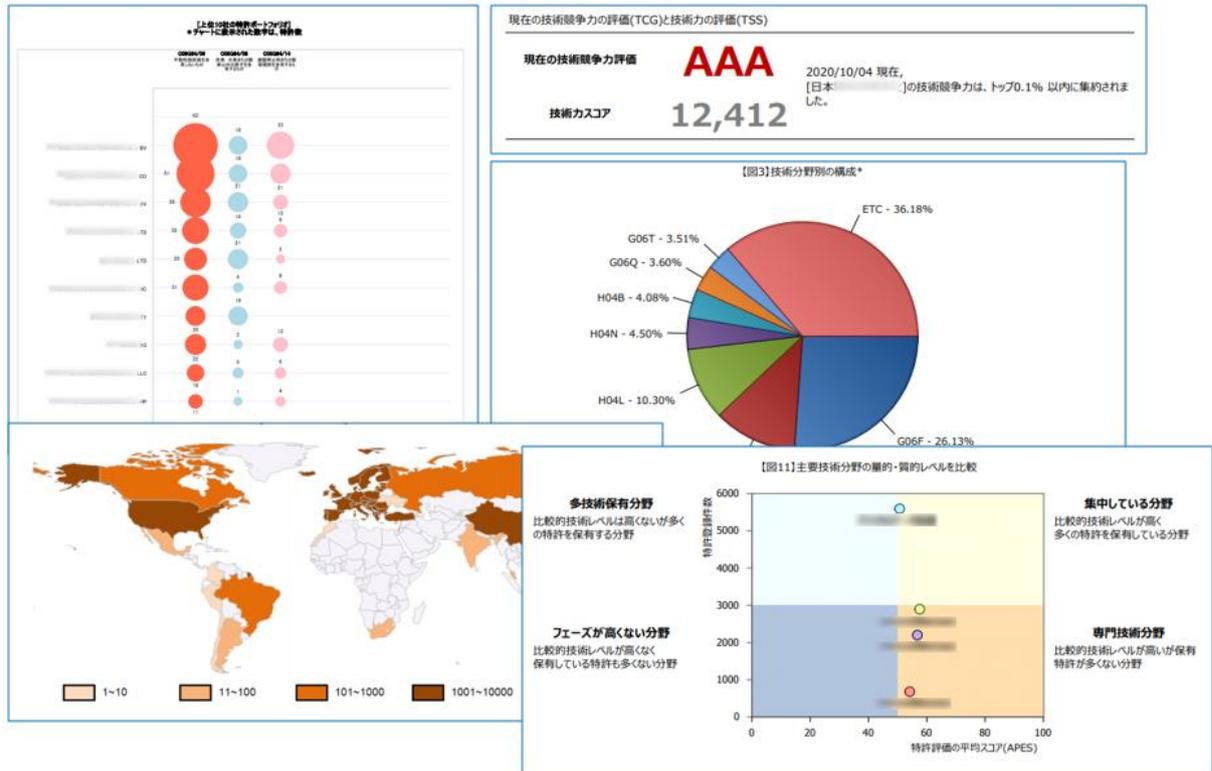
ULTRA Patent は、以下の定量分析レポートの作成ができる。

- ・ 主要特許分析レポート：
選択特許情報の技術分野において主要出願人別・年度別出願動向、研究活動期間、主要特許、類似特許及び最新特許等を収録した PDF 形式レポート
- ・ 企業技術力分析レポート：
企業の保有特許を基にその企業の技術力を分析したレポート

⁵¹ ウィズドメインホームページ: <https://www.ultra-patent.jp/About/Features>

- ・ 特許価格推算分析レポート：
特許評価に基づいて特許の金銭的な価値を定量的かつ客観的に分析したレポート
図 2.3.19 に、分析レポートの例を示す。

図 2.3.19 分析レポートの例



出典：ウィズドメイン

【WIPS-Global⁵² : SmartAngle】

SmartAngle は、Web 上で特許を様々な角度から可視化できる統計分析機能である。例えば、知財競争力として、技術力と市場性や技術力と市場シェアの関係、特許活動指数 (Patent activity index) を可視化したり、キープレイヤー情報として出願人から見た各種分析 (出願人ランキング、共同出願人情報、出願人の国籍分布、出願人別技術分布など) を可視化したりできる。図 2.3.20 に、知財競争力の可視化イメージを、図 2.3.21 に、キープレイヤーの可視化イメージを示す。

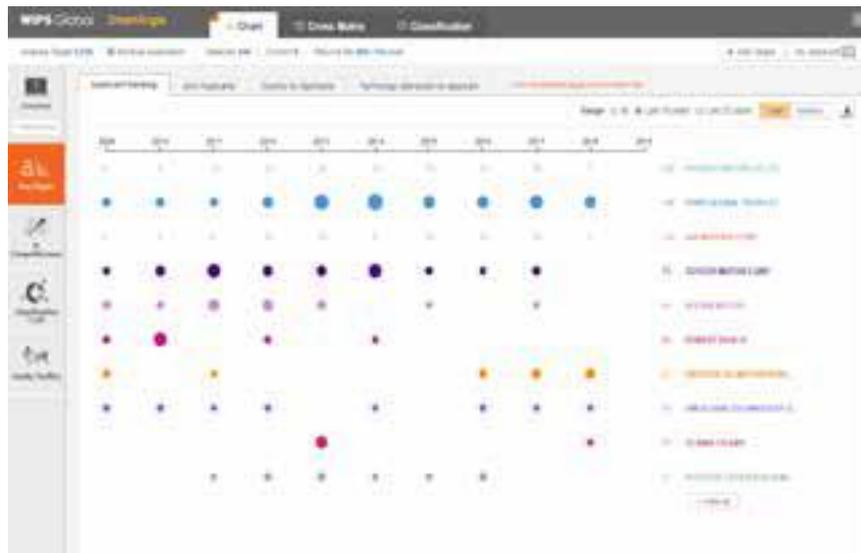
⁵² WIPS ホームページ: <https://www.wipsglobal.com/service/mai/main.wips> の e-Brochure

図 2.3.20 知財競争力の可視化イメージ



出典：WIPS

図 2.3.21 キープレイヤーの可視化イメージ



出典：WIPS

【XLSCOUT⁵³：TECH SCAPER】

TECH SCAPER は、技術を軸とした IP ランドスケープである。TECH SCAPER には、SDG Analytics Dashboard(SDGs 分析ダッシュボード)及び GXTI Analytics Dashboard(GXTI 分

⁵³ レイテックホームページ:

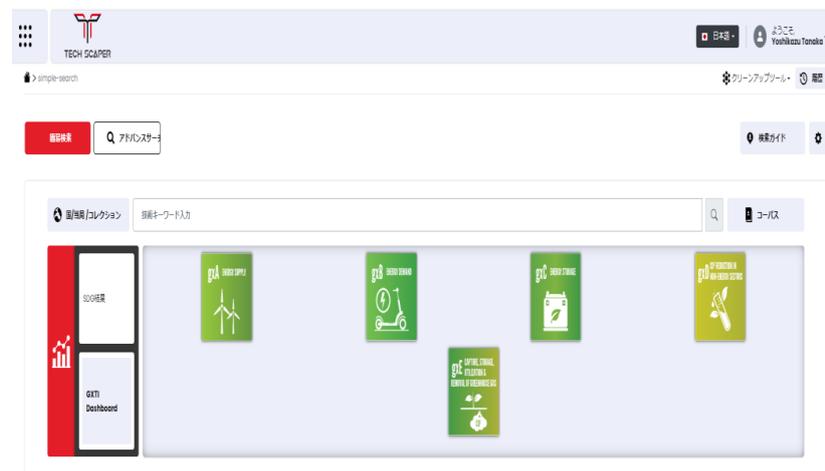
<https://www.raytec.co.jp/application/files/6316/8428/9594/XLSCOUT.pdf>

析ダッシュボード)機能があり、それぞれにあらかじめ各階層の検索式と技術分類が組み込まれている。図 2.3.22 に、分析ダッシュボードの表示イメージの例を示す。

図 2.3.22 分析ダッシュボードの表示イメージ



(SDGs 分析ダッシュボード)



(GXTI 分析ダッシュボード)

出典：レイテック

【XLSCOUT⁵³ : COMPANY EXPLORER】

COMPANY EXPLORER は、企業を軸とした IP ランドスケープである。COMPANY EXPLORER では、比較する企業(企業グループ/名寄せ可能)を 5 社まで選択でき、選択した企業の母集団が作成される。また、技術分野を最大 10 件まで追加して分析することができる。

5) まとめ

本調査では、商用データベースにおける特許情報分析機能について、IP ランドスケープも含めた調査を行った。

分析機能としては、特許番号、特許価値、技術の影響、特許請求の範囲、経験値などの比較を提供して、ユーザーが特許の強さを迅速かつ視覚的に把握できるものや、テキスト

マイニング機能を利用して特許の関連分析を行うとともに、ランキング機能で重要キーワードの抽出を行って、より簡単に注目すべき技術用語を確認するものまで様々な機能が提供されている。また、マップ作成機能として、130種類を超えるマップ（グラフ）を標準で搭載し、さらに、自由に軸内容を選択・編集が可能で、出願傾向、発明者グループ、権利化率、課題・解決手段など、様々な角度から目的に合わせた分析を可能とするシステムも出てきている。

各社の特許情報分析機能は、それぞれ独自の考え方で開発されており、最近ではAI機能も有効に活用した分析を行うものも出てきているようである。

2.4 独自の Patent ファミリー表示

1) 機能の概要

優先権によって直接、間接的に結び付けられた 2 カ国以上への特許出願の束である Patent ファミリーを、AI 独自の基準で束ねて表示する機能である。全世界を対象とする調査など膨大な特許文献の確認や検討の必要性に対応して、各商用データベースにおいては、Patent ファミリー内の特許文献やそれぞれの親子関係、直接、間接等の関係性を一目で把握できるようにする一覧性を追求した表示機能や、Patent ファミリー単位から個々の出願や請求項等の詳細情報に簡単にアクセスできるようにするための切り替え表示機能などが提供されている。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.4.1 独自の Patent ファミリー表示機能が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|--------------------------------|----------------------|------------------|
| 3 | Biz Cruncher | Patent・リザルト | — |
| 5 | CAS Scientific Patent Explorer | CAS (化学情報協会) | 詳細な表示機能 |
| 6 | CAS STNext | CAS (化学情報協会) | 特許ファミリーマネージャー |
| 9 | CyberPatent Desk | サイバーパテント | PF 単位ソート |
| 10 | Derwent Innovation | Clarivate | DWPI ファミリー |
| 13 | Dialog | Dialog (ジー・サーチ) | — |
| 15 | incoPat | incoPat | — |
| 17 | JP-NET/NewCSS | 日本パテントデータサービス | 引用グループ情報・ファミリー情報 |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | — |
| 23 | PatBase | RWS グループ | — |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | Family ソート機能 |
| 26 | PatSnap Analytics | Patsnap | — |
| 29 | Shareresearch | 日立製作所 | — |
| 33 | ULTRA Patent | ウィズドメイン | — |
| 35 | WIPS-Global | WIPS | ファミリータイムライン |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | — |

凡例: 事業者名の()は、日本の代理店名。提供機能名が「-」は、機能は提供しているが機能名が不明

3) 利用用途 (ユーザーメリット)

Patent ファミリー表示機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ Patent ファミリーに独自の索引や分類コードを付与することにより同一ファミリーに属する特許情報の検索、表示、閲覧が容易になる。

- ・ 様々な技術領域の専門家により整理、作成されたパテントファミリーの抄録を表示させることで、個別の書誌データのエラーに惑わされることなく発明の新規性を簡単かつ正確に確認することができる。
- ・ 統計、分析を行う際に同じパテントファミリーを一回としてカウント表示する機能が提供されているデータベースでは、より正確な結果が得られる。
- ・ 一つの出願から派生する複数の案件を一括で表示し、複雑な出願関係を簡単に紐付けることができるため、PCT、EPC、マドプロ、パリ優先権、国内優先権、分割出願、継続出願などを自動ファミリー化して簡単に確認、管理することが可能となる。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。また、具体的な情報が得られなかった商用データベースについては、記載を省略している。

【Biz Cruncher⁵⁴】

各国における企業ランキングや国ごとの出願件数推移、パテントファミリーのツリー表示など、様々な分析が簡単に実行できる。

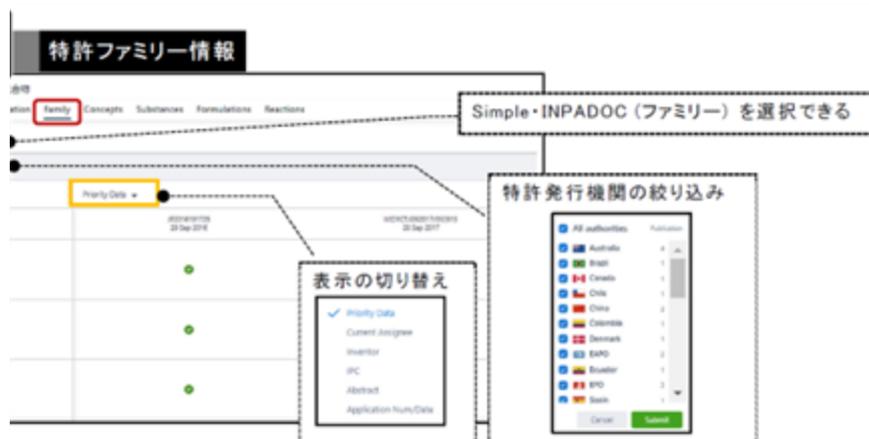
【CAS Scientific Patent Explorer⁵⁵：詳細な表示機能】

書誌情報、特許明細書全文、二分割画面 (Dual View)、引用・被引用情報、特許ファミリー情報、CAS 独自データなど、特許に関する詳細な情報を表示し確認できる。図 2.4.1 に、特許ファミリー情報表示例を示す。

⁵⁴ パテント・リザルトホームページ: <https://www.patentresult.co.jp/news/2013/08/biz-cruncher-global.html>

⁵⁵ 化学情報協会ホームページ: <https://www.jaici.or.jp/stn-ip-protection-suite/cas-scientific-patent-explorer/>

図 2.4.1 特許ファミリー情報表示例



出典：化学情報協会

【CAS STNext⁵⁶：特許ファミリーマネージャー】

関連特許ファミリーごとの並び替えや CAplus/CA ファイルのダブルベーシック特許(特許ファミリーに PCT 出願を含む場合は、PCT 出願の基礎となった最も古い優先権情報を持つ国内出願公報の両方をベーシック特許として収録)の重複除去を自動的に実行できる。

図 2.4.2 に、回答セットの特許ファミリーを FSORT (関連特許ごとにソート) して表示する方法の例を示す。(上限 5,000 件)。

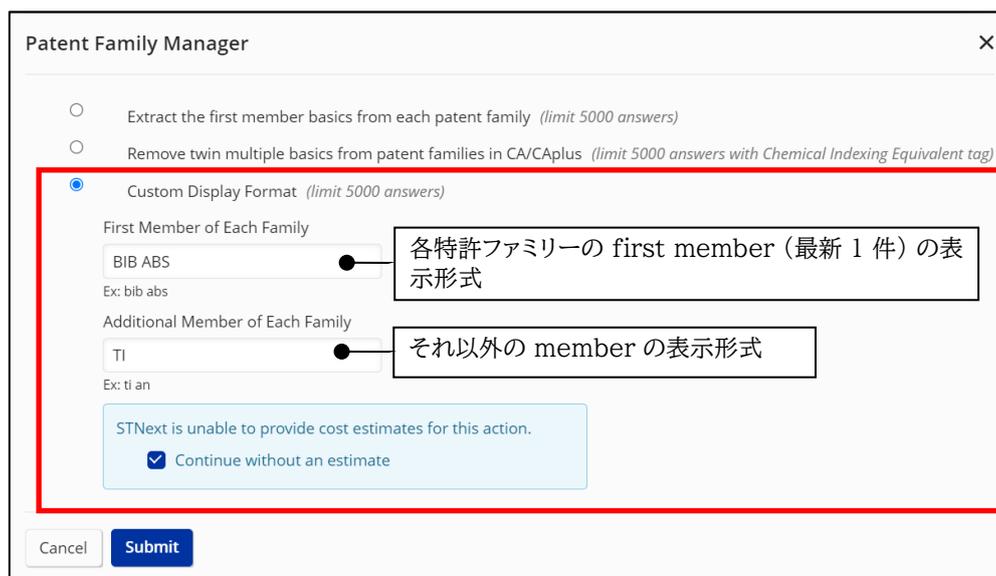
⁵⁶ 化学情報協会 CAS STNext 利用ガイド: <https://seminar.jaici.or.jp/doc/stnextguide.pdf>

図 2.4.2 回答セットの特許ファミリーを FSORT して表示する例

- ① History タブの対象 L 番号の Patent Family Manager をクリックする。



- ② 回答セットの特許ファミリーを FSORT して回答を表示する。(上限 5,000 件)



出典：化学情報協会

【CyberPatent Desk：PF 単位ソート】

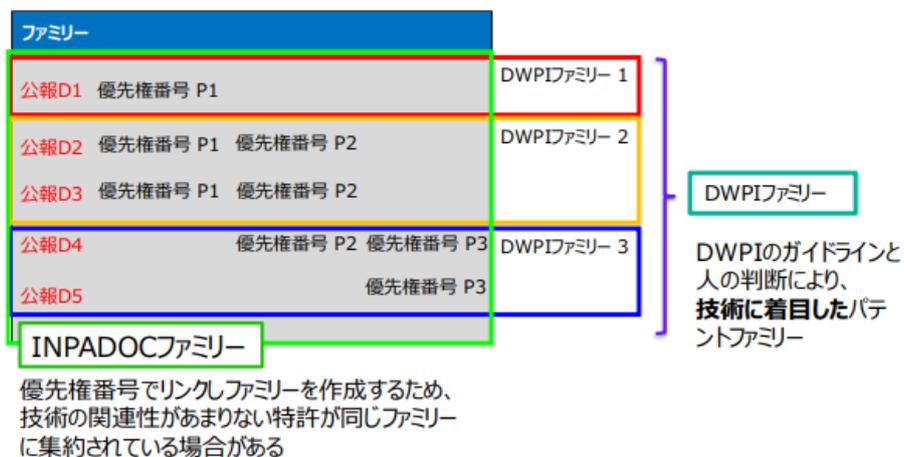
PF 単位ソート機能は、Orbit Intelligence⁵⁷と連携し、Orbit Intelligence のファミリー情報をを使って並べ替えを行う機能である。CyberPatent Desk 上で、Orbit Intelligence が付与したファミリーID を使って並べ替えを行い、ダウンロードすることが可能である。

⁵⁷ Orbit Intelligence は特許調査と分析に特化した知的財産情報ソフトウェアのこと
(<https://www.questel.com/ja/patent/ip-intelligence-software/orbit-intelligence/>)

【Derwent Innovation⁵⁸：DWPI⁵⁹ ファミリー】

Derwent Innovation では、各国に出願された同じ発明に関する公報を一つのファミリーとして集約し、発明単位で一つのレコードを構成する DWPI ファミリーを作成している。発明単位で特許をまとめた DWPI ファミリーにより、技術内容や技術ごとの出願戦略の把握をサポートする。図 2.4.3 に、DWPI ファミリーの構造を示す。

図 2.4.3 DWPI ファミリーの構造



出典：Clarivate

【Dialog⁶⁰】

特許全文データベースでは、LNU (LexisNexis Univentio：オランダ) のパテントファミリーを表示でき、DWPI⁵⁹、INPADOC⁶¹、LNU の 3 種類のパテントファミリーの利用が可能である。回答画面上では、タブにより、表示内容をパテントファミリーに切り替えることができる。図 2.4.4 に、Dialog 回答画面表示例を示す。

⁵⁸ Clarivate ホームページ：https://clarivate.com/derwent/wp-content/uploads/sites/3/2020/12/DI_QRC_Full_Ana_V9.pdf

⁵⁹ DWPI は、Derwent World Patents Index の略で、Clarivate が提供する専門家による抄録、注釈が追加された、包括的な特許情報のコレクションのこと

⁶⁰ ジー・サーチホームページ：

http://db.g-search.jp/ad/proquestdialog/download/pdf/transition_seminar.pdf

⁶¹ INPADOC は、欧州特許庁が作成している世界各国・地域の特許の書誌事項のデータベース。

図 2.4.4 Dialog 回答画面表示例

回答表示画面 - 特許データベースの例

ProQuest Dialog China Patents Fulltext

全文 <結果に要する時間> (前へ 4年7ヶ月13日 次へ)

Large two-stroke diesel engine of the fuel circulation equipment of the common-rail fuel injection system

SMUSSEN NIELS HVIDTFELDT RA (Inventor), MAN DIESEL AS (Assignee), CN 100578000 C.

タブによる表示内容の切り替え

ファミリーのリーガルステータス

クレーム

Complete family

パテントファミリー

51 Copyright 2013 G-Search Limited

出典：ジー・サーチ

【incoPat⁶²】

incoPat の検索システムは、原文文献データベース、ファミリーデータベースを切り替えることができる。

ファミリーデータベースで検索すると、パテントファミリーの各メンバーのタイトル、要約、特許権者などの情報が統合、補完され、検索結果がより包括的になる。ファミリーデータベースで閲覧する場合、同じ発明は一つのファイルに統合されて読みやすくなる。ファミリーデータベースで統計、分析する場合、同じファミリーは1回しかカウントされないため、より正確な結果が得られる。

【JP-NET/NewCSS⁶³：引用グループ情報・ファミリー情報】

結果一覧でステータスやファミリーの有無、引用・被引用の件数等、情報量豊富に表示される。

また、結果一覧マップ「ダッシュボード」を表示すれば、検索結果の内訳をすぐに把握

⁶² BEIJING INCOPAT ホームページ: <https://www.incopat.com/login?locale=ja>

⁶³ 日本パテントデータサービスホームページ: https://www.jpds.co.jp/jp-net/various_functions.html#panel02dd

することが可能である。ファミリー情報については、JPDS オリジナルのファミリー情報、公報記載の誤り等も含めて常時メンテナンスされた情報が表示される。図 2.4.5 に、2種類の結果一覧表示、図 2.4.6 に、ファミリー情報表示を示す。

図 2.4.5 2種類の結果一覧表示



結果一覧リスト表示

抄録一覧表示

出典：日本パテントデータサービス

図 2.4.6 ファミリー情報表示



引用グループ情報

ファミリー情報

出典：日本パテントデータサービス

【Orbit Intelligence⁶⁴】

Orbit Intelligence は、FAMPAT ファミリーという独自のパテントファミリーを提供している。FAMPAT ファミリーは1つの発明の特許に関するすべての公報をグループ化したものである。ファミリーが発明単位でまとめられているため、検索はより正確で包括的な結果

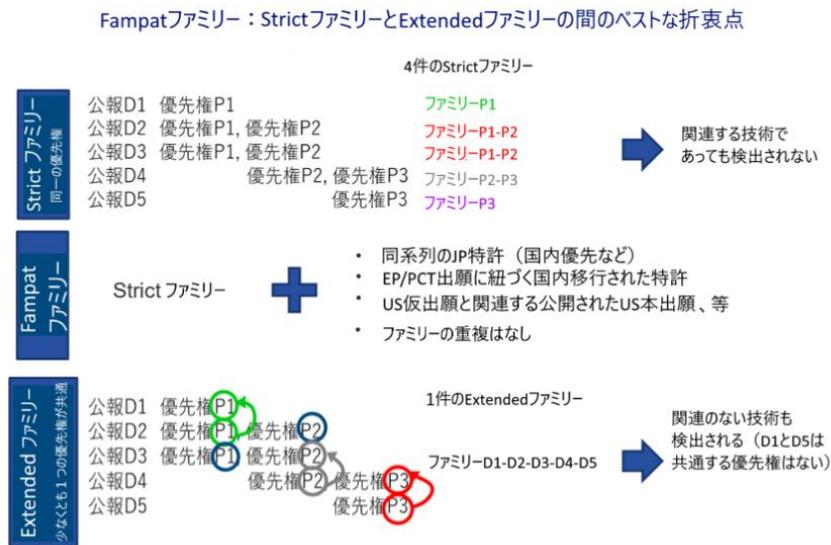
⁶⁴ Orbit Intelligence ヘルプページ: <https://intelligence.help.questel.com/ja-JP/support/solutions/articles/77000436698-fampat> ファミリーの構成ルール

となる。

INPADOC⁶¹ 拡張ファミリーの場合は、優先権情報が一つでも共通のものがあると一つのファミリーとするが、FAMPAT ファミリーは、優先権情報だけでグルーピングせず、他の情報も参考に独自のアルゴリズムでファミリー情報を形成している。このため、INPADOC 拡張ファミリーでは広すぎると感じるユーザーには有効である。

図 2.4.7 に FAMPAT ファミリーの構成イメージを示す。

図 2.4.7 FAMPAT ファミリーの構成イメージ



出典：Questel

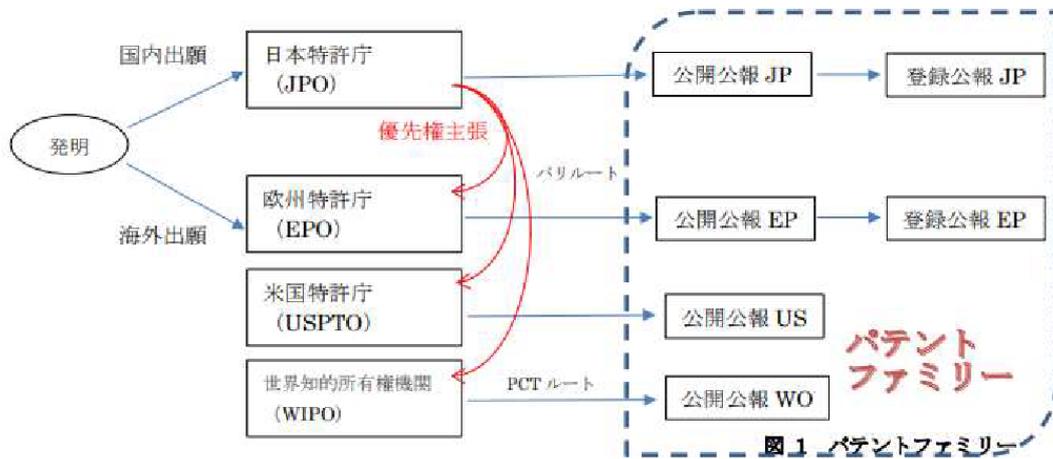
【PatBase⁶⁵】

PatBase は発明を単位としたパテントファミリーで構成しており、「クラシック」「フル」「書誌」など複数の表示形式のファミリーバーにおいて閲覧できる。図 2.4.8 に、PatBase の構成を示す。

⁶⁵ RWS から提供された情報を基に記載

図 2.4.8 PastBase の構成

PatBaseは発明を単位とした**パテント・ファミリー**で構成しています



出典：RWS グループ

【PatentSQUARE⁶⁶：Family ソート機能】

Family ソート機能は、世界特許だけのオプション機能である。ファミリー (FamilyID・S_FamilyID) によるソートが可能で、同一ファミリーの文献内における表示順を設定できる。Family は、優先権情報・国際出願情報・関連文献情報に紐づいたすべての特許文献のグループ (INPADOC⁶¹ Family に類似したデータ)、S_Family は、優先権番号が完全に同一である特許文献のグループ (Simple Patent Family)、F_Family (第 1 世代 Family) は、1 世代先の優先権番号までが一致する特許文献のグループである。

【PatSnap Analytics⁶⁷】

PatSnap Analytics は、公報、リーガルステータス等の情報を 3 種類のファミリーの括り方で表示することができる。そのうちの 하나가独自のパテントファミリー (PatSnap ファミリー) で、INPADOC⁶¹ ファミリーに最新の公報データを含めた形で構成されている。

【Shareresearch⁶⁸】

Shareresearch のパテントファミリーは優先権ベースのファミリーと権利範囲が内包されると考えられるファミリーの 2 種類があり、使用場面に応じて切替えて活用いただける支援機能となっている。また、DOCDB 未登録の公報も保持しているため、ファミリーの範囲が広く、公報で確認ができる量も多くなっているのが特徴である。

⁶⁶ パナソニックグループニュース: <https://news.panasonic.com/jp/topics/37857>

⁶⁷ ATIS ホームページ: [https://www.atis.gr.jp/topics/2023/第 459 回例会報告/](https://www.atis.gr.jp/topics/2023/第459回例会報告/)

⁶⁸ 日立製作所から提供された情報を基に記載

【WIPS-Global⁶⁹：ファミリータイムライン】

WIPS-Global では、ファミリー特許に対する情報をより素早く把握できるように「ファミリータイムライン」を提供している。ファミリータイムラインは、「ファミリー時系列ビュー」「統計&リスト」「ファミリー国」「リーガルステータス」の4つのタブで構成されている。

ファミリー時系列ビューでは、ファミリー特許の優先権主張期間や出願日、公開日、登録日などを棒型グラフにより一目で把握でき、統計&リストでは、ファミリー特許の年度別、国別数値とリストを確認できる。そして、ファミリー国では、ファミリー分布現況を地図上で確認でき、リーガルステータスを通じてファミリー特許の現在の法的状況や消滅可否などを確認できる。

【XLSCOUT⁷⁰】

最大 15,000 件の特許ファミリーに対する特許分析を表示させることが可能となっている。XLSCOUT のファミリーは、欧州特許庁の INPADOC⁶¹ 拡張ファミリーとほぼ同じであるが、ユーザーから指摘があればファミリーメンバーが正しいか調査して更新したものが、XLSCOUT のファミリーの特徴である。図 2.4.9 に、XLSCOUT 特許ファミリー分析画面表示例を示す。

図 2.4.9 XLSCOUT 特許ファミリー分析画面表示例

| Publication Num | Title | Publication Date | Application Date | Standardized Current Assignee |
|---------------------|--|------------------|------------------|-------------------------------|
| 1 US-20200028977-A1 | ELECTRONIC APPARATUS AND CONTROL METHOD THEREOF | 23 Jan 2020 | 19 Jul 2019 | SAMSUNG ELECTRONICS |
| 2 US-20210304020-A1 | UNIVERSAL CLIENT API FOR AI SERVICES | 30 Sep 2021 | 30 Mar 2021 | MEETKAI |
| 3 US-20210303886-A1 | SYSTEM FOR DETECTING TROJANS IN AN ARTIFICIAL NETWORK AND METHOD THEREOF | 30 Sep 2021 | 30 Mar 2020 | BAE SYS INF & ELECT SYS INTEG |

出典：XLSCOUT

5) まとめ

調査対象の商用データベースの中には、Derwent Innovation や JP-NET/NewCSS のようにパテントファミリー情報を独自に作成し、提供しているものと、それらと連携してパテントファミリー及びファミリーに属する詳細特許情報の相互閲覧や一覧性を向上させる表示

⁶⁹ WIPS ホームページ: https://global.wipscorp.com/download/e-brochure_jp.pdf

⁷⁰ XLSCOUT ホームページ: <https://pages.services/info.xlscout.ai/1-11-ja-copy-xlscout-version-release-update/?ts=1665120370443>

機能を提供しているものがある。

表示機能としては、パテントファミリーのツリー表示や一画面、二分割画面、一ファイルなどでの一括表示、パテントファミリーごとの並び替え、切り替え表示、代表メンバーの表示、回答セットや集計表のソート表示など、各商用データベース独自の多様なスタイルや方法が存在する。

2.5 引用ネットワークの可視化

1) 機能の概要

特許・実用新案における引用ネットワークの可視化機能は、関連特許・実用新案の引用・被引用関係の繋がりをネットワーク形式で見える化する機能であり、技術の発展状況を知るうえで非常に有用なものである。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.5.1 引用ネットワークの可視化機能が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|--------------------------------|----------------------|--|
| 1 | AcclaimIP | Anaqua | Advanced Citation、 Uncited Prior Art |
| 5 | CAS Scientific Patent Explorer | CAS (化学情報協会) | Citation Map |
| 7 | CKS Web | 中央光学出版 | 引用ツリー |
| 9 | CyberPatent Desk | サイバーパテント | 引用マップ |
| 15 | incoPat | incoPat | 引用分析 |
| 17 | JP-NET/NewCSS | 日本パテントデータサービス | JP-MAP オプションのサイテーションマップ、ファミリー・サイテーションマップ |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | 引用分析 |
| 23 | PatBase | RWS グループ | PatBase Analytics (引用ネットワーク分析) |
| 24 | Patentfield | Patentfield | 引用分析、引用マップ分析 |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | サイテーションマップ |
| 26 | PatSnap Analytics | Patsnap | 引用分析図 |
| 29 | Shareresearch | 日立製作所 | 被引用分析 |
| 31 | Tokkyo. Ai | Tokkyo. Ai | 引用関係の分析、引用・被引用特許マップ |
| 33 | ULTRA Patent | ウィズドメイン | サイテーション検索・分析 |
| 35 | WIPS-Global | WIPS | Citation Analysis |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | - |

凡例:事業者名の()は、日本の代理店名。提供機能名が「-」は、機能は提供しているが機能名が不明

3) 利用用途 (ユーザーメリット)

引用ネットワーク機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 特許引用分析は、ユーザーが特定の技術の開発プロセスを追跡し、企業の中核技術の保護戦略と特許レイアウトを発見するのに役立つ。

- ・ 特許文献における複雑な引用関係を相関図で表すことで、その特許が注目されているのか、価値があるものなのか、という状況を素早く把握できる。また、侵害リスクの分析も判別しやすくなる。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。

【AcclaimIP⁷¹ : Advanced Citation, Uncited Prior Art】

AcclaimIP 分析の新しい高度な引用機能は、これまで見落とされていた先行技術に関する洞察を提供することで知財の状況に革命をもたらし、知財チームに特許請求の有効性と範囲に関する貴重な情報を提供する。

従来の特許の引用では、参照番号や、特許が審査官によって引用されたかどうかの表示(米国の場合のみ)などの基本的な情報のみが提供されていた。そのため、どの引用が先行技術を表し、どの引用が単なる一般的な参考文献であるかを判断するには時間がかかり、データの価値が制限されていた。また、引用記録の分析は、全体像や理解を制限したり影響を与えたりする前方引用に主に焦点を当てていたが、前方及び後方(逆方向)の引用記録を分析することが重要である。

Advanced Citation と Uncited Prior Art 機能により、次のことが可能になる。

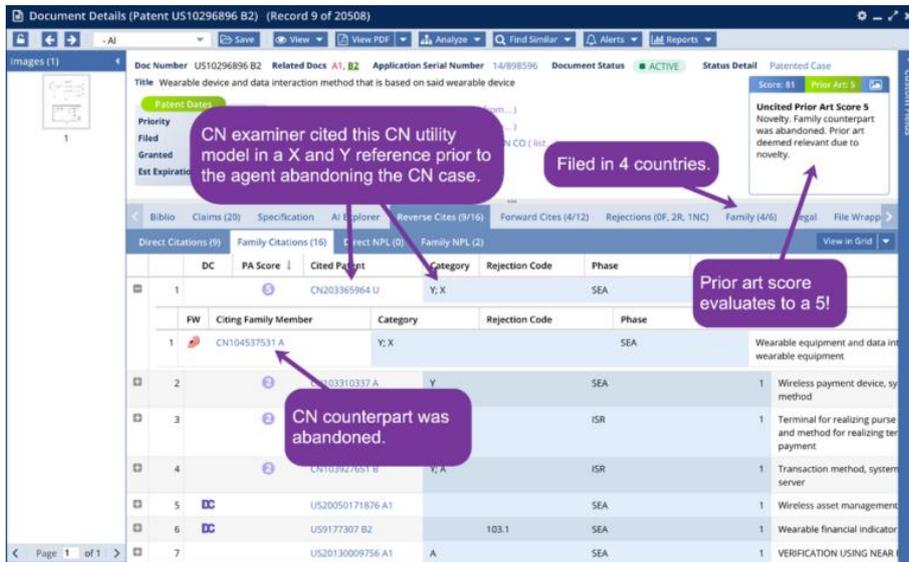
- ・ 競合特許を無効にするか絞り込むことで新製品を市場に投入し、競合他社に先んじる。
- ・ 独自の特許ポートフォリオ(年金、ライセンス、買収など)を評価する。
- ・ 攻撃側でも防御側でも、訴訟を起こして請求を主張する。
- ・ IDS が完全であることを確認し、特許ポートフォリオ全体の強化に役立つ。

注意すべき点は、全ての引用されていない先行技術が、必ずしも特許請求の範囲を狭めたり無効にしたりするわけではないということである。しかし、重要な役割を果たすことも多い。

非引用先行技術文献は、FTO(Freedom-to-operate)調査、特許ポートフォリオの評価、ライセンス契約の交渉、アサーション防衛の準備のいずれにおいても、クレームの有効性を評価する最初のステップである。図 2.5.1 に、引用されていない先行技術のスコアリングシステムの例を示す。

⁷¹ Anaqua ホームページ:<https://www.anaqua.com/ja/resource/uncited-prior-art-enabled-by-new-citation-data/>

図 2.5.1 引用されていない先行技術のスコアリングシステムの例

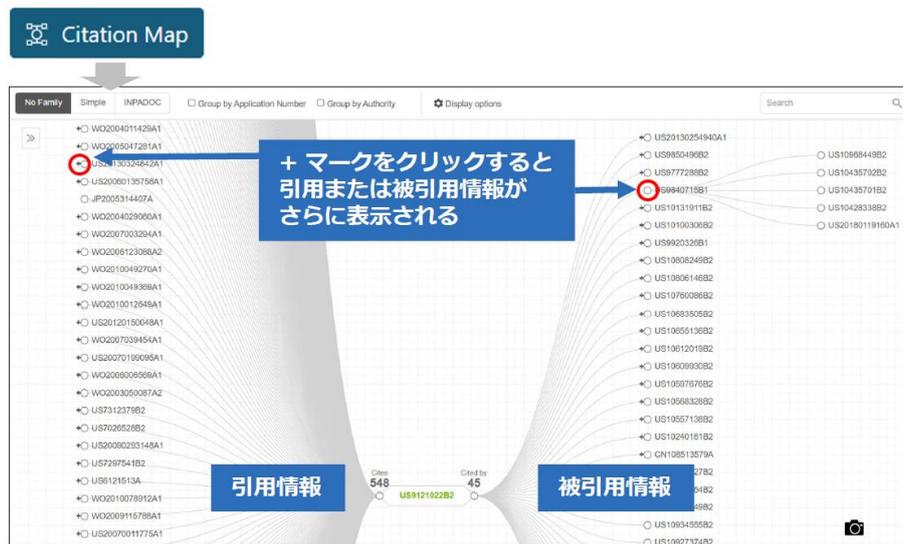


出典：Anaqua

【CAS Scientific Patent Explorer⁷² : Citation Map】

CAS Scientific Patent Explorer の Citation Map 機能では、引用及び被引用情報を関連づけて表示する。図 2.5.2 に、Citation Map 表示例を示す。

図 2.5.2 Citation Map の表示例



出典：化学情報協会

⁷² 化学情報協会ホームページ:

<https://www.jaici.or.jp/stn-ip-protection-suite/cas-scientific-patent-explorer/>

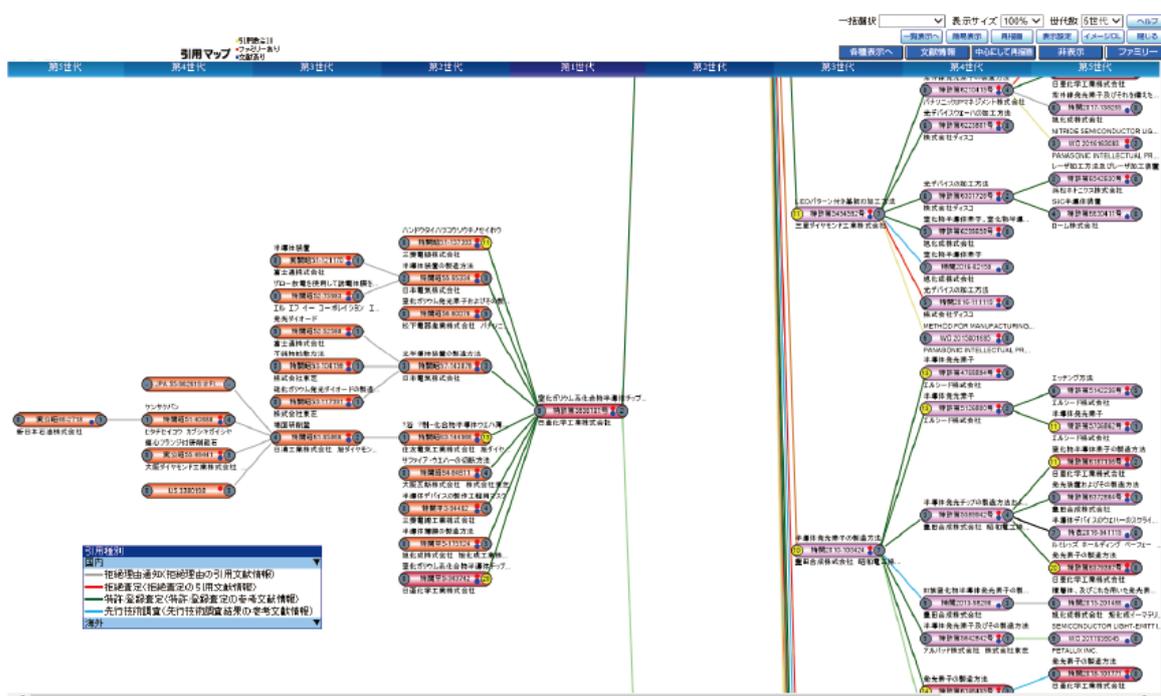
【CKS Web⁷³ : 引用ツリー】

標準機能として、画面表示の引用ツリー機能がある。

【CyberPatent Desk⁷⁴ : 引用マップ】

CyberPatent Desk の引用マップ機能では、最大 5 世代の引用文献・被引用文献をマップ形式で表示する。引用種別を限定して表示することもできる。また、表示している文献群をリスト化してダウンロードすることもできる。図 2.5.3 に、引用マップの表示例を示す。

図 2.5.3 引用マップの表示例



出典：サイバーパテント

【incoPat⁷⁵ : 引用分析】

incoPat の特許引用分析は、引用と被引用の関係について深い階層まで拡張して可視化することができ、技術開発の文脈を整理するのに役立つ。

ユーザーは、特許の引用のために表示される情報（タイトル、要約、出願人、公開番号、日付、要約、図面など）をカスタマイズし、技術開発の歴史を明確に把握できる。引用分

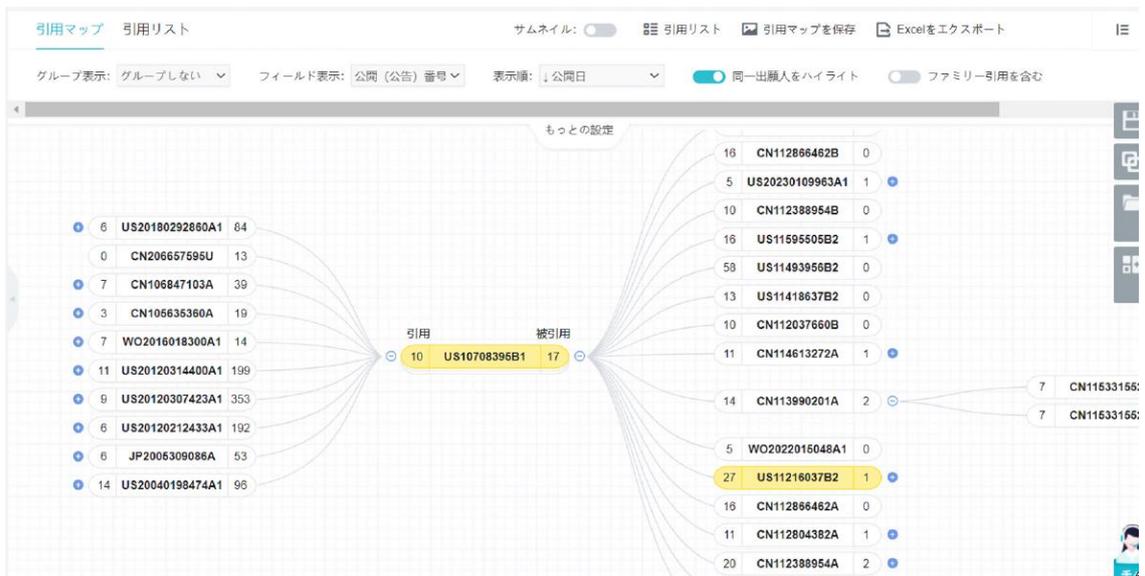
⁷³ 中央光学出版ホームページ: <https://www.cks.co.jp/home/Products/CKSWeb.html>

⁷⁴ サイバーパテントホームページ: <https://www.patent.ne.jp/service/patent/search.html>

⁷⁵ インパテックホームページ: <https://www.inpatec.co.jp/wp-content/uploads/2017/08/incopat-Product-introduction.pdf>

析は、出願人又は公的機関に応じたグループごとの前方及び後方引用の表示をサポートする。また、技術開発過程におけるコア技術を見つけるために、出願人、公的機関、有効性、法的事象、時刻に基づいたデータの並べ替えもサポートする。図 2.5.4 に、引用分析の表示例を示す。

図 2.5.4 引用分析の表示例



出典：Clarivate

【JP-NET/NewCSS⁷⁶：JP-MAP オプションのサイテーションマップ、ファミリー・サイテーションマップ】

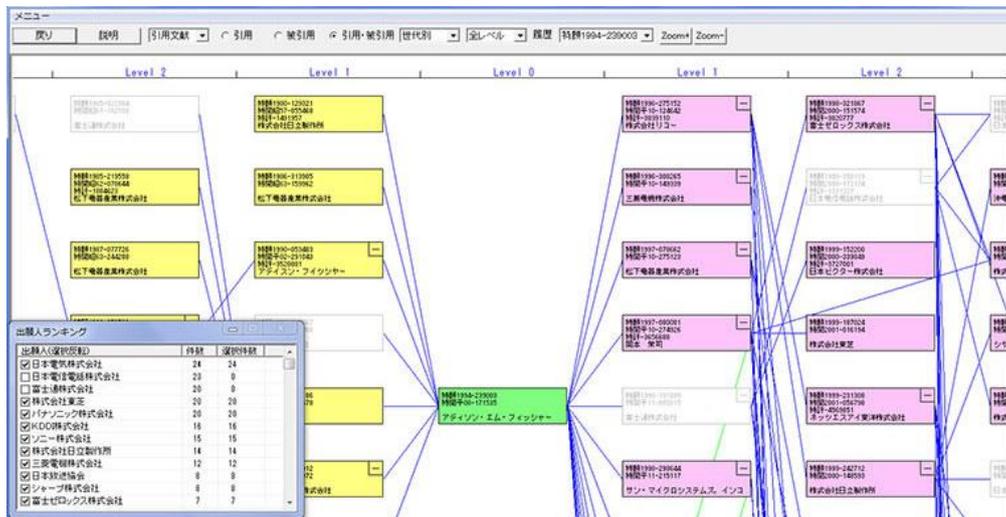
サイテーションマップは、審査官引用・被引用情報の系列を表示する。引用文献の引用文献や、被引用文献の被引用文献など、遡って確認することができる。また、出願人ランキング機能により、その集合の中における出願人の数が分かる他、各公報の情報を参照することも可能である。

ファミリー・サイテーションマップでは、表示中の公報に関して、80 カ国（日本・米国・欧州・DOCDB 収録国）間でパテントファミリーや引用／被引用文献情報が存在する時に、その系列の表示を行う。

図 2.5.5 に、サイテーションマップの表示例を、図 2.5.6 に、ファミリー・サイテーションマップの表示例を示す。

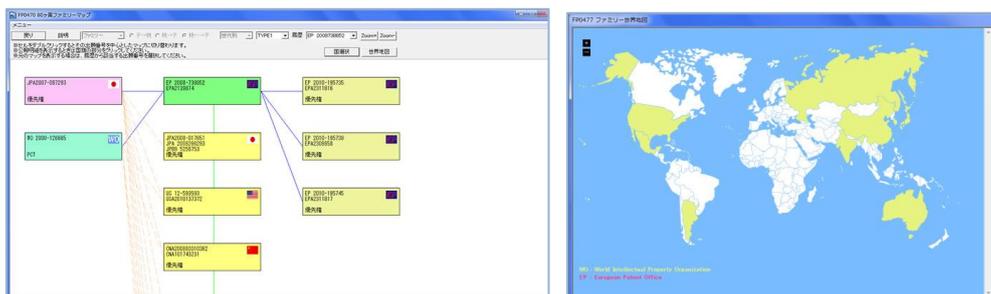
⁷⁶ 日本パテントデータサービスホームページ：<https://www.jpds.co.jp/jp-net/jpmap.html>

図 2.5.5 サイトーションマップの表示例



出典：日本パテントデータサービス

図 2.5.6 ファミリー・サイトーションマップの表示例



出典：日本パテントデータサービス

【Orbit Intelligence⁷⁷：引用分析】

Orbit Intelligence の中には約 40 カ国程度の引用／被引用情報があり、これらの情報を分析してグラフ表示することができる。引用情報は、審査官引用／出願人引用／その他引用などに区別したり、審査官引用の場合は拒絶コードなども参照できるように整理したりして、描画することができ、また、出願人ごとに色分けなどを行って、自社引用か他社引用かを判断できるようなこともできる。

出願人間引用のグラフは、分析されたレコードセットの出願人間のつながりを表示し、Chart Control タブを使用すれば、共同割当ての最小数と出願人ごとのファミリーの最小数で結果をフィルタリングすることができる。ファミリー間の引用は矢印で示され、矢印

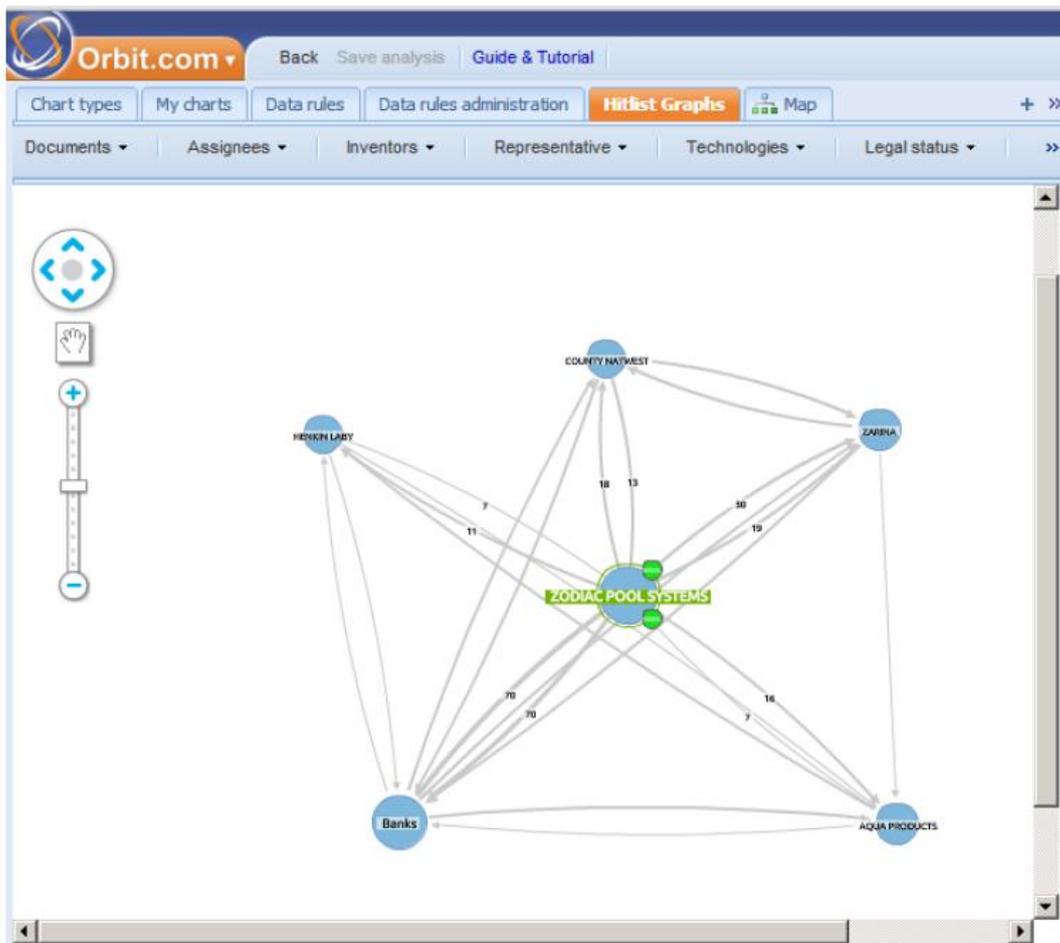
⁷⁷ Questel ホームページ:

<https://static.orbit.com/orbit/help/guides/en/orbit.ip.business.intelligence.pdf>

の方向はファミリーが引用されているか引用しているかを示す。矢印がファミリーを指している場合、これらは引用される側で、逆の場合は、引用する側である。線上の数字は、2つの出願人の中で共通して引用されたファミリーの数を示す。

図 2.5.7 に、引用分析の表示例を示す。

図 2.5.7 引用分析の表示例



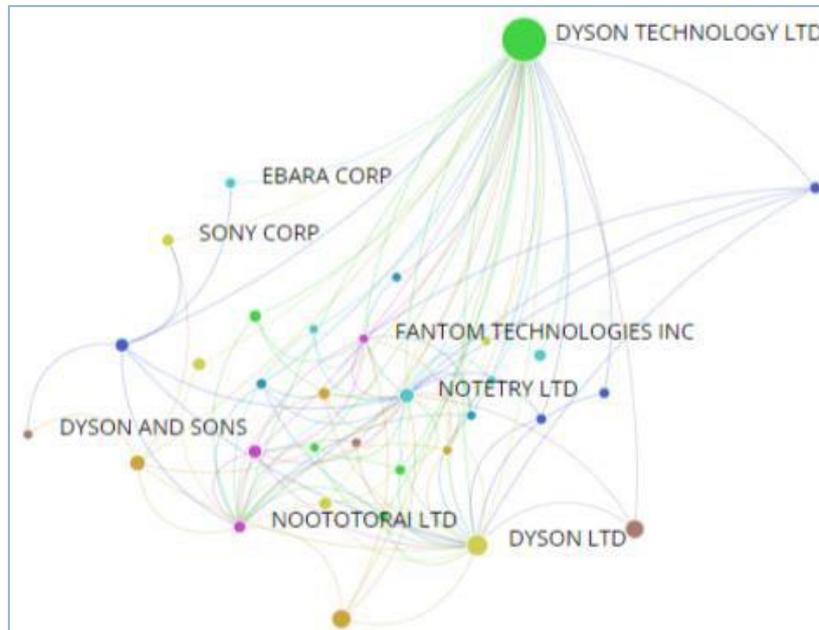
出典：Questel

【PatBase⁷⁸：PatBase Analytics（引用ネットワーク分析）】

PatBase Analytics の引用ネットワーク分析では、数字やノードの種類(出願人)を調整して、閾値リミット(1つのノードに対する最小引用数)を設定し、引用ネットワークを表示する。図 2.5.8 に、引用ネットワーク分析の表示例を示す。

⁷⁸ Minesoft ホームページ: https://basics.minesoft.com/patbase-express/Documents/analyticsV2SnapshotComparison_jp.pdf

図 2.5.8 引用ネットワーク分析の表示例



出典：Minesoft

【Patentfield⁷⁹：引用分析、引用マップ分析】

Patentfield の引用分析では、各出願の引用文献／被引用文献のマップ表示、企業ごとの引用／被引用関係のマップ表示が可能である。

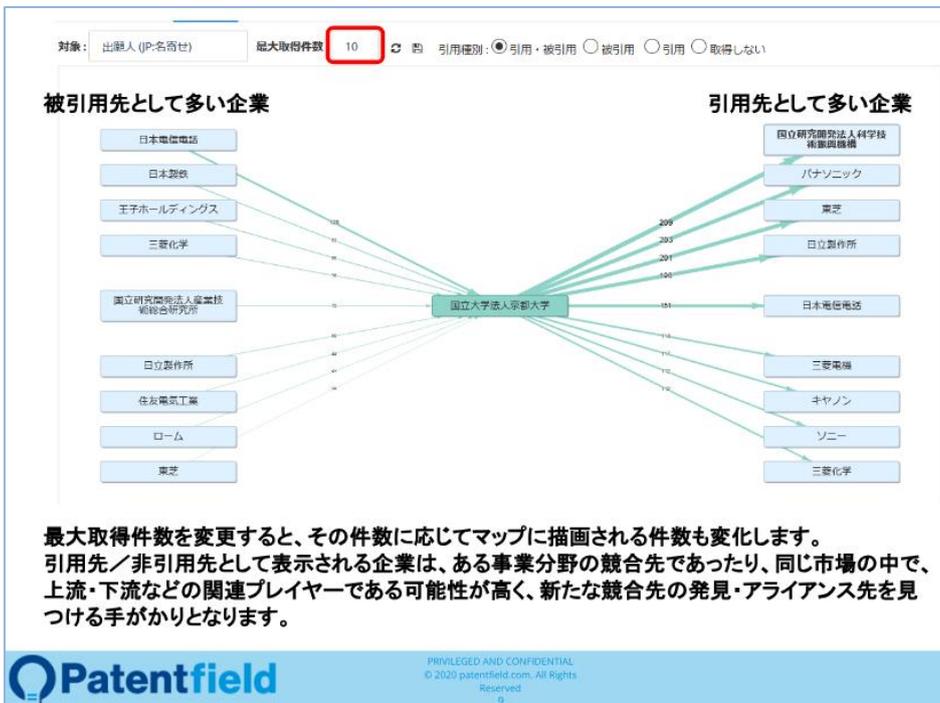
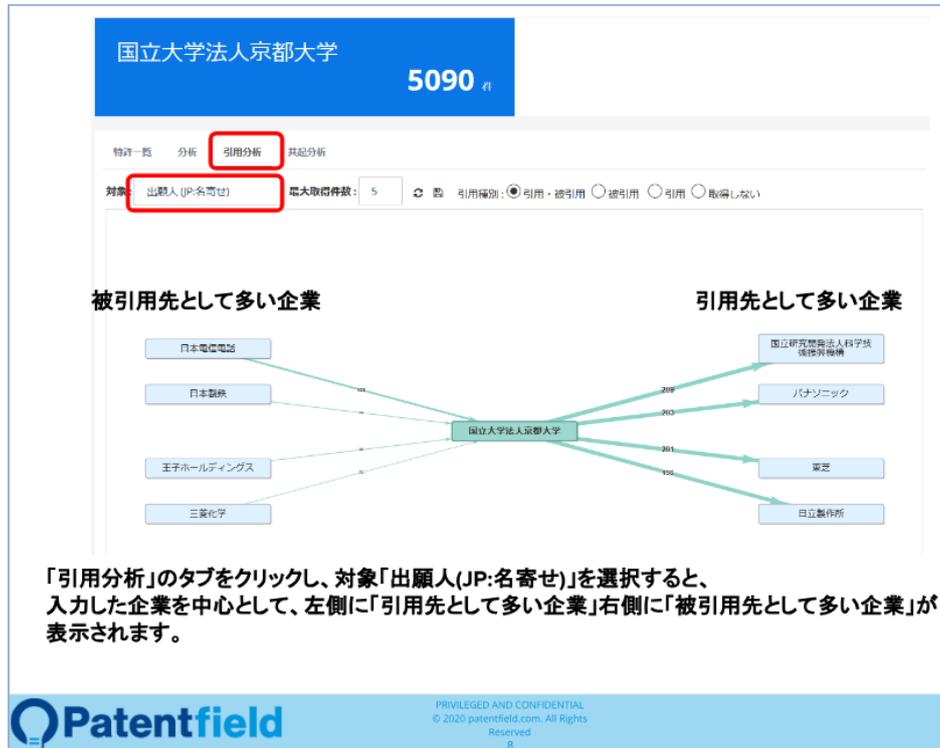
マップ分析は、バーチャート、出願人ランキング、共起ネットワーク（共願関係を線でつなぎ、企業間や発明者間のつながりを確認するマップ）などがあり、一般的な特許マップがカバーされている。検索と可視化が一体化されており、マップをクリックするとその条件でフィルタ検索され、検索結果よりその詳細を確認することができる。

引用マップ分析では、最大 5,000 件の特許の引用関係を一度に分析可能である。被引用件数などでフィルタすることで、重要な特許を容易に抽出できる。検索結果の文献と引用関係にある文献をまとめて分析（引用関係結合）できる。

図 2.5.9 に、引用分析の表示例を、図 2.5.10 に、企業ごとの引用分析の表示例を、図 2.5.11 に、引用マップ分析の表示例を示す。

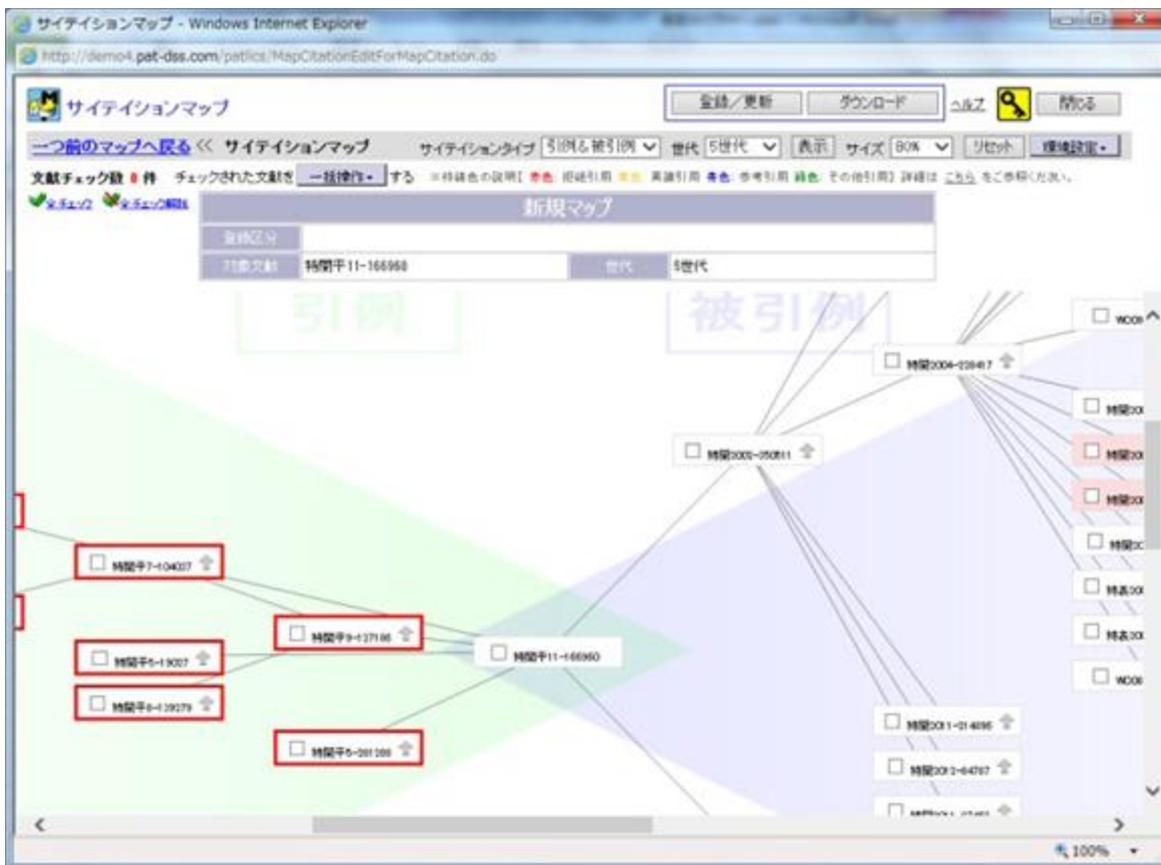
⁷⁹ Patentfield ホームページ: <https://patentfield.com/help/combined-citation#/>

図 2.5.10 企業ごとの引用分析の表示例



出典：Patentfield

図 2.5.12 サイテーションマップの表示例



出典：ジー・サーチ

【PatSnap Analytics：引用分析図】

引用分析図は、世代を問わず、特許の引用／被引用の関係性を見える化した（ツリー形式でつなぐ）機能であり、一目でより多くの情報を確認できるようになっている。

【Shareresearch⁸⁰：被引用分析】

出願人や特許の年代別の被引用数により、自社技術の先行度合いを把握し、ツリー上に当該公報の被引用数を表示でき、注目すべき技術を一目で確認できる。図 2.5.13 に、被引用分析の被引用ツリー画面の表示例を示す。

⁸⁰ 日立製作所から提供された情報を基に記載

図 2.5.13 被引用分析の被引用ツリ一画面の表示例

| 1998 | 1999 | 2000 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 |
|--|---|--|--|--|--|--|---|
| US09108761 Battery charger with m... H01M01046 46 | US09307855 Capacitive AC isolatio... H02J00700 2 | US09545032 Battery charger for elec... H02J00700 29 | US10441271 Electronic battery tester G01N27416 15 | US10867385 Energy management sy... G01N27416 43 | US11178550 Wireless battery tester... G01N27416 23 | US11511872 Automotive vehicle ele... G01N27416 38 | US11711356 Battery tester with pro... G01N27416 15 |
| | | | | US11018785 Wireless battery monior G01R3136 37 | US11304004 Battery tester that calc... G01N27416 20 | US11498703 Theft prevention devic... B60R2510 22 | US11811528 Alternator tester G06F1900 15 |
| | | | | US10693812 Scan tool for electronic... G01N27416 35 | US11063247 Battery maintenance de... G01N27416 19 | US11585675 Automotive vehicle ele... G01N27416 22 | US116931907 Battery maintenance to... H01M1046 2 |
| | | | | US10896834 Electronic battery teste... G01N27416 20 | US11146608 Scan tool for electronic... G01N27416 17 | US11519481 Broad-band low-induct... G01R3104 14 | |
| | | | | US10938821 In-vehicle battery moni... H02J700 17 | US11172679 Semiconductor device a... H01L2348 4 | US11841594 Method and apparatus... G01R2708 2 | |
| | | | | US10791141 Automotive battery ch... G01N27416 9 | | | |

出典：日立製作所

【Tokkyo.Ai⁸¹：引用関係の分析】

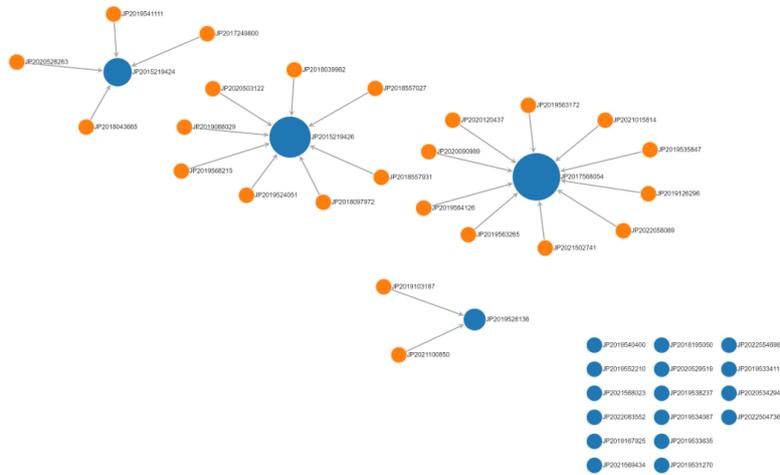
引用関係の分析機能は、特許間の関連性や影響力を評価し、特定の技術領域での競争の激しさを把握するために役立つ。

引用関係の分析には、個別特許ごとに引用関係を孫引用までたどる機能と、検索結果の集合に対して引用関係を見て行く機能がある。前者は、個別に見たい場合に有効で、後者は、被引用件数などの検索結果をベースに企業間の特許の引用関係を見るのに有効である。

図 2.5.14 に、引用関係の分析機能の画面例を示す。

⁸¹ Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/tokkyo-wiki/patent-analysis-function/>

図 2.5.14 引用関係の分析機能の画面例



出典：Tokkyo.Ai

【Tokkyo.Ai⁸²：引用・被引用特許マップ】

引用・被引用特許をマップ形式で可視化し、どの企業がどの企業の特許を引用しているかといった複雑な引用特許の関連性を把握できる。

キーワード類似率と引用数に基づき関連文献を可視化した例では、該当するキーワードを含んだ知財の該当率と件数を円の大ききで示している。年ごとに示しているため、経過する年の変化を見ることによって、それらのキーワードを含んだ出願状況などの興味度を見ることができる。

また、特許文献における引用の状況を見ることにより、その特許が注目をされているのか、価値があるものなのかという複雑な引用関係を素早く把握ができる。さらに、図をクリックすることで、すぐに該当の特許情報を表示できるため、効率的な特許調査が可能である。

図 2.5.15 に、キーワード類似率と引用数に基づく関連文献の可視化例、図 2.5.16 に、複雑な引用関係の相関図による可視化例、図 2.5.17 に、引用・被引用特許のビジュアル化例を示す。

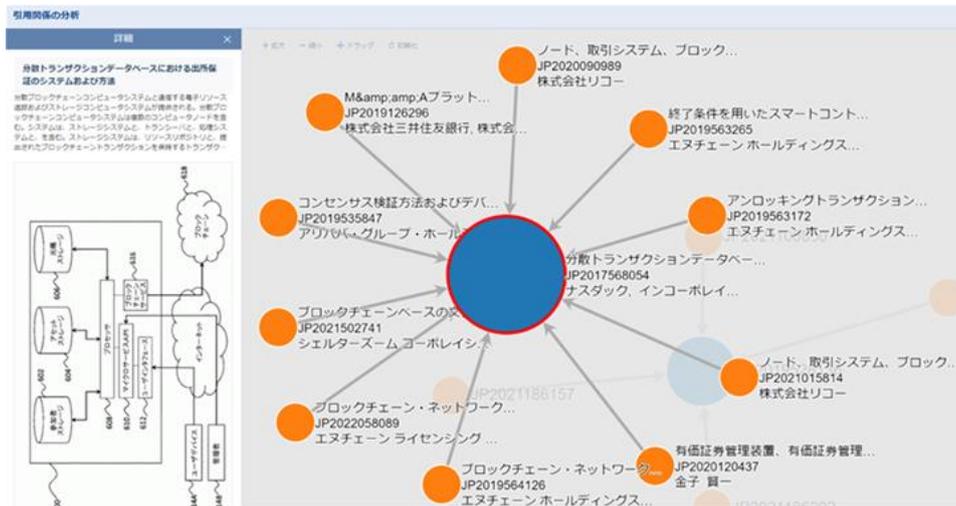
⁸² Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/pvt/function/#allusion>

図 2.5.15 キーワード類似率と引用数に基づく関連文献の可視化例



出典：Tokkyo.Ai

図 2.5.16 複雑な引用関係の相関図による可視化例



出典：Tokkyo.Ai

図 2.5.17 引用・被引用特許のビジュアル化例



出典：Tokkyo.Ai

【ULTRA Patent⁸³：サイテーション検索・分析】

対象特許群の一括引用又は被引用特許情報の検索及び引用関係をツリー構造に表示し、様々な機能を活用し、より深い分析ができる。

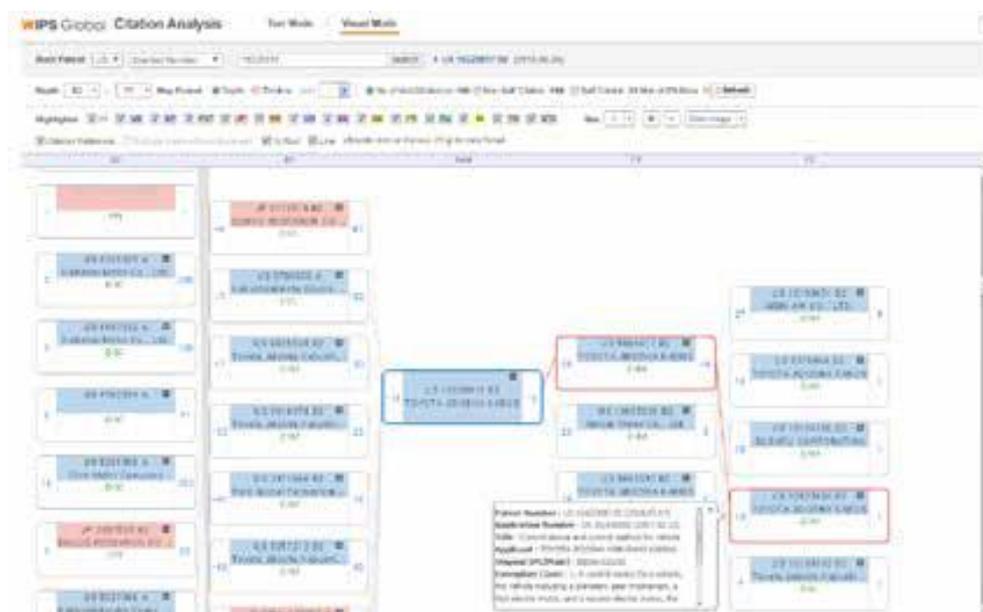
また、サイテーション SDI サービスを使うことで、毎週更新される特許情報の中でユーザーが設定した引用関係のある特許情報のリストを表示又はメールに送信することができる。サイテーション検索例を図 2.5.18 に、その分析例を図 2.5.19 に示す。

⁸³ ウィズドメインホームページ： <https://www.ultra-patent.jp/About/Features>

【WIPS-Global⁸⁴ : Citation Analysis】

Citation Analysis では、引用／被引用文献をテキストモードとビジュアルモードで提供する。引用には、自己引用／被自己引用がある。図 2.5.20 に、引用分析の表示イメージを示す。

図 2.5.20 引用分析の表示イメージ



出典：WIPS

【XLSCOUT⁸⁵】

5 社までの会社の引用関係を可視化することができる機能である。現在は審査官被引用には対応していないが、データ自体は持っており開発予定である。

5) まとめ

引用ネットワークの可視化機能においては、その表示方法がいろいろと工夫されている。引用及び被引用情報をツリー形式で表示するものが比較的多いようである。表示の仕方もういろいろとあり、ある特許に対して引用と被引用の関係を表示し、その引用又は被引用の特許をクリックすると更にクリックした特許の引用・被引用のツリーが表示されるものや、最初から複数世代にわたった引用文献・被引用文献を表示するものなど、表示方法が工夫されている。

出願人や特許の年代別の被引用数により、自社技術の先行度合いを把握することも可能

⁸⁴ WIPS ホームページ: <https://www.wipsglobal.com/service/mai/main.wips> の e-Brochure

⁸⁵ XLSCOUT からの提供情報を基に記載

なシステムもある。特許文献における引用の状況を見ることにより、その特許が注目をされているのか、また、価値があるものなのかという複雑な引用関係を相関図で表すことで素早く把握ができるサービスもある。

引用ネットワークを可視化することで、ユーザーは特定の技術の開発プロセスを追跡したり、企業の中核技術の保護戦略を検討したりすることが容易になる。また、ユーザーは、特許の引用のために表示される情報（タイトル、要約、出願人、公開番号、日付、図面など）をカスタマイズし、技術開発の歴史を明確に把握することもできる。企業ごとの引用／被引用関係のマップ表示が可能なものもあり、様々な観点からの分析が可能になってきている。

2.6 価値評価の提供

1) 機能の概要

特許・実用新案の知的財産としての価値、すなわち排他権に伴う事業価値や経済的価値等を、定性的、あるいは定量的に評価して、その結果を提供する機能である。独自のし他の企業・組織により定義された価値指標に基づき評価を行い、その集計結果をスコアや順位付け、図表等で出力、表示する。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.6.1 価値評価の提供が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|--------------------|----------------------|-----------------------------------|
| 1 | AcclaimIP | Anaqua | AcclaimIP Annuity Decision Report |
| 3 | Biz Cruncher | パテント・リザルト | パテントスコア |
| 9 | CyberPatent Desk | サイバーパテント | － |
| 10 | Derwent Innovation | Clarivate | 予測分析 |
| 15 | incoPat | incoPat | スコアリング機能 |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | － |
| 23 | PatBase | RWS グループ | Patent Valuation Score |
| 24 | Patentfield | Patentfield | PF スコア |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | KK スコア |
| 26 | PatSnap Analytics | PatSnap | 特許評価ツール |
| 29 | Shareresearch | 日立製作所 | 価値スコア |
| 33 | ULTRA Patent | ウィズドメイン | － |
| 35 | WIPS-Global | WIPS | － |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | Patdigger、Claim Chart LLM |

凡例：提供機能名が「-」は、機能は提供しているが機能名が不明

3) 利用用途（ユーザーメリット）

価値評価の提供機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 外部指標に基づく価値評価を導入することにより、自社製品の保護や競合他社に対する優位性確保に重大な影響をおよぼす、知的財産の維持更新に関する複雑でリスクを伴う意思決定プロセスを明確化することが可能になる。
- ・ 特許調査（先行技術調査、FTO 調査など）において重要な特許に注目してレビューするための優先順位付けに役立つ。
- ・ グローバルな特許調査など膨大な特許情報を取り扱う際に、客観性を担保しながら評価作業を効率的に進めることができる。
- ・ スコア等の数値や図表などで特許価値が表現されるため、必ずしも知財に詳しくない経営層、上層部、事業部や R&D 部門等に対しても報告・情報共有がしやすい。
- ・ 自社特許と他社特許のポートフォリオを比較する場合に、重要な特許の客観比較が可能になり、自社の知財ポジションの推測、把握などに役立つ。
- ・ 技術、知的財産のランドスケープやライフサイクルを素早く閲覧、分析することができる。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。また、具体的な情報が得られなかった商用データベースについては、記載を省略している。

【AcclaimIP⁸⁶ : AcclaimIP Annuity Decision Report】

AcclaimIP Annuity Decision Report は 10 のセクションに分かれ、主要な特許指標、請求分析、中間処理履歴、特許ファミリーのタイムライン、引用と拒絶の指標などを網羅している。

主要特許の価値指標ベンチマークは、検討対象の特許とほぼ同時期に出願された同一クラスの特許群とを比較し、関連性の強い他の特許に対し、どの程度、強度があるのかを知るための一般的に認められた指標を用いている。特許価値指標になじみがないユーザーに対して、各ベンチマークの説明とそのベンチマークの持つ意味も表示される。

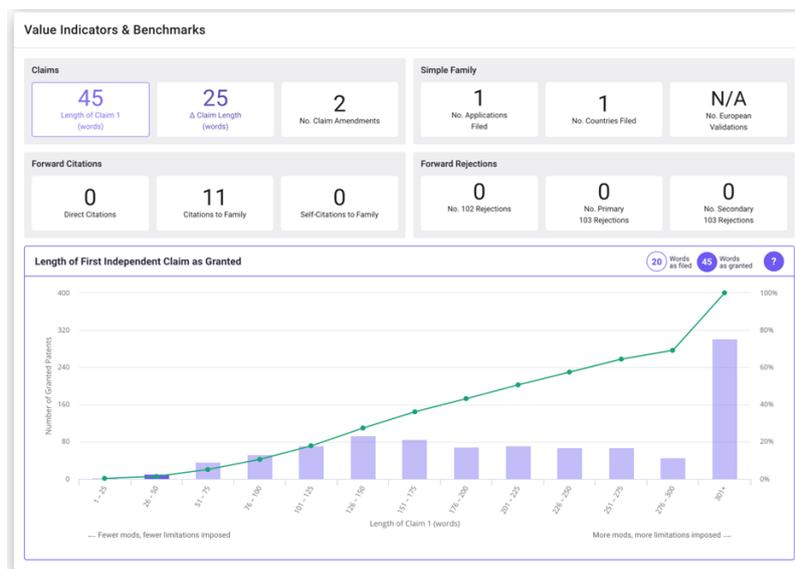
特許ファミリー全体の中間処理履歴は、複数の国における特許の審査結果や更新の履歴といった膨大なデータを集計、表示し、請求の有効性や特許価値の持続性などの特許評価を示す。

⁸⁶ Anaqua ホームページ: <https://www.anaqua.com/ja/resource/new-analytics-report-determining-which-ip-assets-to-keep-and-protect/>

存続率ベンチマーキングは、類似特許が時間の経過とともに、どのように存続するかを可視化するインタラクティブな表示機能が備わっており、技術の成熟度と特許の生涯価値を把握できる。例えば、類似特許が12年目頃までに減少し、そこから安定していることが分かれば、12年目まで存続すれば、その特許は期間満了まで生き残る傾向があるといえる。

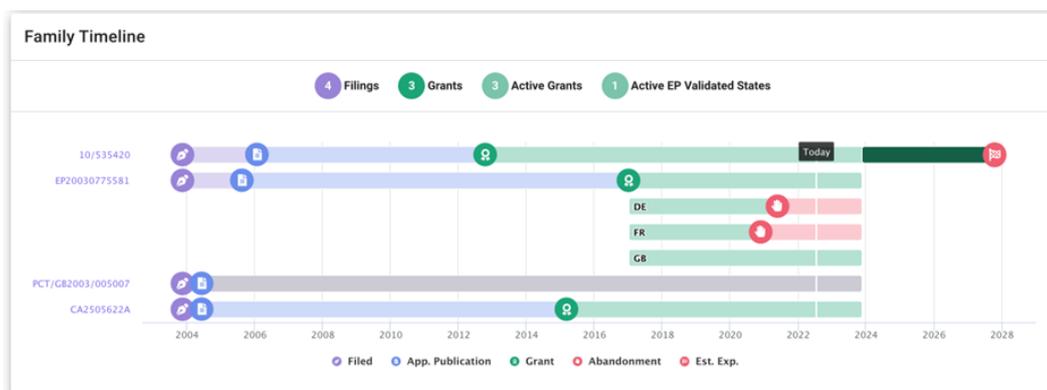
図 2.6.1 に、更新要否判断レポートの価値指標とベンチマークの例を、図 2.6.2 に、ファミリータイムライン例を、図 2.6.3 に、更新要否判断レポート上で特許存続率を表示の例を示す。

図 2.6.1 更新要否判断レポートの価値指標とベンチマーク



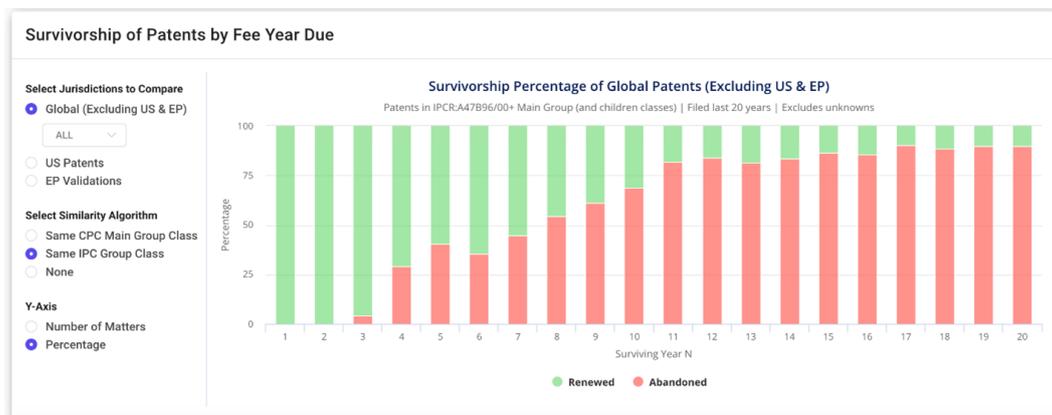
出典：Anaqua

図 2.6.2 ファミリータイムライン例



出典：Anaqua

図 2.6.3 更新要否判断レポート上で特許存続率を表示



出典：Anaqua

【Biz Cruncher⁸⁷：パテントスコア】

Biz Cruncherでは、調査対象特許の番号（出願番号、特許番号、公開番号など）を投入すると、その特許の注目度を指標化したパテントスコアをダウンロードできる機能を提供している。

パテントスコアは、特許出願後の審査経過情報をもとに、個別特許の注目度をスコアリング評価する指標である。具体的には、出願人、審査官、競合他社による下記のアクションに着目し、同一技術分野、出願年の他の特許との相対比較により偏差値で評価する。

- ・ 出願人の権利化への意欲（早期審査請求、国際出願など）
- ・ 先行技術としての審査官からの認知度（拒絶理由通知に引用された回数など）
- ・ 競合他社からの注目度（無効審判、異議申立の有無など）

出願人による権利化への意欲が高い特許や、審査官や競合他社から注目される特許ほど、パテントスコアによる評価結果は高くなる。

つまり、「パテントスコアの数値が高い特許は、市場の注目度が高い特許」「パテントスコアの数値が低い特許は、注目度が低い特許」ということになる。

【Derwent Innovation⁸⁸：予測分析】

Derwent Innovationでは、最高クラスのデータと最新のデータサイエンス技術を組み合わせ、ユニークで実用的なデータを生成している。予測分析は、150 を超える主要な入力変数から機械学習に基づいて情報を取得し、「技術分野での重要度」「戦略的重要性」及び「総合特許インパクト」の価値指標に関わる3つの指標と、「登録の可能性」「早期失効の可能性」及び「失効後の回復の可能性」のイベントに関わる3つの指標を作成する。

⁸⁷ パテント・リザルトホームページ：<https://www.patentresult.co.jp/about-patentscore.html>

⁸⁸ Clarivate ホームページ：[https://clarivate.com/ja/wp-](https://clarivate.com/ja/wp-content/uploads/sites/15/2022/09/Derwent-webinar-指標_新機能_20200612a.pdf)

[content/uploads/sites/15/2022/09/Derwent-webinar-指標_新機能_20200612a.pdf](https://clarivate.com/ja/wp-content/uploads/sites/15/2022/09/Derwent-webinar-指標_新機能_20200612a.pdf)

「価値指標」に関わる指標の詳細を以下に示す。

- ・ 技術分野での重要度：

技術領域における特許公報の相対的な重要度。今後 10 年間で他社による被引用が多くなるかどうか（他社特許の審査段階で参照されるかどうか）を予測する。
- ・ 戦略的重要性：

企業における特許公報の相対的な重要度。今後 10 年間で自社による被引用が多くなるかどうか（自社特許の審査段階で参照されるかどうか）を予測する。
- ・ 総合特許インパクト：

Clarivate の様々なスコアを組み合わせた、特許公報の総合的な重要性。

予測分析の指標は、データベース全体のスコアを正規化して、100 ポイントのスケールを使用しており、様々な技術分野間の比較を可能にしている。スコアは相対的な強さを示す。図 2.6.4 に、価値指標スコアの表示例を示す。

図 2.6.4 Derwent Innovation における価値指標スコアの表示例

価値指標スコアの例：



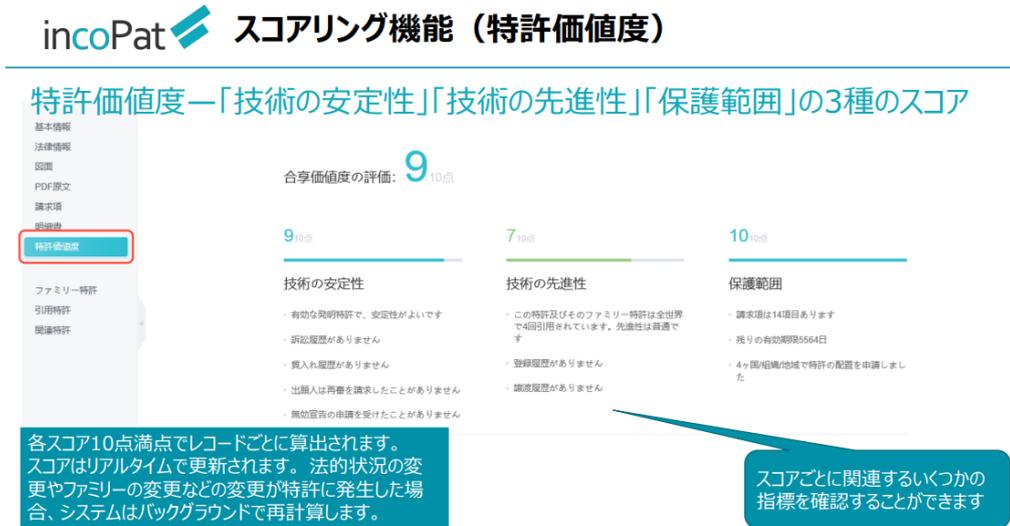
出典：Clarivate

【incoPat⁸⁹：スコアリング機能】

incoPat には、特許の価値を「技術の安定性」「技術の先進性」「保護範囲」の 3 種のスコアを各 10 点満点で表現する「スコアリング機能」が搭載されている。スコアはレコードごとにリアルタイムで算出される。図 2.6.5 に、incoPat のスコアリング機能を示す。

⁸⁹ Clarivate ホームページ: https://clarivate.com/derwent/wp-content/uploads/sites/3/2020/12/210729_incoPat_presentation.pdf

図 2.6.5 incoPat のスコアリング機能



出典：Clarivate

【PatBase⁹⁰ : Patent Valuation Score】

Patent Valuation Score (PVS) モデルは、PatBase で独自開発された、特許の相対的価値をスコアリングする方法である。このモデルは、Commercial (商業)、Legal (法務)、Citation (引用) 及び Technology (技術) の 4 つの大まかなカテゴリーが使用されている。

PVS は、公知な値で計算される。また、スコアページの上部にあるボックスは、各カテゴリーのファミリー全体の最小値と最大値を表示する。

以下に、4 つのカテゴリーの定義を示す。

- ・ Commercial (商用) :
発明者数、発明者と出願人の関係、再譲渡の件数と種類、管轄裁判所数、ポートフォリオ全体の規模を考慮
- ・ Legal (法務) :
特許ステータス、クレーム数 (独立および従属)、特許経過年数、訴訟件数などを考慮
- ・ Citation (引用) :
被引用数(自他)、被引用年数、引用特許のスコア、NPL/FDA データの有無を考慮。
- ・ Technology (技術) :
IPC/CPC コード数 (影響を受ける技術分野)、SEP の有無、譲受人の技術空間における市場シェアを考慮。

図 2.6.6 に、Patent Valuation Score の表示例を示す。

⁹⁰ RWS から提供された情報を基に記載

図 2.6.6 Patent Valuation Score の表示例

| | Min | Max |
|------------|------|-------|
| Overall | 1.5% | 15.2% |
| Citation | 0% | 14.9% |
| Commercial | 11% | 24.4% |
| Legal | 0% | 0% |
| Technology | 0% | 39.9% |

| Publication | Overall | Citation | Commercial | Legal | Technology |
|---------------|---------|----------|------------|-------|------------|
| WO22027921 A1 | 5.7% | 2.3% | 24.4% | 0% | 39.9% |
| CN111916195 A | 15.2% | 14.9% | 14.6% | 0% | 36.8% |
| CN112205982 A | 7.3% | 5.8% | 14.6% | 0% | 30.7% |
| CN111973228 A | 6.4% | 4.9% | 14.6% | 0% | 24.5% |

出典：RWS グループ

【Patentfield⁹¹：PF スコア】

Patentfield では、被引用回数、情報提供回数など、特許の中間手続きパラメータに基づく特許の重要度や注目度を可視化する「PF スコア」という機能を提供している。

PF スコア算出条件の初期設定としては、被引用回数、情報提供回数など他社からの注目度が高い特許が設定されており、出願から日数があまり経っていないものほど高いスコアとなっているが、ユーザーがスコア設定画面において、重み付けや算出条件を自在にカスタマイズできるようになっている。

算出された PF スコアは、詳細検索画面のスコアタブで PF スコアをクリックするか、検索結果画面上部で PF スコアを選択することで切り替えることができる。なお、PF スコアモードでは、可視化・集計結果は、件数の積み上げではなくスコアの積み上げとなる。

図 2.6.7 に、スコア設定画面の例を、図 2.6.8 に、検索結果画面の表示例を示す。

⁹¹ Patentfield ホームページ: <https://patentfield.com/help/functions-patent-score#/>

図 2.6.7 スコア設定画面の例

| 項目名 | 演算子 | 関数 | 係数 | 削除 |
|---------------|-----|------------|-----|----|
| ベーススコア | | | 1 | |
| 被引用件数 (JP/US) | + | log(1 + n) | 1 | |
| 請求項数 (付与) | + | log(1 + n) | 0.2 | |
| 優先権主張数 | + | log(1 + n) | 0.2 | |
| PCT出願 | + | min(1, n) | 0.2 | |
| 出願審査請求 (JP) | + | min(1, n) | 0.4 | |
| 意見書 (JP) | + | min(1, n) | 0.5 | |
| 情報提供 (JP) | + | log(1 + n) | 1 | |
| 包袋開販 (JP) | + | log(1 + n) | 1 | |
| 拒絶査定不服審判 (JP) | + | log(1 + n) | 1 | |
| 出願経過日数 | * | 減衰関数 | 1 | |

出典：Patentfield

図 2.6.8 検索結果画面の表示例

出典：Patentfield

【PatentSQUARE⁹²：KK スコア】

KK スコアは神戸大学と株式会社カネカによって開発されたアルゴリズムを使用したランキング分析方法で、牽制度、注目度、出願時期期待度の3軸で分析している。KK スコアを用いて、選択した複数の特許文献を特許価値の高い順にランキングすることができる。表示項目を追加・変更することも可能で、対象技術ごとに必要な項目を選択できる。また、自社特許と競合他社特許を合わせた集合を分析し、価値が高い順番にランキング表示することもできる。KK スコアにより、注目特許を素早く把握することが可能となる。

また、一度表示した分析結果に対してノイズを除去した再分析が可能である。

図 2.6.9 に、KK スコアを用いた分析結果表示例を、図 2.6.10 に、ノイズ除去・再分析

⁹² パナソニック ソリューションテクノロジーホームページ:

<https://www.panasonic.com/jp/business/its/patentsquare.html>

の手順を示す。

図 2.6.9 KK スコアを用いた分析結果表示例

| 特許番号 | 発出日 | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC |
|-------------|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 特許002-57020 | 943 | 312 | 074 | 555 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-58240 | 982 | 360 | 109 | 394 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-30024 | 923 | 222 | 062 | 549 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-28121 | 739 | 203 | 090 | 517 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許011-50624 | 732 | 073 | 117 | 584 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-18503 | 731 | 370 | -076 | 479 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許011-45627 | 654 | 395 | -073 | 324 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許011-21245 | 652 | 249 | -071 | 453 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-30023 | 606 | 130 | 059 | 409 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-52022 | 603 | 005 | 049 | 549 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-48129 | 596 | 117 | -016 | 405 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-50125 | 594 | -016 | 057 | 593 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-54345 | 583 | 324 | 278 | -050 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |
| 特許002-38739 | 530 | 382 | 270 | -108 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... |

出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

図 2.6.10 ノイズ除去・再分析の手順

特許ランキング分析 (KKスコア) 各分析項目より[審判員]目度[出願時特許権]を数値化した和をKKスコアとしてKKスコアの高低に基づき、各特許の順位を決定します。各特許の順位は、この表でご覧いただけます。

① 再分析
② 公開明細表示
③ マトリクスマップ
④ 分析項目

マトリクスマップが表示されます

再分析結果が表示されます

| 特許番号 | 発出日 | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC | IPC |
|-------------|-----|-----|------|-----|----------|------------|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 特許002-57020 | 986 | 312 | 097 | 556 | 20021005 | 特許第400207号 | 正極活性物質およびこれを含む非水電解質二次電池 | | | | | | | | | | | | | |
| 特許002-58240 | 989 | 360 | 129 | 399 | 20040408 | 特許第412002号 | 電気化学素子 | | | | | | | | | | | | | |
| 特許002-18503 | 810 | 370 | -057 | 496 | 20030817 | 特許第401003号 | 非水電解質二次電池 | | | | | | | | | | | | | |
| 特許011-50624 | 805 | 075 | 142 | 599 | 19981229 | 特許第478400号 | 電気二重層キャパシタ及びその製造方法 | | | | | | | | | | | | | |
| 特許011-45627 | 712 | 395 | -058 | 374 | 19990226 | 特許第400202号 | 非水電解質二次電池 | | | | | | | | | | | | | |
| 特許011-21245 | 693 | 249 | -055 | 477 | 19980413 | 特許第412028号 | 電気二重層キャパシタおよびその製造方法 | | | | | | | | | | | | | |

出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

【PatSnap Analytics⁹³：特許評価ツール】

一般に特許価値はスコアで表示されることが多いが、PatSnap Analytics では US ドルで表示する。これにより、市場価値の高い特許を特定することができる。PatSnap の特許評価ツールを使用することで、例えば「ある企業の特許が他社からどれだけ引用されているか」は特定の技術分野における影響力を示している。また、企業のポートフォリオにおいて、上位の特許がどれだけ価値があると評価されているかを調べることもできる。図

⁹³ 中央光学出版ホームページ: <https://www.cks.co.jp/home/Products/PatSnapInsights.html>

2.6.11 に特許評価ツールによる価値評価を示す。

図 2.6.11 PatSnap の特許評価ツールによる価値評価



出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

【Shareresearch⁹⁴：価値スコア】

Shareresearch では、各社の技術判定をより高度化するために、日本及び米国の全特許に対し、先行性、他社注目度、自社注力度の3つの観点で価値スコアを提供している。従来、各社の特許件数の比較のみで行っていた知財分析に、価値という要素を付加することにより、更に高度な比較判断を行えるようになった。同社では、今後も重要技術内容の自動サジェストなどのユーザーニーズに対し、これらの知見を応用して新たな価値を提供していく方針である。図 2.6.12 に、Shareresearch 価値スコアの概要を示す。

図 2.6.12 Shareresearch 価値スコアの概要



出典：日立製作所

⁹⁴ 日立評論: <https://www.hitachihyoron.com/jp/archive/2010s/2018/01/13/index.html>

【XLSCOUT⁹⁵ : Patdigger、ClaimChart LLM】

XLSCOUT では、特許評価機能として拒絶理由・引用・係争・SEP 等公開された情報をもとに、簡単なステップで競合他社の特許をゴールド、シルバー、ブロンズの各カテゴリーにランク付けする「Patdigger」が提供されていたが、2024 年 1 月現在カスタマイズモデルで提供されている。また、従来の特許評価に加え、クレームの各要素に競合製品をマッピングさせる ClaimChart LLM 機能も提供している。

5) まとめ

価値評価を提供する商用データベースの中には、特許の評価を行う上での指標を独自に策定・定義しているものと、外部の企業、組織が定義している指標を採用しているものがある。

また、これら指標において参照されるデータ項目としては、調査対象特許・技術と関連性の高い特許の中間処理の履歴や更新の回数、自社、他社による被引用回数、情報提供回数、無効審判、異議申立の有無、国際出願の有無、出願・登録国の数や各国市場のサイズや特許件数の時間的推移、その他多くの種類があり、その組み合わせも各商用データベース及びそれぞれが採用する指標ごとに異なる。

⁹⁵ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/patdigger>

2.7 出願人名等の名寄せ

1) 機能の概要

特許・実用新案・意匠・商標を出願した団体／個人の名前である出願人名が同じ団体／個人であるのに、何らかの理由で出願時期により記載が異なっていたものを、同じ記載にまとめる機能である。この機能による修正、整理の対象となる主な事由は、出願時の名称誤記や表記ゆれ、国外出願人名の翻訳の差異、企業の合併、統合、社名変更等に伴う出願人名の遷移などである。

また、より広義の名寄せ機能として、ある出願人企業とその関連企業や、特定の団体／個人（大学等）の集合をグループ化する機能、又はそうしたグループ情報を予めデータセットとして備え、検索や作表時に呼び出せる機能、権利譲渡時の譲渡人と譲受人を紐付けて表示する機能なども存在する。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.7.1 出願人名等の名寄せが搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|----------------------|----------------------|-------------|
| 2 | Amplified | amplified ai | － |
| 3 | Biz Cruncher | パテント・リザルト | － |
| 4 | Brand Mark Search | 日本パテントデータサービス | － |
| 9 | CyberPatent Desk | サイバーパテント | － |
| 10 | Derwent Innovation | Clarivate | DWPI 出願人コード |
| 14 | HYPAT-i2 | 発明通信社 | 名寄せ辞書 |
| 15 | incoPat | incoPat | 出願人ツール |
| 16 | Japio 世界特許情報全文検索サービス | 日本特許情報機構（発明通信社） | － |
| 17 | JP-NET/NewCSS | 日本パテントデータサービス | 出願人名寄せ検索 |
| 20 | ODI-GAZETTE | オーデイス | 出願人 ID テーブル |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | － |
| 23 | PatBase | RWS グループ | コーポレートツリー |
| 24 | Patentfield | Patentfield | 名寄せ辞書 |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | － |
| 26 | PatSnap Analytics | Patsnap | － |
| 29 | Shareresearch | 日立製作所 | － |
| 35 | WIPS-Global | WIPS | 出願人編集機能 |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | － |

凡例：事業者名の()は、日本の代理店名。提供機能名が「-」は、機能は提供しているが機能名が不明

3) 利用用途（ユーザーメリット）

出願人名等の名寄せ機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 誤記や表記ゆれなどが修正されることにより、正確なデータセットに基づき精度の高い分析を行うことが可能になる。
- ・ 手作業で名寄せを行う手間を省き、予め整備された出願人名等のデータベースやシステム／ソフトウェアによる一括処理を利用することにより、調査、分析のパフォーマンスが大きく向上する。
- ・ 編集機能などにより出願人名等のデータを柔軟にカスタマイズし、より実用的な分析グラフ等の図表作成が可能となる。
- ・ 出願人名等の翻訳データが整備されている商用データベースにおいては、国外公報の検索が容易になる。
- ・ 出願人等の合併、統合や社名変更後の名称と公報発行時点の社名の差異を埋め、さらに、関連会社とのグループ化などを行う機能を利用することによって調査、分析対象企業ないし企業グループを正確に把握することができる。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。また、具体的な情報が得られなかった商用データベースについては、記載を省略している。

【Derwent Innovation⁹⁶：DWPI 出願人コード】

Derwent Innovation の名寄せ機能としては、公報に書かれたオリジナルの出願人とは別に、それを名寄せした DWPI 出願人名を用意し、一定の出願数があれば、それをコード化した DWPI 出願人コードを付与している。DWPI 出願人コードは、Clarivate が特許出願人に対して独自に付与しているアルファベット 4 文字のコードである。特に多数の出願（通常 500 件以上）を行っている出願人には固有の標準コード（約 22,000 種）が割り当てられており、子会社にも親会社と同じコードが付与されている。そのため標準コードを利用すると、親会社と子会社を包括的に検索することができる。また、標準コードを利用することで、出願人名検索の際の弊害となる出願人名の表記揺れをカバーすることも可能である。それ以外に、予測分析機能の一つとして、最適化譲受人、最終親会社なども用意している。DWPI 出願人は、公報発行時の出願人名を可能な限り名寄せしているが、最適化譲受人は、現在の権利者がどこにあるかを、会社の譲渡や合併情報などをもとに予測して表示する。

⁹⁶ Clarivate ホームページ：<https://clarivate.com/derwent/ja/learning/assignee-code/>

【HYPAT-i2⁹⁷：名寄せ辞書】

HYPAT-i2では、中国の特許・実用・意匠公報を対象とする全文検索をサポートするために、日中ワード辞書や、出願人名寄せ辞書、独自辞書などの機能を搭載している。図 2.7.1 に、HYPAT-i2の中国検索画面の例を示す。

図 2.7.1 HYPAT-i2の中国検索画面の例

The screenshot displays the HYPAT-i2 search interface. At the top, there are tabs for '案件検索' and '番号検索'. Below this, a '種別選択(kod)' section includes checkboxes for '公開特許(FM)', '登録特許(SD)', and '実用新案(UO)'. The '検索範囲(発行年月日)(FID)' section allows for date range selection. A '簡易入力:キーワードをスペースで区切り、演算子を省略したときの条件' section offers 'AND' or 'OR' options. A table lists search items (IPC, PAS, AB, 全文) with keywords and logical operators. Below the table, there are date filters and a '検索' button. A green box highlights the search input field with the text '中国検索(特許・実用)画面'. The bottom section shows a search result table with columns for No., 件名, 出願番号, 公開番号, 国際公開番号, 法律状態, 発明の名称, IPC, 出願人/権利者, and 代理人. A green box highlights the table with the text '結果一覧表示画面'.

出典：発明通信社

【incoPat⁹⁸：出願人ツール】

出願人ツールには、会社ツリー、ビジネス情報、カスタム出願人グループを含み、多言語での検索をサポートする。図 2.7.2 に、incoPatの出願人ツール使用時の画面表示例を

⁹⁷ 発明通信社ホームページ：<https://www.hatsumei.co.jp/hypat/option/>

⁹⁸ Clarivate ホームページ：https://clarivate.com/derwent/wp-content/uploads/sites/3/2020/12/210729_incoPat_presentation.pdf

示す。

図 2.7.2 incoPat の出願人ツール使用時の画面表示例

incoPat 多彩な補助ツール

出願人ツール—出願人の別称と子会社名等を調査

英語・中国語対応



Clarivate™

14

出典：Clarivate

【JP-NET/NewCSS⁹⁹：出願人名寄せ検索】

企業の合併・統合や社名変更が頻繁に行われている一方で、特許公報には公報発行時点の社名が記載されているため、旧社名をきちんと事前調査する必要がある。

JP-NET/NewCSS の提供事業者である日本パテントデータサービスでは、ユーザーが安心して検索できるように出願人の名称変更・合併等の名寄せと関連会社の名寄せ情報を独自に作成・メンテナンスしている。

また、この名寄せされた情報を使って、これまでの出願人の合併や社名変更の経緯を沿革図として確認することも可能である。さらに、合併や社名変更だけでなく、関連会社もまとめて検索することも可能である。

図 2.7.3 に、JP-NET/NewCSS の出願人名寄せ検索機能を、図 2.7.4 に、出願人沿革図の表示例を、図 2.7.5 に、出願人関連会社をまとめて検索した結果の表示例を示す。

⁹⁹ 日本パテントデータサービスホームページ：https://www.jpds.co.jp/jp-net/various_functions/original.html

図 2.7.3 JP-NET/NewCSS の出願人名寄せ検索機能

| 式NO. | コマンド入力欄 | 特許 | 実案 |
|------|--|--------|--------|
| #001 | //出願人名寄せ検索 | 0 | 0 |
| #002 | PA1=パナソニック | 818669 | 236123 |
| #003 | | | |
| #004 | //公報発行時の出願人検索 | 0 | 0 |
| #005 | PA=松下電器産業+松下電器貿易+松下住設機器+松下電子工業+ 松下産業情報機器+松下電池工業+松下冷機+パナソニック+ 松下電工+パナソニック電工+パナソニック電工+パワーツール+ パナソニックESパワーツール+パナソニックAPモーターエキスパート | 818669 | 236123 |

出典：日本パテントデータサービス

図 2.7.4 出願人沿革図の表示例

| 式NO. | コマンド入力欄 | 特許 | 実案 |
|------|--|--------|--------|
| #001 | //出願人名寄せ検索 | 0 | 0 |
| #002 | PA1=パナソニック | 818669 | 236123 |
| #003 | | | |
| #004 | //公報発行時の出願人検索 | 0 | 0 |
| #005 | PA=松下電器産業+松下電器貿易+松下住設機器+松下電子工業+ 松下産業情報機器+松下電池工業+松下冷機+パナソニック+ 松下電工+パナソニック電工+パナソニック電工+パワーツール+ パナソニックESパワーツール+パナソニックAPモーターエキスパート | 818669 | 236123 |

出典：日本パテントデータサービス

図 2.7.5 出願人関連会社をまとめて検索した結果の表示例

- セガサミーホールディングス株式会社
 - CAセガシヨイポリス株式会社
 - 株式会社ウェブマスター
 - 株式会社オアシスパーク
 - サミー株式会社
 - ジエイエムエス・ユナイテッド株式会社
 - セガサミークリエイション株式会社
 - セガサミーゴルフエンタテインメント株式会社
 - セガサミービジネスサポート株式会社
 - 株式会社セガホールディングス
 - 株式会社f4samurai
 - 株式会社アトラス
 - 株式会社アルテマイト
 - 株式会社セガ・インタラクティブ
 - 株式会社セガ・ロジスティクスサービス
 - 株式会社セガエンタテインメント
 - 株式会社セガゲームス
 - 株式会社セガトイズ
 - 株式会社ダーツライブ
 - 株式会社テレコム・アニメーションフィルム
 - 株式会社トクシス
 - 株式会社トムス・エンタテインメント
 - 株式会社トムス・シーネーズ
 - 株式会社トムス・フット
 - 株式会社トムス・ミュージック
 - 株式会社ハイブリケーション
 - マーザ・アニメーションプラネット株式会社
 - リバプール株式会社
- フェニックスリゾート株式会社
- 株式会社プレハート

出典：日本パテントデータサービス

【ODI-GAZETTE¹⁰⁰：出願人 ID テーブル】

ODI-GAZETTE では、特許庁検索インデックスの出願人、発明者、代理人（特に外国の会社、外国人）の表記ゆれについて、提供事業者であるオーデイスが以下の法則で独自に整理、作成したインデックスが使用されている。

- ・ 句読点「、」、読点「。」、中黒「・」、ピリオド「.」を削除
- ・ 長音「ー」、ハイフオン「-」は長音に統一してデータを蓄積
- ・ 中黒、ピリオドの代わりに「-（マイナス、ハイフオンで全角、半角の両方がある）」を使って、出願人、発明者を表記している場合は、「-」を削除している。

また、出願人名による検索だけでなく出願人（権利者）識別番号で検索できる「出願人 ID テーブル」機能も搭載されているが、この機能は、公表公報、再公表特許の識別・検索には使用できないことと、電子出願以前から存在する出願人・権利者など、同一人に対しても複数の識別番号が付与されている場合があることなどに留意が必要である。図 2.7.6 に、出願人 ID テーブルを示す。

図 2.7.6 出願人 ID テーブル

| No. | 出願人の名称 | 識別番号 |
|-----|--------------------------|-------------|
| 1 | 田邊 | 597057036 |
| 2 | トテス, インコーポレイテッド | 581282870 |
| 3 | "アールパーク"・アンラゲント・フ | 438888888 |
| 4 | "アールパーク"・タウンネーラウスパーウ | 438888888 |
| 5 | "アールパーク"・タウンネーラウスパーウ・ゲ | 438888888 |
| 6 | "アレサ", "ラリアージュルガーエセスアプリ | 75888028285 |
| 7 | "アレサ", "ラリアージュルガーエセスアプリカ | 438888888 |
| 8 | "エス"エレクトロ・アカスティカ・ソシエタ | 1581210183 |
| 9 | "エフエンエルスタル", エス.ア. | 588100682 |
| 10 | "エフエンエルスタル", エス.ア. | 438888888 |
| 11 | "オ.デ.ア.エム.", オフィス・ドウ・デ | 438888888 |
| 12 | "クレオメン" リミテッド | 438888888 |
| 13 | ジェーゴ | 438888888 |
| 14 | "ジョルダン・コレフ・インテグラル・モータ | 438888888 |
| 15 | "トーゲ・デュベール" アーゲルハルトゲゼル | 1581181844 |

出典：オーデイス

【PatBase¹⁰¹：コーポレートツリー】

PatBase では、出願人の吸収・合併前の社名、子会社・グループ会社をまとめて検索できる「コーポレートツリー」というツールを提供している。

このツールには、欧米や日本企業の親会社約 2,300 社分（総計 23,000 社以上の出願人）が収録されている（出願件数上位を優先的に収録）。

¹⁰⁰ オーデイスホームページ: <http://www.odis.co.jp/setup/odis-web.pdf>

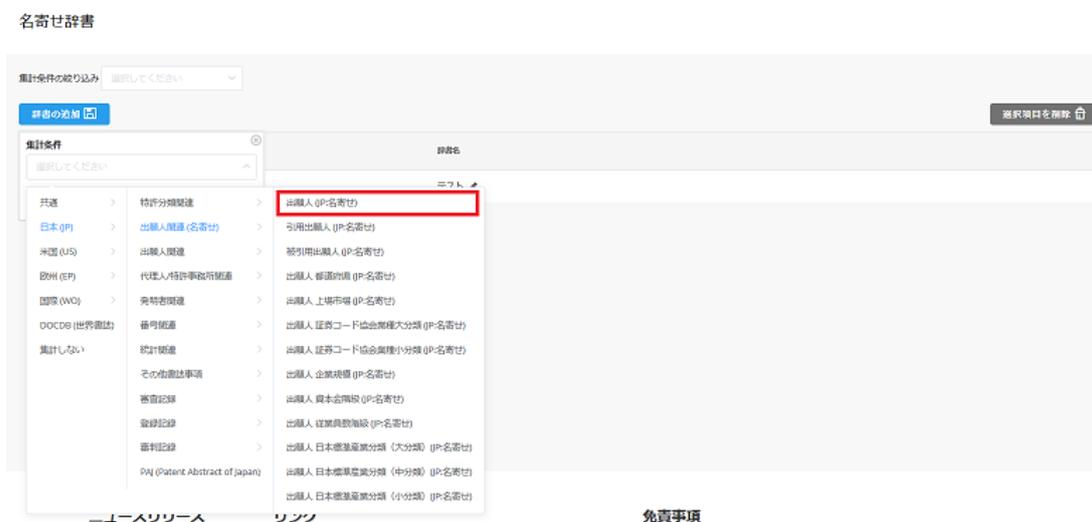
¹⁰¹ RWS から提供された情報を基に記載

【Patentfield¹⁰²：名寄せ辞書】

Patentfieldでは、特定の項目（例：出願人）について、ユーザーが任意に抽出した条件で、名寄せグループを作成することができる。一つ一つ個別にグループを追加する方法と、エクセル形式でグループをまとめてインポートする方法があり、作成した名寄せ辞書を検索結果に反映することが可能である。

また、日本企業のみであるが、科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が提供する企業名辞書をもとに名寄せした検索が可能である。NISTEPの企業名辞書の対象は上場企業等の1万社程度に限られるが、合併や名義変更のデータも含まれている。図 2.7.7 に出願人名寄せの画面例を示す。

図 2.7.7 出願人名寄せの画面例



出典：Patentfield

【PatentSQUARE¹⁰³】

マップ作成時（マトリクスマップ、ポートフォリオマップ）に件数をまとめたい部分を結合する機能で、これを利用して社名変更後の会社名にまとめることや、複数に分かれたデータや関連会社のデータをまとめることができる。すなわち、マトリクスマップやポートフォリオマップで件数をまとめたい部分を結合し、項目リストに表示された旧社名、関連会社等を選択すると、マップ上で結合することが可能である。図 2.7.8 に、マップ作成時における出願人名等の名寄せ手順を示す。

¹⁰² Patentfield ホームページ: <https://patentfield.com/help/identity-verification#/>

¹⁰³ パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料「特許調査支援サービス PatentSQUARE Tips 集」

図 2.7.8 マップ作成時における出願人名等の名寄せ例



出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

【PatSnap Analytics】

PatSnap Analytics は、検索時に出願人を指定する際に、コーポレートツリーを表示する機能を提供している。

【WIPS-Global¹⁰⁴：出願人編集機能】

SmartAngle 機能の中に搭載されている出願人の編集機能を使ってブレのある出願人の名寄せや、一定の意味の下に出願人をグループ化して再統計を行うことができる。また、要素を指定して元のデータを参照することもできるため、分析結果を調査に応用することに適している。

【XLSCOUT¹⁰⁵】

出願人や譲受人の名称情報が、複数の法人格（例：Sumitomo Chemical Corporation、Sumitomo Chemical Co. Ltd. など）やスペルミス（例：Fitbit, Inc.）などによって一貫性を欠く状況は、特許所有権データ分析を行う際の最も重要な要素である正確なデータセット抽出の障害となり得る。また、多くの国の特許庁は、翻訳された出願人名を管理しておらず、出願人名を母国語のみで提供している。これに対して多くのユーザーは、英語名

¹⁰⁴ プロパティホームページ： <https://www.property.ne.jp/sysstem/wipsglobal-ouyou/>

¹⁰⁵ XLSCOUT ホームページ： <https://xlscout.ai/patent-data-accuracy-is-the-base>

のみを入力して譲受人／出願人検索を行うため、一貫性のない名称情報と同様に分析の妨げとなる。

XLSCOUT は、出願人名のデータと会社年鑑のデータをもとに「譲受人クラスター」という名寄せ機能を提供している。

特許分析のためのもう一つの重要なデータ分野として、特許の元の所有者及び現在の所有者の情報がある。XLSCOUT は独自のアルゴリズムを用いて分析対象特許のすべての法的取引と企業名の変更を処理し、元の所有者と現在の所有者を特定し、豊富なデータフィールドとして提供している。

5) まとめ

今回の調査対象商用データベースに搭載されている名寄せ機能は、大きく分けて、提供事業者が独自の調査や修正アルゴリズムを適用した自動処理などを通じて予め名寄せを施したデータベースを提供しているものと、ユーザーが意図する調査、分析の方向性に依じて出願人名等の情報を任意にグループ化したり、名寄せ辞書を作成、編集したりできるものが存在した。

2.8 辞書機能

1) 機能の概要

特許・実用新案に記載された、キーワードとその類義語（同義語・上位語・下位語）等を辞書として持ち、望む検索に適切なワードの候補（選択肢）を表示できる機能である。類義語の場合、AI を活用して機能を実現するものとベンダが情報収集したデータベースを使うものがある。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.8.1 辞書機能が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|----------------------|--------------------------------|-------------|
| 1 | AcclaimIP | Anaqua | — |
| 3 | Biz Cruncher | パテント・リザルト | — |
| 7 | CKS Web | 中央光学出版 | 分類と類義語の照会機能 |
| 9 | CyberPatent Desk | サイバーパテント | 連想語サジェスト機能 |
| 13 | Dialog | Dialog (ジー・サーチ) | — |
| 14 | HYPAT-i2 | 発明通信社 | — |
| 15 | incoPat | BEIJING INCOPAT (Clarivate) | — |
| 16 | Japio 世界特許情報全文検索サービス | 日本特許情報機構 (発明通信社) | — |
| 17 | JP-NET/NewCSS | 日本パテントデータサービス | — |
| 21 | ODIS-NET | オーディス | — |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | — |
| 23 | PatBase | RWS グループ | 企業名辞書 |
| 24 | Patentfield | Patentfield | — |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | — |
| 29 | Shareresearch | 日立製作所 | — |
| 33 | ULTRA Patent | ウィズドメイン | — |
| 34 | WebPat | InnoVue | — |
| 35 | WIPS-Global | WIPS | — |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | コーパス辞書機能 |

凡例: 事業者名の()は、日本の代理店名。提供機能名が「-」は、機能は提供しているが機能名が不明

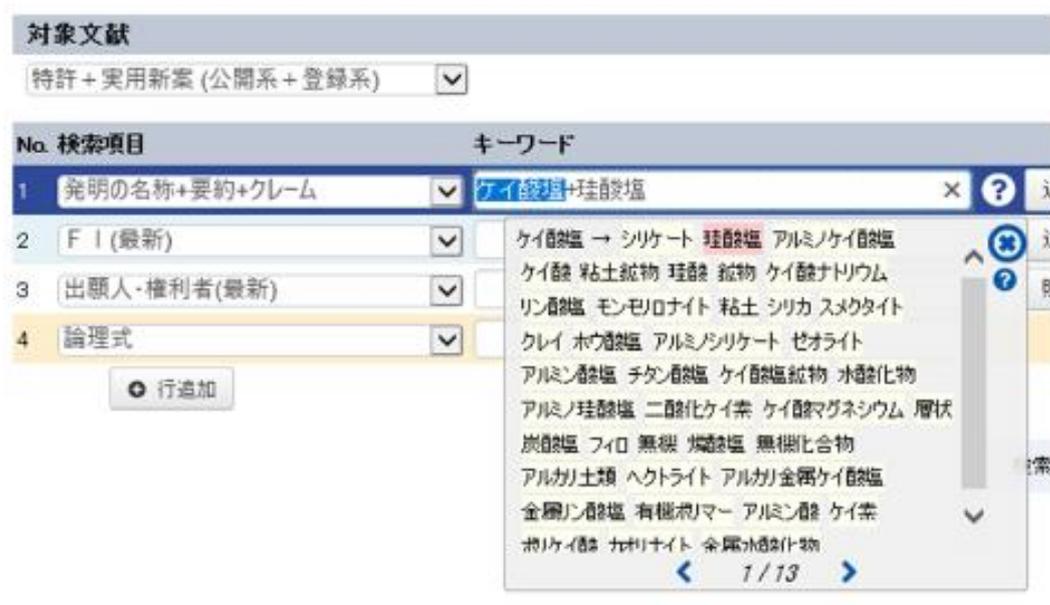
3) 利用用途 (ユーザーメリット)

辞書機能には、以下のユーザーメリットがある。

【CyberPatent Desk¹⁰⁸：連想語サジェスト機能】

AI 活用「連想語サジェスト機能」によりキーワード入力を支援する。特許文献を AI で解析して、あるキーワードに関連が深いキーワードを「連想語」として提供する。検索キーワードが思い浮かばない時や検索式の見直しなどに有効である。図 2.8.2 に、連想語サジェスト機能の画面例を示す。

図 2.8.2 連想語サジェスト機能の画面例



出典：サイバーパテント

【PatBase¹⁰⁹：企業名辞書】

企業名辞書を搭載している（合併、社名変更などを考慮）。コーポレートツリー機能で実現する。

【Sharesearch¹¹⁰】

検索キーワード欄に日本語キーワードを入力すると、実際の公報で使われる表現が類義語リストに表示され、そこで選択したキーワードに対応する英単語を AI がサジェストして表示する。この機能により、特許文章に適した英単語を選択することができ、専門用語の英単語を調べるといった作業の手間を省くことができる。

¹⁰⁸ サイバーパテントホームページ： <https://www.patent.ne.jp/service/patent/search.html>

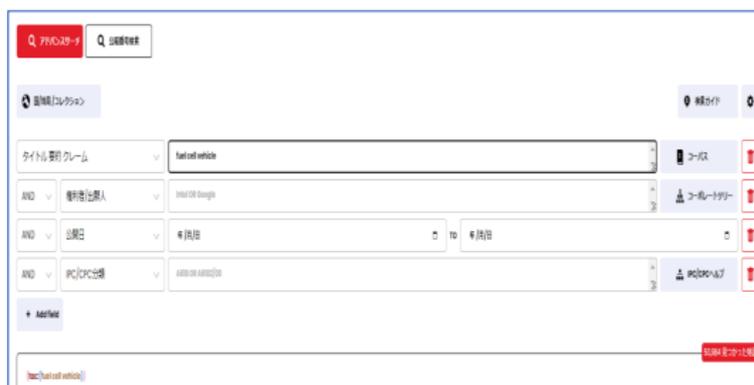
¹⁰⁹ RWS から提供された情報を基に記載

¹¹⁰ 日立製作所から提供された情報を基に記載

【XLSCOUT¹¹¹：コーパス辞書機能】

コーパス辞書機能により、同義語・類義語の参照と追加が簡単にできる。図 2.8.3 に、XLSCOUT の検索画面例を示す。

図 2.8.3 XLSCOUT の検索画面例



出典：レイテック

5) まとめ

類義語の辞書機能には、AI（特に生成 AI）を活用して機能を実現するものとベンダが情報収集したデータベースを使うものがある。さらに、他社との差別化を図るため、競合他社の情報収集を自動化できると謳うものもある。専門家のノウハウを AI の学習に反映させたと説明しているが、実際に専門家が作成した辞書データベースと比較して、その精度に差がないか確認すべきである。

¹¹¹ レイテックホームページ:

<https://www.raytec.co.jp/application/files/6316/8428/9594/XLSCOUT.pdf>

2.9 マップ表示

1) 機能の概要

パテントマップ（特許マップ）とは、特許情報を分析し、その動向等をビジュアル化したものである。パテントマップには、出願人・発明者・国・技術分野など、主要項目について件数をもとにランキングで表示する「ランキング分析」、縦軸・横軸にそれぞれ課題・解決手段の各項目を表示し、交差する点にその件数を表示する「課題・解決分析」、他社の出願について、その引用・被引用件数を表示する「引用・被引用分析」及び特定の業界での共同出願の件数をマトリクス状に表示する「相関関係分析」などがある。

意匠に関しては、意匠情報をビジュアル化したマップを表示するもので、商標に関しては、商標情報をビジュアル化したマップを表示するものである。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.9.1 マップ表示機能が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|--------------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 1 | AcclaimIP | Anaqua | — |
| 2 | Amplified | amplified ai | — |
| 3 | Biz Cruncher | パテント・リザルト | — |
| 5 | CAS Scientific Patent Explorer | CAS（化学情報協会） | — |
| 10 | Derwent Innovation | Clarivate | ThemeScape |
| 15 | incoPat | BEIJING INCOPAT (Clarivate) | 統計分析 |
| 17 | JP-NET/NewCSS | 日本パテントデータサービス | — |
| 18 | Kangxin IP Platform | Kangxin Partners（プロパティ） | Trademark Analytics |
| 19 | Markify | Markify | グラフィカルビュー |
| 21 | ODIS-NET | オーディス | — |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | — |
| 23 | PatBase | RWS グループ | — |
| 24 | Patentfield | Patentfield | — |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | — |
| 26 | PatSnap Analytics | Patsnap | — |
| 27 | Quid | Quid | ネットワークマップ、カンパニーヒートマップ |
| 31 | Tokkyo. Ai | Tokkyo. Ai | パテントマップ |
| 33 | ULTRA Patent | ウイズドメイン | 統計チャート、3D 分析チャート |
| 35 | WIPS-Global | WIPS | — |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | — |

凡例：事業者名の（）は、日本の代理店名。提供機能名が「-」は、機能は提供しているが機能名が不明

3) 利用用途（ユーザーメリット）

マップ表示機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 分析結果を等高線マップで表示するものでは、分析対象の全体像を様々な観点から俯瞰的に見ることができる。
- ・ データソースとして、ニュースやブログ、企業・特許データベース、また、自社で良く用いる情報をカスタムデータとして分析することで、膨大なテキスト情報が視覚的に体系化され、即座に新しい気付きや発見へと導くことも可能となる。
- ・ 出願人、出願年度、特許分類（IPC、FI、Fターム、テーマコードなど）を設定して、特許情報を可視化することで、特許の分布、動向、競争状況などを視覚的に理解しやすくなる。
- ・ 世界地図上にマップ表示する機能を用いると、ワールドワイドな観点から分析結果を一瞥で、素早く確認できる。

4) 機能の詳細

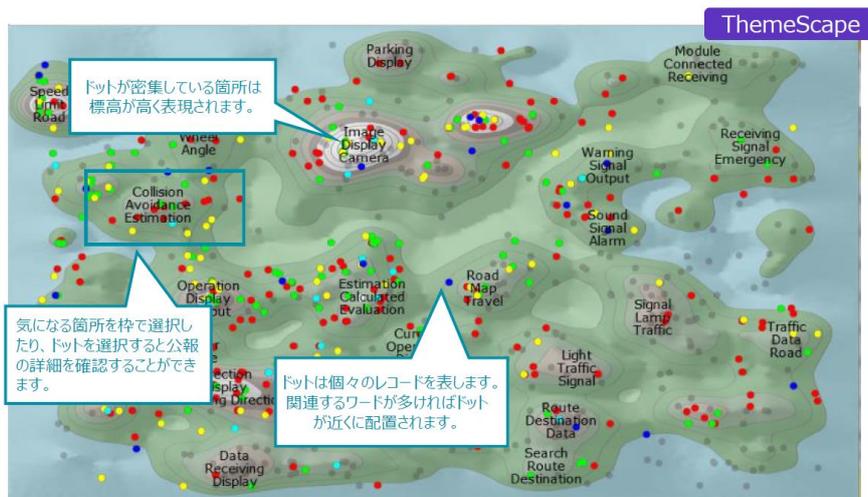
下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。また、具体的な情報が得られなかった商用データベースについては、記載を省略している。

【Derwent Innovation¹¹²：ThemeScape】

ThemeScape とは、Derwent Innovation 特許データ、DWPI の付加価値特許データ又は科学文献コンテンツから情報をテキストマイニングし、マップを作成するデータ解析ツールである。解析結果は等高線マップで表現される。DWPI 抄録を解析対象としてテキストマイニングを実施することで、技術マップ、用途マップ、課題マップなどを得ることができる。得られたマップに対して、更に数多くの項目で再検索することができ、様々な角度から知的財産に関する全体像を俯瞰することができる。図 2.9.1 に、ThemeScape の表示例を示す。

¹¹² Clarivate ホームページ: https://clarivate.com/wp-content/uploads/2021/04/210401_DITextMining_presentation.pdf

図 2.9.1 ThemeScape の表示例



出典：Clarivate

【incoPat^{113,114}：統計分析】

3D 特許サンドテーブル分析は、技術的なトピックでグループ化して、その比較をすることができる。サンドテーブルにさまざまな色のドットでステータスが提示され、カラーバースマークは、グループ内の複数の出願人の案件数の比較結果を示す。3D 特許サンドテーブル分析により、特許の分布がより直感的に俯瞰でき、複数の次元(出願人、地域等)で、マクロレベルからの競争状況の全体的な管理、競合他社又は業界の研究開発の方向性、重要な特許の明確なマーキング、技術の進化の時間軸での動的理解が可能である。

3D 特許サンドテーブル分析を使用してシミュレーションを行うことで、ユーザーは特許レイアウトのホットスポットに焦点を当て、競争の研究開発の方向性と特許ポートフォリオを捉えて、特許の品質と市場競争力を向上させることができる。

また、3D 特許サンドテーブル分析では、特許全文情報を解析し、キーワードをクラスタリングして、3D マッピングを行う。簡単な操作でグルーピングして可視化することが可能で、全体の俯瞰を行いながら各特許情報にもアクセスできる。

さらに、3D 地形パターンを使用して、技術の競争状況について、山はテクノロジーが密集した領域を示し、谷はテクノロジーの空白部分を示す。異なる企業を異なる色でマークすることで、競争状況を明確に示すことができる。本分析では、特許番号、特許価値、技術の影響、特許請求の範囲、経験値などの比較が提供され、ユーザーは特許の強さを迅速かつ視覚的に把握できる。

図 2.9.2 に、3D 特許サンドテーブル分析の表示例を示す。

¹¹³ WIPO ホームページ: <https://inspire.wipo.int/incopat-global-patent-database>

¹¹⁴ Clarivate ホームページ: https://clarivate.com/derwent/wp-content/uploads/sites/3/2020/12/210729_incoPat_presentation.pdf

図 2.9.2 統計分析機能-3D 特許サンドテーブルの表示例

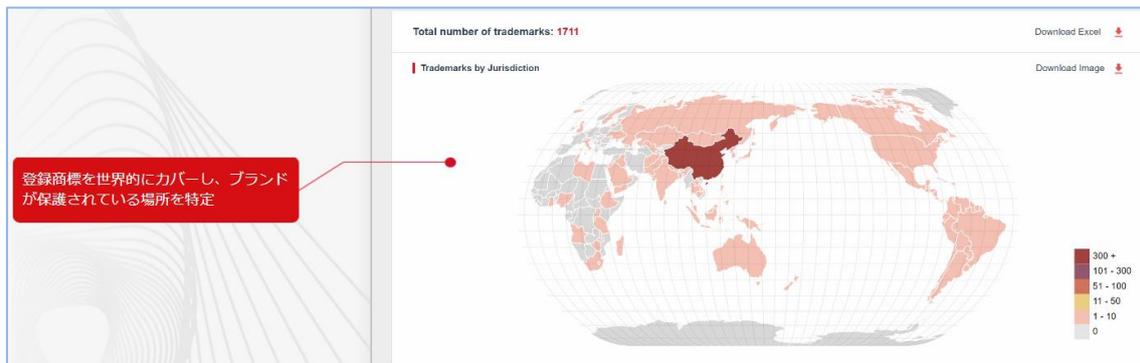


出典：Clarivate

【Kangxin IP Platform¹¹⁵：Trademark Analytics】

Kangxin IP Platformでは、商標のトレンドを理解したいブランド所有者が、明確にレイアウトされた分析を見つけることができる。商標マップは、出願人のポートフォリオの世界的な範囲を視覚化し、商標分析は、43の管轄区域における出願人ごとの出願、出版物、登録に関するデータを提供する。視覚的なデータは、ブランド所有者に商標の現在の傾向のスナップショットを提供し、情報に基づいた意思決定を可能にする。図 2.9.3 に、登録商標の保護地域の分析表示例を、図 2.9.4 に、登録商標のクラス／国別分析の表示例を示す。

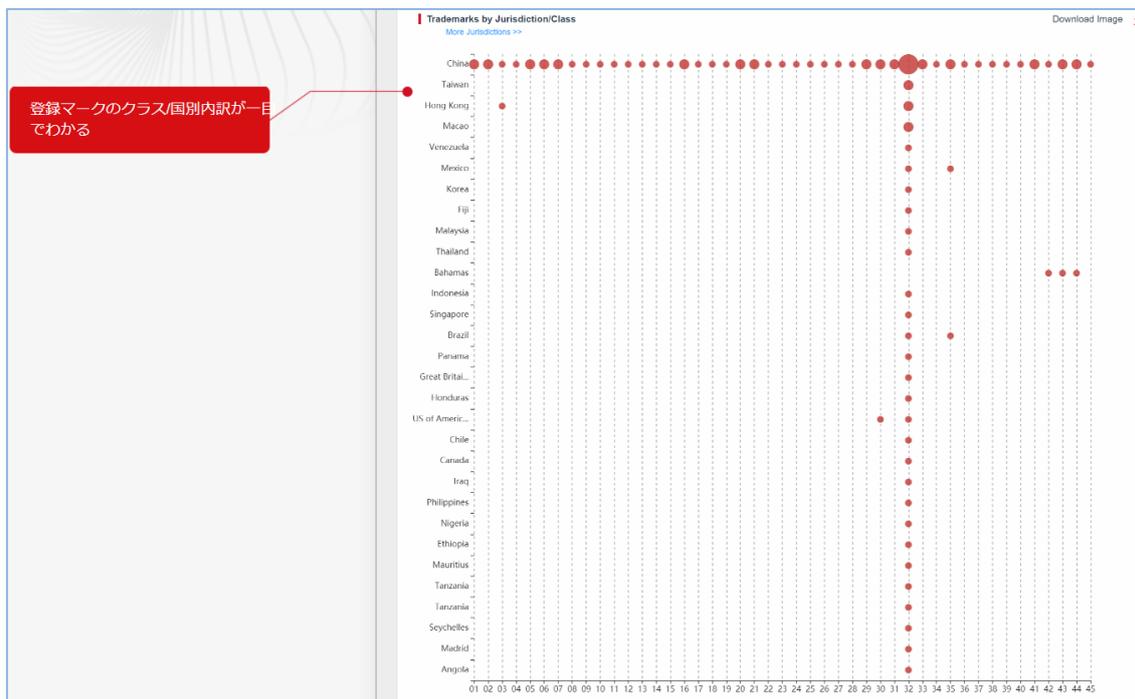
図 2.9.3 登録商標の保護地域の分析表示例



出典：Kangxin Partners, P.C.

¹¹⁵ Kangxin Partners ホームページ：<https://eservice.kangxin.com/html/1/391/index.html>

図 2.9.4 登録商標のクラス／国別分析の表示例



出典：Kangxin Partners, P.C.

【Markify：グラフィカルビュー】

マップ表示機能が個別にあるのではなく、分析を全て網羅した ProSearch の「高度な類似検索」の下層にある機能である。マップ表示に該当する「グラフィカルビュー」では、文字通り、地図が表示され、商標数の密度ごとに色分けされる。国別で類似商標の数が表示されるためリスク国が把握しやすい。レポート作成機能は、言語の選択を入れて、初めて作成されるが、リスク分析のついた商標一覧表であり、グラフや図は表示されない。マップ表示機能としては、大まかに地図表示で地域別で類似商標の密度が出るため視認性が高く、大まかな動向把握ができるため、高度である。

【Orbit Intelligence¹¹⁶】

Orbit Intelligence の分析モジュールとして、様々なグラフ及びそのカスタマイズ機能が提供されている。すべてのグラフはインタラクティブに表示され、ドリルダウンして、グラフを細かく表示していくことが可能である。

¹¹⁶ Orbit Intelligence ヘルプページ: <https://intelligence.help.questel.com/ja-JP/support/solutions/articles/77000435234-チャートのカスタマイズ>

【PatSnap Analytics¹¹⁷】

PatSnap Analytics のマップ表示機能は、データの出力を含め、表示形式としては 24 種類のグラフが用意されている。また、分析の軸の項目は 89 種類以上あり、ユーザー独自の分類などを使って項目をカスタマイズする機能もある。検索結果の母集団を簡単なボタン操作で統計及びグラフ分析が可能である。分析を開始すると、「概要」ページが表示され、6 つのデフォルトのグラフ形式で結果のスナップショットを確認できる。さらに、カスタム分析で詳細な分析も可能である。作成した分析結果は Excel としてデータ出力やイメージデータとしての出力が可能である。図 2.9.5 に、分析グラフの表示例を示す。

図 2.9.5 分析グラフの表示例



出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

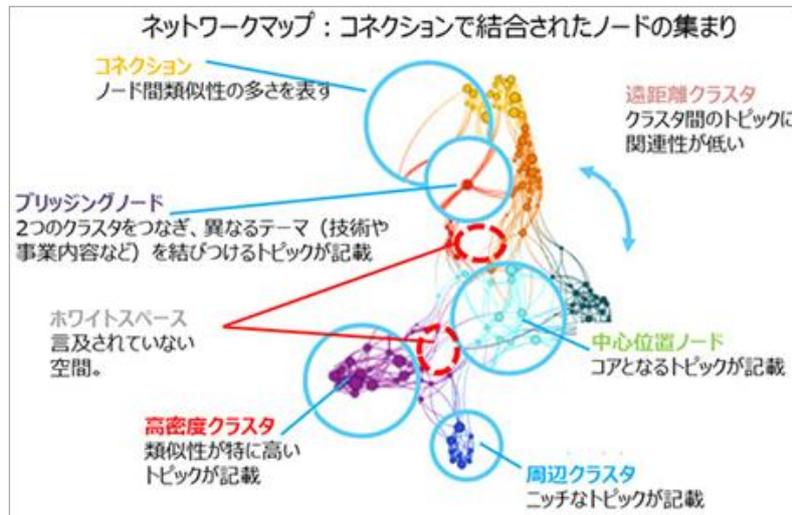
【Quid¹¹⁸：ネットワークマップ】

自然言語処理とディープラーニングを含めた AI 技術を用いて、様々なテキスト情報を検索・分類し、独自の視覚化エンジンによりネットワークマップを作成することができる。特に、データソースとして、ニュースやブログ、企業・特許データベース、また、自社でよく用いる情報をカスタムデータとしてアップロードすることで、膨大なテキスト情報が視覚的に体系化され、即座に新しい気付きや発見へと導くことができる。図 2.9.6 及び図 2.9.7 に、Quid のネットワークマップの表示イメージを示す。

¹¹⁷ 中央光学出版ホームページ：<https://www.cks.co.jp/home/Products/PatSnapAnalytics.html>

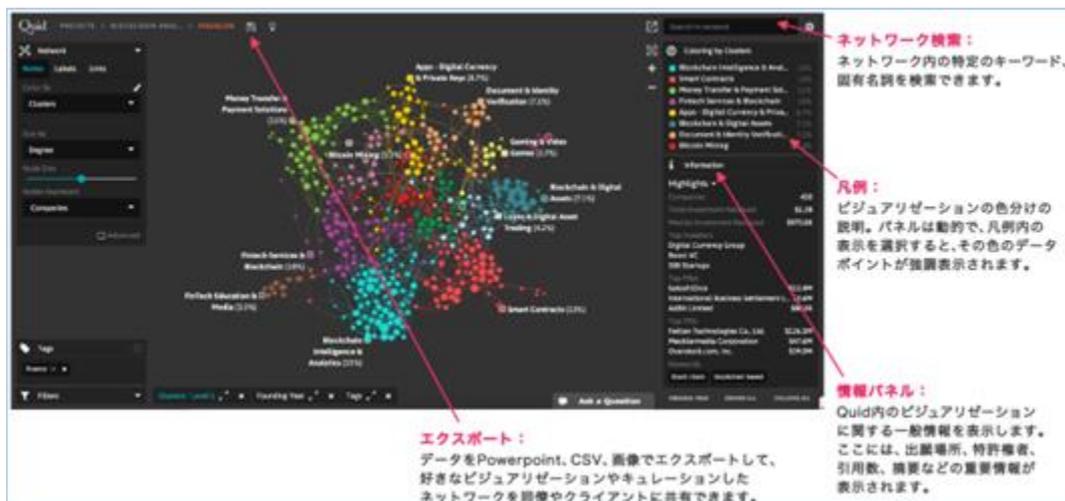
¹¹⁸ 伊藤忠テクノソリューションズホームページ：<https://www.ctc-g.co.jp/solutions/quid/>
https://ls.ctc-g.co.jp/products/quid/quid_case_innovation.html

図 2.9.6 ネットワークマップの表示イメージ



出典：伊藤忠テクノソリューションズ

図 2.9.7 特許データセットのネットワークマップの表示例



出典：伊藤忠テクノソリューションズ

【Tokkyo. Ai¹¹⁹：パテントマップ】

X 軸や Y 軸に出願人、出願年度、特許分類 (IPC、FI、F ターム、テーマコードなど) を設定して、特許情報を可視化できる。このマッピングにより、特許の分布、動向、競争状況などを視覚的に理解しやすくする。また、特許の件数ランキングを表示することも可能である。

図 2.9.8 に、パテントマップの表示例を示す。

¹¹⁹ Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/tokkyo-wiki/patent-analysis-function/>

図 2.9.8 パテントマップ機能の画面例

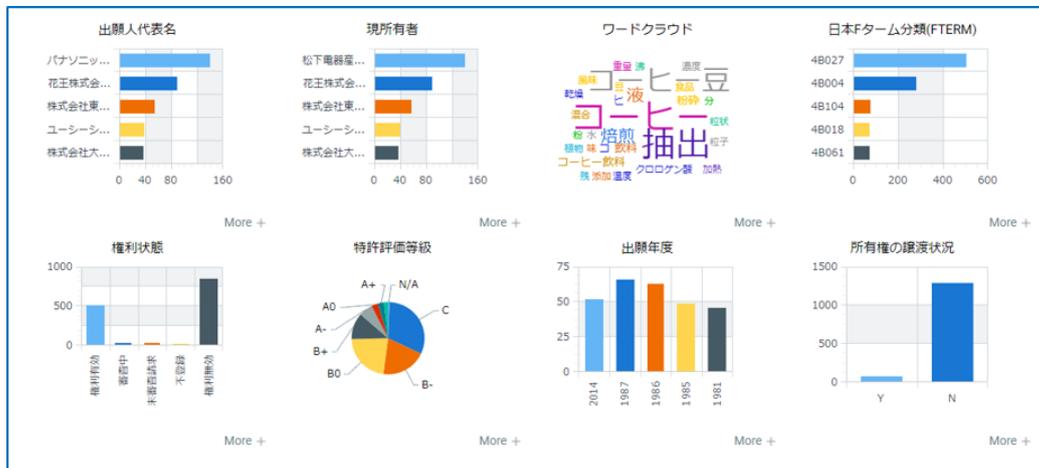


出典：Tokkyo.Ai

【ULTRA Patent¹²⁰：統計チャート】

特許結果を出願人、出願年度、特許評価等級、権利状態、国別特許件数などの項目に分け、チャート化する。また、チャート内で確認したい部分をクリックすると検索結果が表示される。統計チャートの出力例を、図 2.9.9 に示す。

図 2.9.9 統計チャートの出力例



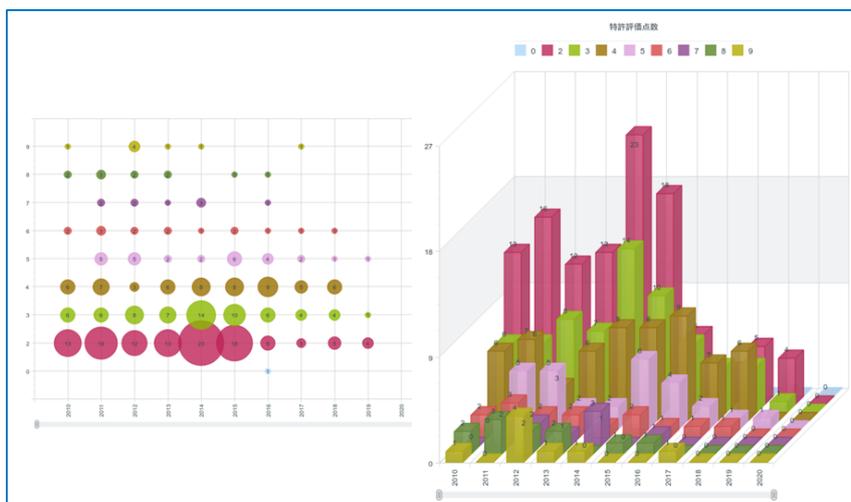
出典：ウィズドメイン

【ULTRA Patent¹²⁰：3D分析チャート】

検索結果を多様な項目で統計分析し、その内容を多様なチャートで表示する。チャート上の項目選択し、必要な情報を絞り込むことができる。3D分析チャートの出力例を図 2.9.10 に示す。

¹²⁰ ウィズドメインホームページ: <https://www.ultra-patent.jp/About/Features>

図 2.9.10 3D 分析チャートの出力例



出典：ウィズドメイン

【XLSCOUT¹²¹】

XLSCOUT では、検索画面から解析画面への切り替えをスムーズに行うことができ、それぞれの検索結果をすぐにグラフ化して分析することができる。

5) まとめ

マップ表示機能については、各社各様で様々な取り組みをしているようで、テキストマイニングを利用したり、キーワードクラスタリングを利用したり、中には独自のビッグデータ処理技術を採用して分析を行ったりしている。また、最近では、自然言語処理(NLP: Natural Language Processing)とディープラーニングを含めた AI 技術を用いて、世界中のテキスト情報を検索・分類し、独自の視覚化エンジンによりネットワークマップを表示するものまで出てきている。マップ表示としては、技術動向、プレイヤー・競合、特定機関や特定研究者などの観点で分析・可視化するもの、また、注目する技術に対して、論文、特許並びに社会実装・市場化の指標である新聞記事を横断して検索・分析して可視化するものもなど、様々な機能が開発されている。

商標のマップ表示では、世界地図上に商標の権利化状況をマップ表示することで、ワールドワイドでの状況を一瞥で把握できる機能も提供されている。

¹²¹ レイテックホームページ:

<https://www.raytec.co.jp/application/files/2016/7887/8534/XLSCOUT.pdf>

2.10 チャットボット機能

1) 機能の概要

本調査では、AI 技術等を活用した自動会話プログラム（AI ロボット）により、AI ロボットとの自然文による会話を通じて必要とする情報を得る機能をチャットボット機能と定義した。本調査は、商用データベース事業者に依頼したアンケート回答を基に調査を進めたが、アンケート回答では、自然文を用いて検索を実施する機能や、自然文で発明の概要を入力することによって明細書文案を作成し、さらに、修正点を入力して明細書文案の修正を進めていくような、生成 AI 技術を活用したインタラクティブな機能も含めてチャットボット機能とする回答が散見された。これらは、広義的にはAI ロボットとの対話による機能であると言えるが、AI ロボットとの自然文による会話を通じて実現する機能だけを本項目の対象とし、それ以外は、類似検索・概念検索の項目や、特許自動生成機能の項目で扱うこととする。

2) 機能が搭載されている商用データベース

チャットボット機能が搭載されている商用データベースを表 2.10.1 に示す。Patentfield 及び XLSCOUT は類似検索・概念検索で、Tokkyo.Ai は特許自動生成で、チャットボットを用いた入力支援機能が提供されている。これら機能については、それぞれの高度の機能で述べる。また、incoPat は有人のユーザーサポートとの通信機能と見受けられることから、機能の詳細では述べない。

表 2.10.1 チャットボット機能が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|-------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 4 | Brand Mark Search | 日本パテントデータサービス | ヘルプ機能 |
| 15 | incoPat | BEIJING INCOPAT (Clarivate) | QA |
| 24 | Patentfield | Patentfield | AI セマンティック検索（類似検索・概念検索） |
| 31 | Tokkyo.Ai | Tokkyo.Ai | 特許生成 AI（特許自動生成） |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | NOVELTY CHECKER（類似検索・概念検索） |

凡例：事業者名の（）は、日本の代理店名

3) 利用用途（ユーザーメリット）

チャットボット機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 従来のキーワード検索のように、完全一致でヒットする複数のキーワードを並列して与えたり、複雑な検索式を検討する必要がなく、自然文による検索を行うことができる。

- ・ 検索機能を熟知していないユーザーであっても、チャットボットの指示に従って入力することで検索が可能になる。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。

【Brand Mark Search : ヘルプ機能】

事業者からのアンケート回答では「チャットボット機能あり」と示され、ヘルプ機能と注釈されている。そのため、ヘルプ機能を開いた際にチャットボットでヘルプを検索することが可能と考えられるが、それ以上の具体的な情報は得られなかった。

5) まとめ

本調査では、AI 技術等を活用した自動会話プログラム (AI ロボット) により、AI ロボットとの自然文による会話を通じて必要とする情報を得る機能をチャットボット機能と定義した。生成 AI 技術を活用してインタラクティブな処理を行うデータベースが最近増加しているものの、自然文による会話で機能を実現することを重視しているデータベースは少ない印象である。その中で、Brand Mark Search のヘルプ機能には、チャットボット型のヘルプ検索機能が搭載されているようである。

2.11 特許自動生成機能

1) 機能の概要

AI 技術により、特許・実用新案の明細書等を自動的に生成して出力する機能である。本機能は、先進の生成 AI 技術、あるいはこれに相当する独自技術により実現されている。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.11.1 特許自動生成機能が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|------------|------------|---------|
| 31 | Tokkyo. Ai | Tokkyo. Ai | 特許生成 AI |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | IDEACUE |

3) 利用用途（ユーザーメリット）

特許自動生成機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 調査が多くて人手が足りない場合でも、誰でも特許申請をスムーズに進めることができる。特許に対する特殊な知識やスキルは不要で、経験の浅いユーザーでも課題やアイデアを入力するだけで明細書が自動的に作成され、煩わしい作業から解放される。
- ・ 説明可能な AI 技術により、膨大なデータベースから隠れたインサイトを抽出できる。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。

【Tokkyo. Ai^{122, 123}：特許生成 AI】

特許生成 AI は、特許明細書の作成を支援する。OpenAI の最新技術 GPT を活用し、特許明細書の生成を効率的に行う。ChatGPT API を活用した特許生成 AI により、複雑な明細書を、簡単な概要文の入力のみで自動生成する。

特許生成 AI は、ビジネスアイデアを簡単に特許文案にすることが特徴で、初期ドラフト（明細書のイントロの部分）をわずか数十秒で素早く作成することが可能である。文章（発明の概要）を入力して生成ボタンを押せば、それに基づいて発明の概要を出力する。

¹²² Tokkyo. Ai ホームページ：<https://www.tokkyo.ai/pvt/gpt/>

¹²³ Tokkyo. Ai ホームページ：<https://www.tokkyo.ai/info/chatgpt/>

その概要をベースに、知財部門と開発部門とのコミュニケーションギャップを埋めたり、弁理士への相談の文案のベースにしたりするという使い方ができる。また、請求項を生成してすぐに類似特許検索を行うことが可能で、類似率を見て、類似率が高い特許があれば発明の内容を変えることや、知財部門と開発部門でリストを共有して認識の共通化を図るといったことにも利用できる。図 2.11.1 に、特許生成 AI の入力画面例を、図 2.11.2 に、特許生成 AI の明細書生成画面例を示す。

図 2.11.1 特許生成 AI の入力画面例



出典：Tokkyo.Ai

図 2.11.2 特許生成 AI の明細書生成画面例



出典：Tokkyo.Ai

【XLSCOUT¹²⁴：IDEACUE】

IDEACUE は、ユーザーオリジナルのアイデアと組み合わせることができる、他の技術要素や革新的なコンセプトを表示する。システムは、特許やその他の技術文献でファインチューニングされた大規模言語モデルを使用し、課題解決発明理論に基づいて新しいアイデアを提案する。アイデアの元となる課題をベースに、AI が技術的要素を組み合わせた課題解決策を提案する。具体的には、AI が提案する文章を1つ選択すると、その文章がユーザーのアイデアに追加される。「Draft Claim」をクリックすると、AI が作成した独立クレームのドラフトが表示される。

最初の提案段階では新規性があるかはまだわからないが、そこにユーザーのアイデアを足して新規性をチェックすることを何度も繰り返すことによって、新規性を含むドラフト作成ができるという流れになる。自動的に特許を作るという機能ではなく、あくまでもユーザーをサポートする機能である。

¹²⁴ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/ideacue>

5) まとめ

本機能はユーザーにとって使い易く、その利用に対してハードルが低いと想定される。また、先進技術により実現されるもので、今回の調査で実装できていたのは数社だけだった。ただし、利用にあたっては、生成された文書の精度がどのレベルにあるのか検証しておく必要があるものと想定される。

2.12 特許性判断機能

1) 機能の概要

特許性の有無を判断する機能である。類似検索機能の検索結果から潜在的な権利者、関連企業や競合企業を特定し、製品開発・実施・権利化を阻害する可能性を検討できる。

2) 機能が搭載されている商用データベース

表 2.12.1 特許性判断機能が搭載されている商用データベース

| No. | データベース名 | 事業者名 | 提供機能名 |
|-----|--------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 10 | Derwent Innovation | Clarivate | 予測分析 |
| 15 | incoPat | BEIJING INCOPAT (Clarivate) | AI 検索 |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | NOVELTY CHECKER・ INVALIDATOR |

凡例:事業者名の()は、日本の代理店名

3) 利用用途（ユーザーメリット）

特許性判断機能には、以下のユーザーメリットがある。

- ・ 本機能により、非常に類似した特許の検索結果を使って潜在的な権利者、関連企業や競合企業を特定し、製品開発・実施・権利化を阻害する可能性を検討できる。
- ・ 誰でも特許申請をスムーズに進めることができる。特許に関する専門的な知識や手続きに詳しくないユーザーでも、自身のアイデアが特許として成立する可能性を把握し、負担を大幅に削減できる。ユーザーは手軽に特許調査を行い、特許登録の可能性を評価することが可能となる。

4) 機能の詳細

下記のとおり、データベースごとに提供機能の詳細を解説する。なお、当該解説は、各データベースの提供事業者から得られた情報等に基づいて調査事業者が作成したものであり、他のデータベースと比較したものではない。

【Derwent Innovation¹²⁵：予測分析】

Derwent Innovationでは、最高クラスのデータと最新のデータサイエンス技術を組み合わせ、ユニークで実用的なデータを生成している。予測分析は、150 を超える主要な入

¹²⁵ Clarivate ホームページ: https://clarivate.com/ja/wp-content/uploads/sites/15/2022/09/Derwent-webinar-指標_新機能_20200612a.pdf

力変数から機械学習に基づいて情報を取得し、「技術分野での重要度」「戦略的重要性」及び「総合特許インパクト」の価値指標に関わる3つの指標と、「登録の可能性」「早期失効の可能性」及び「失効後の回復の可能性」のイベントに関わる3つの指標を作成する。

「価値指標」に関わる指標の詳細を以下に示す。

- ・ 技術分野での重要度：

技術領域における特許公報の相対的な重要度。今後10年間で他社による被引用が多くなるかどうか（他社特許の審査段階で参照されるかどうか）を予測する。
- ・ 戦略的重要性：

企業における特許公報の相対的な重要度。今後10年間で自社による被引用が多くなるかどうか（自社特許の審査段階で参照されるかどうか）を予測する。
- ・ 総合特許インパクト：

Clarivate の様々なスコアを組み合わせた、特許公報の総合的な重要性。

予測分析の指標は、データベース全体のスコアを正規化して、100ポイントのスケールを使用しており、様々な技術分野間の比較を可能にしている。スコアは相対的な強さを示す。図 2.12.1 に、価値指標スコアの例を示す。

図 2.12.1 Derwent Innovation における価値指標スコアの例

価値指標スコアの例：



出典：Clarivate

【incoPat¹²⁶：AI 検索】

AI 検索は、技術の要約（技術明細）から特許文献を検索する機能であり、新規性検索、無効検索、権利侵害リスク検索の3つの機能がある。

¹²⁶ incoPat ホームページ: <https://www.incopat.com/login?locale=ja>

技術明細を入力すると、類似度の高い上位 2000 件の記事を関連性の高い順にソートして表示する。さらに、DNA 技術マップ分析(現在、中国特許のみ)では、ユーザーと incoPat システムをインタラクティブに関連キーワードの選択や構造化をサポートし、検索結果の精度を高める。

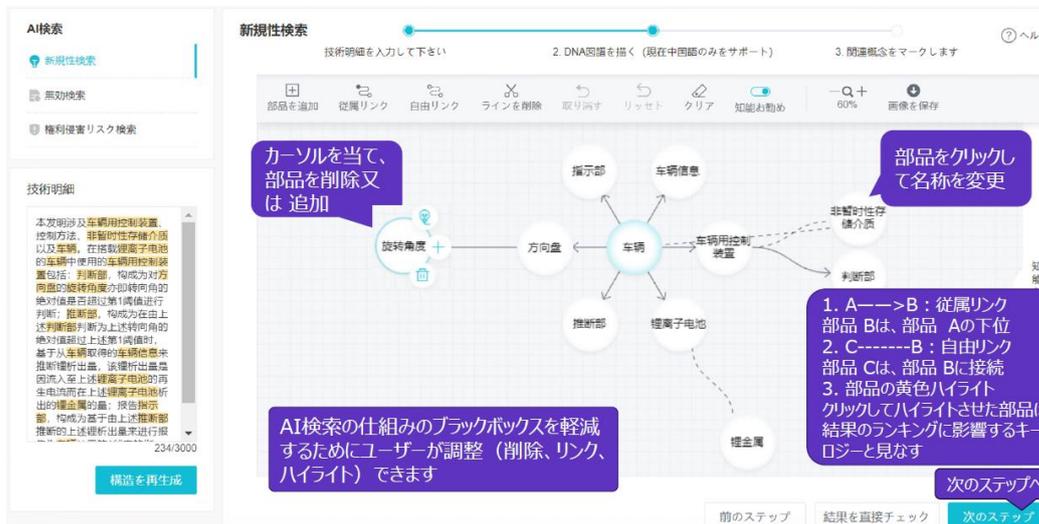
図 2.12.2、図 2.12.3、図 2.12.4、図 2.12.5 に、incoPat の新規性検索画面例を示す。

図 2.12.2 incoPat の新規性検索画面 (STEP1) 例



出典 : Clarivate

図 2.12.3 incoPat の新規性検索画面 (STEP2) 例



出典 : Clarivate

図 2.12.4 incoPat の新規性検索画面 (STEP3) 例



出典 : Clarivate

図 2.12.5 incoPat の新規性検索画面 (AI 検索結果) 例



出典 : Clarivate

【XLSCOUT¹²⁷ : NOVELTY CHECKER】

NOVELTY CHECKER は、AI を利用してアイデアを検証できる。人工知能と機械学習を利用した迅速な先行技術分析により、手作業による時間を削減し、検索を迅速化し、最初の方角性を提示する。簡単な言葉でアイデアを送信、AI の提案から関連するものを選択、最高の分析と自動化されたレポートへのアクセスの 3 ステップでシンプルに使える。カスタムコーパスオプションを利用して、ノベルティ検索をより正確にすることができる。意味解

¹²⁷ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/novelty-checker>

析と文脈解析のアルゴリズムは、よりインテリジェントになり、カスタムコーパスオプションでは、顧客のドメインに関連するデータでコーパスを訓練する。そのメリットは、次のとおりである。

- ・ 数回のクリックで、初回のアイデア類似性レポートを提供する。
- ・ 迅速なアイデア検証及びイノベーション・インテリジェンス・ツールとして機能する。
- ・ 特許及び非特許の先行技術を含む。
- ・ 専門家を必要としない。

図 2.12.6 に、XLSCOUT の NOVELTY CHECKER 画面例を示す。

図 2.12.6 XLSCOUT の NOVELTY CHECKER 画面例



出典：XLSCOUT

【XLSCOUT¹²⁸：INVALIDATOR】

INVALIDATOR は、AI と事前学習済の独自コーパス辞書を利用して、特定の競合他社の特許請求項に焦点を当てて、先行技術に素早くアクセスできる。「対象となる特許番号を入力」「興味のあるクレームや技術的バリエーション、キーワードを選択して AI に指示する」「分析結果やレポートとともに、ランク付けされた先行技術文献を入手する」の 3 ステップでシンプルに使える。無効資料調査機能は、分類、引用、権利者などのインテリジェントな特許パラメータと自然言語処理モデルを組み合わせ、文脈上のパラメータや専門家のパラメータに基づいて結果を明らかにする。そのメリットは、次のとおりである。

- ・ 完全に自動化された迅速な無効資料調査レポート
- ・ 特定のクレームに焦点を当てた分析

128 XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/invalidator>

- ・ 使いやすいインターフェース
- ・ 事前学習済の独自コーパス辞書との統合
- ・ 特許番号を入力してクイック検索が可能

XLSCOUT の特徴として、は母集団を作った段階で IP ランドスケープの画面が出て来るので、検索した結果や無効資料・先行技術文献調査の結果を、IP ランドスケープですぐに見ることができる。図 2.12.7 に、XLSCOUT の INVALIDATOR 画面例を示す。

図 2.12.7 XLSCOUT の INVALIDATOR 画面例



出典：XLSCOUT

5) まとめ

類似検索機能の差別化要素として、類似特許の検索により特許性の評価が可能と謳っている。ただし、その評価精度は公表されておらず、検証結果が待たれる。

3. 各商用データベースの概要及び機能等

表3に、本章で調査した36の商用データベースを示す。これらの商用データベースについて、当該商用データベースを提供している事業者や代理店のホームページなどから得られる情報を基に、商用データベースの概要、収録データ、機能一覧、高度な機能及び導入コストについて調査した。また、10の商用データベース事業者に対し、ヒアリングを実施し、提供している高度な機能の特徴や今後の提供予定などや、J-PlatPatに関する意見等を収集した。

なお、本章の各商用データベースの概要や、収録データ、機能一覧、高度な機能等は、本調査を実施した2024年2月現在のものである。

表3 調査対象の商用データベース一覧

| No. | サービス名 | 事業者名 | 法域 | ヒアリング |
|-----|--------------------------------|-----------------------------|----------|-------|
| 1 | AcclaimIP | Anaqua | 特実 | — |
| 2 | Amplified | amplified ai | 特実 | — |
| 3 | Biz Cruncher | パテント・リザルト | 特実 | — |
| 4 | Brand Mark Search | 日本パテントデータサービス | 商標 | — |
| 5 | CAS Scientific Patent Explorer | CAS (化学情報協会) | 特実 | — |
| 6 | CAS STNext | CAS (化学情報協会) | 特実 | — |
| 7 | CKS Web | 中央光学出版 | 特実、意匠 | — |
| 8 | Cotobox | cotobox | 商標 | — |
| 9 | CyberPatent Desk | サイバーパテント | 特実、意匠、商標 | ○ |
| 10 | Derwent Innovation | Clarivate | 特実 | ○ |
| 11 | Design Scope | 知識産権出版社有限責任公司 (プロパティ) | 意匠 | — |
| 12 | Design Search | InQuartik | 意匠 | — |
| 13 | Dialog | Dialog (ジー・サーチ) | 特実 | — |
| 14 | HYPAT-i2 | 発明通信社 | 特実、意匠、商標 | — |
| 15 | incoPat | BEIJING INCOPAT (Clarivate) | 特実 | ○ |
| 16 | Japio 世界特許情報全文検索サービス | 日本特許情報機構 | 特実 | — |
| 17 | JP-NET/NewCSS | 日本パテントデータサービス | 特実、意匠、商標 | — |
| 18 | Kangxin IP Platform | Kangxin Partners (プロパティ) | 商標 | — |
| 19 | Markify | Markify (サイバーパテント) | 商標 | — |

| | | | | |
|----|--------------------|-----------------------|-------------------------|---|
| 20 | ODI-GAZETTE | オーディス | 商標、意匠 | — |
| 21 | ODIS-NET | オーディス | 特実 | — |
| 22 | Orbit Intelligence | Questel | 特実、意匠 | ○ |
| 23 | PatBase | RWS グループ | 特実 | |
| 24 | Patentfield | Patentfield | 特実、意匠 | ○ |
| 25 | PatentSQUARE | パナソニック ソリューションテクノロジー | 特実、意匠 | ○ |
| 26 | PatSnap Analytics | PatSnap (中央光学出版) | 特実、意匠 | ○ |
| 27 | Quid | Quid (伊藤忠テクノソリューションズ) | 特実 | — |
| 28 | SAEGIS | Clarivate | 意匠、商標 | — |
| 29 | Shareresearch | 日立製作所 | 特実、意匠 | ○ |
| 30 | TM go365 | Clarivate | 意匠、商標 | — |
| 31 | Tokkyo.Ai | Tokkyo.Ai (プロパティ) | 特実、(意匠、商標) ¹ | ○ |
| 32 | Toreru | Toreru | 商標 | — |
| 33 | ULTRA Patent | ウィズドメイン | 特実 | — |
| 34 | WebPat | InnoVue (プロパティ) | 特実 | — |
| 35 | WIPS-Global | WIPS (プロパティ) | 特実 | — |
| 36 | XLSCOUT | XLSCOUT | 特実 | ○ |

凡例:「○」は実施、「—」は未実施、「特実」は、特許・実用新案のこと、事業者名の()は、日本の代理店名

¹ Tokkyo.Ai は、意匠及び商標も提供しているが、本調査では特許・実用新案についてのみ調査を実施

3.1 「AcclaimIP」

1) 概要²

AcclaimIPTMは、米国の Anaqua, Inc. が提供する包括的な特許検索・分析ツールであり、直感的に使用できるインターフェースで複雑で時間のかかる特許調査、特許分析作業や権利化の可能性探求をスピーディーに行うことができる。自ら業界最速と謳う検索・分析機能には、特許ランドスケープ、ロックアウト検索、先行技術検索、FTO (Freedom to Operate) から、オフィスアクション (拒絶理由通知) への応答、審査官インタビュー要求、RCE 請求 (継続審査要求) や不服審判請求などに対して最適な中間処理対応の意思判断を支援する独自の審査官分析に至るまで、特許の調査、分析、管理に役立つ様々な機能が含まれている。

(参考) Anaqua, Inc. について³

AcclaimIP を提供している Anaqua (アナクア) は、米国 ボストンに本社を置き、企業や特許・知財法律事務所の知的財産管理、調査、分析等を支援するソフトウェアである AQX そして PATTSY WAVE やサービスを提供している。

Anaqua は、知財ソフトウェアに存在するギャップを埋めることを目的として、20 年前、フォード・モーター・カンパニー (Ford Motor Company) 及びブリティッシュ・アメリカン・タバコ (British American Tobacco) の知財管理のリーダー達により設立された。当時は、既存の商用システムや自社開発のシステムを集めた環境の中で知財を管理していたことから、データの信頼性の低さなどにより知財に対するコストやリスクが高まる一方であった。この問題を解決するための知財向けの新しいウェブベースの総合型システムとして、コラボレーションを図り、特許や商標、意匠、企業秘密、契約に関する知財実務の全過程の管理を自動化できる包括的なソフトウェアプラットフォームが共同で検討された。このコラボレーションの結果として生まれたものが、ウェブベースの知財向け統合型プラットフォーム「Anaqua」の起源である。

Anaqua は、提供するシステム、ツール及びサービスの単なる現状維持のメンテナンスを行うだけではなく、一連のソリューションやサービスを補完するために、顧客とのコラボレーションも反映した形で戦略的に統合し強化を行っている。Anaqua は、次世代知財ソリューションとしての製品・サービス群を拡大しながら、世界中のイノベーターをサポートし、知財を通して世界にポジティブなインパクトを与えることに専念している。

² Anaqua ホームページ: <https://www.anaqua.com>

³ Anaqua からの提供情報を基に記載

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 日本／米国／欧州／WIPO(PCT)／中国／韓国／ドイツ／フランス／台湾／ロシア／ブラジルなどを含む 105 以上の各国特許庁や機関のデータを収録 ⁴ |
| 収録範囲 | 30%程度が全文データで、残りの 70%が書誌項目のみ収録されている。 |
| タイムラグ | 1 週間～数カ月 |
| 更新頻度 | 週次 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|---------|---|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、ファミリー情報 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 英語名検索 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | ステータス検索も可能 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | <u>入力支援機能、ノックアウト検索（類似特許の検索、自然文検索（概念検索））</u> |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用、文書リストのフォルダ保存 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | 検索結果ページで検索結果のリストを表示 |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー |

⁴ Japio YEAR BOOK 2023: <https://japio.or.jp/00yearbook/intro2023.html>
「システム／サービス紹介」下の「各社システム／サービス主要機能一覧・まとめ」
https://japio.or.jp/00yearbook/files/2023introduction/01_05_all.pdf

| | | | |
|-----------|--------------------|---|---|
| 閲覧 | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能 |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | 検索結果は検索結果プロジェクト又は検索フォルダに保存が可能 |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | 複数様式で特許をランキングすることが可能 |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | ランドスケープマトリクスで用語別位相マップ表示が可能 |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | AcclaimIP Annuity Decision Report (主要な特許指標を用いて価値評価を示す機能) |
| | 審査無効文献の推定 | 特許・実用新案 | － |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | AcclaimIP Annuity Decision Report (タイムライン表示の様相でファミリー表示が可能) |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | IP Strategy Report (テクノロジーフォーカス) と Company Name Report (企業別) |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | Advanced Citation、Uncited Prior Art |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等) | 特許・実用新案 | 特許分析レポート、技術分析及び競合分析 特許の現状理解を促進するだけでなく、将来傾向や予測に対する理解・分析を可能にする機能 |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報 | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正、アラート機能 (SDI ⁵ ・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 | |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

AcclaimIPでは、発明における重要用語(キーワード)を用いて先行技術を素早く検索できる「ロックアウト検索」機能が提供されている。また、特許の現状理解を促進するだけでなく、将来傾向や予測に対する理解・分析を可能にする「特許分析レポート」、「技術分析」及び「競合分析」、特許ポートフォリオ強化に役立つ新しく高度な引用機能と引用されていない先行技術機能を有する「Advanced Citation、Uncited Prior Art」、主要な特許指標、請求分析、中間処理履歴、特許ファミリーのタイムライン、引用と拒絶の指標などを網羅した基準で特許の価値評価を示す「AcclaimIP Annuity Decision Report」が提供されている。

⁵ SDIは、Selective Dissemination of Informationの略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

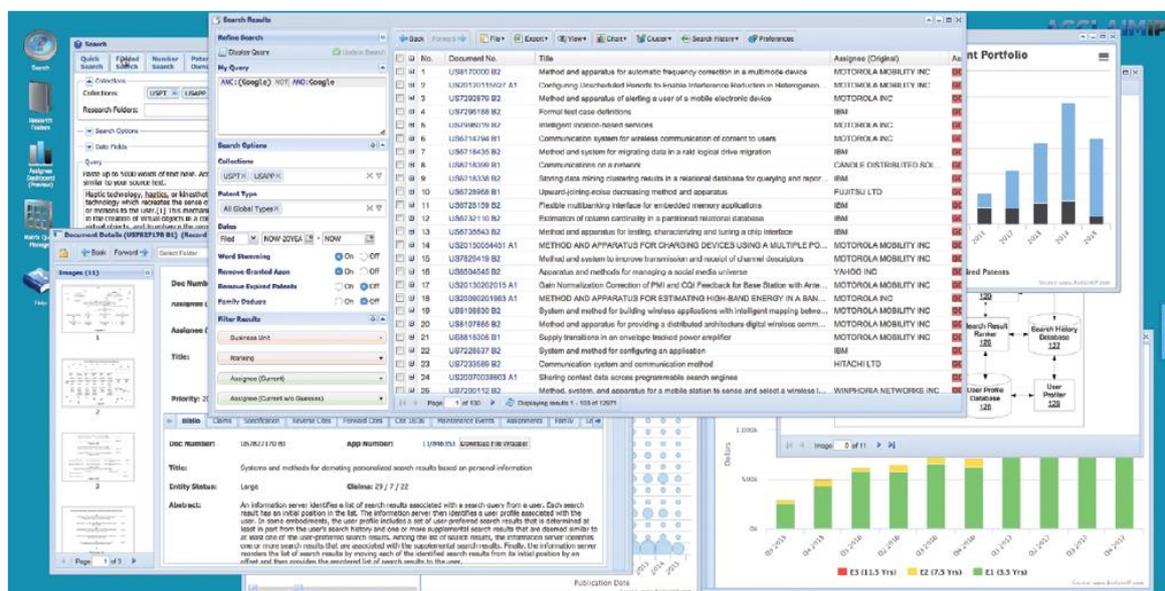
【ロックアウト検索⁶（類似検索・概念検索）】

ロックアウト検索は、直観的に使用できるユーザーインターフェースで効果的な調査・検索を可能にする機能であり、以下のような特徴を持つ。

- ・ 自然言語検索、そして容易なフィルタリングが可能
- ・ 開示された発明情報に基づき、先行技術を幅広く適格に素早く検索
- ・ 重要用語を使い明確な先行技術を発見
- ・ 費用をかけた先行技術調査を詳細に行うべきかの判断に貢献
- ・ ロックアウト検索を綿密な先行技術調査と兼ね合わせることで無駄なりソース消費を回避

図 3.1.1 に、AcclaimIP の検索画面の例を示す。

図 3.1.1 AcclaimIP の検索画面例



出典：Anaqua

【特許分析レポート⁷（特許情報分析）】

AcclaimIP の特許分析ツールは現状理解を促進するだけでなく、将来傾向や予測に対する理解・分析を可能にする。特許分析を通して特許情報を検索し、必要なデータを可視化、所有する特許ポートフォリオや市場に対する知見を提供し、情報に基づいた知財判断を可能にする。

AcclaimIP には、約 1.5 億件の特許情報が含まれ、それぞれの特許には複数のデータポイントが付随している。特許検索の単純な結果・情報に留まらず、図表やグラフが活用さ

⁶ Anaqua ホームページ: <https://www.anaqua.com/ja/analytics/patent-search/>

⁷ Anaqua ホームページ: <https://www.anaqua.com/analytics/patent-analytics/>

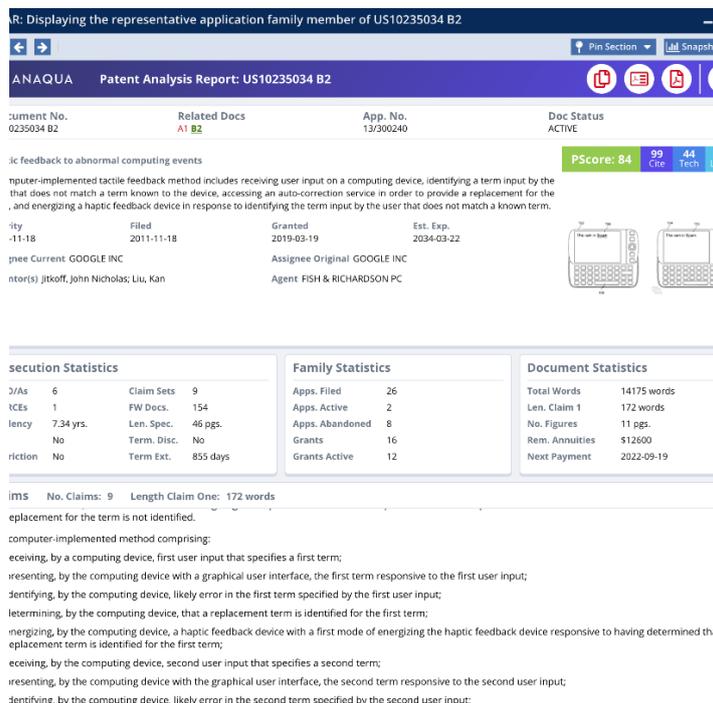
れたレポートを活用することで、より深い理解と知見を得ることが可能になる。

特許分析レポートには主に以下の特徴がある。

- ・ 特許データ検索、データポイント検索
- ・ 特許データや関連データポイント情報の理解、データ比較
- ・ 多様な分析結果出力フォーマット
- ・ 分析結果に基づいた知財戦略構築

図 3.1.2 に、特許分析レポートの画面例を示す。

図 3.1.2 特許分析レポートの画面例



出典：Anaqua

【技術分析⁷（特許情報分析）】

特許戦略を構築しているテクノロジーや市場傾向の可視化を通して、それらの将来傾向予測を可能にする。競合他社の動きや技術トレンドを理解することで、優れた知財計画や技術拡張計画が可能になる。

技術分析には主に以下の特徴がある。

- ・ 他社比較を通して所有するテクノロジーの市場ポジションを把握
- ・ 情報に基づいた特許戦略の構築
- ・ クロスレファレンス・テクノロジーのデータポイントを活用したテクノロジー・ランドスケープ
- ・ 分析に基づいた技術計画判断

図 3.1.3 に、技術分析の画面例を示す。

図 3.1.3 技術分析の画面例



出典：Anaqua

【競合分析⁷（特許情報分析）】

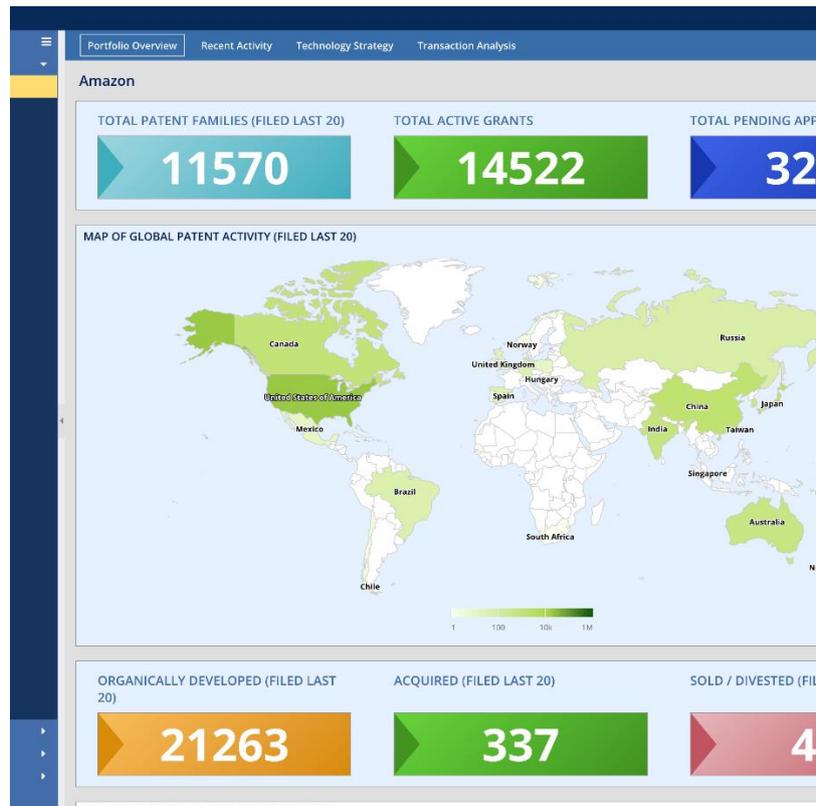
競合他社や競合技術への対応は重要度を増しつつある知財業務の一つである。AcclaimIPは競合動向や、投資を拡大・縮小している分野の特定を可能にする。変化の激しい市場で先を見据えた知財計画を構築し、市場におけるポジションを確実にするサポートを提供する。

競合分析には主に以下の特徴がある。

- ・ 市場や競合他社・競合技術に対する理解
- ・ 類似したテクノロジーを持つ競合他社の特定
- ・ 競合他社・競合技術を考慮した知財戦略の構築
- ・ 競合他社・競合技術の動向調査
- ・ 競合他社・競合技術の傾向からライセンスの潜在性を特定

図 3.1.4 に、競合分析の画面例を示す。

図 3.1.4 競合分析の画面例



出典：Anaqua

【Advanced Citation、Uncited Prior Art⁸（引用ネットワークの可視化）】

AcclaimIP 分析の新しい高度な引用機能は、これまで見落とされていた先行技術に関する洞察を提供することで知財の状況に革命をもたらし、知財チームに特許請求の有効性と範囲に関する貴重な情報を提供する。

従来の特許の引用では、参照番号や、特許が審査官によって引用されたかどうかの表示（米国の場合のみ）などの基本的な情報のみが提供されていた。そのため、どの引用が先行技術を表し、どの引用が単なる一般的な参考文献であるかを判断するには時間がかかり、データの価値が制限されていた。また、引用記録の分析は、全体像や理解を制限したり影響を与えたりする前方引用に主に焦点を当てていたが、前方及び後方（逆方向）の引用記録を分析することが重要である。

Advanced CitationとUncited Prior Art機能により、次のことが可能になる。

- ・ 競合特許を無効にするか絞り込むことで新製品を市場に投入し、競合他社に先んじる。
- ・ 独自の特許ポートフォリオ（年金、ライセンス、買収など）を評価する。
- ・ 攻撃側でも防御側でも、訴訟を起こして請求を主張する。

⁸ Anaqua ホームページ: <https://www.anaqua.com/ja/resource/uncited-prior-art-enabled-by-new-citation-data/>

- ・ IDS が完全であることを確認し、特許ポートフォリオ全体の強化に役立つ。

注意すべき点は、全ての引用されていない先行技術が、必ずしも特許請求の範囲を狭めたり無効にしたりするわけではないということである。しかし、重要な役割を果たすことも多い。

非引用先行技術文献は、FTO(Freedom-to-operate)調査、特許ポートフォリオの評価、ライセンス契約の交渉、アサーション防衛の準備のいずれにおいても、クレームの有効性を評価する最初のステップである。図 3.1.5 に、引用されていない先行技術のスコアリングシステムの例を示す。

図 3.1.5 引用されていない先行技術のスコアリングシステムの例

| DC | PA Score | Cited Patent | Category | Rejection Code | Phase |
|----|----------|-----------------|----------|----------------|-------|
| 1 | | CN203365964 U | Y, X | | SEA |
| 2 | | US3310317 A | Y | | SEA |
| 3 | | CN102927001 B | E, A | | ISR |
| 4 | | US3005077 B2 | A1 | | SEA |
| 5 | DC | US9177307 B2 | | 103.1 | SEA |
| 6 | DC | US2013009736 A1 | A | | SEA |
| 7 | | | | | SEA |

出典：Anaqua

【AcclaimIP Annuity Decision Report⁹ (価値評価の提供)】

AcclaimIP Annuity Decision Report は 10 のセクションに分かれ、主要な特許指標、請求分析、中間処理履歴、特許ファミリーのタイムライン、引用と拒絶の指標などを網羅している。

主要特許の価値指標ベンチマークは、検討対象の特許とほぼ同時期に出願された同一クラスの特許群とを比較し、関連性の強い他の特許に対し、どの程度、強度があるのかを知るための一般的に認められた指標を用いている。特許価値指標になじみがないユーザーに対して、各ベンチマークの説明とそのベンチマークの持つ意味も表示される。

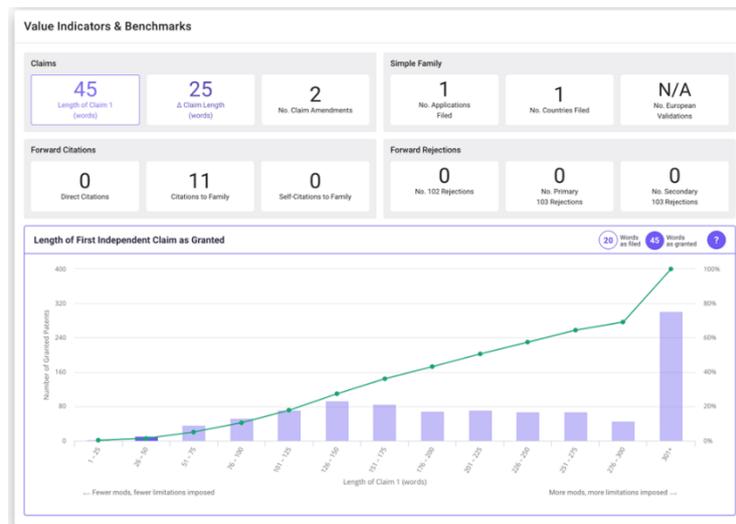
特許ファミリー全体の中間処理履歴は、複数の国における特許の審査結果や更新の履歴といった膨大なデータを集計、表示し、請求の有効性や特許価値の持続性などの特許評価を示す。

⁹ Anaqua ホームページ: <https://www.anaqua.com/ja/resource/new-analytics-report-determining-which-ip-assets-to-keep-and-protect/>

存続率ベンチマーキングは、類似特許が時間の経過とともに、どのように存続するかを可視化するインタラクティブな表示機能が備わっており、技術の成熟度と特許の生涯価値を把握できる。例えば、類似特許が12年目頃までに減少し、そこから安定していることが分かれば、12年目まで存続すれば、その特許は期間満了まで生き残る傾向があるといえる。

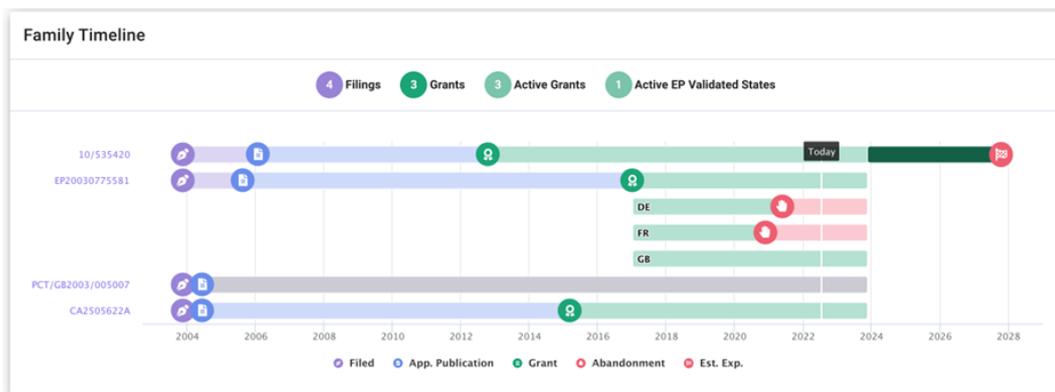
図 3.1.6 に、更新要否判断レポートの価値指標とベンチマークの例を、図 3.1.7 に、ファミリータイムライン例を、図 3.1.8 に、更新要否判断レポート上で特許存続率を表示の例を示す。

図 3.1.6 更新要否判断レポートの価値指標とベンチマーク



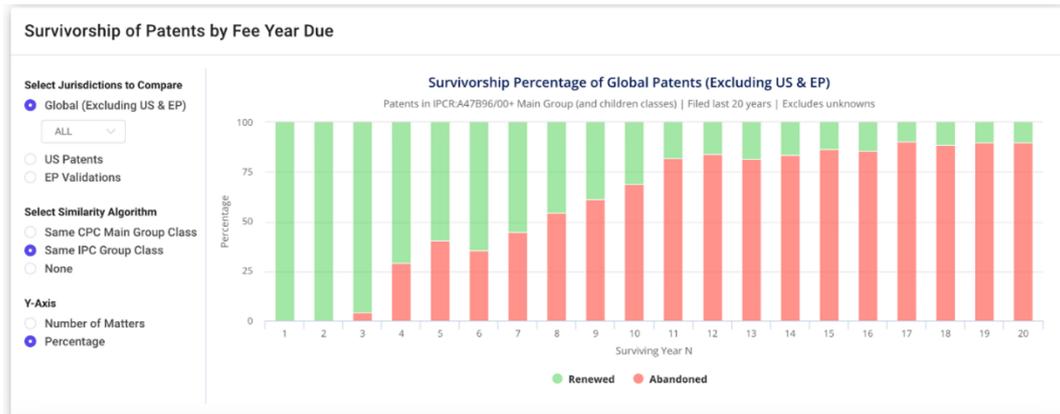
出典：Anaqua

図 3.1.7 ファミリータイムライン例



出典：Anaqua

図 3.1.8 更新要否判断レポート上で特許存続率を表示



出典：Anaqua

5) 導入コスト

AcclaimIP の導入コストは案件ごとに異なるため、料金表等は公表されていない。ランニングコストについても同様に非公表であるが、料金形態としては1年ごとの年間利用料の形であるとされている。

3.2 「Amplified」

1) 概要¹⁰

Amplified は、特許に含まれる知識を理解する深層学習 AI を用いて自然で直感的に特許調査を行うことができるプラットフォームである。

Amplified の AI は、従来の単語のマッチや統計的な類似性評価ではなく、人間の判断を再現するように特許の全文の意味を学習するため、文書全体での類似比較が行われる。この特長を生かし、検索式を作ることなく、発明の提案や特許文章を入力することで最適な先行技術文献を探ることができる検索機能や、調べたい技術を説明した文章に類似した順に、データベース全体がソートされる表示機能などが提供されている。

また、調査の過程で発見した特許を、システムにリアルタイムにフィードバックしてより良い結果を得るためのカスタマイズや、ユーザーのクエリで調査範囲を制御して、その履歴を追うことも可能とされている。

(参考) 株式会社 amplified ai¹¹について

amplified ai は 2017 年 2 月に設立され、独自開発の AI を搭載した特許調査プラットフォーム Amplified を提供している。各国特許庁に採用される確かな精度、誰もが使える UI/UX を備え、調査工数を短縮し、人間が高度な分析に集中できる環境を作ることを事業内容とする。

2) 収録データ

| | |
|--------|---------------------------------|
| 収録国・地域 | フルテキスト検索対象 45 カ国 書誌情報 105 カ国 |
| 収録範囲 | すべての国の電子化公報が対象 |
| タイムラグ | ・ 国に依存 ・ 米国や欧州は即日、日本は 2～3 日 |
| 更新頻度 | 毎日 |

¹⁰ amplified ai ホームページ: <https://www.amplified.ai/ja/>

¹¹ Aismiley ホームページ: <https://aismiley.co.jp/product/amplified/>

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|-----------|--------------------|-------------------|---|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、ファミリー情報 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、日本語名検索、英語名検索、出願人検索支援機能 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 公開日、優先権主張日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、CPC |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 生死情報 |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | キーワード提案機能、AI 特許調査（類似検索）、 <u>自然文検索（概念検索）</u> 、ユーザー選択した特許を反映した再検索 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報（明細書要約文の生成、クレームの説明文生成）、図面、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、外国文献の日本語表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能、ユーザーの定義したタグを自動推定 |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | 検索結果及び任意の集合をシステムに保持可能 |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | カウントによる出願人ランキング |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | <u>ビジュアライザ</u> （時系列でのグラフ表示） |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等) | 特許・実用新案 | <u>ビジュアライザ</u> （鳥瞰図の自動クラスタリング、自動ラベリング） |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、ユーザーが付与した情報 | |

| | | |
|--------|---------|--|
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 出願人名等の名寄せ、アラート機能（SDI ¹² ・ウォッチング機能）、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能、ユニバーサルデザイン対応 |
|--------|---------|--|

（注）概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Amplified は、類似検索機能として「AI 特許調査」、概念検索機能として「自然文検索」を提供している。また、特許情報分析（IP ランドスケープ等）機能及びマップ機能として「ビジュアライザ」を提供している。さらに、入力支援機能として、「キーワード提案機能」を提供している。

【AI 特許調査^{11,13}（類似検索）】

調査はとても簡単で、特許番号か文章（発明提案、技術明細）を入力するだけで、世界中の特許を読み込んだ AI が類似文献リストを即時に表示する。ユニークな AI 対話型インターフェースで、調査中にユーザーの意図を AI に随時再学習させ、結果リストを最適化できる。ユーザーは、調査開始から平均約 25 分以内に重要な結果を見つけられる。これはキーワードや特許分類を使った検索クエリの設定にかかる時間より、はるかに短い時間である。

特許調査ツールにおいて最も重要なのは類似文献を高い精度で見つけられることである。Amplified では精度を客観的に評価するために、147 万 307 件の国際調査レポートを対象にベンチマーク試験を実施し、提示する結果が人間と同等か、それ以上の精度を持つことを実証した。CPC メイングループにおける精度の差異はわずか±4%で、どの技術分野にも対応できる一貫した精度であり、人間が重要な分析に集中できる時間と環境を作ることができる。

その他、以下の特徴がある。

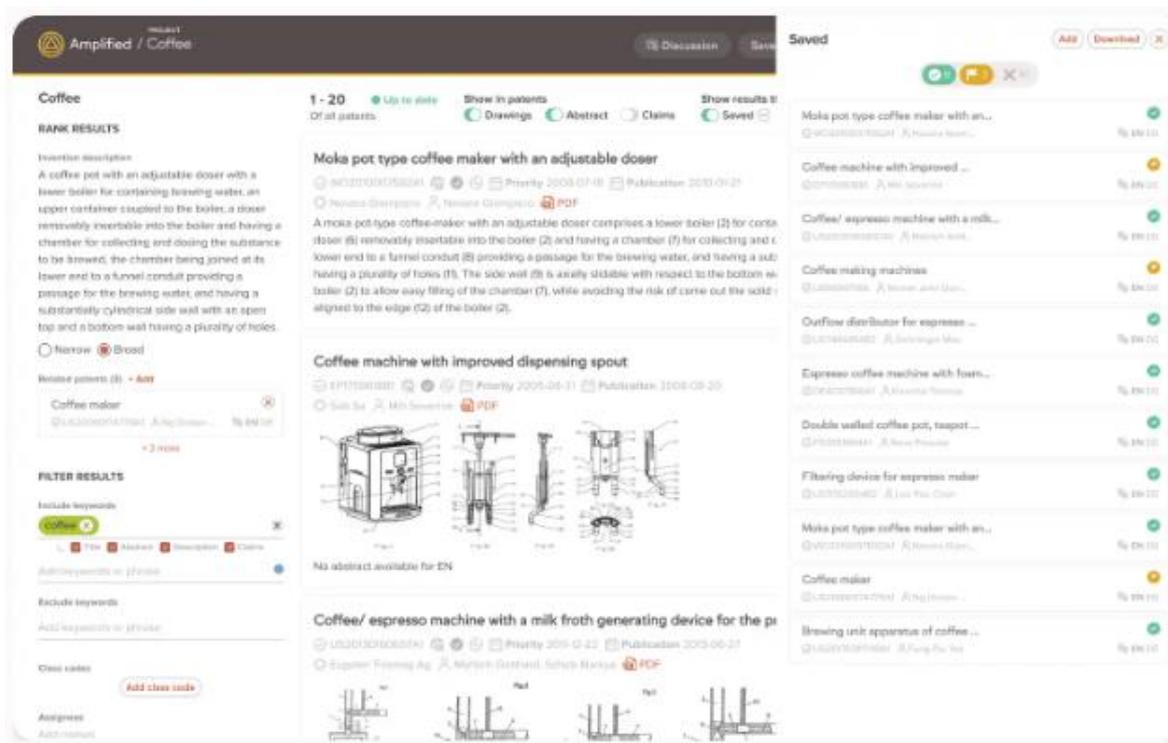
- ・ 文書全体の類似性に応じて全データベースを並べ替える。
- ・ 調べたい技術を説明した文章や関連する特許番号に類似した順に、データベース全体がソートされる。
- ・ AI は全データベースを並び替えているだけで、恣意的な絞り込みはしない。調査範囲の限定はいつでもユーザーのクエリで制御され、その履歴を追うことができる。

図 3.2.1 に、Amplified の画面例を示す。

¹² SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

¹³ amplified ai ホームページ: <https://www.amplified.ai/ja/how-it-works>

図 3.2.1 Amplified の画面例



出典：amplified ai

【自然文検索¹³（概念検索）】

Amplified では、機械学習による長文埋め込みを使ったベクトル検索、自然文によるベクトル検索とキーワードやメタデータによるブーリアン検索を任意に組み合わせて検索可能である。この機能により、クエリではなく、文書を書くことで、検索を行うことができる。

ユーザーは、検索式を作るのではなく、発明の提案や特許の草案を作成することに集中でき、文章が書き進められるに従って、最適な先行技術文献が常に手元に表示される。また、文書全体での類似比較は、類似技術の書き方に依らずに機能し、キーワードに縛られず類似特許等を見落とす可能性を除外できる。さらに、システムからのレスポンスが早く、ハイライトや図面表示などの表示設定が可能で、ストレスなく調査できる。

【ビジュアライザ^{10,14}（特許情報分析（IP ランドスケープ等）・マップ表示）】

Amplified の「ビジュアライザ」では、プロジェクト内で検索・分析されるデータ群をクラスタリングされた散布図として表示し、マクロな視点での分析を可能にする。

ビジュアライザによって、ユーザーはベクトル検索で集められた正しい分野のデータを瞬時に集められるため、データ整備の必要性なくリアルタイムに可視化が可能になる。さ

¹⁴ PR TIMES の記事：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000033344.html>

らに、ビジュアライザのマップには、Amplified 上に蓄積された様々なユーザーデータを反映できる。例えば、マップ上のどの特許を自分が重要と認識しているか、ユーザータグを反映してマップ上のどの領域が現行製品のポートフォリオに対応するか、といった情報が重畳されている。

ユーザー自身が Amplified 上に蓄積してきた「信頼できるデータ」を参照しながらマクロな視点で分析を行うことで、自社と競合とのポートフォリオの対比を精確に行うことができる。さらに、時系列変化や権利登録状況を反映させることで、出願戦略から権利の棚卸し、競合の切り崩し方など様々な目的に活用できる。

また、検索結果リストやビジュアライザの鳥瞰図上で、ユーザーが重要性を指定した特許を反映した再検索も可能である。

【キーワード提案機能¹⁵⁾】

キーワード提案機能は、類似検索によって得られた特許群から、そこに含まれる技術的概念を推論し、関連するキーワードを提案する機能である。ユーザーは特許情報とキーワードを参照して、あたかも人間とブレインストーミングをしているかのように、AI と共に発想を膨らませることができる。

この機能は、Amplified の文書類似評価モデルと、新たに生成モデルを組み合わせることで実現している。なお、Amplified の生成機能の特徴は、特許情報だけを利用しており、利用者が入力する情報を一切学習や生成に使わない点にある。生成モデルを使うことで発明の創出が加速されることを期待しつつも、秘匿性の高い情報を扱う業務での生成モデルの使用に不安を感じるユーザーも安心して活用できるようにしている。

5) 導入コスト¹⁶⁾

Amplified の利用に当たっては、月額 75,000 円を最低価格とするチーム規模に応じた料金プランが設定されている。この料金に基づき、プロジェクトの作成やチームメンバーとの議論、アノテーションを行うためのビューア追加を無制限に行うことができる。

¹⁵⁾ PR TIMES の記事: <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000033344.html>

¹⁶⁾ amplified ai ホームページ: <https://www.amplified.ai/ja/pricing/>

3.3 「Biz Cruncher」

1) 概要¹⁷

Biz Cruncher は、株式会社パテント・リザルトが提供する特許技術の評価・分析システムである。主に下記の4種の機能により、ユーザーの特許の管理コストを削減し、競合他社と差をつける攻めの経営戦略の策定を支援する。

① 特許公報の分析

調査対象の特許群をパテントスコアに基づいたレーティングごとに集計する機能や、注目度の高い発明者やアライアンスを組む候補となり得る企業、競合関係になり得る権利者の競争力など、様々な観点、角度での分析を可能とする機能がある。

また、「特許の総合的な強さ」「個別特許の強さ」「特許件数」の3つの指標を1つの図表で視覚的にとらえる権利者スコアマップや分析対象の特許公報群を発明の課題とその解決手段別に分類してマトリクス表示する機能など、分析結果を理解、把握しやすくするための図表・一覧表示機能も多く備わっている。

② 特許公報検索と分析対象公報群の作成

特許検索は、番号・日付・特許分類・全文検索など主要項目を網羅しており、各種分析機能と連携して機能する。また、類似検索とも組み合わせて検索することも可能である。

③ 個別特許公報の閲覧

上記①の各分析画面において、パテントスコアが高い順に分析対象公報が一覧表示される。各公報には、パテントスコアをもとに「C--」から「A+++」までの全12段階のレーティングも表示されるため、注目度の高い特許から優先して閲覧することができる。

さらに、特許公報の請求の範囲を概観する請求項概要図、「請求項の文章」又は調査したい「技術文書」を文節に切り分け構造化した請求項構造図など、請求項の読解を支援する様々な表示方法が採用されている。

④ その他の機能

上記①～③の機能のほか、注目している公報をいつでも再表示できる「ユーザー分類機能」や「検索履歴保存機能」、重要度に応じた情報の分類など、多くの機能が搭載されている。

(参考) 株式会社パテント・リザルトについて¹⁸

パテント・リザルトは、2007年に白山殖産株式会社の100%出資により設立された企業であり、主として特許分析ソフトウェアや技術力評価指標の開発・販売、情報提供などの事業を営んでいる。

¹⁷ Biz Cruncher ホームページ: <https://www.bizcruncher.com/>

¹⁸ パテント・リザルトホームページ: <https://www.patentresult.co.jp/about-us.html>

これまで弁理士や知財部等一部の専門家の世界で主に扱われていた「特許」に着目して一つ一つの特許に評価を与える「物差し」（スコアリング）を新たに開発。その評点を世に供給することにより日本の技術立国を支えることを事業目的に掲げており、今日に至るまで東証プライム市場上場企業を含む 542 社との取引実績を重ねてきている。

2) 収録データ

| | |
|--------|--------------------------------|
| 収録国・地域 | DOCDB 収録国（一部地域は独自にデータを補完） |
| 収録範囲 | 日本以外は DOCDB に準拠。日本特許は日本特許庁に準拠。 |
| タイムラグ | 日本は最大 2 週、それ以外は最大 2 カ月 |
| 更新頻度 | 日本は週 1 回、それ以外は月 1 回更新 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、登録番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 英語名検索、日本企業は日本語検索可 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、外国文献の日本語検索 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、F ターム、CPC |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | - |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | <u>類似検索・概念検索（類似特許の検索、自然文検索）</u> |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | 和訳済のデータベースを提供 |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、函面、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示（訴訟は米国のみ）、ライセンス情報の確認、外国文献の日本語表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | <u>INPADOC ファミリー、独自のパテントファミリー</u> 二 |

| | | | |
|-----------|--------------------------|---------|---|
| 閲覧 | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能 |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | - |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | パテントスコア |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | - |
| | 特許情報分析（IPランドスケープ等）、マップ表示 | 特許・実用新案 | 権利者スコアマップ、課題・解決マトリクス、製品分類、技術分類スコアマップ、発明者分析、類似特許マップ |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報 |
| その他の機能 | | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正、出願人名等の名寄せ、アラート機能（SDI ¹⁹ ・ウォッチング機能）、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Biz Cruncher は、類似検索・概念検索機能として「類似検索」機能が提供されている。また、特許情報分析（IP ランドスケープ等）機能として「権利者スコアマップ」「課題・解決マトリクス」「製品分類」「技術分類スコアマップ」「発明者分析」及び「類似特許マップ」を、価値評価の提供機能として「パテントスコア」を提供している。他に、独自の特許ファミリー表示、辞書機能を提供している。

【類似検索・概念検索（類似特許の検索、自然文検索）²⁰】

特許に関する公報を類似検索の手法で、パワフルに抽出する。検索された特許公報は「分析対象母集団」として登録され、ワンクリックで分析・調査が可能である。分析対象の個別公報と課題・解決手段が類似する公報を探したい場合、より類似度の高い事例から、対策・戦略を検討することが可能である。

また、米国、中国、韓国、台湾、ドイツ、英国、フランス、ロシア、インド、PCT 出願、欧州特許庁の特許文献の翻訳機能を有し、日本語の自然文を用いて海外特許の類似技術を横断的に検索することが可能である²¹。図 3.3.1 に、Biz Cruncher の画面例を示す。

¹⁹ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

²⁰ Biz Cruncher ホームページ： <https://www.bizcruncher.com/about.html>

²¹ パテント・リザルトホームページ： <https://www.patentresult.co.jp/news/2020/10/biz-cruncher-search.html>

図 3.3.1 Biz Cruncher の画面例

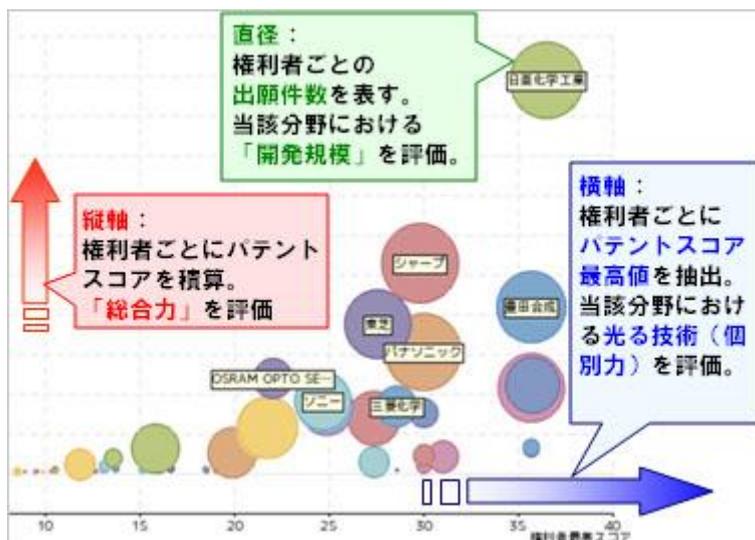


出典：特許・リザルト

【権利者スコアマップ²⁰】

特許の注目度から見た権利者ごとの競争力や競合状況が把握できる。「特許の総合的な強さ」「個別特許の強さ」「特許件数」の3つの指標を1つの図表で視覚的にとらえることが可能である。図 3.3.2 に、権利者スコアマップの表示例を示す。

図 3.3.2 権利者スコアマップの表示例

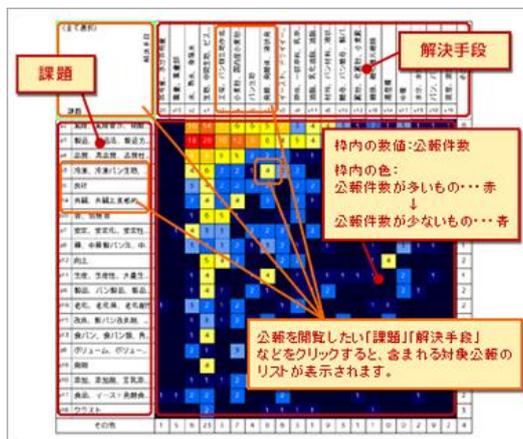


出典：特許・リザルト

【課題・解決マトリクス²⁰】

分析対象の特許公報群を、発明の課題とその解決手段別に分類し、マトリクス表示する「課題・解決マトリクス」を作成する。業界全体と企業単位の両面からの調査が可能で、技術開発の傾向を詳細に分析する。図 3.3.3 に、課題・解決マトリクスの表示例を示す。

図 3.3.3 課題・解決マトリクスの表示例



出典：パテント・リザルト

【製品分類²⁰】

製品分類を利用することで、発明の対象から技術開発の傾向を知ることができる。分析対象公報群が、どのような製品（発明）を対象としているのかを、その構成比と共に把握することが可能である。図 3.3.4 に、製品分類の表示例を示す。

図 3.3.4 製品分類の表示例



出典：パテント・リザルト

【類似特許マップ²⁰】

分析対象の個別公報と課題や解決手段が似ている公報をマップ表示する。より類似度の高い事例から、対策・戦略を検討することが可能である。図 3.3.7 に、類似特許マップの表示例を示す。

図 3.3.7 類似特許マップの表示例



出典：パテント・リザルト

【独自のパテントファミリー表示²²】

各国における企業ランキングや国ごとの出願件数推移、パテントファミリーのツリー表示など、様々な分析が簡単に実行できる。

【パテントスコア²³】

Biz Cruncherでは、調査対象特許の番号（出願番号、特許番号、公開番号など）を投入すると、その特許の注目度を指標化したパテントスコアをダウンロードできる機能を提供している。

パテントスコアは、特許出願後の審査経過情報をもとに、個別特許の注目度をスコアリング評価する指標である。具体的には、出願人、審査官、競合他社による下記のアクションに着目し、同一技術分野、出願年の他の特許との相对比较により偏差値で評価する。

- ・ 出願人の権利化への意欲（早期審査請求、国際出願など）

²² パテント・リザルトホームページ：<https://www.patentresult.co.jp/news/2013/08/biz-cruncher-global.html>

²³ パテント・リザルトホームページ：<https://www.patentresult.co.jp/about-patentscore.html>

- ・ 先行技術としての審査官からの認知度（拒絶理由通知に引用された回数など）
- ・ 競合他社からの注目度（無効審判、異議申立の有無など）

出願人による権利化への意欲が高い特許や、審査官や競合他社から注目される特許ほど、パテントスコアによる評価結果は高くなる。

つまり、「パテントスコアの数値が高い特許は、市場の注目度が高い特許」「パテントスコアの数値が低い特許は、注目度が低い特許」ということになる。

【辞書機能²⁰】

主要な地域については和訳済のデータベースで提供する。

5) 導入コスト

Biz Cruncher の料金¹⁷（2024年2月現在）は、サービス提供の対象とするDBが日本版DB、米国版DB、グローバル版DBの3種類がある。日本版DBと米国版DBはそれぞれ使用できる機能の数に応じて1IDにつき月額5万円の「ブロンズ」、10万円の「シルバー」、15万円の「ゴールド」の3コースに分かれている。グローバル版DBは20万円の1コースのみとなっている。

さらに、「PR技術分類」（5万円）、「特許資産スコア」（5万円）、「レイティングダウンロード」（10万円）など、機能単位で設定されているオプション料金も存在する。

3.4 「Brand Mark Search」

1) 概要

Brand Mark Search²⁴は、商標専用に設計されたインターフェース・機能を持つ商標情報検索サービスで、商標公報全件を収録し、権利消滅後も検索対象にできる。

Basic 検索では、通常の商標調査で利用する検索項目を、不慣れなユーザーでも簡単に利用できる分かりやすい画面構成としている。Advanced 検索では、メニュー方式で自由に演算が可能である。

称呼×称呼や称呼+商標×図形（ウィーン分類）等の商標の要素同士を組合せた検索、「トーキョー+東京+TOKYO」のように、様々な表現を考慮しての検索が可能で、日付、ステータス、商標のタイプ、拒絶の有無（条文コード）、審判の有無等の項目で検索結果を絞り込める。一音・二音相違の検索（称呼専用の検索画面）、類似称呼検索、画像検索、分類ガイダンス機能、図形商標検索（ウィーン分類）、商標・称呼検索の文字数指定ワイルドカード検索、商標の音・動きの再生、SDI²⁵チェックも可能である。

（参考）日本パテントデータサービス株式会社について

日本パテントデータサービス²⁶は、昭和 63 年 10 月 1 日に設立され、インターネット知的財産情報サービス（JP-NET、Brand Mark Search 他）、特許管理システム（IP Drive・IP Vision・PATAS・PATDATA）、特許分析・マップ作成ソフト（ぱっとマイニング JP）、国内外知財調査サービス（特許・意匠・商標）、特許情報の SDI 継続サービス、知的財産セミナー、ブランディング支援、知的所有権流通事業、その他、知的財産に関わる商品の提供を事業内容とする。特許情報サービスを通じた社会貢献と専門家として責任ある情報提供をミッションとする。

2) 収録データ

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | 日本（国内・国際商標）、米国、EUIPO ²⁷ 、WIPO、中国、台湾 |
| 収録範囲 | 国内・国際商標 2000 年～、商標登録 1 号～、米国 1884 年～、EUIPO 1997 年～、WIPO 1990 年～、中国 1980 年～、台湾 1951 年～ |
| タイムラグ | 日本 公報発行日の収録、米国・EUIPO・WIPO 1～2 週間程で収録、中国 1～2 カ月、台湾 1～3 週間 |
| 更新頻度 | 日本 毎日、米国・EUIPO・WIPO 週 1 回、中国 月 1 回、台湾 月 2 回 |

²⁴ 日本パテントデータサービスホームページ：<https://www.jpds.co.jp/branding/bmsearch.html>

²⁵ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

²⁶ 日本パテントデータサービスホームページ：<https://www.jpds.co.jp/company/about.html>

²⁷ EUIPO は、European Union Intellectual Property Office の略で欧州連合知的財産庁のこと

| | |
|-------|----------------------|
| 失効データ | 一部データは審査経過情報からデータを作成 |
|-------|----------------------|

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|-----------|--------------|----|---|
| 検索 | 番号検索 | 商標 | 出願番号、登録番号、国際登録番号、公告番号、審判番号、優先権主張番号、審判番号、出訴事件番号等 |
| | 出願人検索 | 商標 | 出願時情報検索、日本語名検索（中国・台湾・日本の法人出願上位 5000 社まで）、英語名検索（米国・EUIPO・WIPO と中国・台湾の英語データのあるもののみ）、出願人検索支援機能、出願人識別番号、審査経過上の出願人・権利者検索の検索等 |
| | キーワード等検索 | 商標 | 商標、呼称、指定商品又は指定役務、ウィーン分類の語句からの検索等 |
| | 日付検索 | 商標 | 出願日・国際登録日、公開日、登録日、書換公報発行日、事後指定日、審査経過の各種日付等 |
| | 分類検索 | 商標 | 図形等分類、類似群コード、区分、商標のタイプ |
| | 検索式を用いた検索 | 商標 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、検索式のエディット支援、検索式の出力機能等 |
| | ステータスを加味した検索 | 商標 | - |
| | 類似画像検索 | 商標 | - |
| | その他検索機能 | 商標 | 称呼検索の類似・一音相違・二音相違等 |
| | 保存・参照機能 | 商標 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 商標 | 公開商標文献、書誌情報、図面（結果一覧のサムネイル表示、抄録一覧表示等）、経過情報の表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 商標 | ハイライト表示、検索結果のソート、表示のカスタマイズ（複数の表示形式の切替え等） |
| | その他閲覧機能 | 商標 | 検索結果のフィルタリング、6~32 までの分割表示（複数公報を 1 画面に表示）、審査経過情報の和訳等 |
| | 検索結果の保存 | 商標 | - |
| 分析 | ランキング | 商標 | - |
| データダウンロード | | 商標 | 書誌リスト、PDF 公報、図面・公報リンク等 |

| | | |
|--------|----|---|
| その他の機能 | 商標 | 書誌情報の訂正、 <u>出願人名等の名寄せ</u> 、アラート機能（SDI ²⁸ ・ウォッチング機能）、情報共有機能（ダウンロードデータを利用した共有）、 <u>チャットボット機能（ヘルプ機能）</u> 、不慣れなユーザー向け機能（式入力例等）、分類ガイドンスの和訳等 |
|--------|----|---|

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Brand Mark Search は、高度な機能として「類似画像検索」、「出願人名等の名寄せ」及び「チャットボット機能（ヘルプ機能）」が提供されているが、具体的な情報は得られなかった。

5) 導入コスト

Brand Mark Search の導入コスト²⁹（2024年2月現在）は、入会金なしの月額完全固定制利用料を採用している。

一般会員では1IDあたり日本商標は5,000円、海外商標（米国・EUIPO・WIPO）オプションは追加で5,000円、中国／台湾商標オプションは更に追加で5,000円が必要である。50IDなら、日本商標は90,000円、海外商標（米国・EUIPO・WIPO）オプションは追加で90,000円、中国／台湾商標オプションは更に追加で90,000円が必要となる。

また、第三者及び不特定の顧客の要求にもとづく調査・情報サービスを行う業務会員だと、1IDあたり日本商標は20,000円、海外商標（米国・EUIPO・WIPO）オプションは追加で20,000円、中国／台湾商標オプションは更に追加で20,000円が必要である。

²⁸ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

²⁹ 日本パテントデータサービスホームページ：<https://www.jpds.co.jp/branding/bmsearch.html>

3.5 「CAS Scientific Patent Explorer」

1) 概要³⁰

CAS が提供する CAS Scientific Patent Explorer は、世界中の特許を調べることができる特許調査ツールである。化学物質を名称や構造から正確に検索できるため、化学関連分野の特許検索と解析に適しており、技術動向調査や競合分析に活用することができる。

シンプルなインターフェースを採用しており、特許検索に慣れていない技術者や研究者でも、世界 115 の国・特許発行機関から発行される特許、実用新案を収録したデータベースから調査対象となる特許情報を英語や日本語等で素早く検索し特許を確認できる。また、特許解析マップを作成することが可能である。

さらに、CAS Scientific Patent Explorer には、下記の CAS 独自データが含まれている。

- ・ 特許中の主要なコンセプト
- ・ 特許中の主要な化学物質
- ・ 特許中の配合情報
- ・ 特許中の反応情報

特に化学物質については世界最大規模となる 2.9 億件以上の化学物質情報を収録しており、CAS 登録番号(CAS RN[®])、物質の名称、構造による検索が可能である。

検索方法としては、「簡易検索モード」と「上級検索モード」があり、特許についての専門知識を有するユーザーによる複雑な条件を組み合わせた特許調査と、特許専門知識のない研究者等による簡易な調査両方のニーズに対応している。また、化学物質特許の調査を難しくしている「表記ゆれ」を排除するために、特許中の化学物質に対応する CAS RN[®]を収録しており、特定の化学物質に関する特許調査の精度を担保している。

特許全文はオリジナル言語で表示されるほか、タイトルや抄録は機械翻訳した英語も表示される。また、オリジナル公報の PDF や、引用・被引用情報、特許ファミリー情報、CAS 独自データなど特許に関連する詳細な情報を表示できる。

さらに、CAS Scientific Patent Explorer には、ワンクリックで即時に特許を解析し、注目したい項目による特許解析マップを作成できる「Patent Analysis」機能と、化学物質関連の特許解析マップを作成できる「Chemscape Analysis」機能が搭載されている。

(参考) CAS について³¹

CAS は、化学研究の出版物を整理するボランティア活動として 1907 年に発足し、1956 年に正式に米国化学会の独立した事業部門となった。現在は、米国オハイオ州コロンバスに

³⁰ 化学情報協会ホームページ: <https://www.jaici.or.jp/stn-ip-protection-suite/cas-scientific-patent-explorer/>

³¹ CAS ホームページ: <https://www.cas.org/ja/about-us>

本部を置き、世界 45 カ国以上に事業所を有している。

CAS のチームには、合わせて 50 カ国語を話す 1,000 人を超える科学者、技術者、ビジネスの専門家がいる。CAS では世界中の科学出版物で公開される貴重なデータを科学者チームが収集し、関連付けと分析をすることで、150 年以上にわたる発見を網羅する CAS Contents Collection として構築している。

- ・ 「CAS REGISTRY」：2024 年 2 月現在、2.9 億件を超える登録物質の化学名や構造、CAS 登録番号(CAS RN[®])、特性その他のデータを収録している。
- ・ 「CAS References」：1800 年代初頭以降の世界の 50 以上の言語で出版された数千の雑誌から化学及び周辺分野に主題が該当するものを収録
- ・ 「CAS Patents」：化学及び周辺分野の特許分類が付与された 107 特許発行機関の特許及び 2 技術公開誌を収録

2) 収録データ

(2024 年 2 月現在)

| | |
|--------|---------------------------------|
| 収録国・地域 | 米国、中国、欧州特許庁、日本、韓国をはじめとする、115 カ国 |
| 収録範囲 | 特許発行国により異なる |
| タイムラグ | 特許発行国により異なる |
| 更新頻度 | 毎週 |

3) 機能一覧

(2024 年 2 月現在)

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|---------|--------------|-----------------------|---|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、特許番号、優先権番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時の出願人、現在の出願人 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、F ターム、CPC |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式の入力支援 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 法的状況検索（検索結果に対して法的状況データを用いての絞り込みが可能） |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 簡易検索モード、上級検索モード、入力支援機能、化学物質情報検索 |
| 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 | |

| | | | |
|-----------|--------------|--|--|
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録、引用・被引用情報、特許ファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的状況の表示、CAS 独自データ(索引情報、反応情報、製剤・配合情報) |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | 検索結果の一覧表示は可能 |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー、Simple ファミリー |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳細な表示機能 ・ ハイライト表示 ・ 検索結果のソート ・ 検索結果のフィルタリング |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | 検索式の保存が可能 |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | ランキングの表示は可能 |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | マップ表示することが可能 |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | <u>Citation Map (引用・被引用情報の可視化)</u> |
| | その他分析 | 特許・実用新案 | ヒットした構造からの特許解析が可能 |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報、明細書中の物質記載位置と対応する物質の CAS RN [®] を含めた公報のダウンロードが可能 | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正、アラート機能 (SDI ³² ウォッチング機能)、不慣れなユーザー向け機能、メールによる共有機能、 <u>化学物質情報検索</u> | |

4) 高度な機能

CAS Scientific Patent Explorer は、特許についての専門知識のないユーザー向けの検索として「簡易検索モード」が提供されている。また、化学物質、特許及びマルクレーシュ構造³³を対象に構造検索できる「化学物質情報検索」機能も提供されている。特許情報の閲覧機能として「詳細な表示機能」、引用・被引用情報の可視化機能として「Citation Map」も利用できる。

【簡易検索モード³⁰】

直感的に特許調査できるため、特許についての専門知識のない研究者や現場の技術者におすすめの機能である。簡易検索モードは検索語を入力するだけの簡単な検索で、以下の

³² SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

³³ マルクレーシュ構造は類似構造を有する化合物をまとめて表現する表記手法

項目で検索することができる。

- ・ 標題、抄録、クレーム、ディスクリプション中のキーワード*
- ・ 特許出願人、発明者、代理人*
- ・ 特許番号、出願番号*、優先権出願番号*
- ・ 発行日、出願日、優先権出願日*
- ・ 4種の特許分類～IPC、CPC、FI*、Fターム*
- ・ 法的状況ステータスなど法的状況**
- ・ (*は「上級検索モード」の項目、**は絞り込みのフィルタで利用可能)

図 3.5.1 に、CAS Scientific Patent Explorer の画面例を示す。

図 3.5.1 CAS Scientific Patent Explorer の画面例



出典：化学情報協会

【化学物質情報検索³⁴】

CAS Scientific Patent Explorer では、化学物質の情報は、世界最大の REGISTRY ファイルに相当する。2.9 億件以上の化学物質を収録しており、CAS RN[®]がすべての化学物質レコードに収録されている。化学物質は、CAS RN[®]、物質の名称、構造などから検索が可能である。そのため、特定の化学物質が記載されている特許を、的確に調べることができる。

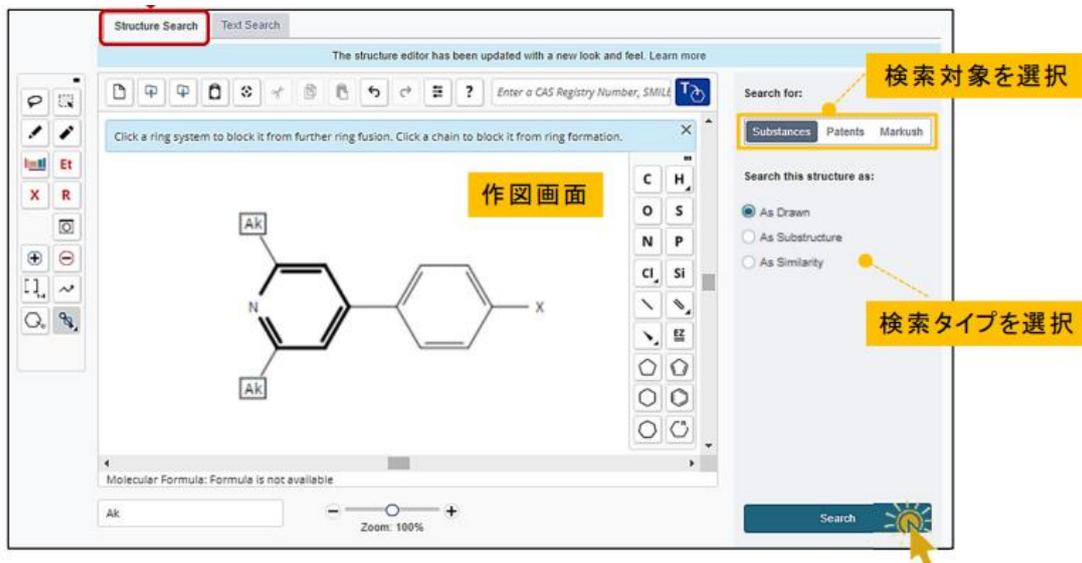
化学物質情報検索は、化学物質、特許及びマルクーシュ構造を選択して検索を行う構造検索と CAS RN[®]や化学物質名などから検索するテキスト検索がある。

また、マルクーシュ構造で検索すると、特許明細書中のヒットしたマルクーシュ構造が回答として得られる。検索結果の特許番号をクリックすることで、特許の詳細情報を見ることができる。

³⁴ 化学情報協会 CAS Scientific Patent Explorer 紹介ページ: <https://www.jaici.or.jp/stn-ip-protection-suite/cas-scientific-patent-explorer/>

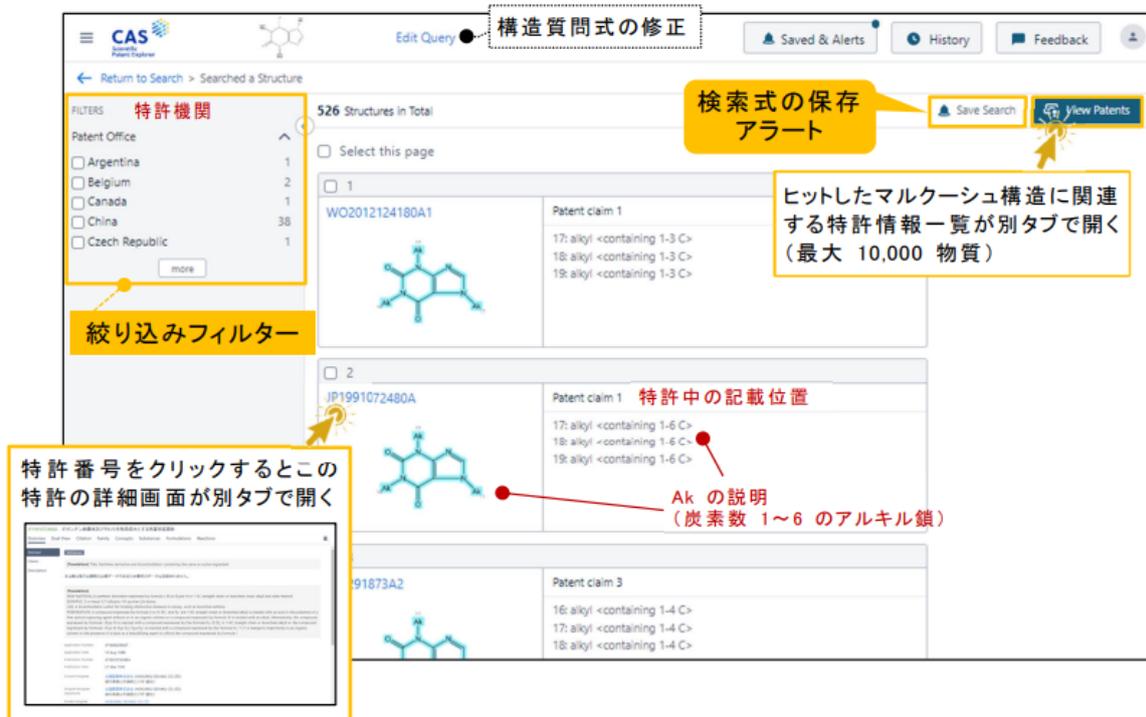
図 3.5.2 に、構造作図の例を、図 3.5.3 に、マルクーシュ構造での検索結果例を示す。

図 3.5.2 構造作図の例



出典：化学情報協会

図 3.5.3 マルクーシュ構造での検索結果例



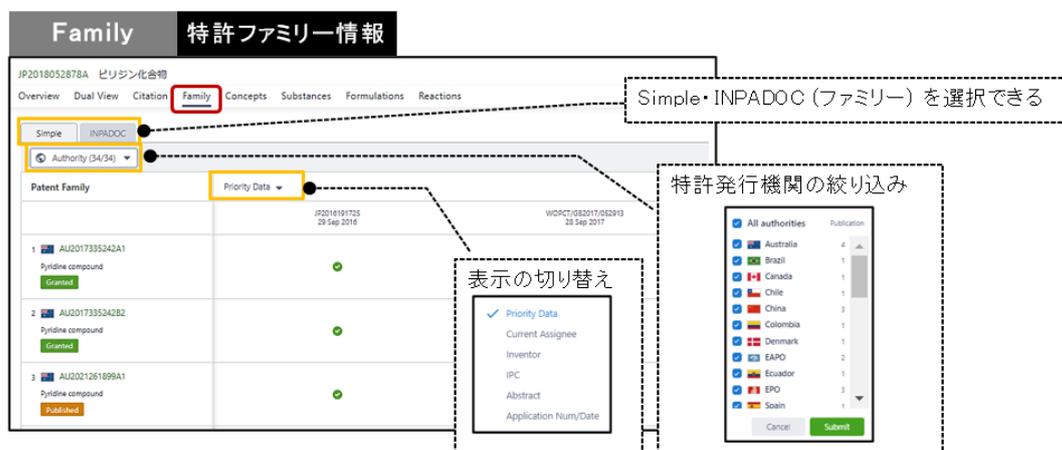
出典：化学情報協会

【詳細な表示機能³⁰⁾】

書誌情報、特許明細書全文、二分割画面 (Dual View)、引用・被引用情報、特許ファミ

リー情報、CAS 独自データなど、特許に関する詳細な情報を表示し確認できる。図 3.5.4 に、特許ファミリー情報表示例を示す。

図 3.5.4 特許ファミリー情報表示例



出典：化学情報協会

【Citation Map³⁰】

CAS Scientific Patent Explorer の Citation Map 機能では、引用及び被引用情報を関連づけて表示する。図 3.5.5 に、Citation Map の表示例を示す。

図 3.5.5 Citation Map の表示例



出典：化学情報協会

5) 導入コスト

一般社団法人化学情報協会ホームページ³⁰によると、CAS Scientific Patent Explorer は STN IP Protection Suite の契約プランに含まれたサービスであるが、その具体的な契約金額については同社に問い合わせをする。

3.6 「CAS STNext」

1) 概要³⁵

CAS が提供する CAS STNext は、特許、雑誌論文、医薬品、化学物質、CAS 登録番号(CAS RN[®])、配列、物性データを含む、広範な科学技術分野の検索サービスである。

検索機能は、キーワードや特許番号などの基本的な検索機能に留まらず、化学構造検索、配列検索、物性値検索など多彩な種類が提供されており、検索者の多様な目的に柔軟に対応している。また、検索した特許や雑誌論文の全文情報を入手したい場合は、原報複写を注文することができるリンクが設置されている。

さらに、オプション機能として、以下のものが提供されている。

- ・ 「CAS PatentPak」：特許明細書中における化学物質の記載位置を瞬時に確認でき、ワンクリックで明細書の PDF をダウンロードできる機能
- ・ 「CAS Sequences」：核酸・タンパク質の配列情報について BLAST ホモロジー検索³⁶、CDR 配列検索³⁷、Motif 配列検索³⁸ができる
- ・ 「CAS FORMULATIONS ファイル」：製剤・配合の構成成分や機能を調査できる世界最大のデータベース
- ・ 「DWPIM ファイル」：DWPI³⁹収録特許中に記載されているマルクーシュ構造⁴⁰を抽出し、作成されたデータベース。DCR ファイル（特定の化学物質を収録したファイル）と組み合わせることで包括的な化学物質関連特許の調査が可能

(参考) CAS について⁴¹

CAS は、化学研究の出版物を整理するボランティア活動として 1907 年に発足し、1956 年に正式に米国化学会の独立した事業部門となった。現在は、米国オハイオ州コロンバスに本部を置き、世界 45 カ国以上に事業所を有している。

CAS のチームには、合わせて 50 カ国語を話す 1,000 人を超える科学者、技術者、ビジネスの専門家がいる。CAS では世界中の科学出版物で公開される貴重なデータを科学者チームが収集し、関連付けと分析をすることで、150 年以上にわたる発見を網羅する CAS Contents Collection として構築している。

³⁵ 化学情報協会ホームページ: <https://www.jaici.or.jp/stn-ip-protection-suite/cas-stnext/>

³⁶ BLAST ホモロジー検索は、局所的に類似した配列を検索するプログラム

³⁷ CDR 配列検索は、抗体と T 細胞受容体の CDR を指定し検索するプログラム

³⁸ Motif 配列検索は、DNA、RNA、タンパク質中の短いパターン配列を検索するプログラム

³⁹ DWPI は、Derwent World Patents Index の略で、Clarivate が提供する専門家による抄録、注釈が追加された、包括的な特許情報のコレクションのこと

⁴⁰ マルクーシュ構造は置換基などを複数の選択肢として記載することで、多数の化学物質を表現した構造式

⁴¹ CAS ホームページ: <https://www.cas.org/ja/about-us>

- ・ 「CAS REGISTRY」：2024年2月現在、2.9億件を超える登録物質の化学名や構造、CAS登録番号(CAS RN[®])、特性その他のデータを収録している。
- ・ 「CAS References」：1800年代初頭以降の世界の50以上の言語で出版された数千の雑誌から化学及び周辺分野に主題が該当するものを収録
- ・ 「CAS Patents」：化学及び周辺分野の特許分類が付与された107特許発行機関の特許及び2技術公開誌を収録

2) 収録データ

(2024年2月現在)

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | ファイルにより異なる。 CAplus ⁴² ファイルでは日本、米国、欧州特許庁、中国、韓国をはじめとする107の特許発行機関の特許及び2技術公開誌を収録 |
| 収録範囲 | ファイルにより異なる。 CAplus ファイルの収録対象は下記参照 https://www.cas.org/support/documentation/references/patentcoverage |
| タイムラグ | ファイルにより異なる。 CAplus ファイルでは、主要特許発行国の書誌情報は発行から2日以内に収録される。 |
| 更新頻度 | ファイルにより異なる。 CAplus ファイルは毎日更新 |

(注) CAS STNext はあらゆる科学技術分野を包括する複数のデータベースを搭載している。

3) 機能一覧

(2024年2月現在)

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|-------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、特許番号、優先権番号、ファミリー情報、CAS RN [®] 、レコード番号、雑誌情報のDOI、ISSN 等も検索可能 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 英語名検索、会社名のシソーラス (CAplus ファイル)、標準化した特許出願人名及び特許出願人コード (WPI)、日本語検索は未対応 |

⁴² CAplus ファイルは、世界中の科学技術分野の学術論文、107 特許発行機関の特許及び 2 技術公開誌を収録する文献データベース。2024年 2 月現在、6,300 万件以上のレコードを収録。

| | | | |
|----|--------------|---------|--|
| 検索 | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明（詳細な説明は特許全文データベースで利用できる）、課題・従来技術などのその他の項目での検索（特許全文データベースで利用できる）、統制語検索や Key Terms(言語学的及び統計学的手法を用いて、英語の特許全文中から機械的に抽出した名詞句で、STN が独自に付与)の検索が可能 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、レコード入力日、更新日、ステータス更新日などの日付を検索可能 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI (ファイルにより異なる)、F ターム (ファイルにより異なる)、CPC、その他分類検索機能 |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接演算子を用いた検索、検索式のエディット支援、その他検索式を用いた機能 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 法的状況検索（検索結果に対して法的状況データを用いての絞り込みが可能） |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能（EXPAND コマンド）、 <u>Prior Art Analysis(先行技術調査)機能</u> 、構造検索、配列検索、テキスト中の数値検索 |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索式及び回答保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 特許文献、書誌情報、図面、英文抄録、引用・被引用情報、特許ファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的状況の表示、ライセンス情報の確認 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | ファイルにより表示形式は異なるが、多数の表示形式がある。 |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | ファイルにより特許ファミリー構成が異なる場合がある。 (CAplus、INPADOCDB/INPAFAMDB、WPI ファイルの特許ファミリーなど)、 <u>特許ファミリーマネージャー（関連特許ファミリーでソートする機能）</u> |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング（検索式で絞り込むことが可能）、Claims Viewer(特許請求項をツリー形式で表示する機能、一部のファイルのみ) |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | SAVE コマンドで検索結果の保存が可能 |

| | | | |
|-----------|-------|---------|--|
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | SELECT、ANALYZE コマンド、Analyze 機能で解析可能 |
| | その他分析 | 特許・実用新案 | ヒットした構造や配列からの解析が可能 |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 | 書誌情報（ファイルによって、書誌情報のダウンロードデータに CAS PatentPak ⁴³ 及び Claims Viewer のリンクを付加）、特許全文 |
| その他の機能 | | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正、アラート機能（自動 SDI ⁴⁴ 検索）、情報共有機能（CAS STNext の結果を CAS SciFinder ⁴⁵ に共有するための機能）、不慣れたユーザー向け機能、Script 機能、テキスト中の数値検索機能 |

4) 高度な機能

CAS STNext は、「Prior Art Analysis」（先行技術調査）機能、特許明細書中における化学物質の記載位置を瞬時に確認できる「CAS PatentPak」機能、関連特許ファミリーごとの並び替えが可能な「特許ファミリーマネージャー」など便利な機能を提供している。

【Prior Art Analysis（先行技術調査）⁴⁶】

Prior Art Analysis は、CAS が独自に開発した AI ベースの類似特許検索エンジンを使用して自動的に先行技術文献を検索する機能である。CAplus/CA ファイルの特許レコードからクリック操作だけで簡単に利用できる。ブラジルの知的財産庁 (INPI) が膨大なバックログを削減することを目的に CAS とパートナーシップを組んだことから開発が始まった⁴⁷。CAS の索引情報や特許分類 (IPC) を利用した AI ベースの検索エンジンを活用することで、他の検索方法では見つけられなかった先行技術文献を得られる可能性があり、しかも、簡単かつ迅速に情報を得られる。先行技術文献には特許のみならず非特許レコードも含まれる。図 3.6.1 及び図 3.6.2 に、Get Prior Art Analysis の入力例、並びに検索結果の例を示す。

先行技術文献の検索は、図 3.6.1 に示すように、特許番号をクリックし、Get Prior Art Analysis を選択して行う。AI による検索が開始し、得られた複数のレコードが HCAplus ファイルで一つにまとめられ、回答集合が得られる（図 3.6.2）。なお、回答は関連度の高い特許 100 件、非特許 100 件の最大 200 件が得られる。

⁴³ CAS PatentPak は、特許明細書や化学物質リスト付き明細書を表示する機能

⁴⁴ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

⁴⁵ CAS SciFinder[®] は、化学・ライフサイエンス分野の情報検索サービス

⁴⁶ 化学情報協会 STNews ISSUE Vol.38:

<https://www.jaici.or.jp/application/files/6016/5354/1458/38-2.pdf>

⁴⁷ CAS ホームページ: <https://www.cas.org/resources/press-releases/cas-inpi-collaboration>

図 3.6.1 Get Prior Art Analysis の入力例

| PI | PATENT NO. | KIND | DATE | APPLICATION NO. | DATE |
|----|---------------|------|------|-----------------|----------|
| | WO 2004011464 | | | 4 | 20030725 |
| | WO 2004011464 | | | | |
| | FR 288809 | | | | 20020726 |

Get Prior Art Analysis

Full-text options

出典：化学情報協会

図 3.6.2 Get Prior Art Analysis の検索結果の例

```

=> fil HCAPLUS
=> QUE (2001:813420 OR 1975:410163 OR 1987:102327 OR 1987:102327 OR 1975:410160 OR 2001:208265 OR 2001:208278
L2 QUE (2001:813420 OR 1975:410163 OR 1987:102327 OR 1987:102327 OR 1975:4101
=> QUE (2002:240779 OR 1988:611092 OR 1999:549265 OR 2002:610405 OR 1999:487293 OR 2002:610405 OR 2000:666713
L3 QUE (2002:240779 OR 1988:611092 OR 1999:549265 OR 2002:610405 OR 1999:4872
=> S L2 OR L3 OR L4 OR L
L14 186 L2 OR L3 OR L4 OR L5 OR L6 OR L7 OR L8 OR L9 OR L10 OR L11 OR
L12 OR L13

```

Prior Art Analysis を利用して得られた回答集合。
回答はレコード番号 (AN) の新しい順に並ぶ

出典：化学情報協会

【CAS PatentPak⁴⁸】

CAS PatentPak は、特許明細書中における化学物質の記載位置を瞬時に確認できる CAS 独自の機能である。

CAplus ファイルで PDF のリンクをクリックすると、特許明細書(PDF)をダウンロードでき、PDF+のリンクをクリックすると、化学物質記載位置マーク及び化学物質リスト付き明細書をダウンロードできる。また、Interactive リンクをクリックすると、物質情報と明細書を同一画面で確認できる Interactive Viewerが開く。図 3.6.3 に、物質情報付き明細書(Interactive Viewer)の例を示す。

⁴⁸ STN IP Protection Suite セミナー_CAS STNext ユーザーミーティング資料：
<https://www.jaici.or.jp/application/files/1316/6295/0134/um2022.pdf>

図 3.6.3 物質情報付き明細書(Interactive Viewer)の例

The screenshot displays the CAS PatentPak Interactive Viewer interface. At the top, a search bar shows 'PPAK' and a list of search results. The first result is '141-43-5, Ethanolamine, Pg 12 Claim'. The second result is '2776960-02-0 P, Pg 11 Claim'. The third result is '2776960-04-2 P, 3-(5-((2-Chloro-6-ethylbenzyl)oxy)-2,3-dihydrospiro[indene-1,2'-morpholin]-4'-yl)propanoic acid, Pg 11 Claim'. A red box highlights the third result, and an arrow points to it with the text '請求項に記載された物質であることがわかる' (It can be confirmed that the substance is described in the claim). Below this, a button labeled 'この物質が記載されているページが開く' (Open the page where this substance is described) is shown. The main interface shows the patent document for 'CAS RN 2776960-04-2'. The left sidebar contains 'Key Substances in Patent' and 'Analyst Markup Locations (3)'. The main content area shows the text of the patent claim: 'What is claimed is: 1. A compound, which is Compound 1 having the structure:'. Below the text is a chemical structure of the compound, which is a spiro compound consisting of a morpholine ring and an indene ring system, with a propanoic acid group attached to the morpholine nitrogen. A red box highlights the chemical structure, and a red location pin icon is placed on it. The date 'Jun. 2, 2022' is displayed in the top right corner. A button labeled '物質情報' (Substance Information) is located on the left, and a button labeled '明細書' (Claims) is located on the right.

出典：化学情報協会

【特許ファミリーマネージャー⁴⁹⁾】

関連特許ファミリーごとの並び替えや CAplus/CA ファイルのダブルベーシック特許(特許ファミリーに PCT 出願を含む場合は、PCT 出願の基礎となった最も古い優先権情報を持つ国内出願公報の両方をベーシック特許として収録)の重複除去を自動的に実行できる。

図 3.6.4 に、回答セットの特許ファミリーを FSORT (関連特許ごとにソート) して表示する方法の例を示す。(上限 5,000 件)。

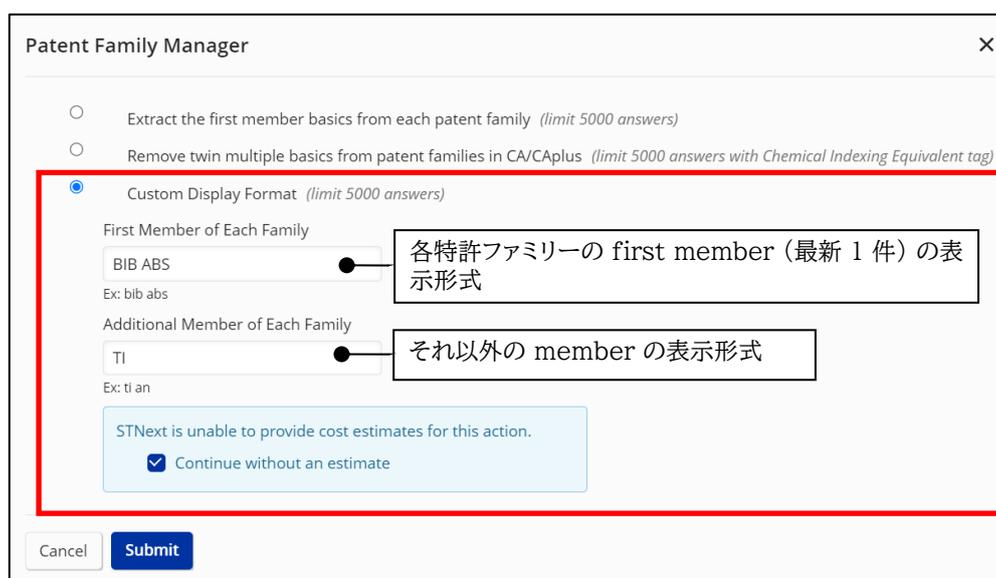
⁴⁹⁾ 化学情報協会 CAS STNext 利用ガイド: <https://seminar.jaici.or.jp/doc/stnextguide.pdf>

図 3.6.4 回答セットの特許ファミリーを FSORT して表示する例

- ① History タブの対象 L 番号の Patent Family Manager をクリックする。



- ② 回答セットの特許ファミリーを FSORT して回答を表示する。(上限 5,000 件)



出典：化学情報協会

5) 導入コスト

化学情報協会ホームページに掲載されている契約プラン⁵⁰によれば、新規契約を希望する利用者に対しては、それぞれの調査ニーズに応じて 3 種類の契約プランが用意されている。一律の価格体系ではなく、過去の利用実績や個別の事情を考慮して提案している。見積もりを希望する場合は、問い合わせをする。

表 4.7.1 に、CAS STNext の新規利用希望者向け契約プランを示す。

⁵⁰ 化学情報協会ホームページ: <https://www.jaici.or.jp/stn-ip-protection-suite/plan/>

表 4.7.1 CAS STNext の新規利用希望者向け契約プラン

| | | |
|---------------------------------|----------|--|
| STN IP Protection Suite | 概要 | 調査ニーズに総合的なソリューションを提供する利用上限なしの年間契約プラン |
| | 含まれるサービス | CAS STNext(GVP)、CAS PatentPak、CAS Sequences、CAS FORMULATIONS ファイル、CAS Scientific Patent Explorer、FIZ PatMon、CAS Search Guard |
| | オプション | DWPIM ファイル |
| CAS STNext(GVP) | 概要 | CAS STNext のファイルを年間定額で利用できるプラン |
| | 含まれるサービス | CAS STNext(GVP) |
| | オプション | CAS PatentPak、CAS Sequences、CAS FORMULATIONS ファイル、DWPIM ファイル |
| CAS STNext Search Service(SSVP) | 概要 | 調査会社用のプラン (利用上限ありの年間契約) (Clarivate のファイルを除く全データベースが対象) |
| | 含まれるサービス | CAS STNext Search Service(SSVP) |
| | オプション | CAS PatentPak、CAS FORMULATIONS ファイル、CAS Sequences |

出典：化学情報協会

3.7 「CKS Web」

1) 概要

CKS Web⁵¹は国内特許検索システムで、2005年から提供されている。昭和46年からの全文検索をはじめ、100種類以上の検索項目を備え、目的の特許情報を見つけるための機能を数多くそろえている。OCRで切り出した図面の表に記載のキーワードを検索できる図面内テキスト検索、数値限定の発明に有効な数値検索、パワフルな出力機能、その他に、キーワード選択型・階層型・フリーテキスト型の3つのタイプの拡張メモや国内知財訴訟検索(Jiplit)、生成AI関連の有償オプションを備える。

(参考) 中央光学出版株式会社について

中央光学出版⁵²は1975年9月に設立され、知的財産に関連する情報提供サービス(特許情報の各種データ販売及び出版、文献複写サービス、特許抄録誌の発行及び特許情報のSDI⁵³サービス)、知的財産に関連するソフトウェア等の開発及び販売(国内外特許情報のインターネット検索サービス、特許出願・年金管理システム、知的財産の価値・評価・分析等R&D/IP戦略ツール)、知的財産アウトソーシング(国内外特許調査サービス、特許出願包袋などの電子化サービス、特許資料等の翻訳サービス)を事業内容とする。

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 共通：日本 |
| 収録範囲 | 特許・実用新案： ・公開系公報(公表/再公表を含む)：1971年(昭和46年)～前日までの最新公報発行分 ・登録系公報：1971年(昭和46年)～前日までの最新公報発行分 ・日本語出願の国際公開公報：2017年(平成29年)～前日までの最新公報発行分 ・特許情報標準データ：～週次データの最新発行分 ・公報PDF：1971年(昭和46年)～収録公報分 ・日本語出願の国際公開公報PDF：2017年(平成29年)～収録公報分 ・数値検索：1971年(昭和46年)～収録公報分 ・図面内テキスト：1993年～おおむね最新公報の1週間遅れで更新 意匠：2000年～ |
| タイムラグ | 共通：発行日の夜間登録 |

⁵¹ 中央光学出版ホームページ：<https://www.cks.co.jp/home/Products/CKSWeb.html>

⁵² 中央光学出版ホームページ：<https://www.cks.co.jp/home/about/profile.html>

⁵³ SDIは、Selective Dissemination of Informationの略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

| | |
|------|---|
| 更新頻度 | 特許・実用新案：公報は毎日登録、特許情報標準データは毎週登録 意匠：公報データを毎日登録 |
|------|---|

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、審判番号、事件番号など |
| | | 意匠 | 出願番号、意匠公報番号、協議不成立意匠出願番号、審判番号、優先権主張番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 公報発行時情報検索（公報記載の出願人、特許情報標準データ記載の出願人での検索）、CKS Web 独自の検索項目として、出願人の数を検索可能 |
| | | 意匠 | 公報発行時情報検索（公報記載の出願人検索可能） |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索（実施例や公報中の表に記載のキーワードを検索可能）、請求項を独立請求項と従属請求項に分けて検索可能 |
| | | 意匠 | 意匠に係る物品、意匠に係る物品の説明、意匠の説明、意匠の特徴 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、その他日付 |
| | | 意匠 | 出願日、登録日、公報発行日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、中央光学出版社独自の検索項目として分類の数などで検索可能 |
| | | 意匠 | (現行)日本意匠分類・Dターム、(旧)日本意匠分類、(旧)Dターム、国際意匠分類(ロカルノ分類) |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式の編集機能、検索式に任意の情報(メモ)を付与可能 |
| | | 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、検索式の編集機能 |
| | 関連意匠(類似意匠)検索 | 意匠 | - |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | - |

| | | | |
|-----------|--------------|---|--|
| 検索 | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能、数値範囲と単位による数値検索、図面内テキスト検索 |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | 生成 AI を使用した類義語提案機能（分類と類義語の照会機能） |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 意匠 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、引用・被引用情報、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示（オプションで、和解や取下げによって終了した案件も検索可能） |
| | | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報、図面 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| | 関連意匠（類似意匠） | 意匠 | 関連／類似意匠の一覧表示 |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能、独自レイアウトの抄録画面、生成 AI を使用した要約生成機能 |
| | | 意匠 | 検索結果のソート、表示のカスタマイズ |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | - |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | - |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | <u>引用ツリー</u> |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報、ヒートマップグラフのダウンロード、独自レイアウト抄録の PDF ダウンロード | |
| | 意匠 | 書誌リスト | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | アラート機能（SDI（AI 機能を使った SDI 結果の並べ替え機能あり）・ウォッチング機能）、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能（IPC ガイドや入力した文章からキーワードを抽出し、検索式作成に反映可能）、ユニバーサルデザイン対応（ハイライトカラーを複数パターン用意） | |
| | 意匠 | アラート機能（SDI） | |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

CKS Web では、可視化機能として「引用ツリー」機能が提供されている。また、辞書機能として「分類と類義語の照会」機能が提供されている。

【引用ツリー⁵¹（引用ネットワークの可視化）】

標準機能として、画面表示の引用ツリー機能がある。

【分類と類義語の照会機能⁵¹（辞書機能）】

生成 AI を使用した分類と類義語の照会機能（有償オプション）を提供する。この機能により、文章での類義語の照会ができる。また、IPC、FI を使用して、技術分野を特定した類義語の照会も可能である。図 3.7.1 に、分類と類義語の照会画面例を示す。

図 3.7.1 分類と類義語の照会画面例

キーワード、文章、文章×分類で類義語を検索



出典：中央光学出版

5) 導入コスト⁵⁴

CKS Web の導入コスト（2024年2月現在）は月額利用料の形態で、特許調査に必要な機能を網羅したスタンダードな ID (Admin ID) が月額 8,000 円である。ID の種類としては、その他に、ウォッチングや SDI の登録件数を強化した ID (Super Admin ID) と閲覧専用の ID (SDI ID) を用意しており、追加可能な有償オプション機能としては、国内意匠検索、国内知財訴訟検索、生成 AI を利用した類義語提案や分類提案、要約作成機能などを用意している。

⁵⁴ 中央光学出版のサービス紹介資料の CKS Web 価格表を参考に記載

3.8 「Cotobox」

1) 概要

Cotobox⁵⁵はオンライン商標登録サービスである。ホームページのトップ画面にて、ユーザーが登録したい商標について簡単に費用の見積りを確認できる。その際、当該商標が既に登録されていないか、画像で検索することが可能である。具体的には、登録したい商標をテキストか画像で入力し、区分を選択すると、似たような商標が登録されていないかを確認できる。Cotobox は類似商標検索機能を備えるものの、商標登録を中核とするサービスである。

また、Cotobox は、商標モニタリングサービスを提供しており、ユーザーは、競合企業の商標出願情報チェック、特定の区分及び指定商品・役務に属する商標出願情報チェック及び商標侵害チェックの 3 種により検出された商標を監視対象として登録することで、拒絶理由通知、設定登録、更新登録等のイベントの発生を早期に発見することが出来る。また、商標制度における情報提供⁵⁶や異議申し立てへの対応も可能である。

(参考) cotobox 株式会社について

cotobox⁵⁷は 2016 年 2 月に創立され、Cotobox の開発・販売、商標業務 DX 導入支援、知財情報提供及びコンサルティング、それらに付帯する事業の企画・開発・運営を事業内容とする。どんな人でも手軽に使える商標登録サービスを開発することで、上昇する知的財産価値の保護を身近にし、人々にとって喜ばしい体験、すなわち上質な「コト」づくりを推進するとのミッションを持つ。

2) 収録データ

収録国・地域、収録範囲、タイムラグ、更新頻度、失効データなどの情報は得られなかった。

3) 機能一覧⁵⁸

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|----------|----|------------------|
| 検索 | キーワード等検索 | 商標 | 商標（文字商標）、呼称、類似商標 |

⁵⁵ cotobox ホームページ: <https://cotobox.com/>

⁵⁶ 審査の的確性及び迅速性の向上のために、審査に有用な情報(商標登録出願に係る商標が商標の登録要件を満たしていない、商標の不登録事由に該当する等)を提供する制度

⁵⁷ cotobox から提供された情報を基に記載

⁵⁸ 本機能一覧は、ウェブサイト上で公開された情報に基づいて作成されており、他にも実装されている機能が存在する可能性がある。

| | | | |
|--------|--------|----|------------|
| 検索 | 分類検索 | 商標 | 区分、AI 絞り込み |
| | 類似画像検索 | 商標 | 画像検索 |
| その他の機能 | | 商標 | - |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Cotobox では、類似画像検索機能として「画像検索」機能が提供されている。

【画像検索⁵⁵（類似画像検索）】

5MB 以下、縦横それぞれ 1180px 以内の jpg ファイルを選択して、似たような商標が登録されていないか、確認できる。オンライン商標登録サービス「Cotobox」への申し込みを前提に、無料で画像検索できる。図 3.8.1 に画像情報入力画面の例を、図 3.8.2 に検索結果の画面の例示す。

図 3.8.1 画像情報入力画面の例

The screenshot displays the 'Image Information Input' screen in three stages:

- 1 商標情報の入力 (Trademark Information Input):**
 - Buttons: 文字商標 (Text Trademark), **ロゴ商標 (Logo Trademark)**
 - Image upload area: Cotobox logo (orange square with '6' and 'Cotobox' text).
 - Text input: 'Cotobox' (with 'よみがな' dropdown set to 'ことぼくす').
 - Radio buttons for 'ロゴ内の文字' (Text in logo): あり (Yes), なし (No).
- 2 区分の選択 (Classification Selection):**
 - Buttons: **全て (All)**, AI絞り込み (AI Narrowing)
 - Dropdown: 'すべて' (All)
 - Text: '選択中の区分数: 1区分' (Number of selected classifications: 1 classification)
 - Classification list:
 - 1類 化学品 (Chemicals)
 - 41類 教育、娯楽、スポーツ、文化 (Education, Entertainment, Sports, Culture)
 - 42類 調査、分析、設計、開発 (Investigation, Analysis, Design, Development)** - highlighted in orange
 - 43類 飲食、宿泊 (Food and Accommodation)
- 3 商標情報の確認 (Trademark Information Confirmation):**
 - Text: '次の画面で類似商標の有無を確認できます。' (You can check for similar trademarks on the next screen.)
 - Button: 商標を入力し、区分を選択した上で次へ進む (Proceed to the next step after entering the trademark and selecting the classification)

出典：cotobox

図 3.8.2 検索結果の画面の例



出典：cotobox

5) 導入コスト⁵⁵

Cotobox の導入コスト (2024 年 2 月現在) については、ホームページ上で開示されており、類似商標検索機能に限れば無料で利用できる。また、商標モニタリングサービスは、有償にて提供されている。

3.9 「CyberPatent Desk」

1) 概要

CyberPatent Desk⁵⁹は、世界約100の国と機関の知財情報を収録し、AIを活用した検索機能や多彩な表示などにより特許調査業務の効率化・高度化を支援する知的財産情報サービスである。世界約100の国・機関の知財情報を収録し、AIを活用した機能でグローバルな特許データを効率的に検索できる。簡単な操作で多彩な検索項目を利用した検索が可能で、再公表早期サービスで日本企業の国際出願をいち早くキャッチできる。出願人変遷マップ、新着公報の自動抽出・メール配信、5,000件の文献を一括照会できる文献番号照会、審査経過の経過フロー図、また、全社、部門といった組織単位での調査業務を効率化する情報共有機能等を持つ。

CyberPatent Deskを提供するサイバーパテントはQuestelグループであるが、QuestelのOrbit Intelligenceはワールドワイドなファミリー単位の検索、CyberPatent Deskは日本の特許等の質の高い検索という形ですみ分けされている。

なお、CyberPatent Deskのユーザー数は、約3,000社（2024年1月現在）である。

(参考) サイバーパテント株式会社とQuestel SASについて

CyberPatent Desk自体は、野村総合研究所の社内ベンチャーの形で、1996年12月から無料でスタートし、1997年6月から有償サービスを展開している。2001年7月に、NRIサイバーパテント⁶⁰として創立されたが、2020年1月に、Questel傘下に入り、社名をサイバーパテントに改称している。

Questelは、1978年にOrange S.A.（旧France Télécom S.A.）の子会社として設立され、2001年にフランステレコムから独立し、知的財産に特化した事業を展開している。ヨーロッパ、アメリカ、アジアに拠点をもち、積極的な買収戦略や業界の標準となるような絶え間ないイノベーションにより、世界的なリーダーに成長した。知的財産に関する情報提供サービス、知的財産に関するソフトウェア等の開発及び販売、各種権利化支援サービス、知的財産に関するコンサルティング、教育及び研修などを主な事業内容としている。

⁵⁹ サイバーパテントホームページ： <https://www.patent.ne.jp/service/patent/search.html>

⁶⁰ サイバーパテントホームページ： <https://www.patent.ne.jp/company/history.html>

2) 収録データ

| | |
|----------|---|
| 収録国・地域 | 特許・実用新案：日本／米国/WIPO(PCT)／欧州特許庁／中国／ドイツ／フランス／英国／ロシア／韓国／インド／台湾（他 94 カ国、計 106 カ国） 意匠：日本 商標：日本 |
| 収録範囲 | 特許・実用新案：日本 1971 年～／米国 1976 年～／WIPO(PCT) 1978 年～／欧州特許庁 1978 年～／中国 1985 年～／ドイツ 1877 年～／フランス 1855 年～／英国 1833 年～／ロシア 1993 年～／韓国 1978 年～／インド 1912 年～／台湾 1990 年～他、国によって異なる 意匠：2000 年～ 商標：1999 年 12 月時点で権利存続のデータを全て収録、その後失効しても削除せず |
| タイムラグ | 特許・実用新案：日本 1 日、海外 約 1 週間（国によって多少前後する） 意匠：1 日 商標：約 1 週間 |
| 更新頻度 | 特許・実用新案：日本 平日は毎日、海外 週 1 回 意匠：平日は毎日 商標：週 1 回 |
| 商標/失効データ | 含む |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|-------|---------|---|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報、引用特許番号、他 |
| | | 意匠 | 番号のみの検索画面はなく複合検索の番号項目で検索可能 |
| | | 商標 | 番号のみの検索画面はなく、全文検索で番号項目を検索可能 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、日本語名検索、英語名検索（JP 検索画面と海外検索画面で差異あり）、出願人検索支援機能 |
| | | 意匠 | 出願時情報検索、日本語名検索 |
| | | 商標 | 出願時情報検索、出願人検索支援（出願人変遷マップ） |

| | | | |
|----|--------------|---------------|---|
| 検索 | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、外国文献の日本語検索（米国概念検索のみ対応） |
| | | 意匠 | 意匠に係る物品、意匠に係る物品の説明、意匠の説明 |
| | | 商標 | 商標、呼称 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、基準日（基準日は出願日と優先権主張日のより早い日付を検索）、他 |
| | | 意匠 | 出願日、登録日、公報発行日 |
| | | 商標 | 出願日・国際登録日、登録日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、F ターム、CPC、USC/ECLA（過去蓄積分） |
| | | 意匠 | （現行）日本意匠分類・D ターム、（旧）日本意匠分類、（旧）D ターム、国際意匠分類（ロカルノ分類） |
| | | 商標 | 図形等分類、類似群コード、区分、商標のタイプ |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 意匠 | 論理式による検索、近接検索、近傍検索 |
| | | 商標 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索 |
| | 関連意匠（類似意匠）検索 | 意匠 | 関連意匠検索はあり、類似意匠検索はなし |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 日本、海外共にあり。日本は中間記録コードを指定した検索も可能 |
| | | 商標 | - |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能（連想語サジェスト（キーワード入力補助）、分類入力補助、出願人入力補助、近傍演算入力補助）、 <u>類似特許の検索（類似検索（1件の特許と類似した特許を検索））、複数公報類似検索（複数の特許と類似した特許を検索）</u> ）、 <u>自然文検索（概念検索）</u> 、分類・評価検索（利用者が付与した社内分類、評価情報の検索機能） |
| 商標 | | 入力支援機能 | |

| | | | |
|---------|--------------------|--------------------|---|
| 検索 | 辞書機能 | 特許・実用新案 | <u>連想語サジェスト機能（同義語や関連用語等を提示）</u> |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用（検索履歴は過去1年分を保存） |
| | | 意匠 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用（検索履歴は1年間保存） |
| | | 商標 | 検索条件保存・参照 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、独自翻訳の英文要約、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、外国文献の日本語表示 |
| | | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報、秘密公報（書誌事項のみ閲覧可）、図面 |
| | | 商標 | 公開商標文献、書誌情報、図面、経過情報の表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | 一覧表示を、AIを利用して並べ替える機能あり |
| | | 意匠 | - |
| | | 商標 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | <u>PF 単位ソート機能（独自のパテントファミリー）</u> |
| | 関連意匠（類似意匠） | 意匠 | 関連/類似意匠の一覧表示 |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート |
| | | 意匠 | 検索結果のソート、表示のカスタマイズ |
| 商標 | | 検索結果のソート、表示のカスタマイズ | |
| 検索結果の保存 | 特許・実用新案 意匠 | - | |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | - |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | - |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | CyberPatent Desk テキストマイニングで分析機能を提供 |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | <u>引用マップ</u> |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等) | 特許・実用新案 | <u>CyberPatent Desk テキストマイニング</u> |
| | その他分析機能 | 特許・実用新案 | CyberPatent Desk テキストマイニングにAIによる自動グルーピング機能あり |

| | | |
|-----------|---------------|--|
| データダウンロード | 特許・実用新案 意匠 | 書誌リスト、PDF 公報 |
| | 商標 | 書誌リスト、公報の Word 形式のダウンロード 機能あり |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 出願人名等の名寄せ、アラート機能 (SDI ⁶¹ ・ウ ォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユ ーザー向け機能、AI 活用 |
| その他の機能 | 意匠 | アラート機能 (SDI・ウォッチング機能)、情報 共有機能 |
| | 商標 | 商標速報ダウンロード機能 (分類ごとに1週分 の新着商標の Excel ファイルをダウンロード可 能) |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

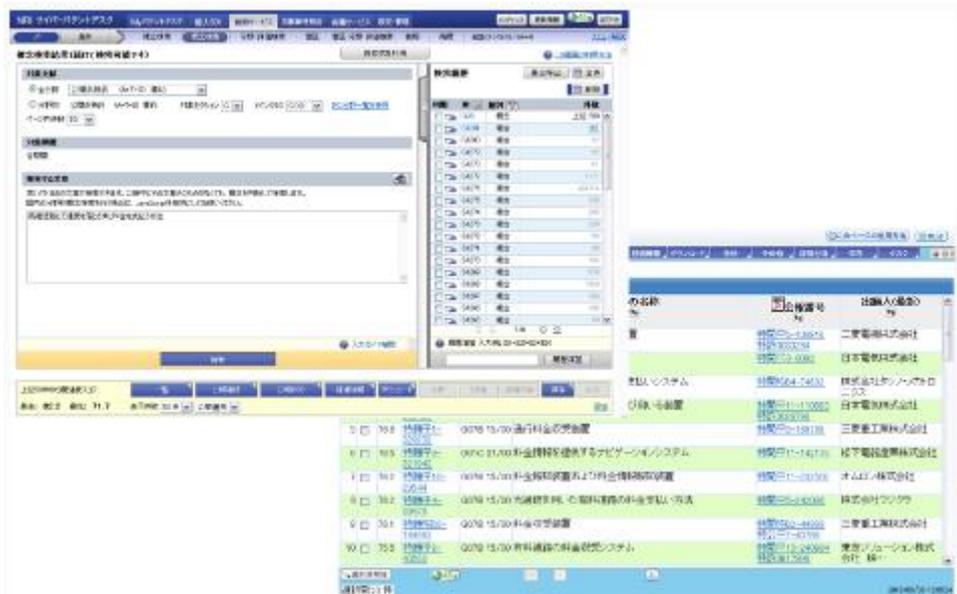
CyberPatent Desk は、類似検索・概念検索機能として「概念検索」を提供している。また、特許情報分析機能として「CyberPatent Desk テキストマイニング」、独自のパテントファミリー表示機能として「PF 単位ソート機能」、引用ネットワークの可視化機能として「引用マップ」、辞書機能として「連想語サジェスト機能」を提供している。

【概念検索⁵⁹ (類似検索・概念検索)】

概念検索は、自然文を使って簡単に特許・実用新案・意匠を検索できる機能であり、知財担当者だけでなく発明者にも簡単に扱うことができる。AI を活用して事前学習した独自のエンジンにより、概念検索の精度が向上した。また、入力した文章や指定した対象に内容が近い順に検索結果が表示されるので、類似度の高い文献からチェックすることが可能である。図 3.9.1 に、概念検索の画面例を示す。

⁶¹ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

図 3.9.1 CyberPatent Desk の概念検索の画面例



出典：サイバーパテント

【テキストマイニング⁶²（特許情報分析（IP ランドスケープ等））】

CyberPatent Desk のテキストマイニングは、数万件の特許、論文データをもとに、技術動向や知財ポートフォリオを可視化するもので、分析結果の査読、共有及びデータ出力までサポートする知的財産分析サービスである。

テキストマイニングには主に以下の特徴がある。

- ・ 「CyberPatent Desk」との関係によりシームレスに知財情報の利用が可能
 - ・ 最先端の自然言語処理（NLP）解析技術で「特許分析に適したテキストマイニング」処理を実行
 - ・ 「クリック操作のみの簡易分析」から「分析者の知見を反映した精緻な分析」までをサポート
 - ・ AI を活用した自動分類により業務の効率化や新たな気づきを示唆
 - ・ 独自の知財価値評価指標（Technology Size＝権利の広さ）を用いた分析が可能
 - ・ 母集団を簡単に更新することができ、継続的な分析が可能
 - ・ コワークによる分析、ポータル機能を使った分析結果の共有が可能
 - ・ 特許分析結果を様々な手法でビジュアル化することが可能
- テキストマイニングのサービスイメージを図 3.9.2 に示す。

⁶² サイバーパテントホームページ：<https://www.patent.ne.jp/service/patent/macro.html>

図 3.9.2 テキストマイニングサービス



出典：サイバーパテント

【PF 単位ソート（独自のパテントファミリー）】

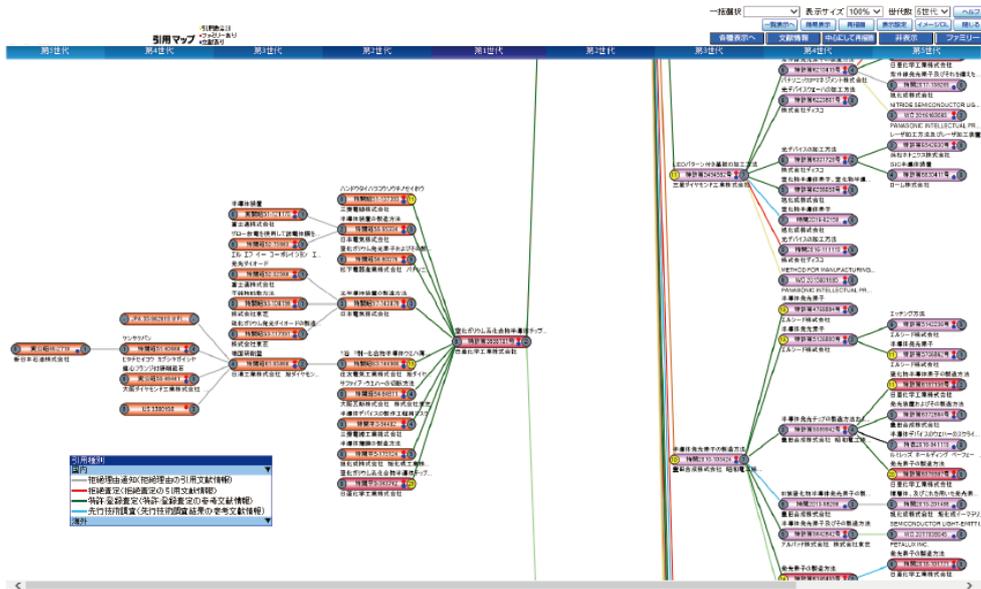
PF 単位ソート機能は、Orbit Intelligence⁶³と連携し、Orbit Intelligence のファミリー情報を使って並べ替えを行う機能である。CyberPatent Desk 上で、Orbit Intelligence が付与したファミリーID を使って並べ替えを行い、ダウンロードすることが可能である。

【引用マップ⁵⁹（引用ネットワークの可視化）】

CyberPatent Desk の引用マップ機能では、最大 5 世代の引用文献・被引用文献をマップ形式で表示する。引用種別を限定して表示することもできる。また、表示している文献群をリスト化してダウンロードすることもできる。図 3.9.3 に、引用マップの表示例を示す。

⁶³ Orbit Intelligence は特許調査と分析に特化した知的財産情報ソフトウェアのこと
(<https://www.questel.com/ja/patent/ip-intelligence-software/orbit-intelligence/>)

図 3.9.3 引用マップの表示例



出典：サイバーパテント

【連想語サジェスト機能⁵⁹（辞書機能）】

AI 活用「連想語サジェスト機能」によりキーワード入力を支援する。特許文献を AI で解析して、あるキーワードに関連が深いキーワードを「連想語」として提供する。検索キーワードが思い浮かばない時や検索式の見直しなどに有効である。図 3.9.4 に、連想語サジェスト機能の画面例を示す。

図 3.9.4 連想語サジェスト機能の画面例



出典：サイバーパテント

5) 導入コスト

CyberPatent Desk の契約プラン (2024 年 2 月現在) には、IID 単位での契約「e プラン」と企業単位・部門単位での契約プラン「法人パック」の 2 種類がある。「e プラン」の基本プランは、定価が月額 25,000 円で、オプションにより価格は変わるが、高くても月額 6 万円程度である。法人パックは、ID 数やオプションにより変わるが、月額 10 万円前後〜である。

3.10 「Derwent Innovation」

1) 概要

Derwent Innovation⁶⁴は知的財産専門家とデータサイエンティストによって開発され、市場をリードする特許調査・分析プラットフォームで、世界で信頼される特許及び学術文献データベースへのアクセスが可能である。強化されたコンテンツ、独自の検索及びデータインテリジェンステクノロジーは、40,000人を超えるグローバルな研究者、特許技術者たちの複雑な課題の解決策を見出すことをサポートする。

Derwent Innovationは、学術文献など様々な情報を蓄積しているが、特許に関しては、Derwent World Patent Index (DWPI)を持っているのが最大の特徴である。DWPIは、Clarivateの各分野の専門家が、特許の明快な名称や発明の新規性、用途、優位性などをまとめた抄録を付加して強化された、Clarivate独自の付加価値データベースである。特許の記載スタイルは、国や地域によりまちまちであるが、専門家により統一的に作成されたタイトルや抄録を含むDWPIは、必要な特許情報を正確、迅速、簡単に特定することを助ける。

なお、現在、Derwent Innovationは4万を超えるユーザー(ID)登録があり、企業、研究機関、法律事務所、各国の特許庁等で利用されている。

(参考) Clarivate Plcについて

Clarivate⁶⁵は、信頼性の高い変革的なインテリジェンスを提供するグローバルリーダーで、知識と研究、そしてイノベーションの領域にわたる深い専門知識に基づき、充実したデータ、洞察、分析、さらに、ワークフローソリューションを提供する。水処理業界を変革するための知見の提供や重要なワクチンの供給加速にとどまらず、人間の創意工夫の力を活用して世界最高のブレークスルーを促進することを目標とする。そのサブスクリプションとテクノロジーベースのソリューションは、深いドメインの専門知識と共に、世界中の45,000以上の顧客から信頼を得ている。

2) 収録データ

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 収録国・地域 | フルテキスト世界75カ国、DWPI（独自抄録）59カ国 |
| 収録範囲 | 古いもので1836年以降（米国登録）から現在まで |
| タイムラグ | DWPI（第三者抄録）2～3週間、フルテキスト 数日～数カ月（国による） |

⁶⁴ Clarivate ホームページ: <https://clarivate.com/derwent/ja/solutions/derwent-innovation/>

⁶⁵ Clarivate ホームページ: <https://clarivate.com/ja/about-us/>

| | |
|------|----------------------------|
| 更新頻度 | フルテキスト：毎日（発行国による） DWPI：週2回 |
|------|----------------------------|

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|-----------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号（テキストファイル等でのアップロード可能。3万件又は6万件まで）、優先権番号、ファミリー情報 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索（DWPI アクセセッション番号による検索が可能（3万件又は6万件まで））、日本語名検索（「日本特許検索」のオプションにて利用可能）、英語名検索、出願人検索支援機能（コーポレートツリー、独自に名寄せした出願人コードの参照（検索）など可能）、その他の出願人検索機能（現在の権利者を「最適化譲受人」「最終親会社」と予測表示するフィールド） |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称（翻訳された英語又は現地語（フランス語、ドイツ語、スペイン語）で検索可能）、要約（オリジナルの要約を翻訳された英語又は現地語（フランス語、ドイツ語、スペイン語）で検索可能）、請求項（翻訳された英語又は現地語（フランス語、ドイツ語、スペイン語）で検索可能）、詳細な説明（翻訳された英語で検索）、課題・従来技術などのその他の項目での検索（Clarivateで独自に編集しているDWPIタイトル、DWPI抄録では、用途や優位性の検索が可能）、 <u>Smart Search</u> で、日本語等の単語での検索が可能 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日（公報単位、ファミリー単位）、公開日（公報単位、ファミリー単位）、登録日（公報単位、ファミリー単位）、優先権主張日（公報単位、ファミリー単位。最先の優先権主張日も検索可能）、法的状況のイベント発生日等 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC（C-set（コンビネーションセット））の検索に対応。CPC付与機関の検索可能）、Clarivate独自のDWPIマニュアルコード使用可能（IPCと異なる体系） |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索（複数の検索同士の演算が可能「スタック検索」）、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援（構文チェック機能あり） |

| | | | |
|----|--------------|---------|--|
| 検索 | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 生死情報はフィルタリング可能。法的状況は検索可能。 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能（特許分類の参照機能。特許分類表記の正規化機能）、 <u>Smart Search</u> （類似検索・概念検索） |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献（現地語、英訳）、書誌情報（現地語、英訳）、図面、英文抄録（Clarivateで翻訳した英語抄録を閲覧、検索可能）、引用・被引用情報（ファミリー単位で、引用種別（出願人、審査官、第三者）カテゴリ（X, Y, A 等）閲覧、検索可能）、 <u>パテントファミリー</u> 、経過情報の表示（INPADOC 法的状況として閲覧可能）、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示（Darts-ip ⁶⁶ に収録のあるレコードを表示、一部原告被告等表示）、ライセンス情報の確認、外国文献の日本語表示（レコード表示で日本語への翻訳機能あり。その他ブラウザでの翻訳機能を利用可能） |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー、 <u>DWPI ファミリー（独自のパテントファミリー）</u> |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能 |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | - |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | <u>ThemeScape</u> |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | <u>予測分析</u> （独自のスコアリングを用意：戦略的重要性、技術分野での重要性、特許総合インパクト） |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | - |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | インサイト機能で、出願人、出願国、技術分野などを一覧可能 |

⁶⁶ Darts-ip は知財判例/訴訟データのこと (<https://clarivate.com/ja/blog/広い視点で見る:darts-ipのグローバル知財判例データ/>)

| | | | |
|-----------|----------------------------|---------|--|
| 分析 | 特許情報分析(IP ランドスケープ 等) | 特許・実用新案 | <u>Derwent Data Analyzer</u> ⁶⁷ 連携 |
| | その他分析 | 特許・実用新案 | テキストクラスタリング、特許性判断機能(予測分析) |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 | 書誌リスト(3万件又は6万件まで)、PDF公報、DWPIタイトル、抄録等付加価値情報もダウンロード可能 |
| その他の機能 | | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正、 <u>出願人名等の名寄せ(DWPI出願人/譲受人、DWPI出願人コードなどで名寄せした出願人情報を提供)</u> 、アラート機能(SDI ⁶⁸ ・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能(<u>Smart Search</u> 、Semantic Smart Searchを活用して、概念で検索可能)、 <u>Derwent Data Analyzer</u> へのエクスポート、Darts-ipとの連携 |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Derwent Innovationは、類似特許の検索・概念検索機能として「Smart Search」を提供している。また、独自の特許ファミリー表示機能として「DWPIファミリー」、価値評価機能として「予測分析」、出願人名等の名寄せ機能として「DWPI出願人コード」、マップ表示機能として「ThemeScape」を提供している。さらに、特許情報分析機能(IPランドスケープ等)として「Derwent Data Analyzer」と連携している。

【Smart Search^{64,69}(類似検索・概念検索)】

Smart Searchテクノロジーは効率性と使いやすさを実現するべく構築された、独自の直感的な特許検索・分析プラットフォームで、特許の検索方法とワークフローを最適化する。簡単に入力した単語から、DWPIコンテンツを利用し、自動的に検索語のバリエーションを広げ、IPC/DWPIマニュアルコード、引用特許を含めた検索を行い、検索結果を関連度スコア順に表示する機能である。Derwent InnovationのSmart Searchでは、AI技術にはさほど頼らず、キュレーションされたDWPIの抄録などの情報を用いることで、高い精度の検

⁶⁷ Derwent Data Analyzerは、高度なデータサイエンスアルゴリズムを使用するインストール型データマイニングプラットフォームのこと(<https://clarivate.com/derwent/ja/solutions/derwent-data-analyzer/>)

⁶⁸ SDIは、Selective Dissemination of Informationの略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

⁶⁹ Clarivate ホームページ:

<https://clarivate.com/products/ip-intelligence/patent-intelligence-software/>

索を実現している。なお、自然文の検索は英語のみで、日本語の場合は、単語単位で区切って入力して検索をする必要がある。図 3.10.1 に、Smart Search の画面例を示す。

図 3.10.1 Smart Search の画面例

検索

①ホーム画面の検索で“Smart Search”を選択し、**単語（英語、日本語、フランス語、ドイツ語）**または**文章（英語）**を入力し、虫眼鏡のマークをクリックします。
※入力する文字数に制限はありません

リチウム 電池 正極 活物質 酸化鉄

Smart Search 公報番号

スマートサーチ実行時にDerwent Innovationが内部で行っている操作

スマートサーチの活用方法例

未知の技術分野について、
①日本語の単語でスマートサーチを行い、
②結果から自分が求めている技術に近い特許のDWPIタイトル、DWPI抄録の英文をスマートサーチする

より自分が知りたい技術の母集団を抽出でき、**他社技術の把握、検索式を作成する条件（IPC、キーワードなど）のサポート**になります。

(1)の母集団内で頻繁に共通で使われている用語

secondary battery, comprises positive electrode active material

(1)の母集団内で共通で使われているIPC, CPC, マニュアルコード

C : 引用文献

(1)の母集団内で共通で使われている引用文献

(2) (1)で抽出した特許の A : DWPIタイトル、B : 特許分類、C : 引用文献の内容をみて、A or B or Cの検索式を作成し、全世界の特許を検索する

検索結果

重みづけの例

A : DWPIタイトル
B : 特許分類
C : 引用文献

ヒットした言語数
ヒットしたキーワードの場所
ヒットした特許分類のコード数
ヒットした特許分類の順位
ヒットした引用文献数

関連性

最高値を100とし、100に近ければ技術の関連性が高い

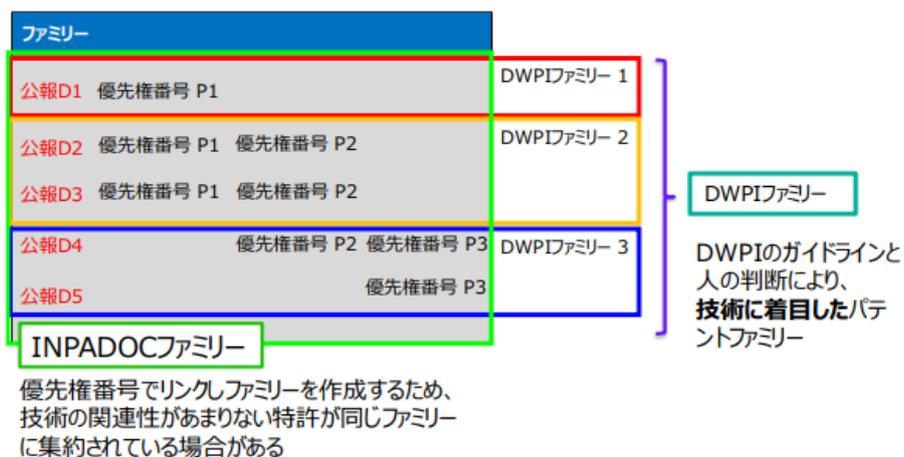
②入力した単語または文章に関連する特許をDerwent Innovationが(1),(2)の操作を経て自動的に1000件抽出します。抽出した検索結果を様々な要因から重みづけをし、関連性フィールドでスコア化します。

出典：Clarivate

【DWPI ファミリー⁷⁰（独自のпатентファミリー）】

Derwent Innovation では、各国に出願された同じ発明に関する公報を一つのпатентファミリーとして集約し、発明単位で一つのレコードを構成する DWPI ファミリーを作成している。発明単位で特許をまとめた DWPI ファミリーにより、技術内容や技術ごとの出願戦略の把握をサポートする。図 3.10.2 に、DWPI ファミリーの構造を示す。

図 3.10.2 DWPI ファミリーの構造



出典：Clarivate

【予測分析⁷¹（価値評価、特許性判断）】

Derwent Innovation では、最高クラスのデータと最新のデータサイエンス技術を組み合わせ、ユニークで実用的なデータを生成している。予測分析は、150 を超える主要な入力変数から機械学習に基づいて情報を取得し、「技術分野での重要度」「戦略的重要性」及び「総合特許インパクト」の価値指標に関わる 3 つの指標と、「登録の可能性」「早期失効の可能性」及び「失効後の回復の可能性」のイベントに関わる 3 つの指標を作成する。

「価値指標」に関わる指標の詳細を以下に示す。

- ・ 技術分野での重要度：
- ・ 技術領域における特許公報の相対的な重要度。今後 10 年間で他社による被引用が多くなるかどうか（他社特許の審査段階で参照されるかどうか）を予測する。
- ・ 戦略的重要性：
- ・ 企業における特許公報の相対的な重要度。今後 10 年間で自社による被引用が多くなるかどうか（自社特許の審査段階で参照されるかどうか）を予測する。

⁷⁰ Clarivate ホームページ：https://clarivate.com/derwent/wp-content/uploads/sites/3/2020/12/DI_QRC_Full_Ana_V9.pdf

⁷¹ Clarivate ホームページ：https://clarivate.com/ja/wp-content/uploads/sites/15/2022/09/Derwent-webinar-指標_新機能_20200612a.pdf

- ・ 総合特許インパクト：
- ・ Clarivate の様々なスコアを組み合わせた、特許公報の総合的な重要性。

予測分析の指標は、データベース全体のスコアを正規化して、100 ポイントのスケールを使用しており、様々な技術分野間の比較を可能にしている。スコアは相対的な強さを示す。図 3.10.3 に、価値指標スコアの例を示す。

図 3.10.3 Derwent Innovation における価値指標スコアの例

価値指標スコアの例：



出典：Clarivate

【DWPI 出願人コード（出願人名等の名寄せ）⁷²】

Derwent Innovation の名寄せ機能としては、公報に書かれたオリジナルの出願人とは別に、それを名寄せした DWPI 出願人名を用意し、一定の出願数があれば、それをコード化した DWPI 出願人コードを付与している。DWPI 出願人コードは、Clarivate が特許出願人に対して独自に付与しているアルファベット 4 文字のコードである。特に多数の出願（通常 500 件以上）を行っている出願人には固有の標準コード（約 22,000 種）が割り当てられており、子会社にも親会社と同じコードが付与されている。そのため標準コードを利用すると、親会社と子会社を包括的に検索することができる。また、標準コードを利用することで、出願人名検索の際の弊害となる出願人名の表記揺れをカバーすることも可能である。それ以外に、予測分析機能の一つとして、最適化譲受人、最終親会社なども用意している。DWPI 出願人は、公報発行時の出願人名を可能な限り名寄せしているが、最適化譲受人は、現在の権利者がどこにあるかを、会社の譲渡や合併情報などをもとに予測して表示する。

⁷² Clarivate ホームページ：<https://clarivate.com/derwent/ja/learning/assignee-code/>

【ThemeScape⁷³（マップ表示）】

ThemeScape とは、Derwent Innovation 特許データ、DWPI の付加価値特許データ又は科学文献コンテンツから情報をテキストマイニングし、マップを作成するデータ解析ツールである。解析結果は等高線マップで表現される。DWPI 抄録を解析対象としてテキストマイニングを実施することで、技術マップ、用途マップ、課題マップなどを得ることができる。得られたマップに対して、更に数多くの項目で再検索することができ、様々な角度から知的財産に関する全体像を俯瞰することができる。図 3.10.4 に、ThemeScape の表示例を示す。

図 3.10.4 ThemeScape の表示例



出典：Clarivate

【Derwent Data Analyzer⁶⁷連携（特許情報分析（IP ランドスケープ等））】

Derwent Innovation 単体の分析機能として、ThemaScape やテキストマイニング機能が提供されているが、より詳細に分析するためのツールとして、Derwent Data Analyzer が提供されている。Derwent Data Analyzer はインストール型データマイニングプラットフォームで、高度なデータサイエンスアルゴリズムが使用されている。特許データ、学術文献、顧客の保有するビジネス情報を、実用的で事業に役立つインサイトに変換する。

また、直感的なワークフロープロセスと強力な可視化機能によって、ユーザーは迅速にデータ分析結果を理解し、レポート化することができる。

Derwent Data Analyzer には主に以下の特徴がある。

- ・ 増大する手作業の分析プロセスを、反復可能な方法で改良し続けることにより、効率性の向上と時間の節約を実現

⁷³ Clarivate ホームページ: https://clarivate.com/wp-content/uploads/2021/04/210401_DITextMining.presentation.pdf

- ・ 大量の特許検索データを迅速かつ的確にビジネス インサイトに変換
- ・ ユーザーのデータを簡単にインポートし、機械と人間の知能の最も優れた部分をシームレスに組み合わせた動的な分析が実行可能

5) 導入コスト

Derwent Innovationの導入コスト（2024年2月現在）は、Clarivateのホームページ上で開示されていない。

3.11 「Design Scope」

1) 概要

Design Scope⁷⁴は、ワールドワイドの意匠データを画像で検索できる類似画像検索システムで、中国の意匠審査官が使用するデータベースである。類似画像が類似順にヒットするので、従来の分類・キーワードによる意匠調査の時間を大幅に削減できる。商品の画像をアップロードするだけで、いち早く国内・国外の意匠権に抵触しているか否か調査できる。

(参考) 知識産権出版社有限責任公司及び株式会社プロパティ（日本販売代理店）について
知識産権出版社⁷⁵は 1980 年 8 月に設立され、中国国務院から資金提供を受けている。中国国内で全国的な書籍、ジャーナル、電子及びオンライン出版を担っている部門であり、特許文献出版会社として発展してきた。

プロパティ⁷⁶は、1996 年の創立以来、特許調査業務を基幹業務としつつ、知的財産分野で必要とされるさまざまな商品の開発・サービスの充実に努めている。また、海外の知的財産情報に対する顧客アプローチの円滑化を促進するため、国内外の幅広い人材の登用とともに、数多くの分野の海外ネットワークを築いてきた。主な業務内容は、知財情報サービス、特許等の知財調査・コンサルティング、データベースの作成・技術翻訳、人材派遣である。

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 中国、欧州特許庁、WIPO、米国、日本、ドイツ、フランス、韓国、ロシア、香港、台湾、計 11 カ国・地域 |
| 収録範囲 | 中国意匠のステータス情報を含む |
| タイムラグ | 中国に関しては中国特許庁とタイムラグ無し |
| 更新頻度 | ・中国：1 週間 2 回の更新（火曜日、金曜日） ・欧州特許庁：半期ごと ・香港：1 年ごと ・その他の国：毎月 1 回更新 ※出所のデータの不安定さによって、一部のファイルライブラリのデータが滞っている可能性がある |

⁷⁴ プロパティホームページ：<https://www.property.ne.jp/sysytem/designscope/>

⁷⁵ 知識産権出版社ホームページ：<http://www.ipph.cn/about.html>

⁷⁶ プロパティホームページ：<https://www.property.ne.jp/company/profile/>

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|-----------|--------------|------------|--|
| 検索 | 番号検索 | 意匠 | 出願番号、意匠公報番号、優先権主張番号 |
| | 出願人検索 | 意匠 | 出願時情報検索 |
| | キーワード等検索 | 意匠 | 意匠に係る物品、意匠に係る物品の説明 |
| | 日付検索 | 意匠 | 出願日、公開日 |
| | 分類検索 | 意匠 | (現行)日本意匠分類、(旧)日本意匠分類、国際意匠分類(ロカルノ分類)、米国・韓国の自国意匠分類 |
| | 検索式を用いた検索 | 意匠 | 部分一致、ワイルドカードによる検索 |
| | ステータスを加味した検索 | 意匠 | 中国のみ |
| | 類似画像検索 | 意匠 | 類似画像検索 |
| | 要素検索 | 意匠 | マルチビュー検索(カラー、形状、要素、テクスチャ、構造等のパラメータの優先度に応じて調査対象を絞り込む機能) |
| | 保存・参照機能 | 意匠 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報、図面 |
| | 検索結果の一覧表示 | 意匠 | 表示のカスタマイズ |
| | 関連意匠(類似意匠) | 意匠 | 関連/類似意匠の一覧表示 |
| | 検索結果のフィルタリング | 意匠 | 意匠データベース、ロカルノ分類、出願日、公開日、出願人、創作者、意匠権者、法律状態(中国のみ) |
| データダウンロード | 意匠 | 書誌事項、図面データ | |

4) 高度な機能

Design Scope は、類似画像検索機能として「類似画像検索」が提供されている。

【類似画像検索】

イメージファイルをアップロードすることによって、類似した画像を検索できる。具体的には、画像をアップロードするだけで検索可能な「簡単検索」、1枚の画像と書誌事項を掛け合わせた検索が可能な「単一ビュー検索」及び複数の画像と書誌事項を掛け合わせた検索が可能な「マルチビュー検索」が備わっている。さらに、「マルチビュー検索」においては、一次検索画面から上下左右の対称・非対称や、構造などの複数の要素から絞り込み検索が可能である。図 3.11.1 から図 3.11.3 に、Design Scope の検索画面を示す。

図 3.11.1 Design Scope の「簡単検索」画面



出典：プロパティ

図 3.11.2 Design Scope の「単一ビュー検索」検索画面



出典：プロパティ

図 3.11.3 Design Scope の「マルチビュー検索」検索画面



出典：プロパティ

5) 導入コスト

Design Scope の導入コストについては、プロパティのホームページ上で開示されていない。

3.12 「Design Search」

1) 概要

Design Search⁷⁷は、従来の分類やキーワードのみによる意匠検索を効率化するサービスである。画像をドラッグ&ドロップするだけでインポートでき、絞り込み検索や再検索も可能である。多彩な機能で意匠検索をサポートしており、全図面の収録、比較機能、画像表示機能、リスト形式出力機能を備える。日本のみならず、米国、中国、欧州(共同体)等、海外の意匠情報も収録する。

(参考) InQuartik Corporation について

InQuartik⁷⁸は、台湾の台北に拠点を置くソフトウェア会社で、イノベーションと投資向けの知的財産 (IP) インテリジェンスに特化している。10年以上のデータ分析経験を活かし、特許データだけでなく審査記録書類や標準規格にも対応している。同社は、ソフトウェア、データ、AI に精通した約 20 人のプロフェッショナルが、特許問題を迅速に解決するための効率的な手法を提供している。台湾、日本、米国のハイテク、半導体、医療機器分野のクライアントに、多様で効率的な SaaS IP ソリューションを提供している。

2) 収録データ

| | |
|--------|------------------|
| 収録国・地域 | 日本、米国、中国、欧州(共同体) |
|--------|------------------|

収録範囲、タイムラグ、更新頻度、失効データなどの情報は得られなかった。

3) 機能一覧⁷⁹

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|---------------|----|-------------------------|
| 検索 | 関連意匠(類似意匠) 検索 | 意匠 | <u>画像意匠検索</u> (AI 画像認識) |
| | 類似画像検索 | 意匠 | 特許図、製品写真又はプロトタイプから選択 |
| | 保存・参照機能 | 意匠 | 検索条件保存・参照 (そのまま再検索) |
| | その他検索機能 | 意匠 | 絞り込み機能 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 意匠 | 図面 (全図面を収録、画像表示機能) |
| | 関連意匠(類似意匠) | 意匠 | 関連/類似意匠の一覧表示 |
| | 自動分類機能 | 意匠 | (比較機能) |

⁷⁷ InQuartik ホームページ: <https://www.inquartik.jp/patentcloud/design-search/>

⁷⁸ InQuartik から提供された情報を基に記載

⁷⁹ 本機能一覧は、ウェブサイト上で公開された情報に基づいて作成されており、他にも実装されている機能が存在する可能性がある。

| | | |
|-----------|----|---------------------|
| データダウンロード | 意匠 | 書誌リスト（最大10万件、Excel） |
|-----------|----|---------------------|

4) 高度な機能

Design Search では、類似画像検索機能として「画像意匠検索」機能が提供されている。

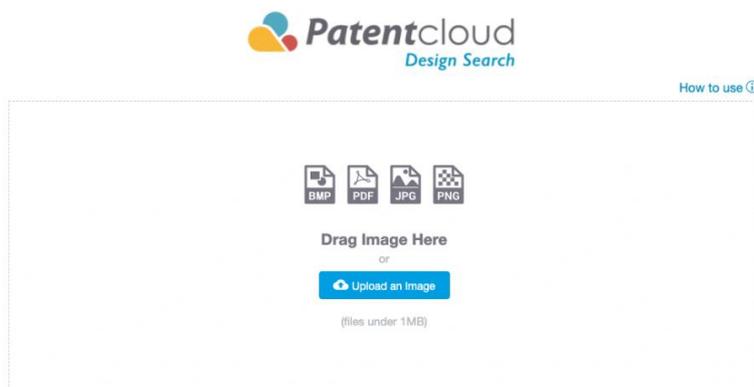
【画像意匠検索⁷⁷（類似画像検索）】

検索は画像間のドラッグ&ドロップで簡単に完了できる。図、製品写真又はプロトタイプの描写から画像を選択して、インポートするのみである。

画像をアップロードすると、その画像に類似したデザイン（検索範囲を設定した場合はその範囲内）がリストアップされる。検索結果のいずれかをタップすると、新しい検索に直接進むことができ、画像を再アップロードすることなく、更に多くの類似デザイン特許を検索することもできる。AI 画像認識技術による画像検索を用いて意匠登録がなされているデザイン画像を検索することで、事実に関わりなく近い検索が可能となり、意匠検索の精度とスピードを向上させることができる。

図 3.12.1 に、Design Search の画像検索入力ページの例を、図 3.12.2 に、Design Search の検索結果の例を示す。

図 3.12.1 Design Search の画像検索入力ページの例



出典：InQuartik

図 3.12.2 Design Search の検索結果の例

The screenshot displays the Design Search interface. On the left, there is a search bar with a 'Restart Design Search' button. Below it, there are filters for 'Keywords', 'Patent Office' (set to 'Expansion'), and 'Scope'. The 'Scope' section includes dropdown menus for 'Assignee', 'Appl. Date', and 'Customized', along with input fields for dates in 'yyyy-mm-dd' format. A 'Locarno' dropdown is also present. At the bottom left, there are 'Reset' and 'Design Search' buttons.

The main area shows a grid of search results. Each result consists of a thumbnail image of a shoe and a text box containing the following information:

- Item name (e.g., 1. Shoes, 2. 鞋(45))
- Issue No. (e.g., EM000172507-0022)
- Assignee (e.g., 惠尔康股份有限...)
- Issue Date (e.g., 2004-07-27)
- Appl. Date (e.g., 2004-05-03)

The results are organized into three rows of six items each. The items shown include various styles of sneakers and athletic shoes in different colors and designs.

出典：InQuartik

5) 導入コスト⁸⁰

Design Search の導入コスト（2024 年 2 月現在）は、月額プランで 18,150 円/月、年間プランで 217,800 円/年である。年間契約で 2 カ月分が無料となる。

⁸⁰ InQuartik ホームページ: <https://www.inquartik.jp/pricing/design-search/>

3.13 「Dialog」

1) 概要

Dialog は、豊富なコンテンツ・強力な検索機能を搭載した、世界最大規模の情報検索サービスで、医薬文献の調査をはじめ、科学技術、ビジネス、特許情報などを収録しており、様々な調査業務をサポートする。医学・薬学・科学技術分野を中心に、140 以上のデータベースを収録し、実務レベルにあわせた検索モードが選べる。シソーラス、オートサジェスト、重複除去機能や、充実したアラート管理機能など、多様な検索支援機能を搭載する。

Dialog は、EMBASE⁸¹、MEDLINE⁸²をはじめとした多くのデータベースを一つのプラットフォームで検索でき、検索結果はオンライン上での表示に加え、様々な形式でのエクスポートや定期的なアラート配信によって確認できる。医学文献の安全性情報の定期的な調査が必要なファーマコビジランス業務⁸³、医薬・科学・工学・食品など、各専門分野の研究開発のためのグローバルな研究動向の調査、複数のデータベースでの網羅的なエビデンス収集が必要なシステムティックレビュー調査、グローバルな市場、規制、最新の製品トレンドの調査等に活用できる。

(参考) Dialog 及び株式会社ジー・サーチ (サービス提供会社) について

Dialog サービスは、1972 年にロッキード (米国) が政府系データベースの商用オンラインサービスを始めたことがスタートである⁸⁴。Dialog のサービス部門は、1981 年に、DIALOG Information Service (米国) として分社されたが、その後、親会社は、1988 年に Knight-Ridder (米国)、2000 年に Thomson (現 Thomson Reuters : 米国)⁸⁵、2008 年に ProQuest (米国)⁸⁶と変遷し、現在は、2021 年に買収の完了を発表した Clarivate (英国) が親会社となっている⁸⁷。

ジー・サーチは、1991 年に設立された富士通の子会社で、2000 年から、Dialog サービス

⁸¹ EMBASE は、Excerpta Medica Database の略で、出版文献の生物医学及び薬理学の書誌データベース

⁸² MEDLINE は、Medical Literature Analysis and Retrieval System On-Line の略で、米国医学図書館(National Library of Medicine)が医学を中心とする生命科学の文献情報を収集した書誌データベース

⁸³ 医薬品に関連する有害な事象を世界中から収集し、医学・薬学的に安全性を評価する業務

⁸⁴ 「DIALOG のこと(その 5)」、情報管理 Vol. 41 No.12 Mar. 1999、
https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/41/12/41_12_1034/_pdf

⁸⁵ Financial News ホームページ: <https://www.fnlondon.com/articles/thomson-buys-dialog-databases-20000320>

⁸⁶ 国立国会図書館の情報ページ: <https://current.ndl.go.jp/car/8032>

⁸⁷ Clarivate ホームページ: <https://clarivate.com/ja/news/clarivate-successfully-completes-acquisition-of-proquest/>

スの販売を開始している。ジー・サーチのビジネスは、主にデータベース事業とデジタルソリューション事業で構成される。データベース事業では、ビジネスデータベースサービス G-Search や科学技術文献情報サービス JDreamIIIをはじめ、国内外約 1,000 に及ぶデータベースサービスを展開している。デジタルソリューション事業では、Web サイト・システム、CMS の開発・構築・運用からプロモーション、マーケティングまで全方位的なサポートを提供している⁸⁸。

2) 収録データ

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | 40 の特許系データベースを収録。国や地域はデータベースによって異なる。例えば INPADOC は世界約 100 カ国が対象。 |
| 収録範囲 | データベースによって異なる。1800 年代収録のデータベースもある。 |
| タイムラグ | データベースによって異なる。数日～数カ月 |
| 更新頻度 | データベースによって異なる。 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 英語名検索、出願人検索支援機能 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、CPC |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | - |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 類似記事の検索（ <u>類似検索・概念検索機能</u> ）、基本検索、詳細検索、コマンドライン検索 |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録、パテントファミリー、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | - |

⁸⁸ ジー・サーチホームページ: <https://www.g-search.jp>

| | | | |
|-----------|-------------|---------|--|
| 閲覧 | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー、 <u>独自のパテントファミリー</u> ニ |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | - |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報 |
| その他の機能 | | 特許・実用新案 | アラート機能 (SDI ⁸⁹ ・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Dialog は類似検索・概念検索機能として「類似記事の検索」が提供されている。また、独自のパテントファミリー表示機能を提供している。

【類似記事の検索⁹⁰】

「類似記事の検索」は、入力ボックスに文章を貼り付けて検索することができる。タイトルなどの短い文は当然ながら、抄録や本文など長い文章を貼り付けて検索することも可能である。なお、類似記事の検索は一部のデータベースでのみ利用可能で、対象データベースを絞り込むことはできない。

なお、Dialog には、「類似記事の検索」の他に、「基本検索」「詳細検索」「コマンドライン検索」なども用意されており、利用者の習熟度やニーズに合わせてどの検索モードを使用するかを選択できる。また、複数のデータベースを用いた検索が可能であり、検索結果の重複も自動的に除去される。

Dialog は、特許以外にも、各専門分野の研究開発のためのグローバルな研究動向の調査、複数のデータベースでの網羅的なエビデンス収集が必要な調査、グローバルな市場、規制、最新の製品トレンドの調査に活用できる。

図 3.13.1 に、Dialog の「類似記事の検索」の入力画面及び検索結果の画面例を示す。

⁸⁹ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

⁹⁰ ProQuest Dialog ユーザーマニュアル第 5 章

図 3.13.1 Dialog の「類似記事の検索」の入力画面及び検索結果の画面例

出典：ジー・サーチ

3.14 「HYPAT-i2」

1) 概要⁹³

株式会社発明通信社が開発、提供する HYPAT-i2（ハイパットアイツ）は各国の特許情報を検索する、会員制インターネット特許情報検索サービスである。精度の高いデータと操作性を熟考した検索サービスで、グローバルな知的財産活動をサポートする。

日本を筆頭に、米国、欧州、中国、インド、ベトナム、フィリピン、タイ、台湾、韓国に加え、90以上の国と地域の特許情報を搭載し、日本語・英語・中国語の三言語に対応したユーザーインターフェースにより、知財部や開発部、経営陣、誰もが使いやすい設計となっている。検索サービスはもちろん、SDI⁹⁴やウォッチングサービス等の監視サービスも提供されている。約400万件に及ぶ紙公報を、OCR（光学文字認証）と人による目視修正を行い、99.9%の精度でテキスト化しているため、検索したいキーワード文字の識字精度が高く、提供される情報の正確性、信頼性の担保に繋がっている。システムを初めて利用するユーザーにも使いやすいように、思いついた自然文やキーワードの入力や、プルダウンからの選択により検索が可能となる検索画面が多数用意されている。また、独自のユーザーインターフェースにより、検索結果やSDI、ウォッチングなどをプロジェクト単位などでまとめて管理することができる。

(参考) 株式会社発明通信社について⁹⁵

発明通信社は、1931年創業、1951年に法人設立された会社であり、特許情報の加工・販売、特許調査、特許公報の翻訳、書類の電子化サービス、書籍の販売、特許手帳の販売を主な事業内容とする。近時は、特にクラウドやAI等を活用した知的財産情報提供サービスの開発・運用を進めており、「HYPATWeb 総合サービス」や「IP DATALAKE」のほか、一般財団法人日本特許情報機構(Japio)と共同開発した「Japio 世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX)」などを展開している。

⁹³ 発明通信社ホームページ: <https://www.hatsumei.co.jp/hypat/>

⁹⁴ SDIは、Selective Dissemination of Informationの略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

⁹⁵ 発明通信社ホームページ: <https://www.hatsumei.co.jp/company/>

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 特許・実用新案：日本／米国／中国／欧州特許庁／WIPO(PCT)／DOCDB ⁹⁶ ／インド／ベトナム／フィリピン／タイ／台湾／韓国／ドイツ 意匠：日本／米国／中国 商標：日本 |
| 収録範囲 | 特許・実用新案：日本 1983 年～（経過情報：1966 年～）、米国 1978 年～、中国 1985 年～、欧州特許庁／WIPO(PCT) 1986 年～、インド 1973 年～、ベトナム 2005 年～、フィリピン 1994 年～2006 年、タイ 2006 年～、台湾 1990 年～、韓国公報 2001 年～、ドイツ公報 1994 年～ 意匠：日本 1990 年～、米国 1979 年～、中国 1985 年～ 商標：登録商標：0000001～0363400・4000001～ 公告商標：大正 11 年～平成 9 年 |
| タイムラグ | 特許・実用新案：日本 1 週間、米国 2 週間、中国 1 カ月、欧州特許庁／WIPO(PCT) 1 カ月、DOCDB 1 カ月 意匠：日本 1 週間、米国 1 カ月、中国 1 カ月 商標：発行日より翌日～2 営業日 |
| 更新頻度 | 特許・実用新案：日本 1 週間、米国 1 週間、中国 1 カ月、欧州特許庁／WIPO(PCT) 1 週間、DOCDB 1 週間 意匠：日本 1 週間、米国 1 週間、中国 1 カ月 商標：毎日 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|-------|---------|--------------------------------------|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報 |
| | | 意匠 | 出願番号、意匠公報番号、協議不成立意匠出願番号、審判番号、優先権主張番号 |
| | | 商標 | 登録番号、公告番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、日本語名検索、出願人検索支援機能 |
| | | 意匠 | 出願時情報検索 |

⁹⁶ DOCDB は、欧州特許庁が提供する世界各国の特許の書誌情報と要約文を収録したデータベース

| | | | |
|---------|---------------|-----------------------|---|
| 検索 | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、外国文献の日本語検索 |
| | | 意匠 | 意匠に係る物品、意匠に係る物品の説明、意匠の説明、原本の説明、意匠の特徴、外国文献の日本語検索 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日 |
| | | 意匠 | 出願日、登録日、公報発行日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC |
| | | 意匠 | (現行)日本意匠分類・Dターム、(旧)日本意匠分類、(旧)Dターム、国際意匠分類(ロカルノ分類) |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | | 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索 |
| | 関連意匠(類似意匠)検索 | 意匠 | - |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 状況照会機能 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能、類似特許の検索、自然文検索(概念検索)、自動検索(検索アシスト) |
| | | 意匠 | 入力支援機能 |
| 辞書機能 | 特許・実用新案 意匠 | - | |
| 保存・参照機能 | 特許・実用新案 意匠 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 | |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、外国文献の日本語表示 |
| | | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報、秘密公報(秘密解除時検索)、図面、経過情報の表示、外国文献の日本語表示(中国) |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 意匠 | 目次表示、連続抄録表示機能 |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOCファミリー |

| | | | |
|-----------|-----------|---------------|---|
| 閲覧 | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、自動分類機能 |
| | | 意匠 | ハイライト表示、検索結果のソート、表示のカスタマイズ |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 意匠 | 検索履歴の保存機能 |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | 国内特許・実用新案のみ：分析機能【出願年-筆頭出願人、出願年-筆頭 IPC、筆頭 IPC-筆頭出願人、FI 集計、テーマ集計、F ターム集計、テーマ集計（F ターム数）】 |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | エクセルファイル形式でのグラフレポート作成機能 |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報、各種抄録 |
| | | 意匠 | 書誌リスト、PDF 公報 |
| | | 商標 | PDF 公報 |
| その他の機能 | | 特許・実用新案 | <u>出願人名等の名寄せ（中国）</u> 、アラート機能（SDI・ウォッチング機能）、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 |
| | | 意匠 | 独自の意匠データベースを作成できる、「意匠カスタム DB」（国内意匠のみ） <u>出願人名等の名寄せ（中国）</u> 、アラート機能（SDI・ウォッチング機能） |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

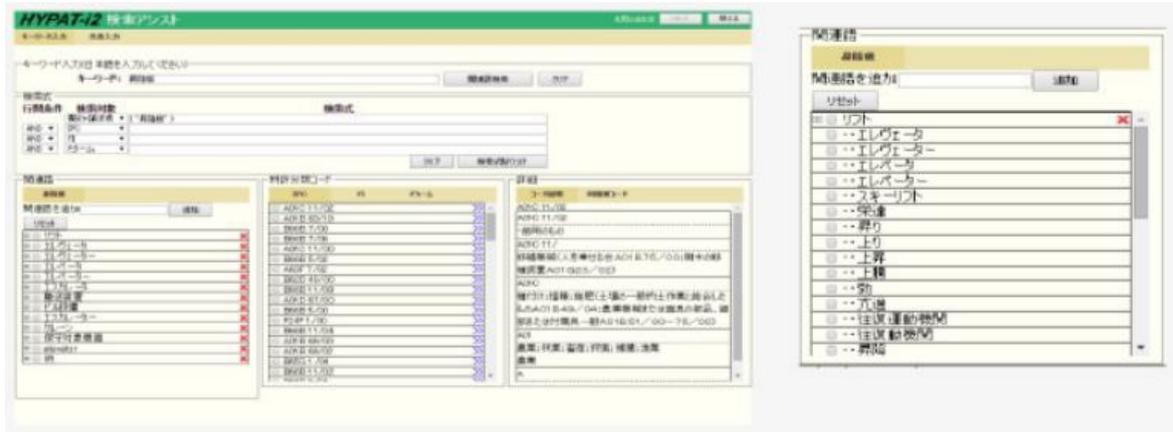
HYPAT-i2 は、類似特許の検索や自然文検索（概念検索）の高度な機能を提供しているが、それらの具体的な情報は得られなかった。概念検索に関しては、「自動検索（検索アシスト）」機能でも利用可能である。また、出願人名等の名寄せ機能として「名寄せ辞書」を提供している。

【自動検索（検索アシスト）^{97,98}】

検索アシストは、入力した単語や文章から同義語や特許分類を提案する機能で、特許特有の用語を収録した関連語辞書を搭載している。また、思いついた文章で検索できる概念検索と組み合わせて自動検索することも可能である。図 3.14.1 に、HYPAT-i2 の検索アシストの画面例を示す。

⁹⁷ 発明通信社ホームページ：<https://www.hatsumei.co.jp/hypat/function/>

図 3.14.1 HYPAT-i2 の検索アシストの画面例



出典：発明通信社

【名寄せ辞書⁹⁸】

HYPAT-i2 では、中国の特許・実用・意匠公報を対象とする全文検索をサポートするために、日中ワード辞書や、出願人名寄せ辞書、独自辞書などの機能を搭載している。図 3.14.2 に、HYPAT-i2 の中国検索画面の例を示す。

図 3.14.2 HYPAT-i2 の中国検索画面の例



出典：発明通信社

⁹⁸ 発明通信社ホームページ： <https://www.hatsumei.co.jp/hypat/option/>

5) 導入コスト

HYPAT-i2 の利用料金（2024 年 2 月現在）は、最小 3 アカウントからの ID 数ごとの月額料金制であり、基本機能に加えて、価格帯ごとに設定される一定数量のウォッチング及び SDI サービスが含まれる。

これに加え、「中国検索」や「EP/PCT 検索」等のオプション機能に対する料金が設定されている。（詳細は、発明通信社ホームページの料金表⁹⁹を参照）

⁹⁹ 発明通信社ホームページの料金表: <https://www.hatsumei.co.jp/hypat/feature/#anc06>

3.15 「incoPat」

1) 概要

incoPat^{100,101}は、中国市場で生まれたグローバル特許検索及び分析ソフトウェアで、研究開発及び知財専門家がより賢明な意思決定を行えるよう支援し、信頼できる特許に関する洞察を提供する。充実した中国のコンテンツを持ち、ユーザーフレンドリーなインターフェースと包括的で正確な世界特許データを組み合わせ、詳細に調査できる。英語・中国語検索、特許DNAマップによるAI検索、包括的なグローバルデータ、多次元分析、徹底的な特許調査、直感的な視覚化とレポート作成等の特徴を持つ。

incoPat のユーザー数は、40,000 名以上（2024 年 1 月現在）で、企業の知的財産権担当者（技術情報分析、特許運用など）、企業の研究開発担当者（先行技術調査、革新的な研究の参考資料の提供）、大学の研究者（科学研究の支援）、弁理士（特許の調査と分析のための作業のサポート）などに利用されている。

（参考）BEIJING INCOPAT CO.LTD. 及び Clarivate Plc について

BEIJING INCOPAT（北京合享智慧科技有限公司）は、中国北京に本社を持つグローバルな知的財産データサービスプロバイダーで、知的財産データの統合と価値のマイニングに重点を置き、incoPat グローバル技術分析運用プラットフォーム、知的財産資産マネージャー、特許王、incoPat イノベーションインデックスなどの製品を通じて、世界のイノベーターに信頼できる知的財産データサービスを提供している。BEIJING INCOPAT は、2020 年 10 月に、Clarivate の傘下に入った。

Clarivate¹⁰²は、信頼性の高い変革的なインテリジェンスを提供するグローバルリーダーで、知識と研究、そしてイノベーションの領域にわたる深い専門知識に基づき、充実したデータ、洞察、分析、さらに、ワークフローソリューションを提供する。水処理業界を変革するための知見の提供や重要なワクチンの供給加速にとどまらず、人間の創意工夫の力を活用して世界最高のブレークスルーを促進することを目標とする。そのサブスクリプションとテクノロジーベースのソリューションは、深いドメインの専門知識と共に、世界中の 45,000 以上の顧客から信頼を得ている。

¹⁰⁰ Clarivate ホームページ: <https://clarivate.com/products/patent-intelligence/incopat/>

¹⁰¹ incoPat ホームページ: <https://www.incopat.com/login?locale=ja>

¹⁰² Clarivate ホームページ: <https://clarivate.com/ja/about-us/>

2) 収録データ

| | |
|--------|----------------------------|
| 収録国・地域 | 特許全文データ 75 カ国、意匠データ 73 カ国 |
| 収録範囲 | 古いもので 1782 年以降（英国公開）から現在まで |
| タイムラグ | フルテキストは数日～数カ月（国による） |
| 更新頻度 | 毎日更新 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|---------|---|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報（ファミリーデータベースにて可能）、5000 件まで一括検索、TXT ファイルアップロード、番号マッチング機能 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、英語名検索、出願人検索支援機能（英語、中国語、現地語のツリー表示で選択可能）、中国語名検索可能、中国の省や市での検索、独自の標準化した出願人名 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日（最初の優先権主張日）、引用や被引用の公開日、譲渡ライセンスの日、法的イベントの日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、F ターム、CPC、意匠分類であるロカルノ分類・D タームの検索可能、中国で用いる産業分類 |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援、単語や公報番号を入力して、結果を関連度順に並べ替える、スーパーソート機能 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | - |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能（番号マッチング機能）、AI 検索（類似特許の検索、自然文検索（概念検索））、意匠画像検索 |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | 拡張検索及び英語、中国語で関連語表示機能 |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |

| | | | |
|-----------|--------------------|---------------------------|---|
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献（英語、中国語、現地語同時閲覧可能）、書誌情報（英語、中国語、現地語同時閲覧可能）、図面、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示（中国の審決訴訟情報、Darts-ip ¹⁰³ に収録のあるレコードを表示、一部原告被告等表示）、ライセンス情報の確認、外国文献の日本語表示（レコード表示で日本語への翻訳機能あり。その他ブラウザでの翻訳機能を利用可能） |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー（DOCDB ¹⁰⁴ ファミリー併合機能）、 <u>独自のパテントファミリー</u> （拡張ファミリー併合、特実併願併合など） |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | - |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | <u>統計分析</u> |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | <u>スコアリング機能</u> （独自のスコアリング「特許価値度」） |
| | 審査無効文献の推定 | 特許・実用新案 | - |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | - |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | <u>引用分析</u> |
| | 特許情報分析（IPランドスケープ等） | 特許・実用新案 | <u>統計分析</u> |
| | その他分析 | 特許・実用新案 | クラスター分析機能 |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報、その他データダウンロード | |

¹⁰³ Darts-ip は知財判例/訴訟データのこと(<https://clarivate.com/ja/blog/広い視点で見る:darts-ipのグローバル知財判例データ/>)

¹⁰⁴ DOCDB は、欧州特許庁が提供する世界各国の特許の書誌情報と要約文を収録したデータベース

| | | |
|--------|---------|--|
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 特許性判断 (AI 検索)、書誌情報の訂正、出願人名等の名寄せ (出願人ツール)、アラート機能 (SDI ¹⁰⁵ ・ウォッチング機能)、情報共有機能、チャットボット機能 (QA をチャットで可能。日本語あり)、不慣れなユーザー向け機能、Darts-ip との連携 |
|--------|---------|--|

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

incoPat は、類似検索・概念検索機能及び特許性判断機能として「AI 検索」を提供している。また、特許情報分析 (IP ランドスケープ等) 機能及びマップ表示機能として「統計分析」、独自のパテントファミリー表示機能、引用ネットワークの可視化機能として「引用分析」、価値評価の提供機能として「スコアリング機能」、出願人名等の名寄せ機能として「出願人ツール」を提供している。

【AI 検索¹⁰⁶ (類似検索・概念検索、特許性判断)】

AI 検索は、技術の要約 (技術明細) から特許文献を検索する機能であり、新規性検索、無効検索、権利侵害リスク検索の 3 つの機能がある。

技術明細を入力すると、類似度の高い上位 2000 件の記事を関連性の高い順にソートして表示する。さらに、DNA 技術マップ分析 (現在、中国特許のみ) では、ユーザーと incoPat システムをインタラクティブに関連キーワードの選択や構造化をサポートし、検索結果の精度を高める。

図 3.15.1 から図 3.15.4 に、incoPat の新規性検索画面例を示す。

¹⁰⁵ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

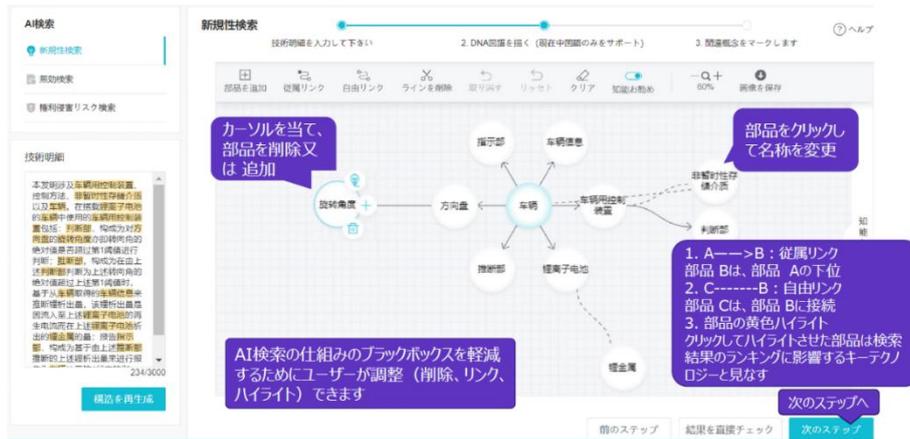
¹⁰⁶ BEIJING INCOPAT ホームページ: <https://www.incopat.com/login?locale=ja>

図 3.15.1 incoPat の新規性検索画面 (STEP1) 例



出典 : Clarivate

図 3.15.2 incoPat の新規性検索画面 (STEP2) 例



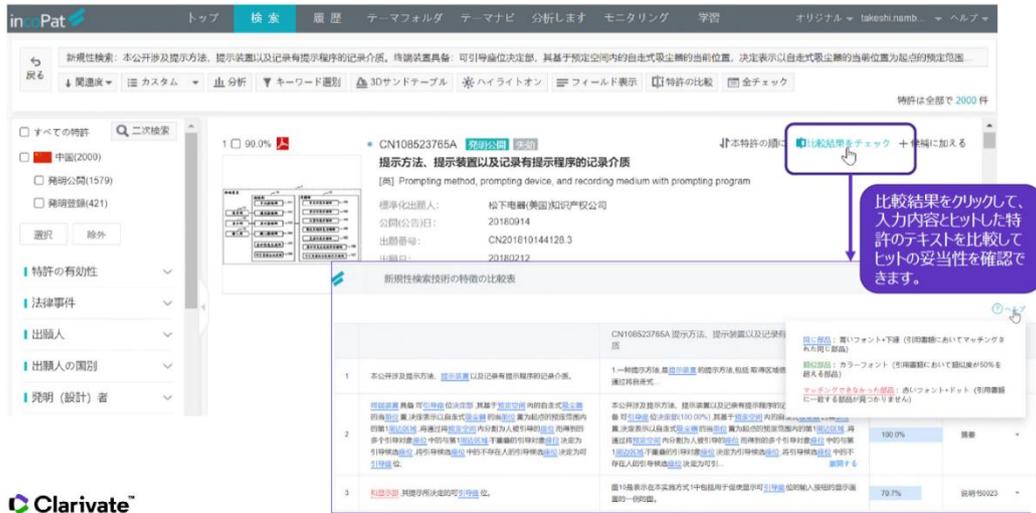
出典 : Clarivate

図 3.15.3 incoPat の新規性検索画面 (STEP3) 例



出典 : Clarivate

図 3.15.4 incoPat の新規性検索画面 (AI 検索結果) 例



出典：Clarivate

【統計分析^{107, 108} (特許情報分析 (IP ランドスケープ等)、マップ表示)】

3D 特許サンドテーブル分析は、技術的なトピックでグループ化して、その比較をすることができる。サンドテーブルにさまざまな色のドットでステータスが提示され、カラーバースマークは、グループ内の複数の出願人の案件数の比較結果を示す。3D 特許サンドテーブル分析により、特許の分布がより直感的に俯瞰でき、複数の次元(出願人、地域等)で、マクロレベルからの競争状況の全体的な管理、競合他社又は業界の研究開発の方向性、重要な特許の明確なマーキング、技術の進化の時間軸での動的理解が可能である。

3D 特許サンドテーブル分析を使用してシミュレーションを行うことで、ユーザーは特許レイアウトのホットスポットに焦点を当て、競争の研究開発の方向性と特許ポートフォリオを捉えて、特許の品質と市場競争力を向上させることができる。

また、3D 特許サンドテーブル分析では、特許全文情報を解析し、キーワードをクラスタリングして、3D マッピングを行う。簡単な操作でグルーピングして可視化することが可能で、全体の俯瞰を行いながら各特許情報にもアクセスできる。

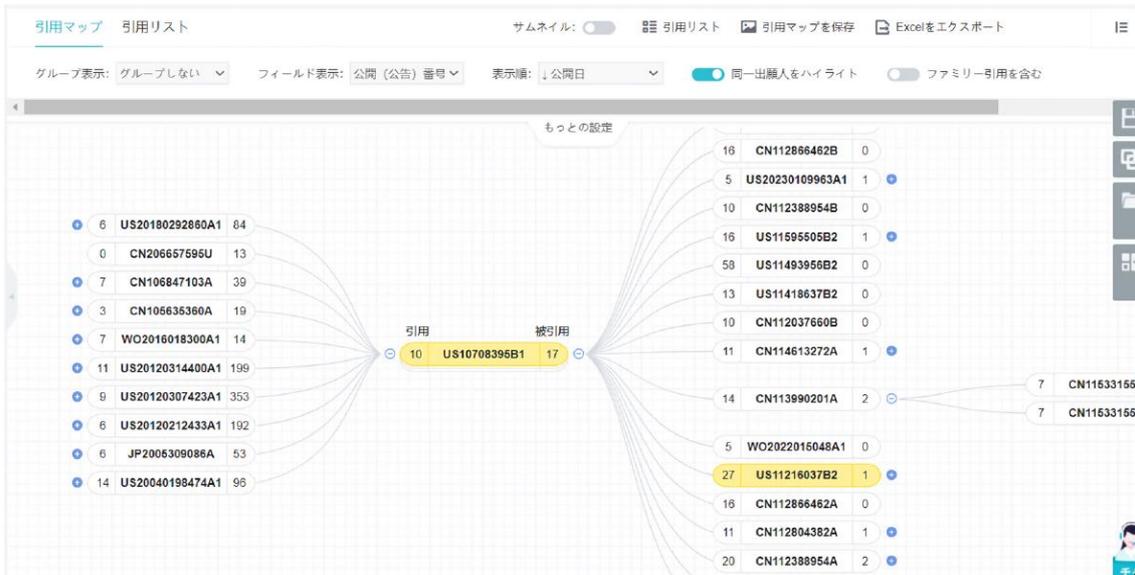
さらに、3D 地形パターンを使用して、技術の競争状況について、山はテクノロジーが密集した領域を示し、谷はテクノロジーの空白部分を示す。異なる企業を異なる色でマークすることで、競争状況を明確に示すことができる。本分析では、特許番号、特許価値、技術の影響、特許請求の範囲、経験値などの比較が提供され、ユーザーは特許の強さを迅速かつ視覚的に把握できる。

図 3.15.5 に、3D 特許サンドテーブル分析の表示例を示す。

¹⁰⁷ WIPO ホームページ: <https://inspire.wipo.int/incopat-global-patent-database>

¹⁰⁸ Clarivate ホームページ: https://clarivate.com/derwent/wp-content/uploads/sites/3/2020/12/210729_incoPat_presentation.pdf

図 3.15.6 引用分析の表示例



出典：Clarivate

【スコアリング機能¹⁰⁸（価値評価）】

incoPat には、特許の価値を「技術の安定性」「技術の先進性」「保護範囲」の3種のスコアを各10点満点で表現する「スコアリング機能」が搭載されている。スコアはレコードごとにリアルタイムで算出される。図 3.15.7 に、incoPat のスコアリング機能を示す。

図 3.15.7 incoPat のスコアリング機能

incoPat  **スコアリング機能（特許価値度）**

特許価値度—「技術の安定性」「技術の先進性」「保護範囲」の3種のスコア

基本情報

法律情報

図面

PDF原文

請求項

明細書

特許価値度

ファミリー特許

引用特許

関連特許

合算価値度の評価: 9 10点

9 10点

技術の安定性

- ・ 有効な発明特許で、安定性がよいです
- ・ 訴訟履歴がありません
- ・ 費入れ履歴がありません
- ・ 出願人は再審を請求したことがありません
- ・ 無効宣告の申請を受けたことがありません

7 10点

技術の先進性

- ・ この特許及びそのファミリー特許は全世界で4回引用されています。先進性は高水準です
- ・ 登録履歴がありません
- ・ 譲渡履歴がありません

10 10点

保護範囲

- ・ 請求項は14項目あります
- ・ 残りの有効期限5564日
- ・ 4ヶ国/地域で特許の配置を申請しました

各スコア10点満点でレコードごとに算出されます。スコアはリアルタイムで更新されます。法的状況の変更やファミリーの変更などの変更が特許に発生した場合、システムはバックグラウンドで再計算します。

スコアごとに関連するいくつかの指標を確認することができます

出典：Clarivate

【出願人ツール（出願人名等の名寄せ）】

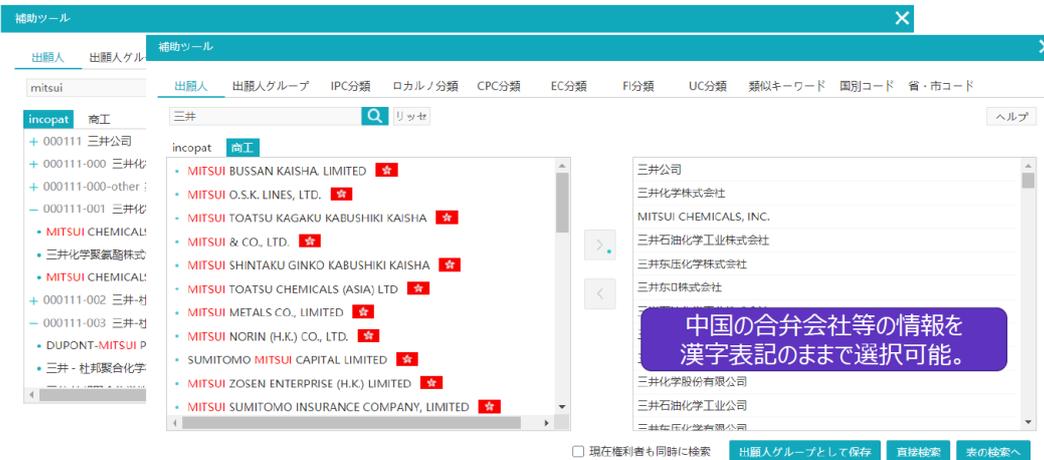
出願人ツールには、会社ツリー、ビジネス情報、カスタム出願人グループを含み、多言語での検索をサポートする。図 3.15.8 に、incoPat の出願人ツール使用時の画面表示例を示す。

図 3.15.8 incoPat の出願人ツール使用時の画面表示例

incoPat 多彩な補助ツール

出願人ツール—出願人の別称と子会社名等を調査

英語・中国語対応



中国の合併会社等の情報を漢字表記のまま選択可能。

 Clarivate™

14

出典：Clarivate

5) 導入コスト

incoPat の導入コスト（2024年2月現在）は、Clarivate のホームページ上に開示されていない。

3.16 「Japio 世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX)」

1) 概要^{110,111}

Japio 世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX) は、世界主要国／地域・機関の特許公報全文を日本語と英語で横断的に一度に検索できるサービスである。検索対象となる収録データは日本、米国、欧州、中国、韓国、WIPO (PCT)、ドイツ、フランス、英国、台湾、カナダの特許公報全文であり、前述のとおりこれらを同一検索式で一度に横断検索することが可能である。また、日本語で検索することに慣れているユーザーに対しては、機械翻訳済の日本語を直接検索することにより、日本語の公報を検索する感覚で世界の特許を検索できる「日本語ダイレクト検索」機能が提供されている。さらに、独自の技術用語を利用した「用語検索支援機能」、出願人の表記パターンを確認できる「出願人検索支援機能」など、ユーザーが検索を行う際に悩むことが多い技術用語や出願人名の異表記を参考情報として示す検索支援機能も備わっている。また、検索後の一覧表示画面上にも、更に絞り込みを行うための「絞り込みインデックス」が表示される仕様となっている。

(参考) 一般財団法人日本特許情報機構 (Japio¹¹²) 及び株式会社発明通信社¹¹³について

Japio は、1985 年に財団法人日本特許情報センター (Japatic) と社団法人発明協会 (JIII) の特許情報サービス部門を統合する形で設立された総合特許情報サービス機関である。知財情報提供サービス事業 (Japio 世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX) や Japio-AI 翻訳等の運営、提供、セミナーや講演会の開催等)、知財情報の調査等事業 (中小企業等特許先行技術調査、意匠調査、デザイン保護・利用に関する助言・相談、国際ブランド調査等)、知財情報の普及事業 (特許・情報フェア&コンファレンスの主催、特許情報普及活動功労者表彰、Japio YEAR BOOK の発行、特許情報ポータルサイトの運営)、知財情報の加工等事業 (特許庁・INPIT 関連で、商標検索効率化のための資料作成等業務、登録意匠と公知資料及び外国意匠公報資料のグルーピング事業等)、国際関連事業 (海外特許庁等との関係強化等)、研究・開発事業 (機械翻訳、人工知能の活用と検索、社会的課題を解決する技術の知財情報の分析、日本語処理、知財 AI 等に関する研究開発) を主な事業内容とする。

発明通信社は、1931 年創業、1951 年に法人設立された会社であり、特許情報の加工・販売、特許調査、特許公報の翻訳、書類の電子化サービス、書籍の販売、特許手帳の販売を

¹¹⁰ 「Japio 世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX)」パンフレット:
<https://gpgfx.japio.or.jp/gpgfx-pamphlet.pdf>

¹¹¹ 「Japio 世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX)」ホームページ:
<https://www.japio.or.jp/service/service05.html>

¹¹² 日本特許情報機構 (Japio) ホームページ: <https://www.japio.or.jp/profile/profile01.html>

¹¹³ 発明通信社ホームページ: <https://www.hatsumei.co.jp/company/>

主な事業内容とする。近時は、特にクラウドやAI等を活用した知的財産情報提供サービスの開発・運用を進めており、Japioと共同開発した「Japio世界特許情報全文検索サービス（Japio-GPG/FX）」のほか、「HYPATWeb総合サービス」や「IP DATALAKE」などを展開している。

2) 収録データ

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | 日本、米国、欧州、中国、韓国、WIPO(PCT)、ドイツ、フランス、英国、台湾、カナダ |
| 収録範囲 | 国ごとに異なるが、おおむね1978年～ |
| タイムラグ | 1日からおおむね2週間 |
| 更新頻度 | 随時 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|-------------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、文献番号、優先権主張番号、ファミリーID |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願人検索、英語名検索、中国語名検索、出願人検索支援機能 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明（課題・従来技術などのその他の項目）の検索、外国文献の日本語検索、原語検索、日本文献の英語検索 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公報発行日、優先権主張日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、ECLA、CPC |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近傍検索 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能 |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用、しおり |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 特許公報（特許文書の全文を閲覧）、書誌情報、図面、英文抄録、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、外国文献の日本語表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | 検索結果一覧表示 |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOCファミリー |

| | | | |
|-----------|---------|---------|--|
| 閲覧 | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | - |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報 |
| その他の機能 | | 特許・実用新案 | 出願人名等の名寄せ、用語検索支援、出願人検索支援、発明者検索支援、名揺遷（名称変更や合併、分割などによる法人名の変遷を参照する機能）、 <u>図面データの符号に日本語を付与する機能</u> |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

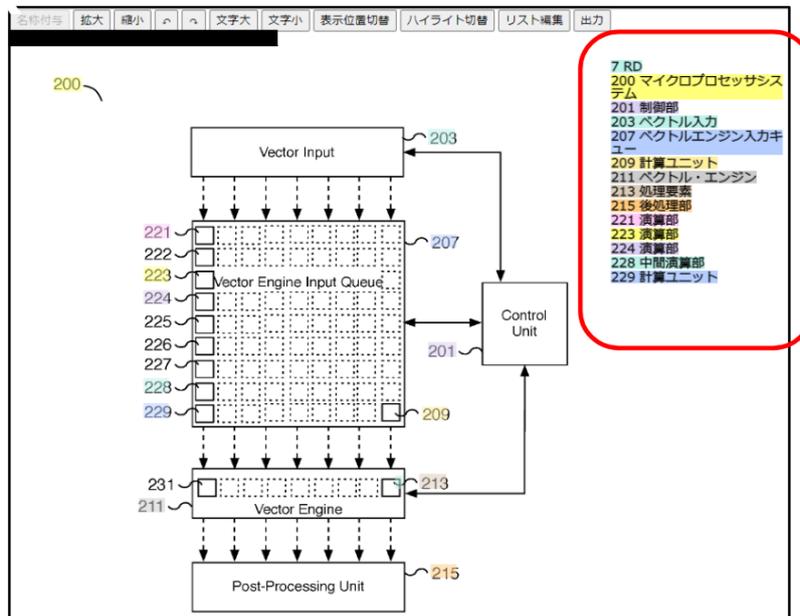
Japio 世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX) の独自の高度な機能として、「図面データの符号に日本語を付与する機能」がある。(外国公報の図面も対象)

【図面データの符号に日本語を付与する機能¹¹⁴】

図面データの符号に日本語を付与する機能は、海外特許公報の図面に日本語訳での名称付与を行う機能である。また、図の拡大、縮小及び回転させることもでき、本機能は、図面を含んだ調査レポート等の作成時間短縮に資する。図 3.16.1 に、図面データの符号に日本語を付与する機能の表示例を示す。

¹¹⁴ 日本特許情報機構(Japio)からの提供資料を基に記載

図 3.16.1 図面データの符号に日本語を付与する機能の表示例



出典：日本特許情報機構（Japio）

5) 導入コスト

Japio 世界特許情報全文検索サービス（Japio-GPG/FX）の利用料金表¹¹⁵（2021年4月1日適用）によると、月額基本料の利用アカウント数を定めた年間契約をもって利用できることとされており、その1アカウント当たりの月額基本料として、利用者の属性に応じた下記の金額（税込）が設定されている。

- ・一般 : 33,000 円
- ・調査事業者 : 99,000 円
- ・アカデミー : 16,500 円

上記に加えて「MT ダウンロード 2 サービス」及び「AI 翻訳サービス」については基本料の20%、「MT ダウンロード 1 サービス」及び「翻訳 Web サービス」については基本料の10%に相当する金額がそれぞれオプション料金として定められている。

このほか特許事務所に向けた限定サービスとして、7日間36,300円で基本機能と「翻訳 Web サービス」を利用できる短期利用料金も設定されている。

¹¹⁵ Japio 世界特許情報全文検索サービス(Japio-GPG/FX)利用料金表:
<https://japio.or.jp/service/files/price.pdf>

3.17 「JP-NET/NewCSS」

1) 概要

JP-NET シリーズ¹¹⁶は、スピード・高い作業性、機能性と作業性の両立、豊富なコンテンツを持つ、知財調査のワンストップサービスである。充実の検索機能、多彩で高速な表示機能、豊富な出力機能の特徴とする。また、独自機能として、パテントデリバリと社内分類付与（ユーザログ、キーワード/ID、仮評価）を具備する。JP-NET シリーズのNewCSSは運用負担の軽減と高セキュリティを両立、同時接続による無駄のない運用及び充実の機能性と操作性を実現する。

(参考) 日本パテントデータサービス株式会社¹¹⁷について

日本パテントデータサービスは昭和 63 年 10 月 1 日に設立され、インターネット知的財産情報サービス（JP-NET、Brand Mark Search 他）、特許管理システム（IP Drive・IP Vision・PATAS・PATDATA）、特許分析・マップ作成ソフト（ぱっとマイニング JP）、国内外知財調査サービス（特許・意匠・商標）、特許情報の SDI 継続サービス、知的財産セミナー、ブランディング支援、知的所有権流通事業、その他、知的財産に関わる商品の提供を事業内容とする。特許情報サービスを通じた社会貢献と専門家として責任ある情報提供をミッションとする。

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 特許・実用新案：日本、米国、欧州特許庁、WIPO、中国、韓国、ドイツ、フランス、インド、台湾、英国、ロシア、その他、計 104 の国・機関・地域 意匠：日本、米国 商標：日本、国際商標 |
| 収録範囲 | 特許・実用新案：日本（公開）1971 年～、米国 1976 年～、欧州特許庁・WIPO 1978 年～、中国 1985 年～、その他、国・種別による 意匠：日本 1964 年～、米国 1976 年～ 商標：公開・国際商標 2000 年～、商標登録 1 号～ |
| タイムラグ | 特許・実用新案：日本 公報発行日の収録、海外 国により公報発行 1 週間～で収録 意匠：日本 公報発行日の収録、米国 公報発行～10 日程で収録代表図・本文・審査経過情報のダウンロード・公報リンク等 商標：公報発行日の収録 |

¹¹⁶ 日本パテントデータサービスホームページ：
https://www.jpds.co.jp/jp-net/various_functions.html

¹¹⁷ 日本パテントデータサービスホームページ：<https://www.jpds.co.jp/company/about.html>

| | |
|----------|---|
| 更新頻度 | 特許・実用新案：日本 公報発行日毎（毎日）、海外 週1回（国・種別による） 意匠：日本 公報発行日毎（毎日）、米国 週1回 商標：毎日 |
| 商標/失効データ | 一部審査経過情報からデータを作成 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|----------|---------|---|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報、審判番号、出訴事件番号等 |
| | | 意匠 | 出願番号、意匠公報番号、協議不成立意匠出願番号、審判番号、優先権主張番号、出訴事件番号 |
| | | 商標 | 出願番号、登録番号、国際登録番号、公告番号、審判番号、優先権主張番号、審判番号、出訴事件番号等 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 英語名検索、出願人検索支援機能、出願人識別番号（日本出願のみ）、審査経過上の出願人・権利者検索、関連会社等の検索等 |
| | | 意匠 | 出願時情報検索、英語名検索（米国出願のみ）、出願人検索支援機能、出願人識別番号、審査経過上の出願人・権利者検索 |
| | | 商標 | 出願時情報検索、出願人検索支援機能、出願人識別番号、審査経過上の出願人・権利者検索の検索等 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、海外文献の英語串刺し検索等 |
| | | 意匠 | 意匠に係る物品、意匠に係る物品の説明（全文の語句で検索）、意匠の説明（全文の語句で検索）、原本の説明（全文の語句で検索）、意匠の特徴（全文の語句で検索）、近傍検索 |
| | | 商標 | 商標、呼称、指定商品又は指定役務 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、日本：審査経過の各種日付、海外：国内公報発行日等 |
| | | 意匠 | 出願日、登録日、公報発行日、審査経過の各種日付、秘密解除の案件を発行日で検索可能 |
| | | 商標 | 出願日・国際登録日、公開日、登録日、書換公報発行日、事後指定日、審査経過の各種日付等 |

| | | | |
|----|--------------|------------------|--|
| 検索 | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC、USクラス等 |
| | | 意匠 | (現行)日本意匠分類・Dターム、(旧)日本意匠分類、(旧)Dターム、国際意匠分類(ロカルノ分類)、現行の日本意匠分類の入力で対応する旧分類を含めて検索 |
| | | 商標 | 図形等分類、類似群コード、区分、商標のタイプ |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援、検索式の出力機能等 |
| | | 商標 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、検索式のエディット支援、検索式の出力機能等 |
| | 関連意匠(類似意匠)検索 | 意匠 | - |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 意匠、商標 | - |
| | 類似画像検索 | 意匠 | 類似画像検索 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 文字の自動補完(類似特許の検索)、 <u>自然文検索(概念検索)</u> 、独自分類の検索等 |
| | | 商標 | 類似称呼検索等 |
| | | 特許・実用新案 意匠、商標 | <u>出願人名寄せ検索</u> |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 意匠、商標 | 検索条件保存・参照(商標を除く)、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示、ライセンス情報の確認、外国文献の日本語表示 |
| | | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報、秘密公報、図面、経過情報の表示、外国文献の日本語表示 |
| | | 商標 | 公開商標文献、書誌情報、図面(複数公報の分割表示、抄録一覧表示等)、経過情報の表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 意匠、商標 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | 引用グループ情報・ファミリー情報(独自のパテントファミリー) |
| | 関連意匠(類似意匠) | 意匠 | 関連/類似意匠の一覧表示、 関連/類似意匠の系図表示(追加予定) |

| | | | |
|-----------|---------------------|---|---|
| 閲覧 | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング |
| | | 意匠 商標 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、表示のカスタマイズ（商標のみ：複数の表示形式の切替え等）、6～32 までの分割表示（複数公報を 1 画面に表示）等 |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 意匠、商標 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | - |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | ファミリーマップ |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | - |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | JP-MAP オプションのサイテーションマップ、ファミリー・サイテーションマップ |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | 共願出願マップ等 |
| データダウンロード | 特許・実用新案 意匠 商標 | 書誌リスト、PDF 公報、 特許・実用新案：代表図・請求項・実施例・公報リンク等 意匠：代表図・本文・審査経過情報のダウンロード・公報リンク等 商標：図面・公報リンク等 | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 意匠 商標 | 書誌情報の訂正、出願人名等の名寄せ、アラート機能（SDI ¹¹⁸ ・ウォッチング機能）、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能、 特許・実用新案：公報メモ機能等独自分類の付与・検索・共有等、翻訳 意匠、商標：独自分類の付与・検索・共有等 | |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

JP-NET/NewCSS は、類似検索機能として「文字の自動補完」機能が提供されている。また、類似画像検索機能として「類似画像検索」、引用ネットワークの可視化機能として「JP-MAP オプションのサイテーションマップ、ファミリー・サイテーションマップ」、及び出願人名等の名寄せ機能として「出願人名寄せ検索」機能を提供している。他に、「引用グループ情報・ファミリー情報（独自のпатентファミリー）」機能を提供している。なお、「自然文検索（概念検索）」に関する詳細な情報は得られなかった。

¹¹⁸ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

【文字の自動補完¹¹⁹（類似検索）】

漏れに繋がりがやすい文字、例えば全角・半角の違いやデータを見ないと分からない形状類似文字等を検索時に自動補完する。

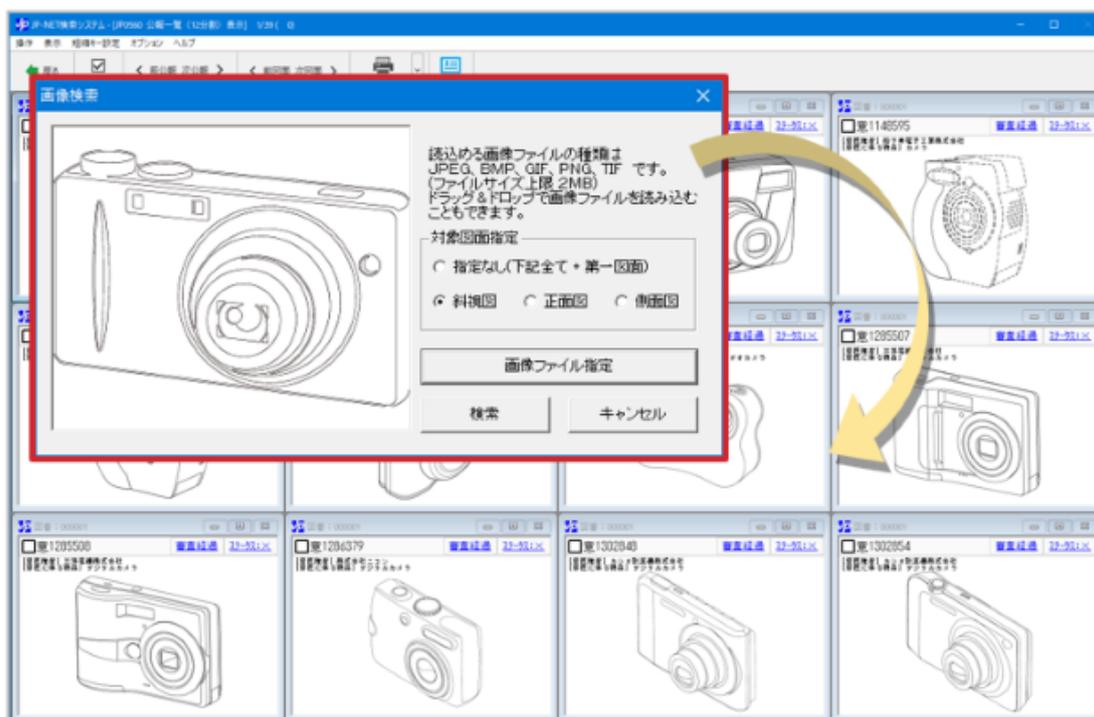
<一例>

- ・ 拗音・通常文字→同一視
- ・ 全角・半角→同一視
- ・ 大文字・小文字→大文字利用の場合は同一視（小文字利用の場合はそのまま検索）
- ・ 二文字に分かれている濁点／半濁点→同一視（例：かゝ ≡か）
- ・ 形状類似文字→同一視（例：へ（ひらがな）≡へ（カタカナ）・カ（カタカナ）≡カ（漢字））

【類似画像検索¹²⁰】

AI を利用し、イメージファイルから類似と思われる意匠公報を検索できる。分類情報を確認するための予備検索にも活用できる。図 3.17.1 に、JP-NET/NewCSS の検索結果の例を示す。

図 3.17.1 JP-NET/NewCSS の検索結果の例



出典：日本パテントデータサービス

¹¹⁹ 日本パテントデータサービスホームページ：
https://www.jpds.co.jp/jp-net/various_functions/original.html

¹²⁰ 日本パテントデータサービスホームページ：
https://www.jpds.co.jp/jp-net/degihn_trademark.html

【引用グループ情報・ファミリー情報¹²¹ (独自のファミリー表示)】

結果一覧でステータスやファミリーの有無、引用・被引用の件数等、情報量豊富に表示される。

また、結果一覧マップ「ダッシュボード」を表示すれば、検索結果の内訳をすぐに把握することが可能である。ファミリー情報については、JPDS オリジナルのファミリー情報、公報記載の誤り等も含めて常時メンテナンスされた情報が表示される。図 3.17.2 に、2種類の結果一覧表示、図 3.17.3 に、ファミリー情報表示を示す。

図 3.17.2 2種類の結果一覧表示

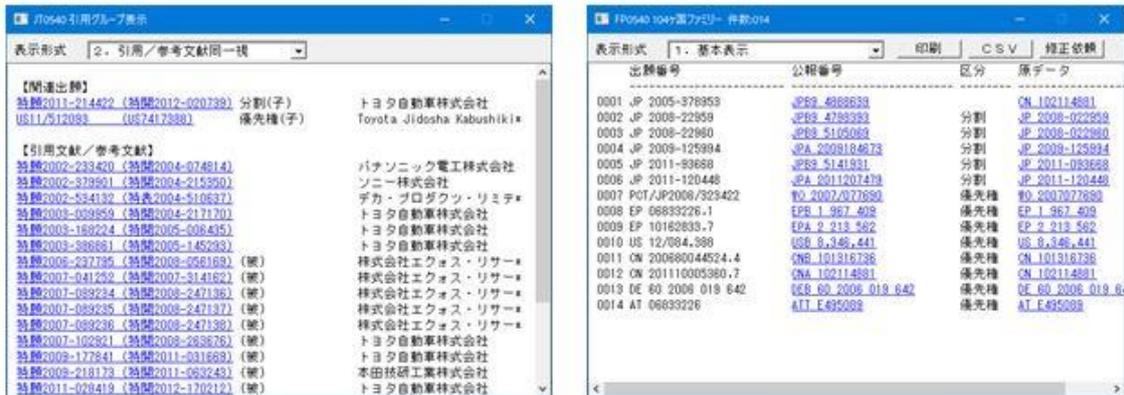


結果一覧リスト表示

抄録一覧表示

出典：日本パテントデータサービス

図 3.17.3 ファミリー情報表示



引用グループ情報

ファミリー情報

出典：日本パテントデータサービス

¹²¹ 日本パテントデータサービスホームページ：
https://www.jpds.co.jp/jp-net/various_functions.html#panel02dd

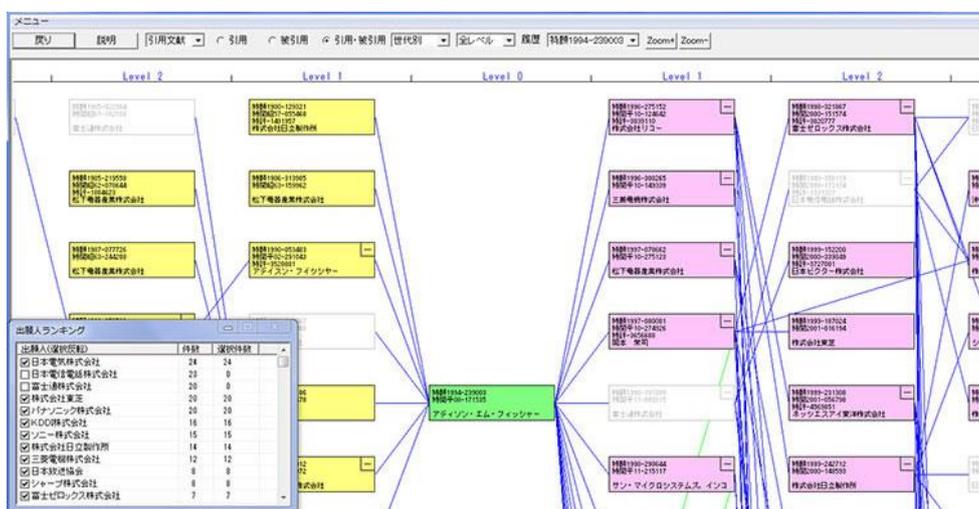
【JP-MAP オプションのサイテーションマップ、ファミリー・サイテーションマップ¹²² (引用ネットワークの可視化)】

サイテーションマップは、審査官引用・被引用情報の系列を表示する。引用文献の引用文献や、被引用文献の被引用文献など、遡って確認することができる。また、出願人ランキング機能により、その集合の中における出願人の数が分かる他、各公報の情報を参照することも可能である。

ファミリー・サイテーションマップでは、表示中の公報に関して、80 カ国（日本・米国・欧州・DOCDB 収録国）間でパテントファミリーや引用／被引用文献情報が存在する時に、その系列の表示を行う。

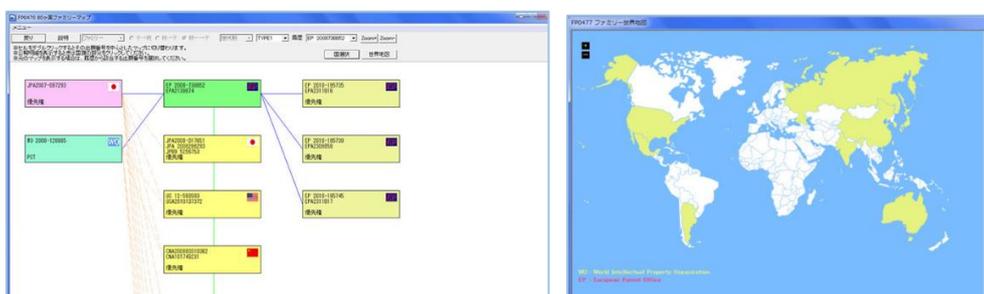
図 3.17.4 に、サイテーションマップの表示例を、図 3.17.5 に、ファミリー・サイテーションマップの表示例を示す。

図 3.17.4 サイテーションマップの表示例



出典：日本パテントデータサービス

図 3.17.5 ファミリー・サイテーションマップの表示例



出典：日本パテントデータサービス

¹²² 日本パテントデータサービスホームページ: <https://www.jpds.co.jp/jp-net/jpmap.html>

【出願人名寄せ検索¹¹⁹⁾】

企業の合併・統合や社名変更が頻繁に行われている一方で、特許公報には公報発行時点の社名が記載されているため、旧社名をきちんと事前調査する必要がある。

JP-NET/NewCSS の提供事業者である日本パテントデータサービスでは、ユーザーが安心して検索できるように出願人の名称変更・合併等の名寄せと関連会社の名寄せ情報を独自に作成・メンテナンスしている。

また、この名寄せされた情報を使って、これまでの出願人の合併や社名変更の経緯を沿革図として確認することも可能である。さらに、合併や社名変更だけでなく、関連会社もまとめて検索することも可能である。

図 3.17.6 に、JP-NET/NewCSS の出願人名寄せ検索機能を、図 3.17.7 に、出願人沿革図の表示例を、図 3.17.8 に、出願人関連会社をまとめて検索した結果の表示例を示す。

図 3.17.6 JP-NET/NewCSS の出願人名寄せ検索機能

| 式NO. | コマンド入力欄 | 特許 | 実案 |
|------|--|--------|--------|
| #001 | //出願人名寄せ検索 | 0 | 0 |
| #002 | PA1=パナソニック | 818669 | 236123 |
| #003 | | | |
| #004 | //公報発行時の出願人検索 | 0 | 0 |
| #005 | PA=松下電器産業+松下電器貿易+松下住設機器+松下電子工業+ 松下産業情報機器+松下電池工業+松下冷機+パナソニック+ 松下電工+パナソニック電工+パナソニック電工+パワーツール+ パナソニックES+パワーツール+パナソニックAP+モーターエキスパート | 818669 | 236123 |

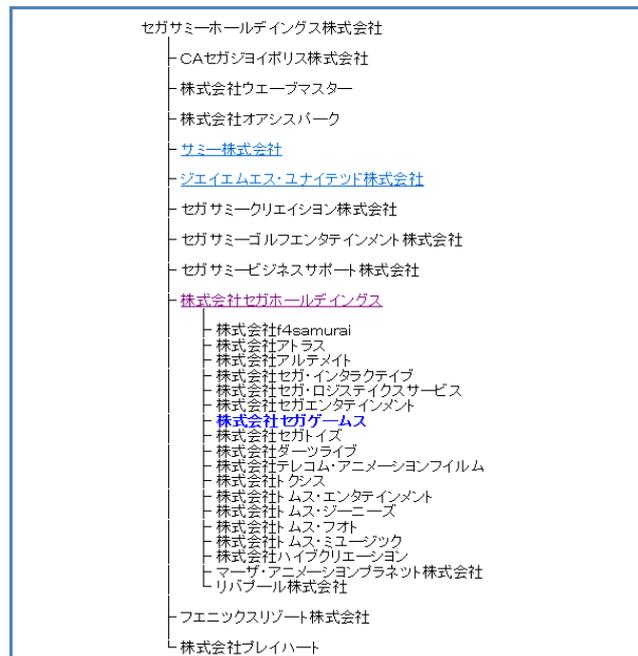
出典：日本パテントデータサービス

図 3.17.7 出願人沿革図の表示例

| 式NO. | コマンド入力欄 | 特許 | 実案 |
|------|--|--------|--------|
| #001 | //出願人名寄せ検索 | 0 | 0 |
| #002 | PA1=パナソニック | 818669 | 236123 |
| #003 | | | |
| #004 | //公報発行時の出願人検索 | 0 | 0 |
| #005 | PA=松下電器産業+松下電器貿易+松下住設機器+松下電子工業+ 松下産業情報機器+松下電池工業+松下冷機+パナソニック+ 松下電工+パナソニック電工+パナソニック電工+パワーツール+ パナソニックES+パワーツール+パナソニックAP+モーターエキスパート | 818669 | 236123 |

出典：日本パテントデータサービス

図 3.17.8 出願人関連会社をまとめて検索した結果の表示例



出典：日本パテントデータサービス

5) 導入コスト

JP-NET/NewCSS クラウドの利用料（2024年2月現在）は、日本パテントデータサービスのホームページ上で開示されていない。

3.18 「Kangxin IP Platform」

1) 概要

Kangxin IP Platformは、Kangxin Partners, P.C. (北京康信知的財産権代理有限責任公司) が知的財産業界における30年の実践経験、深い専門知識を持つ知的財産専門家チーム及びグローバル知的財産保護ルートに基づいて、全世界の商標・特許ビッグデータ、コンピュータ情報技術、人工知能技術などの強力な技術サポートにより、グローバル知的財産権の知的なワンストップソリューションを提供している。商標調査、登録出願、変更、譲渡、更新、商標公告ウォッチング、異議申立、不使用取消審判請求、オンライン侵害ウォッチング、統計分析、商標マップなどの機能を網羅しているほか、ECサイトウォッチング、ドメイン名ウォッチング、ウェブサイトウォッチング、画像ウォッチングや著作権タイムスタンプなどのサービスも提供している。

(参考) Kangxin Partners, P.C. 及び株式会社プロパティ¹²³ (日本販売代理店) について

Kangxinは、約260名の知的財産権の専門家、約40名の情報技術専門家、約8名のAIエキスパートを含む500名強のスタッフを抱え、その半分以上は経験豊富で資格を持つIPエージェントと弁護士である。商標、著作権、ドメインネーム、法律、コンサルティング、研修、ソフトウェア開発等、包括的なサービスを提供している。

また、Kangxin IP Platformの日本販売代理店であるプロパティは、1996年の創立以来、特許調査業務を基幹業務としつつ、知的財産分野で必要とされるさまざまな商品の開発・サービスの充実に努めている。また、海外の知的財産情報に対する顧客アプローチの円滑化を促進するため、国内外の幅広い人材の登用とともに、数多くの分野の海外ネットワークを築いてきた。主な業務内容は、知財情報サービス、特許等の知財調査・コンサルティング、データベースの作成・技術翻訳、人材派遣である。

2) 収録データ

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | 中国、米国、日本など43カ国 ¹²⁴ |
| 収録範囲 | 中国：1900年～、米国：1823年～、日本：1890年～、他国によって異なる |
| タイムラグ | 2週間～1カ月前後 |
| 更新頻度 | 1カ月程度 |

¹²³プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/company/>

¹²⁴プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/sysytem/kangxintrademark/>

3) 機能一覧¹²⁵

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|-----------|----|----------------------------|
| 検索 | 番号検索 | 商標 | 登録番号 |
| | 出願人検索 | 商標 | 出願時情報検索、日本語名検索、英語名検索 |
| | キーワード等検索 | 商標 | 商標 |
| | 分類検索 | 商標 | 区分 |
| | 類似画像検索 | 商標 | <u>商標調査</u> |
| | 保存・参照機能 | 商標 | 検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 商標 | 書誌情報、図面 |
| | 検索結果の一覧表示 | 商標 | 検索結果のソート |
| | その他閲覧機能 | 商標 | 検索結果のフィルタリング |
| 分析 | マップ表示 | 商標 | <u>Trademark Analytics</u> |
| | データダウンロード | 商標 | 書誌リスト |

4) 高度な機能

Kangxin IP Platformは、類似画像検索機能として「商標調査」が提供されている。また、マップ表示機能として「Trademark Analytics」が提供されている。

【商標調査¹²⁶（類似画像検索）】

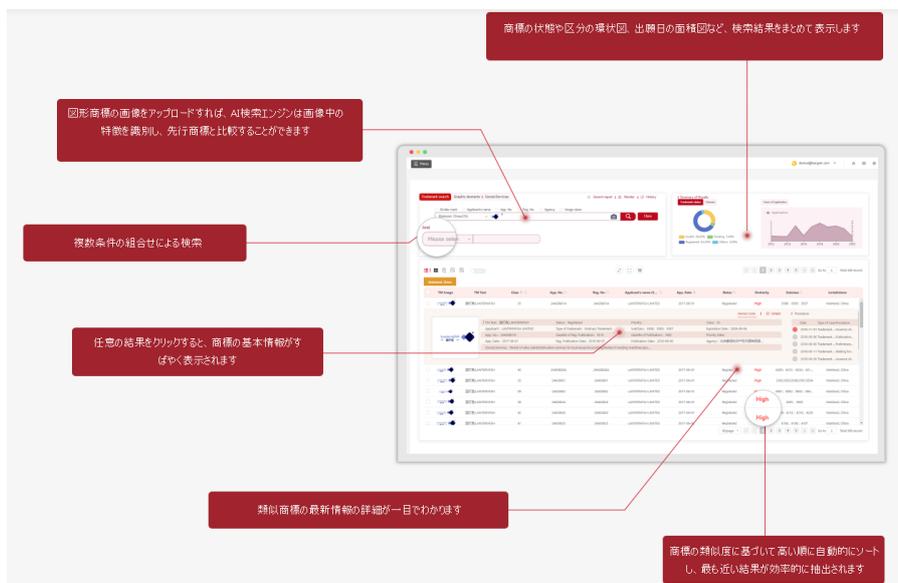
Kangxin IP Platformの商標調査では「図で図を調べる」方式による図形商標の検索ができる。AI技術を用いてコンピュータ視覚アルゴリズムを結び付け図中の各要素を識別し、要素の顕著性占有率に基づいて類似商標を自動検索・分析し、ビッグデータと専門技術者による訓練を通じて、システム識別と類似度判断の精確率を高めた。すべての調査結果は、商標類似度の高い順にソートされてから、効率的な選別と後続の作業が行われる。何時間も掛かるウィーン分類を使った図形検索も数分で完了する。図 3.18.1 に、商標調査の操作画面を示す。

¹²⁵本機能一覧は、ウェブサイト上で公開された情報に基づいて作成されており、他にも実装されている機能が存在する可能性がある。

¹²⁶ Kangxin Partners, P.C.ホームページ:

<https://jservice.kangxin.com/html/1/177/296/index.html>

図 3.18.1 商標調査の操作画面

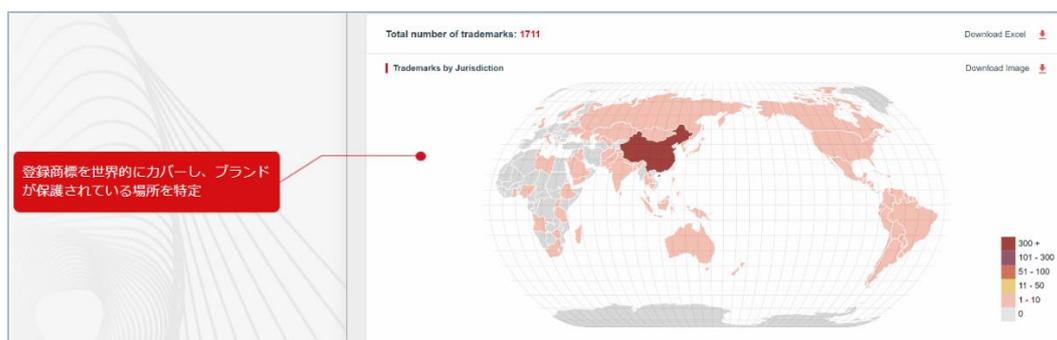


出典：Kangxin Partners, P.C.

【Trademark Analytics¹²⁷ (マップ表示)】

Kangxin IP Platformでは、商標のトレンドを理解したいブランド所有者が、明確にレイアウトされた分析を見つけることができる。商標マップは、出願人のポートフォリオの世界的な範囲を視覚化し、商標分析は、43の管轄区域における出願人ごとの出願、出版物、登録に関するデータを提供する。視覚的なデータは、ブランド所有者に商標の現在の傾向のスナップショットを提供し、情報に基づいた意思決定を可能にする。図 3.18.2 に、登録商標の保護地域の分析表示例を、図 3.18.3 に、登録商標のクラス/国別分析の表示例を示す。

図 3.18.2 登録商標の保護地域の分析表示例



出典：Kangxin Partners, P.C.

¹²⁷ Kangxin Partners, P.C.ホームページ:
<https://eservice.kangxin.com/html/1/391/index.html>

3.19 「Markify」

1) 概要

Markify¹²⁸は、使いやすさ、類似性テクノロジー、データ品質とカバレッジ、自動化という特徴を持つ。優れたユーザーエクスペリエンスを提供し、数十万の実際の商標紛争（判例）に関する機械学習を使用して統計的に構築された商標類似アルゴリズムを持ち、信頼できるソースからデータを取得する。具体的に、ProSearch スクリーニングは、無制限の商標スクリーニングと洗練された商標調査が可能である。包括的単語商標検索は、強力な商標類似性アルゴリズムを使用して、フルアベイラビリティレポートを数分で作成できる。フル画像／デバイス商標検索は、新しい画像商標をグローバルに簡単にクリアできる。商標監視は、毎週メールとオンラインの両方で、すべての新しい類似商標が記載されたレポートを受け取れる。ドメイン監視は、1,000 以上のトップレベルでのドメイン登録を監視できる。フル医薬品商標検索には、すべての主要な医薬品ソースと医薬品商標を効果的にクリアするために必要な高度な類似性の両方が含まれる。

(参考) Markify AB (Questel SAS) 及びサイバーパテント株式会社について

Markify はスウェーデンのストックホルムを拠点とするテクノロジー主導の SaaS 企業で、商標のスペシャリストにクラス最高の検索及び監視サービスを提供している。数学者、言語学者、コンピュータ科学者のチームによって Markify を開発し、2010 年 12 月に発売した。なお、Markify は、2022 年に Questel に買収されている¹²⁹。

また、サイバーパテントは 2001 年 7 月 1 日に創立され、現在は Questel SAS が株主である。同社は、Questel の日本法人としてグループ内の全製品・サービスを展開している。

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 米国、EUIPO ¹³⁰ 、日本、中国など 190 の国と地域及び米国 50 州 |
| 収録範囲 | 240 の商標データベース、フル医薬品カバレッジ、1,000 以上のドメイン拡張子、220 か国からの 2 億 5000 万の商号、ウェブ、画像、ソーシャルを含む完全なコモロカバレッジ |
| タイムラグ | 発行国による |
| 更新頻度 | 週ごと |
| 失効データ | 含む |

¹²⁸ Markify ホームページ: https://www.markify.com/?locale=ja_JP

¹²⁹ Questel ホームページ: <https://www.questel.com/ja/questel-acquires-markify/>

¹³⁰ EUIPO は、European Union Intellectual Property Office の略で欧州連合知的財産庁のこと

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|----|--|
| 検索 | 番号検索 | 商標 | 出願番号、登録番号 |
| | 出願人検索 | 商標 | 出願時情報検索、英語名検索 |
| | キーワード等検索 | 商標 | 商標 |
| | 日付検索 | 商標 | 出願日・国際登録日、登録日 |
| | 分類検索 | 商標 | 区分 |
| | 検索式を用いた検索 | 商標 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索 |
| | ステータスを加味した検索 | 商標 | - |
| | 入力支援機能 | 商標 | - |
| | 類似画像検索 | 商標 | <u>ProSearch</u> |
| | 保存・参照機能 | 商標 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 商標 | 公開商標文献、書誌情報、図面 |
| | 検索結果の一覧表示 | 商標 | 検索結果のソート、表示のカスタマイズ |
| | その他閲覧機能 | 商標 | 検索結果のフィルタリング、自動分類機能 |
| | 検索結果の保存 | 商標 | - |
| 分析 | マップ表示 | 商標 | <u>グラフィカルビュー</u> |
| | データダウンロード | 商標 | 書誌リスト、レポート機能 |
| | その他の機能 | 商標 | アラート機能 (SDI ¹³¹ ・ウォッチング機能：商標監視)、ブランドモニター、情報共有機能 |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Markify は、類似画像検索機能として「ProSearch」機能を持っている。また、マップ表示機能として「グラフィカルビュー」機能も具備する。

【ProSearch (類似画像検索) ¹³²】

ProSearch は、単語と画像ベースの商標の両方についてあらゆる種類の検索及び分析ツールをまとめている。迅速なワークフローで高品質の結果を処理するように最適化されており、効率的な商標スペシャリストの要求に応えられる。具体的には、ブール演算子とそ

¹³¹ SDIは、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

¹³² Markify ホームページ：<https://www.markify.com/services/prosearch.html>

の他の文字列演算子の完全なライブラリがサポートされる。あらゆる種類の商標データ(所有者、商品役務、ウィーン分類・米国意匠分類、日付等)に対して高度なブール検索を実行できる。共存検索は、関連する商品やサービスと共存する同一の商標(ただし、同じ所有者ではない)を識別するためのツールであり、混同の可能性を拒否する可能性を克服するのに役立つ。グローバルな医薬品カバレッジを持ち、専用の製薬アルゴリズムで関連するすべての医薬品ソースを検索できる。意匠商標/デバイス商標/具象商標の画像ベースのアルゴリズムは、商標の世界最高の深層学習アルゴリズムとしてテストされている。

【グラフィカルビュー (マップ表示) ¹³²】

ProSearch の拡張機能で、検索した商標を地理ビューとしてマップ表示できる。洗練されたインタラクティブなグローバルマップビューで、世界中のチャンスをすばやく確認できる。

5) 導入コスト

Markify の利用料¹³³ (2024 年 2 月現在) は、月額最低 85 ドルと記載されている。

¹³³ Markify ホームページ: <https://www.markify.com/dev/api.html>

3.20 「ODI-GAZETTE」

1) 概要

ODI-GAZETTE¹³⁴は、意匠 ROM 公報、商標 ROM 公報を検索するソフトウェアである。ODIS-Web は、ODI-GAZETTE のインターネット版で、意匠・商標・公開商標・公開国際商標・国際商標をインターネットから発行日に検索可能である。

(参考) 株式会社オーデイス¹³⁵について

オーデイスは、正確でタイムリーな特許情報の提供を通じて顧客企業に貢献し、その発展の手伝いをする。特許調査・解析・抄録作成、検索ソフトの開発・販売、特許庁データの加工・販売、インターネットによる特許検索サービスの開発・提供、ソフトウェア、Web アプリケーションの開発、データ入力代行サービス、コンサルテーション、情報の収集加工及び関連機器の販売を事業内容とする。

2) 収録データ

| | |
|----------|-------------|
| 収録国・地域 | 日本 |
| 収録範囲 | 2000 年から現在 |
| タイムラグ | 発行日当日サービス提供 |
| 更新頻度 | 発行の都度 |
| 商標/失効データ | 含む |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|----------|----|--------------------------------------|
| 検索 | 番号検索 | 意匠 | 出願番号、意匠公報番号、協議不成立意匠出願番号、審判番号、優先権主張番号 |
| | | 商標 | 出願番号、登録番号、国際登録番号、公告番号、審判番号 |
| | 出願人検索 | 意匠 | 出願時情報検索、出願人検索支援機能 |
| | | 商標 | 出願時情報検索、出願人検索支援機能 |
| | キーワード等検索 | 意匠 | 意匠に係る物品、意匠に係る物品の説明、意匠の説明 |
| | | 商標 | 商標、呼称、検索性文字商標 |
| | 日付検索 | 意匠 | 出願日、登録日、公報発行日 |
| | | 商標 | 出願日・国際登録日、公開日、登録日 |

¹³⁴ オーデイスホームページ: <http://www.odis.co.jp/odi-gazette.html>

¹³⁵ オーデイスホームページ: <http://www.odis.co.jp/company.html>

| | | | |
|-----------|--------------|---|--|
| 検索 | 分類検索 | 意匠 | (現行)日本意匠分類・D ターム、(旧)日本意匠分類、(旧)D ターム、国際意匠分類(ロカルノ分類) |
| | | 商標 | 図形等分類、類似群コード、区分 |
| | 検索式を用いた検索 | 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | | 商標 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、検索式のエディット支援 |
| | 関連意匠(類似意匠)検索 | 意匠 | 意匠登録番号検索で関連意匠がヒット |
| | その他検索機能 | 意匠 商標 | 入力支援機能 |
| 保存・参照機能 | 意匠 商標 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 | |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報、秘密公報、図面 |
| | | 商標 | 公開商標文献、書誌情報、図面 |
| | 検索結果の一覧表示 | 意匠 商標 | 目次様式、図年様式で一覧表示 |
| | 関連意匠(類似意匠) | 意匠 | 関連／類似意匠の一覧表示、関連／類似意匠の系図表示 |
| | その他閲覧機能 | 意匠 商標 | 表示のカスタマイズ |
| 検索結果の保存 | 意匠 商標 | 保存機能あり | |
| データダウンロード | 意匠 商標 | 書誌リスト、PDF 公報、ユーザー作成書式による PDF 出力保存、CSV 形式出力 | |
| その他の機能 | 意匠 商標 | 書誌情報の訂正、出願人 ID テーブル(出願人名等の名寄せ、意匠：出願人の統一は実施していないが、検索時にあいまい機能で可能、商標：DB 上では行っていないが、検索時にあいまい検索で可能)、アラート機能(SDI ¹³⁶ ・ウォッチング機能) | |

4) 高度な機能

ODI-GAZETTE は、出願人名等の名寄せ機能として「出願人 ID テーブル」が提供されている。また、「関連意匠(類似意匠)検索」が提供されているが、「関連意匠(類似意匠)

¹³⁶ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

検索」については、具体的な情報は得られなかった。

【出願人 ID テーブル¹³⁷ (出願人名等の名寄せ)】

ODI-GAZETTE では、特許庁検索インデックスの出願人、発明者、代理人（特に外国の会社、外国人）の表記ゆれについて、提供事業者であるオーデイスが以下の法則で独自に整理、作成したインデックスが使用されている。

- ・ 句読点「、」、読点「。」、中黒「・」、ピリオド「.」を削除
- ・ 長音「ー」、ハイフオン「-」は長音に統一してデータを蓄積
- ・ 中黒、ピリオドの代わりに「-（マイナス、ハイフオンで全角、半角の両方がある）」を使って、出願人、発明者を表記している場合は、「-」を削除している。

また、出願人名による検索だけでなく出願人（権利者）識別番号で検索できる「出願人 ID テーブル」機能も搭載されているが、この機能は、公表公報、再公表特許の識別・検索には使用できないことと、電子出願以前から存在する出願人・権利者など、同一人に対しても複数の識別番号が付与されている場合があることなどに留意が必要である。図 3.20.1 に、出願人 ID テーブルを示す。

図 3.20.1 出願人 ID テーブル

| No. | 出願人の名称 | 識別番号 |
|-----|---------------------------|------------|
| 1 | 田邊 | 597057036 |
| 2 | トテス', インコーポレイテッド | 581282870 |
| 3 | "アールペーカ"・アンラウンテッド・フ | 999999999 |
| 4 | "アールペーカ"・タウンネーラウスパーウ | 999999999 |
| 5 | "アールペーカ"・タウンネーラウスパーウ | 999999999 |
| 6 | "アレサ", "ラリアージュールガエセアプ | 999999999 |
| 7 | "アレサ", "ラリアージュールガエセアプ | 999999999 |
| 8 | "エス" エレクトロ・アカスティカ・ソシエ | 1581210183 |
| 9 | "エフエンエルスタル", エス・ア. | 999999999 |
| 10 | "エフエンエルスタル", エス・ア. | 999999999 |
| 11 | "オ. デ. ア. エム.", オフィス・ドウ・デ | 999999999 |
| 12 | "クレオメン" リミテッド | 999999999 |
| 13 | "ジェーゴ" | 999999999 |
| 14 | "ジョルダン・コレフ・インテグラル・モー | 999999999 |
| 15 | "トーゲ・デューベル" アーゲルハルトゲ | 581181844 |

出典：オーデイス

5) 導入コスト

ODI-GAZETTE の利用料は、オーデイスのホームページ上に開示されていないが、導入費は不要で、使用時間に関係なく月額 6,000 円～で提供されている¹³⁸。

¹³⁷ オーデイスホームページ: <http://www.odis.co.jp/setup/odis-web.pdf>

¹³⁸ オーデイスからの提供情報をもとに記載

3.21 「ODIS-NET」

1) 概要

特許検索サイト ODIS-NET では、インターネットを介した特許検索サービスを提供しており、これを無料で体験できる。特許公報を対象に全文検索や出願人・IPC といった項目指定の検索を行える。高速な全文検索ができる、検索回答件数に制限がない、ソートした（並び替えた）回答を表示・印刷できる、多彩な書式による表示・印刷・PDF 化機能を使えるといった特徴を持っている。発明（考案）の名称・要約・請求の範囲・詳細な説明・補正・訂正を対象として検索する。F タームによる検索もサポートする。また、目次様式、公報様式、レポート様式、図面抄録、三件抄録を表示し、PDF 出力もサポートする。

(参考) 株式会社オーディスについて

オーディスは、正確でタイムリーな特許情報の提供を通じて顧客企業に貢献し、その発展の手伝いをする。特許調査・解析・抄録作成、検索ソフトの開発・販売、特許庁データの加工・販売、インターネットによる特許検索サービスの開発・提供、ソフトウェア、Web アプリケーションの開発、データ入力代行サービス、コンサルテーション、情報の収集加工及び関連機器の販売を事業内容とする。

2) 収録データ

| | |
|--------|------------------------------|
| 収録国・地域 | 日本 |
| 収録範囲 | 1983 年から現在まで |
| タイムラグ | 発行日当日にサービス開始 |
| 更新頻度 | 発行の都度（現在は月～金の発行のため、月～金は毎日更新） |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|-------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、 <u>公報番号</u> 、優先権番号、ファミリー情報、 <u>審判番号</u> 、 <u>国際公開番号</u> 、 <u>国際出願番号</u> 、 <u>語句関連</u> (名称、要約、請求項、詳細な説明等の全文)、 <u>審査経過情報</u> |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、出願人検索支援機能（前方一致、完全一致、株式会社等が前なのか後ろなのかが不明の時、中間一致で検索が可能）、出願人住所 |

| | | | |
|-----------|--------------|---------|---|
| 検索 | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、手続補正書（補正公報、訂正公報） |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、国際出願日、国際公開日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 権利存続中などを指定して検索可能 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能、類似特許の検索、自然文検索（概念検索） |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | ユーザー作成可能。ODIS 提供辞書にユーザーが追加することも可能 |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、引用・被引用情報、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | 一覧表示の回答様式がある。ユーザーが書式を作ることも可能 |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類ではないが、ユーザーが公報に対して分類付与する機能あり |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | 保存機能あり |
| 分析 | マップ表示 | 特許・実用新案 | マップ表示機能あり |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報、CSV 形式 書式を自由に設定できるので、その設定した書式による PDF 出力保存 |
| その他の機能 | | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正（データベース自体はエラーのみの修正であるが、検索時にあいまい検索を使って検索ができる）、アラート機能（SDI ¹³⁹ ・ウォッチング機能）、情報共有機能 |

¹³⁹ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

4) 高度な機能

ODIS-NET には、類似特許の検索や自然文検索（概念検索）及びマップ表示の高度な機能が提供されているが、それらの具体的な情報は得られなかった。

5) 導入コスト

ODIS-NET の導入コストについては、オーデイスのホームページ上に開示されていないが、使用時間に関係なく月額 10,000 円～で提供されている¹⁴⁰。

¹⁴⁰ オーデイスからの提供情報をもとに記載

3.22 「Orbit Intelligence」

1) 概要¹⁴¹

Orbit Intelligence は、特許調査と分析に特化した知的財産情報ソフトウェアである。

このソフトウェアは 10 万人以上のユーザーに対して、1 億件以上の特許、1,700 万件の意匠、1 億 5,000 万件の NPL（臨床試験、プロジェクト、科学文書）を含むデータベースへのアクセスを提供している。これら収録データの正確性や品質を高水準に保つため、独自の AI ソリューションを用いた真の特許所有権の検証や世界中の正しいリーガルステータス（訴訟、異議申し立て、ライセンス契約等）に関連したデータの収集及び全文データの翻訳が行われている。

このデータベースをユーザーが有効に検索、活用できるように特許又はパテントファミリーを柔軟に検索できる機能や自動類似性検索機能などが搭載されている。また、検索結果を表示するグラフはインタラクティブに表示され、ドリルダウンしてグラフをより細かい粒度で表示させることや、独自の分類コメントでグラフをカスタマイズすることなどが簡単にできる仕様となっている。

さらに、特許とポートフォリオの質を測定する指標へのアクセス、最大 200 万件の分析が可能なライブ解析や最大 3 万件の分析が可能な保存解析、ガイド付きユースケース分析等、ユーザーによる膨大な情報分析を効率化するための機能も備わっている。

以上の他、技術、プレーヤー、引用、リーガルステータスのウォッチング機能や組織内外で簡単に情報共有するためのワークフロー設定等、ユーザーの様々なニーズを想定した機能が用意されている。

(参考) Questel SAS^{142,143} について

Questel は、1978 年に Orange S.A. (旧 France Télécom S.A.) の子会社として設立され、2001 年にフランステレコムから独立し、知的財産に特化した事業を展開している。ヨーロッパ、アメリカ、アジアに拠点をもち、積極的な買収戦略や業界の標準となるような絶え間ないイノベーションにより、世界的なリーダーに成長した。知的財産に関する情報提供サービス、知的財産に関するソフトウェア等の開発及び販売、各種権利化支援サービス、知的財産に関するコンサルティング、教育及び研修などを主な事業内容としている。日本国内では、2020 年に NRI サイバーパテント株式会社 (現:サイバーパテント株式会社) を買収し、同社は Questel グループの全製品・サービスを日本国内で展開している。

¹⁴¹ Questel ホームページ:

<https://www.questel.com/ja/patent/ip-intelligence-software/orbit-intelligence/>

¹⁴² Questel ホームページ: <https://www.questel.com/ja/about-questel/history/>

¹⁴³ Questel ホームページ: <https://www.questel.com/ja/about-questel/offices/>

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 特許・実用新案：106 カ国／地域 意匠：77 の国と地域 |
| 収録範囲 | 特許・実用新案：100 カ国以上の書誌的情報 【国内】特許・実案：1971 年～ 【海外】米国：1976 年～、欧州：1978 年～、中国：1985 年～、韓国：1978 年～、ドイツ：1877 年～、フランス：1855 年～、英国：1833 年～、ロシア：1993 年～、インド：1912 年～、台湾：1991 年～、国際公開：1978 年～、DOCDB ¹⁴⁴ ・各国特許庁：国ごとに異なる |
| タイムラグ | 特許・実用新案：公報発行翌日～最大1ヶ月程度（国により異なる） 意匠：発行国による |
| 更新頻度 | 全法域共通：週ごと |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|-----------|---------------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報、独自の出願を指す ID |
| | | 意匠 | 出願番号、意匠公報番号、優先権主張番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、日本語名検索、英語名検索、出願人検索支援機能 |
| | | 意匠 | 出願時情報検索、英語名検索 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、外国文献の日本語検索 |
| | | 意匠 | 名称、説明 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、予測される満了日 |
| | | 意匠 | 出願日、登録日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC、WIPO によって公表されている 35 の技術分野 |
| | | 意匠 | (現行)日本意匠分類・Dターム、国際意匠分類(ロカルノ分類)、各国分類 |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援、検索語の翻訳、同義語の提案 |
| | | 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索 |

¹⁴⁴ DOCDB は、欧州特許庁が提供する世界各国の特許の書誌情報と要約文を収録したデータベース

| | | | |
|----|--------------------|---------------|---|
| 検索 | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | - |
| | | 意匠 | 発行国による |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能、セマンティックサーチ、類似検索、引用・被引用検索、ファミリー単位変換検索 |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 意匠 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示、ライセンス情報の確認、外国文献の日本語表示 |
| | | 意匠 | 書誌情報、図面 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー、独自のパテントファミリー |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能、リーガルステータス、訴訟情報、異議申立情報、ライセンス情報、検索条件に対する結果の関連度 |
| | | 意匠 | ハイライト表示、検索結果のソート |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | - |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | マップ表示 |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | - |
| | 審査無効文献の推定 | 特許・実用新案 | - |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | - |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | - |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | 引用分析 |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等) | 特許・実用新案 | 特許情報分析機能 |

| | | | |
|-----------|---------|---------|---|
| 分析 | その他分析機能 | 特許・実用新案 | テキストマイニングデータによる可視化 |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報 |
| | | 意匠 | 書誌リスト、画像データの出力 |
| その他の機能 | | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正、出願人名等の名寄せ、アラート機能 (SDI ¹⁴⁵ ・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能、AI 活用 |
| | | 意匠 | アラート機能 (SDI・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Orbit Intelligence は、類似特許の検索機能として「セマンティックサーチ、類似検索」機能を提供している。また、特許情報分析 (IP ランドスケープ等) 機能、マップ表示機能、独自の Patent Family 表示機能、引用ネットワークの可視化機能として「引用分析」機能を提供している。

【セマンティックサーチ、類似検索¹⁴¹⁾】

Orbit Intelligence の類似検索は、セマンティックサーチと類似検索の 2 つの機能に分かれている。

セマンティックサーチは、特定の文章 (自然文) を入力すると、その文章に書かれている言葉などから判断して、類似の記載事項がある特許を探す機能である。

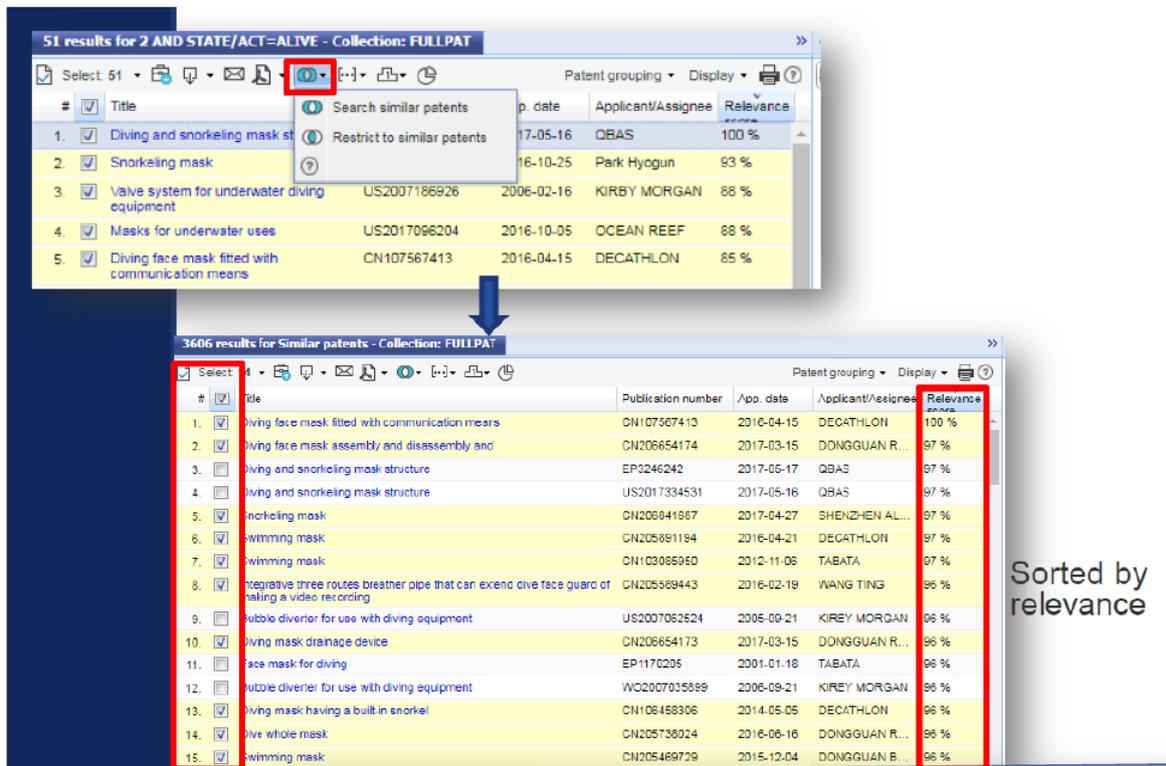
類似検索は、特許を基に似ている特許を探す機能である。類似の基準となるのは、特許分類・引用関係・ファミリーコンセプトの類似性である。ここでコンセプトとは、フルテキストより名詞や名詞句を切り出して技術的用語を抽出したキーワードで、出現頻度・出現場所等から独自に統制された概念である。

いずれの場合においても、その類似度をシステムが判断して結果を類似度順に表示するが、何が類似していたかという条件も提示することが大きな特徴である。

図 3.22.1 に類似検索の画面例を示す。

¹⁴⁵ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

図 3.22.1 Orbit Intelligence の類似検索画面



出典：Questel

【特許情報分析機能¹⁴⁶】

標準機能として搭載されている特許情報分析機能は、グローバル特許に着目してチャートを描画する機能で、特許数や出願数だけでなく、各特許に関連する被引用数、特許価値、出願国数などを設定できる。また、個々の集合の直近の出願数が見える指標や、IPC のばらつきを見る指標などもある。それらを組み合わせながらチャートを作り、内容を確認することができる。

例えばランドスケープマップを生成すると、新規ビジネスの可能性や買収後に放棄できる古い技術の特定などに役立てられる。

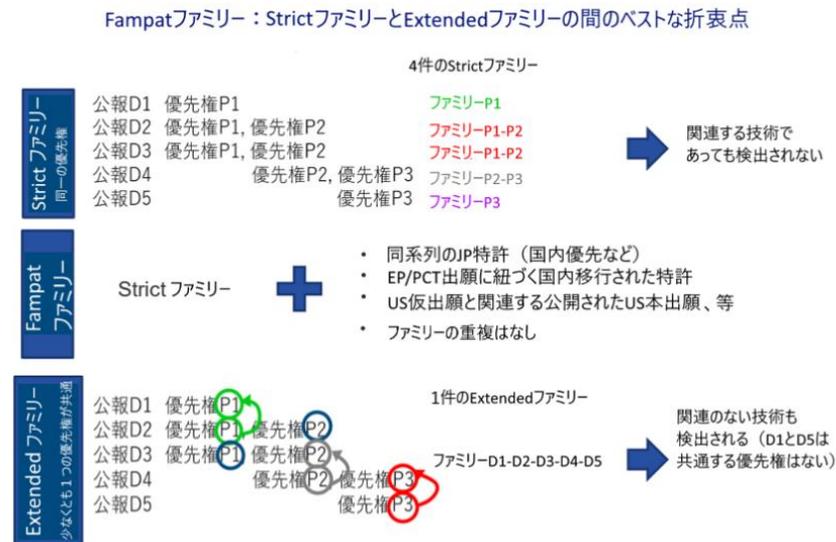
図 3.22.2 にランドスケープマップの表示例を示す。

¹⁴⁶ Orbit Intelligence ヘルプページ: <https://intelligence.help.questel.com/ja-JP/support/solutions/articles/77000450043-ランドスケープマップの理解および使い方>

も参考に独自のアルゴリズムでファミリー情報を形成している。このため、INPADOC 拡張ファミリーでは広すぎると感じるユーザーには有効である。

図 3.22.3 に FAMPAT ファミリーの構成イメージを示す。

図 3.22.3 FAMPAT ファミリーの構成イメージ



出典：Questel

【引用分析¹⁵⁰】

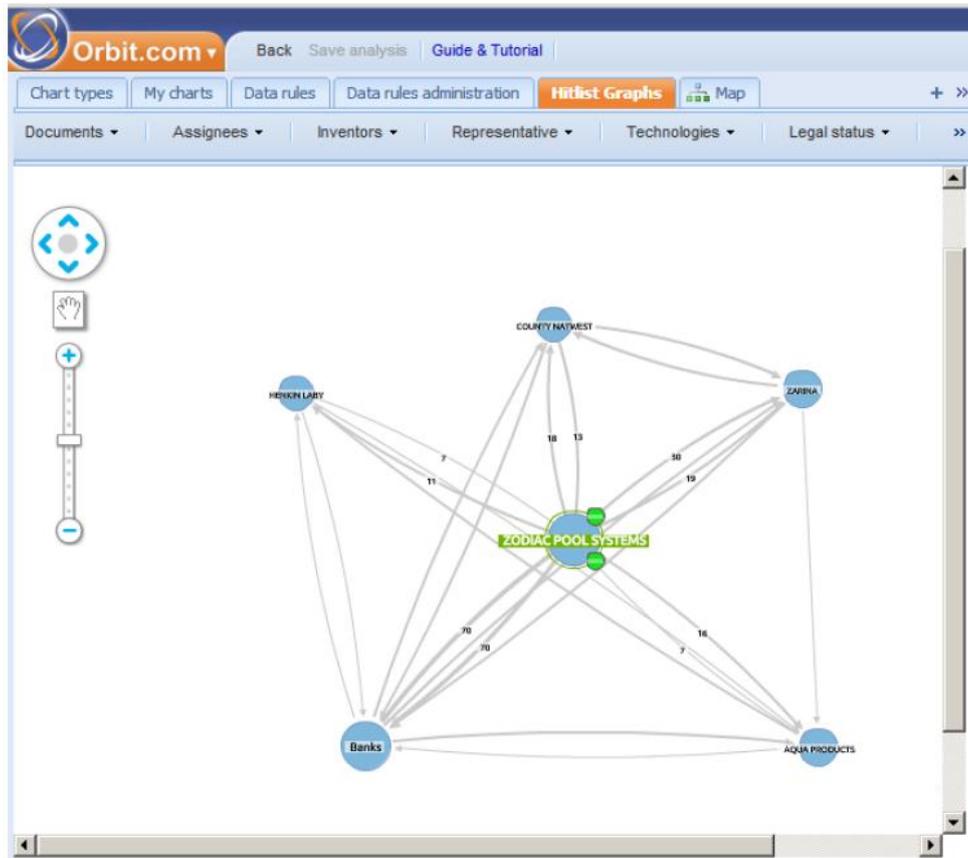
Orbit Intelligence の中には約 40 カ国程度の引用／被引用情報があり、これらの情報を分析してグラフ表示することができる。引用情報は、審査官引用／出願人引用／その他引用などに区別したり、審査官引用の場合は拒絶コードなども参照できるように整理したりして、描画することができ、また、出願人ごとに色分けなどを行って、自社引用か他社引用かを判断できるようなこともできる。

出願人間引用のグラフは、分析されたレコードセットの出願人間のつながりを表示し、Chart Control タブを使用すれば、共同割当ての最小数と出願人ごとのファミリーの最小数で結果をフィルタリングすることができる。ファミリー間の引用は矢印で示され、矢印の方向はファミリーが引用されているか引用しているかを示す。矢印がファミリーを指している場合、これらは引用される側で、逆の場合は、引用する側である。線上の数字は、2 つの出願人の間で共通して引用されたファミリーの数を示す。図 3.22.4 に引用分析の表示例を示す。

¹⁵⁰ Questel ホームページ:

https://static.orbit.com/orbit/help/guides/en/orbit_ip_business_intelligence.pdf

図 3.22.4 引用分析の表示例



出典：Questel

5) 導入コスト

Orbit Intelligence の導入コストに関して、ウェブサイト上に公開されている情報を発見することはできなかった。

3.23 「PatBase」

1) 概要

PatBase は、プロのサーチャー向けに設計された商用特許データベースで、グローバルな特許検索プラットフォームである。ボタンをクリックするだけで数百万件の特許、訴訟の結果、法的状況に関する情報、文書などにアクセスできる。RWS と Minesoft とのパートナーシップを通じて開発され、100 を超える国と地域の 1 億件を超える特許及び関連文書をカバーし、扱える特許/IP データは世界トップクラスの充実度を誇る。

検索、レビュー、共有、出力、分析の各機能を持ち、素早く簡単に検索でき、直観的なユーザーインターフェースで使いやすく、様々な分析に対応できる。世界中の 100 を超える関係当局からの全文ドキュメント 6,600 万件以上を検索対象とし、機械翻訳により重要なデータをほとんどの言語で利用できる。必要に応じてレコード表示をカスタマイズでき、ハイライト表示も可能である。同僚と結果を共有することや、重要なレコードをエンドユーザーと共有することも可能である。また、データを XML 形式又は CSV 形式に一括エクスポートして分析に使用できる。若しくは HTML 形式、Word 形式、Excel 形式でレポートを作成できる。

(参考) RWS グループについて

RWS グループは、英国に本社 (RWS Holdings plc) を置く特許翻訳・調査会社で、年間 9 万件以上の特許翻訳を手掛け、また、特許の保護・活用のための包括的なソリューションの提案を行っている。

テクノロジーを駆使した翻訳サービス、コンテンツサービス、知的財産サービスを提供し、文化の理解、顧客の理解、技術の理解を組み合わせ、顧客をさまざまな面でサポートする。企業がコミュニケーションの壁を取り払い、世界中のあらゆる顧客とつながるための、より良い方法を見つける手伝いをする。言語への愛とイノベーションへの情熱によって結ばれた 7,500 人以上の優秀な人材からなるグローバルチームを擁し、先駆的なテクノロジーを通じて、人間の限界を超えた成果を可能にする。ローカリゼーション、コンテンツ、人工知能 (AI)、知的財産サービス等、さまざまな専門サービスと高度なテクノロジーを提供し、企業のグローバル化の推進を支援する。コミュニケーションのエキスパートで、コンテキストが極めて重要であることを認識するため、ほぼすべての業界を網羅する経験豊富な専任チームを擁する。ライフサイエンス、マネージドヘルスケア、金融サービス、法務など、規制の厳しい業界にも精通している。

2) 収録データ

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | 5 大庁（日本、米国、欧州特許庁、韓国、中国）を含む 107 力国・機関のデータを収録 |
| 収録範囲 | 1900 年代初頭から現在まで（国による差異あり） |
| タイムラグ | 即日から 1 週間程度まで（国による差異あり） |
| 更新頻度 | 毎日 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報（以上、各国の「国コード」並びに「公報種別コード」を番号検索に加えることができる） |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、英語名検索、出願人検索支援機能（コーポレートツリー機能）、現地出願人名 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、独立請求項、第一請求項、実施例 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、優先権主張日、最先の出願日・公開日・優先権主張日、最新の出願日・公開日・優先権主張日（最先及び最新）国コードとの組み合わせ可能 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、F ターム、CPC、ドイツ分類、US 分類、ファセット、ロカルノ分類、スーパークラス ¹⁵¹ |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 生死検索、PRS コードによる検索 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | <ul style="list-style-type: none"> ・入力支援機能、類似特許の検索、自然文検索（<u>Semantic search</u>（類似検索・概念検索機能）） ・非アルファベット（日本語、韓国語、中国語など）を混在させての検索可能 ・逐次検索機能搭載（キーワードを入力するごとに、検索ボタンを押さずに結果表示） |

¹⁵¹ 形態が同じ分類を複数の分類の中から抽出する検索

| | | | |
|----|--------------------|---------|---|
| 検索 | 辞書機能 | 特許・実用新案 | 企業名辞書を搭載（コーポレートツリー機能） |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | <ul style="list-style-type: none"> ・公開特許文献、書誌情報、図面（ファミリーの他の公報の図面も閲覧可能）、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示、ライセンス情報の確認、 ・外国文献の日本語表示は非搭載 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | ファミリー(レコード)をスクロール表示 |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | 独自のパテントファミリー（INPADOC 拡張パテントファミリーに準ずる） |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | <ul style="list-style-type: none"> ・ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング ・中国、韓国、ロシアなどの言語を日本語翻訳 ・請求項の従属、独立関係を視覚的に表示できる閲覧機能 ・特許文献の要約文字数を適宜減らしながら意味あるものにできる機能 ・検索結果の電子配信機能¹⁵² ・権利満了による法的な権利消滅時期を表示、譲渡を表示 |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | フォルダ機能にて可能 |
| 分析 | マップ表示 | 特許・実用新案 | 2次元及び3次元での表示 |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | Patent Valuation Score(PVS)を搭載 |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | 各種ファイル形式に対応 |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | PatBase Analytics |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等) | 特許・実用新案 | PatBase Analytics |
| | その他分析 | 特許・実用新案 | <ul style="list-style-type: none"> ・優先権状態の表示マップ ・分析機能への、検索結果のシームレスな接続 ・フィルタリング目的のマップ ・マップで解析した後の、前回からの変更点の表示機能 |

¹⁵² 電子配信を受けた人はこのデータベースの利用権限をもっていなくても、期間限定でほとんど全ての機能を利用可能

| | | |
|-----------|---------|--|
| データダウンロード | 特許・実用新案 | <ul style="list-style-type: none"> ・書誌リスト、PDF 公報 ・ダウンロード時の翻訳機能搭載（非アルファベットをアルファベット表示） ・ファミリーの全ての情報又は絞り込んだダウンロード |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | <u>出願人名等の名寄せ（コーポレートツリー機能）</u> 、アラート機能（SDI ¹⁵³ ・ウォッチング機能）、情報共有機能不慣れなユーザー向け機能、ユニバーサルデザイン対応、各国特許庁へのリンク機能、遺伝子情報などの外部データベースへのリンク、化学物質の組成構造検索機能 |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

PatBase は、類似検索・概念検索機能として「Semantic search」、特許情報分析（IP ランドスケープ等）機能及び引用ネットワークの可視化機能として「PatBase Analytics」、出願人名等の名寄せ及び企業辞書機能として「コーポレートツリー」を提供している。また、「独自の Patent ファミリー」及び「Patent Valuation Score（価値評価）」も提供している。

【Semantic Search（類似検索・概念検索機能）¹⁵⁴】

Semantic Search は、調査対象の特許内の重要な概念を素早く特定し、PatBase の検索に組み込む機能である。

文書の抄録、特許請求の範囲、または説明文のテキストを検索ボックスに入力または貼り付け、「検索」をクリックしてセマンティック検索を実行すると、検索結果ページに結果が表示される。図 3.23.1 に、Semantic Search の入力ダイアログの例を示す。

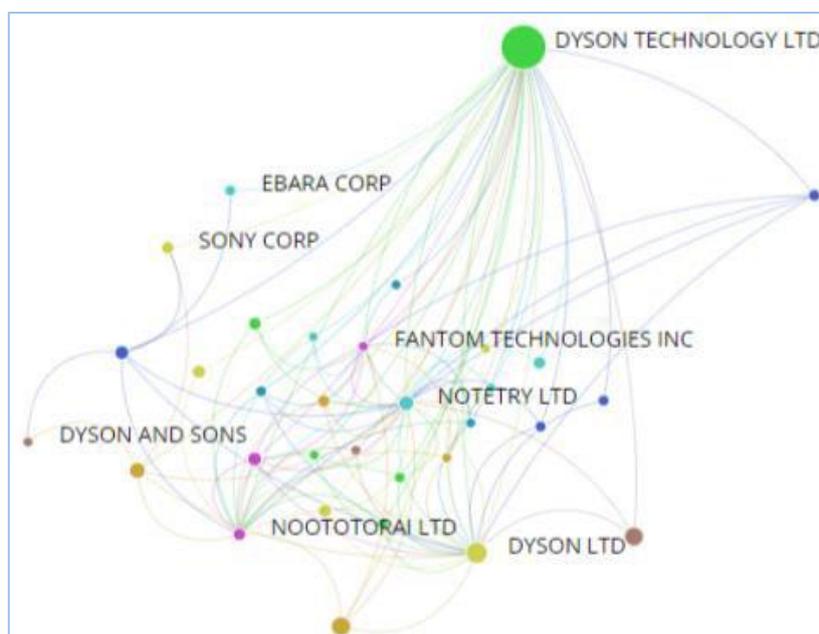
¹⁵³ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

¹⁵⁴ RWS から提供された情報を基に記載

【PatBase Analytics (引用ネットワーク分析) ¹⁵⁷】

PatBase Analytics の引用ネットワーク分析では、数字やノードの種類(出願人)を調整して、閾値リミット(1つのノードに対する最小引用数)を設定し、引用ネットワークを表示する。図 3.23.3 に、引用ネットワーク分析の表示例を示す。

図 3.23.3 引用ネットワーク分析の表示例



出典：Minesoft

【コーポレートツリー (出願人名等の名寄せ) ¹⁵⁴】

PatBase では、出願人の吸収・合併前の社名、子会社・グループ会社をまとめて検索できる「コーポレートツリー」というツールを提供している。

このツールには、欧米や日本企業の親会社約 2,300 社分(総計 23,000 社以上の出願人)が収録されている(出願件数上位を優先的に収録)。

【企業名辞書 ¹⁵⁴】

企業名辞書を搭載している(合併、社名変更などを考慮)。コーポレートツリー機能で実現する。

【独自のpatentファミリー¹⁵⁸】

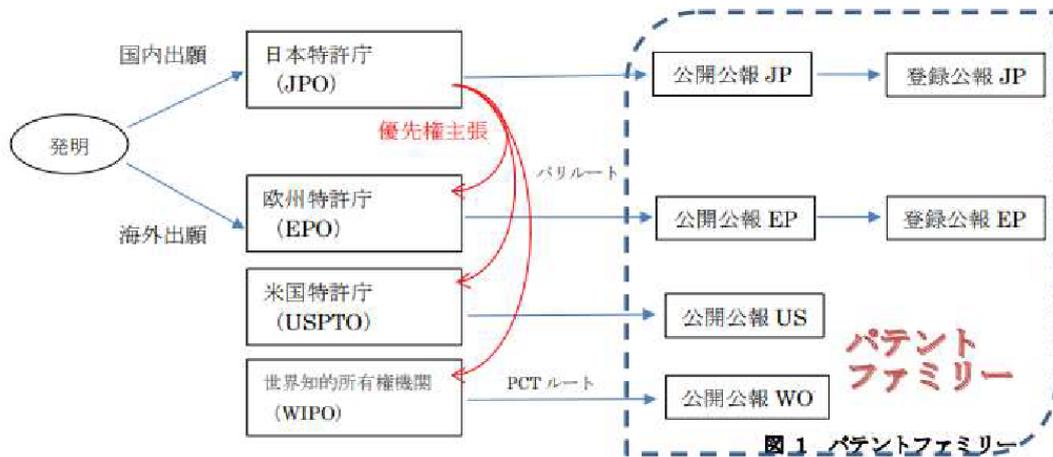
PatBase は、優先権主張を基に、発明を単位とした独自のpatentファミリーで構成されている。図 3.23.4 に PatBase の構成を示す。

¹⁵⁷ Minesoft ホームページ: <https://basics.minesoft.com/patbase-express/Documents/analyticsV2SnapshotComparison.jp.pdf>

¹⁵⁸ RWS からの提供資料を参考に記載

図 3.23.4 PastBase の構成

PatBaseは発明を単位とした**パテント・ファミリー**で構成しています



出典：RWS グループ

【Patent Valuation Score (価値評価) ¹⁵⁴】

Patent Valuation Score (PVS) モデルは、PatBase で独自開発された、特許の相対的価値をスコアリングする方法である。このモデルは、Commercial (商業)、Legal (法務)、Citation (引用) 及び Technology (技術) の 4 つの大まかなカテゴリが使用されている。

PVS は、公知な値で計算される。また、スコアページの上部にあるボックスは、各カテゴリのファミリー全体の最小値と最大値を表示する。

以下に、4 つのカテゴリの定義を示す。

- ・ Commercial (商用) :
発明者数、発明者と出願人の関係、再譲渡の件数と種類、管轄裁判所数、ポートフォリオ全体の規模を考慮
- ・ Legal (法務) :
特許ステータス、クレーム数 (独立及び従属)、特許経過年数、訴訟件数などを考慮
- ・ Citation (引用) :
被引用数(自他)、被引用年数、引用特許のスコア、NPL/FDA データの有無を考慮
- ・ Technology (技術) :
IPC/CPC コード数 (影響を受ける技術分野)、SEP の有無、譲受人の技術空間における市場シェアを考慮

図 3.23.5 に、Patent Valuation Score の表示例を示す。

図 3.23.5 Patent Valuation Score の表示例

Family 81915034 > Patent Valuation Score

| | Min | Max |
|------------|------|-------|
| Overall | 1.5% | 15.2% |
| Citation | 0% | 14.9% |
| Commercial | 11% | 24.4% |
| Legal | 0% | 0% |
| Technology | 0% | 39.9% |

| Publication | Overall | Citation | Commercial | Legal | Technology |
|---------------|---------|----------|------------|-------|------------|
| WO22027921 A1 | 5.7% | 2.3% | 24.4% | 0% | 39.9% |
| CN111916195 A | 15.2% | 14.9% | 14.6% | 0% | 36.8% |
| CN112205982 A | 7.3% | 5.8% | 14.6% | 0% | 30.7% |
| CN111973228 A | 6.4% | 4.9% | 14.6% | 0% | 24.5% |

出典：RWS グループ

5) 導入コスト

PatBase の導入コストについては、RWS グループのホームページ上で開示されていない。

3.24 「Patentfield」

1) 概要¹⁵⁹

Patentfield 株式会社が提供する Patentfield は、プロフェッショナルな特許検索、データ可視化、AI 調査機能を組み合わせて総合的に利用できる AI 特許総合検索・分析プラットフォームである。検索・可視化に加え、AI・機械学習を用いた類似検索、高速な分類予測により関心のある特許を効率的にスクリーニングすることができる。

1000 万件以上の大規模な特許文書から言葉の意味を学習する「AI セマンティック類似検索」、教師データに基づいて特許を高速に分類する「AI 分類予測」、審査・審判経過情報を含む 100 種類以上の検索項目と自然言語処理技術や機械学習技術を駆使した様々な検索手法を提供する「プロフェッショナル検索」、様々な検索手法を自在に組み合わせて、シームレスに出願人や特許分類など 120 種類以上の特許データの属性情報を可視化する「データ可視化」の 4 つの機能がワンパッケージで提供されている。

(参考) Patentfield 株式会社について¹⁶⁰

Patentfield は、より多くの人々に知財を活用してもらうために、早く、簡単かつ的確に特許情報を検索できるシステムを作ることを掲げて 2017 年 4 月に設立された企業であり、主に以下の様な事業を営んでいる。

- ・ 「AI 特許総合検索サービス」：AI 特許総合検索・分析プラットフォームの開発、運営
- ・ 「カスタマイズ開発」：顧客の特許調査や分析ニーズに合わせて Patentfield への新機能を追加するサービス（独自 UI、ダッシュボード、独自分析項目や分析軸の追加等）
- ・ 「知的財産コンサルティング」：知的財産部門の立ち上げ、IT を使った知財業務の効率化といった顧客の状況、要望に合わせたコンサルティングサービス
- ・ 「特許情報代行検索・技術動向リサーチ」：顧客の調査方針や技術内容に基づいた、特許調査及び該当分野の技術に関する技術動向調査・情報整理サービス
- ・ 「マッチングサポート」：パートナーやアライアンス候補の探索と開拓のサポートサービス

¹⁵⁹ Patentfield ホームページ：<https://patentfield.com/#/>

¹⁶⁰ Patentfield ホームページ：<https://patentfield.com/service#/>

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 特許・実用新案：日本、米国、欧州特許庁、国際出願、台湾 ※その他の国・地域についても DOCDB ¹⁶¹ の収録範囲で収録 意匠：日本、米国、台湾 |
| 収録範囲 | 収録国・地域、データ種別により異なる ¹⁶² |
| タイムラグ | 特許・実用新案：数日。ただし、一部収録範囲は1~2カ月程度のタイムラグが発生 意匠：数日。台湾については1、2カ月 |
| 更新頻度 | 特許・実用新案：毎日（営業日のみ） 意匠：毎日 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|--------------|---------------|---------------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報、登録番号 |
| | | 意匠 | 出願番号、意匠公報番号、協議不成立意匠出願番号、審判番号、優先権主張番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 意匠 | 出願時情報検索、英語名検索、出願人検索支援機能 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、外国文献の日本語検索 |
| | | 意匠 | 意匠に係る物品（各フィルタ項目名は未整備）、意匠に係る物品の説明（各フィルタ項目名は未整備）、意匠の説明（各フィルタ項目名は未整備） |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、登録発行日 |
| | | 意匠 | 出願日、登録日、公報発行日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC |
| | | 意匠 | （現行）日本意匠分類・Dターム、国際意匠分類（ロカルノ分類）、 <u>AI分類予測</u> |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索 |
| ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 意匠 | - | |

¹⁶¹ DOCDB は、欧州特許庁が提供する世界各国の特許の書誌情報と要約文を収録したデータベース

¹⁶² Patentfield 収録範囲: <https://patentfield.com/coverage#/>

| | | | |
|---------|---------------|---------------|--|
| 検索 | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能、AI セマンティック検索（類似特許の検索、自然文検索（概念検索））、類似画像検索 |
| | | 意匠 | 入力支援機能、AI セマンティック検索、類似画像検索 |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 意匠 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示（提供を受けているデータの範囲に限る）、法的紛争情報の表示（提供を受けているデータの範囲に限る）、ライセンス情報の確認（提供を受けているデータの範囲に限る）、外国文献の日本語表示（オプション契約にて一部対応） |
| | | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報、図面、経過情報の表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能 |
| | | 意匠 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、表示のカスタマイズ、自動分類機能 |
| 検索結果の保存 | 特許・実用新案 意匠 | - | |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 意匠 | - |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | PF スコア |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | - |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | - |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | 引用分析、引用マップ分析 |

| | | |
|-----------|---------|---|
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報 |
| | 意匠 | 書誌リスト |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 名寄せ辞書（出願人名等の名寄せ）、アラート機能（SDI ¹⁶³ ・ウォッチング機能）、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能、AI 分類予測 |
| | 意匠 | 名寄せ辞書（出願人名等の名寄せ）、アラート機能（SDI・ウォッチング機能）、情報共有機能、AI 分類予測 |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Patentfield は、類似特許及び意匠の検索機能として「AI セマンティック検索」機能を提供している。また、類似画像検索機能、引用ネットワークの可視化機能として「引用分析、引用マップ分析」、価値評価として「PF スコア」、出願人名等の名寄せ機能として「名寄せ辞書」を提供している。また、Patentfield の特徴的な機能として、「AI 分類予測」を提供している。

【AI セマンティック検索（類似文書検索）¹⁵⁹】

1000 万件以上の大規模な特許文書から言葉の意味を学習し、探している技術内容に近い特許文献から調査できる。探したい任意の自然文書又は特定の文献から類似度が高い順にスコアリングすることにより、教師データなどを用意せずともすぐに調査できる。例えば「ソーラパネル」で検索すると、「太陽電池パネル」や「太陽光発電パネル」などが含まれる類似概念の文書を検索することができる。図 3.24.1 にセマンティック検索の画面例を示す。

¹⁶³ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

図 3.24.1 セマンティック検索の画面例

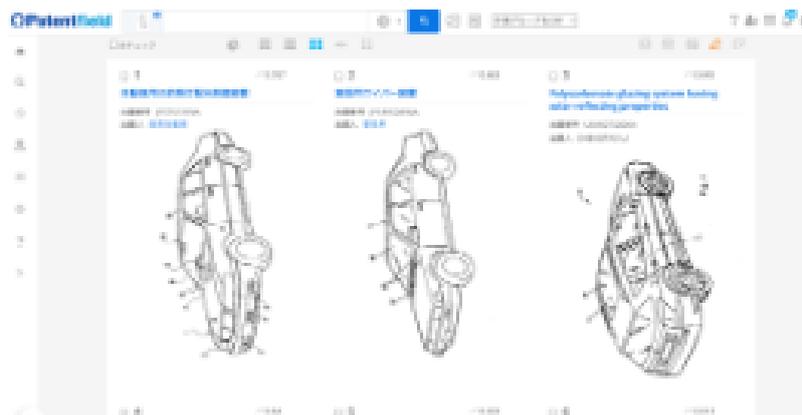


出典：Patentfield

【類似画像検索¹⁵⁹⁾

類似画像検索は、画像データを入力して、公報図面を対象に類似画像をもった特許・意匠公報を検索する機能である。複数図面の入力にも対応しており、意匠の6面図単位や、画像の組み合わせでの類似画像検索も可能である。図 3.24.2 に意匠の検索結果の例を示す。

図 3.24.2 意匠の検索結果の例



出典：Patentfield

【引用分析、引用マップ分析¹⁶⁴⁾

Patentfield の引用分析では、各出願の引用文献／被引用文献のマップ表示、企業ごと

¹⁶⁴ Patentfield ホームページ: <https://patentfield.com/help/combined-citation#/>

の引用／被引用関係のマップ表示が可能である。

マップ分析は、バーチャート、出願人ランキング、共起ネットワーク（共願関係を線でつなぎ、企業間や発明者間のつながりを確認するマップ）などがあり、一般的な特許マップがカバーされている。検索と可視化が一体化されており、マップをクリックするとその条件でフィルタ検索され、検索結果よりその詳細を確認することができる。

引用マップ分析では、最大 5,000 件の特許の引用関係を一度に分析可能である。被引用件数などでフィルタすることで、重要な特許を容易に抽出できる。検索結果の文献と引用関係にある文献をまとめて分析（引用関係結合）できる。

図 3.24.3 に引用分析の表示例を、図 3.24.4 に企業ごとの引用分析の表示例を、図 3.24.5 に引用マップ分析の表示例を示す。

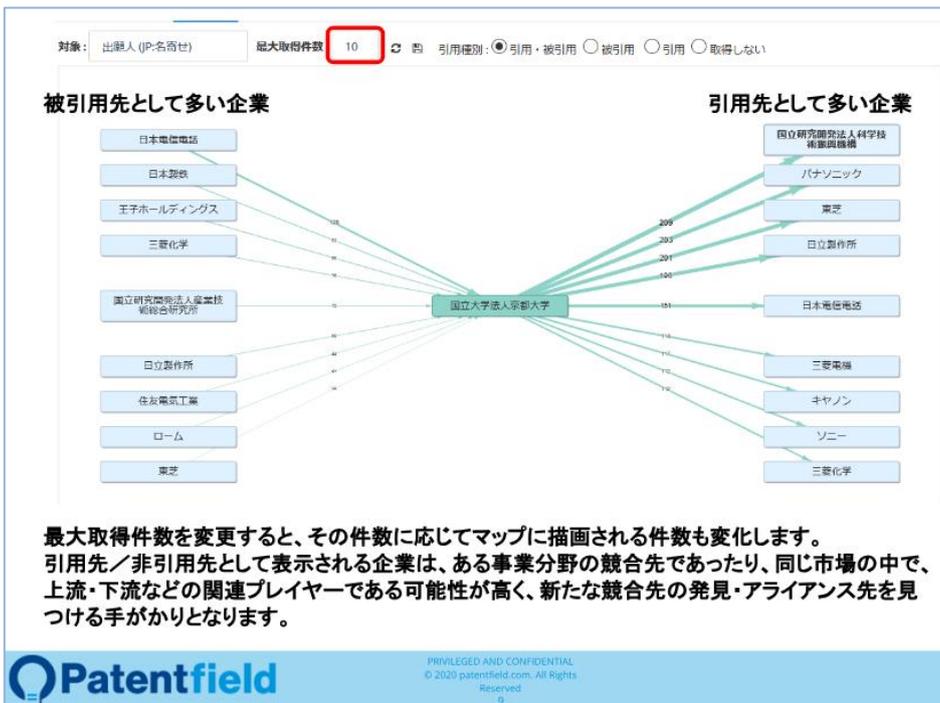
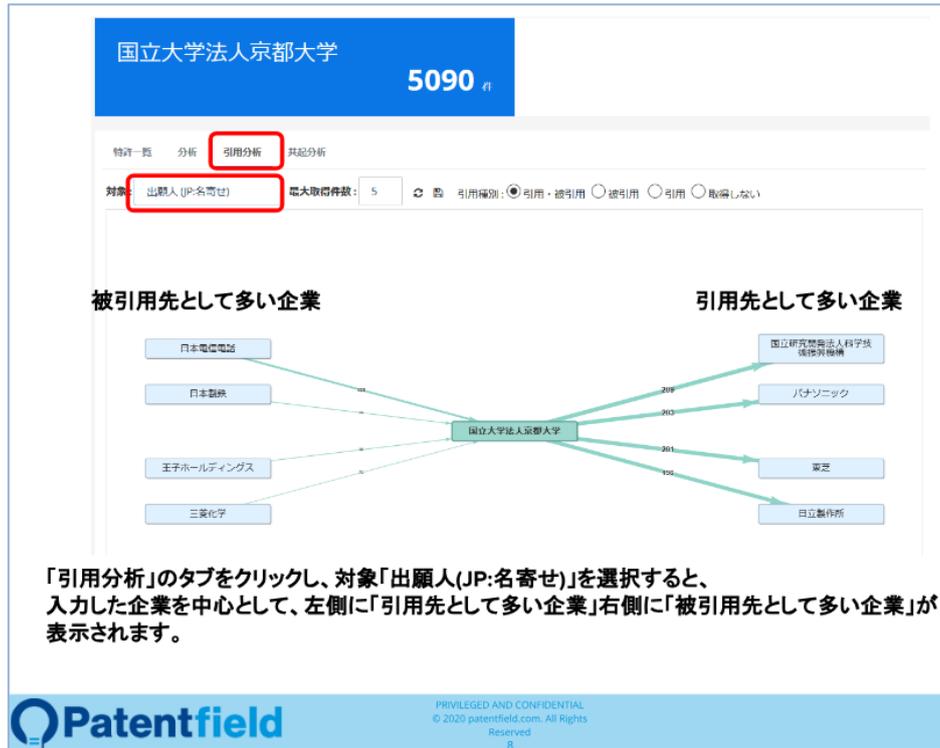
図 3.24.3 引用分析の表示例

各公報の引用分析のページでは、選択公報の審査官引用・審査官被引用の文献を確認でき、簡単な操作で、引用文献をたどって内容を確認することができます。

各文献をクリックすると、「緑色」または「黄色」で表示されます。緑色は「引用文献あり」で、矢印でさらに引用文献が表示されます。黄色は「引用文献なし」で、引用文献が表示されません。引用文献の内容を確認する場合は、ダブルクリックするとその文献の詳細ページにジャンプします。

出典：Patentfield

図 3.24.4 企業ごとの引用分析の表示例



出典：Patentfield

【PF スコア¹⁶⁵】

Patentfield では、被引用回数、情報提供回数など、特許の中間手続きパラメータに基づく特許の重要度や注目度を可視化する「PF スコア」という機能を提供している。

PF スコア算出条件の初期設定としては、被引用回数、情報提供回数など他社からの注目度が高い特許が設定されており、出願から日数があまり経っていないものほど高いスコアとなっているが、ユーザーがスコア設定画面において、重み付けや算出条件を自在にカスタマイズできるようになっている。

算出された PF スコアは、詳細検索画面のスコアタブで PF スコアをクリックするか、検索結果画面上部で PF スコアを選択することで切り替えることができる。なお、PF スコアモードでは、可視化・集計結果は、件数の積み上げではなくスコアの積み上げとなる。

図 3.24.6 に、スコア設定画面を、図 3.24.7 に、検索結果画面の表示例を示す。

図 3.24.6 スコア設定画面

| 算出条件 | 演算子 | 関数 | 係数 | 削除 |
|---------------|-----|---------------|-----|----|
| ベーススコア | | | 1 | |
| 被引用回数 (JP/US) | + | $\log(1 + n)$ | 1 | |
| 請求項数 (付与) | + | $\log(1 + n)$ | 0.2 | |
| 優先権主張数 | + | $\log(1 + n)$ | 0.2 | |
| PCT出願 | + | $\min(1, n)$ | 0.2 | |
| 出願審査請求(JP) | + | $\min(1, n)$ | 0.4 | |
| 意見書(JP) | + | $\min(1, n)$ | 0.5 | |
| 情報提供(JP) | + | $\log(1 + n)$ | 1 | |
| 包袋開覧(JP) | + | $\log(1 + n)$ | 1 | |
| 拒絶査定不服審判(JP) | + | $\log(1 + n)$ | 1 | |
| 出願経過日数 | * | 減衰関数 | 1 | |

出典：Patentfield

¹⁶⁵ Patentfield ホームページ: <https://patentfield.com/help/functions-patent-score#/>

図 3.24.7 検索結果画面の表示例



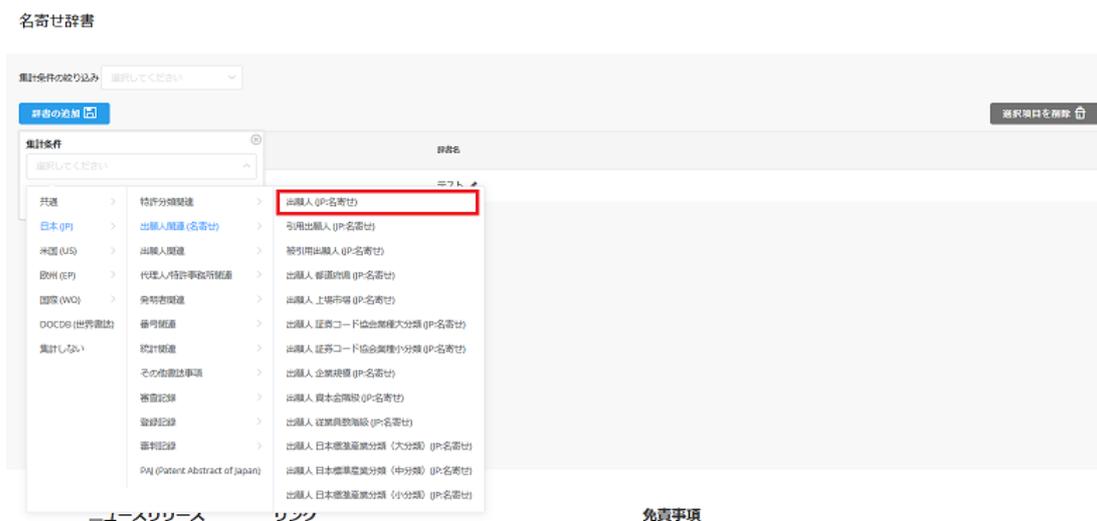
出典：Patentfield

【名寄せ辞書¹⁶⁶】

Patentfieldでは、特定の項目（例：出願人）について、ユーザーが任意に抽出した条件で、名寄せグループを作成することができる。一つ一つ個別にグループを追加する方法と、エクセル形式でグループをまとめてインポートする方法があり、作成した名寄せ辞書を検索結果に反映することが可能である。

また、日本企業のみであるが、科学技術・学術政策研究所（NISTEP）が提供する企業名辞書をもとに名寄せした検索が可能である。NISTEPの企業名辞書の対象は上場企業等の1万社程度に限られるが、合併や名義変更のデータも含まれている。図 3.24.8 に出願人名寄せの画面例を示す。

図 3.24.8 出願人名寄せの画面例



出典：Patentfield

¹⁶⁶ Patentfield ホームページ: <https://patentfield.com/help/identity-verification#/>

【AI 分類予測】

Patentfield では、社内特許と検索結果を自分たちのニーズに即した分類にする「AI 分類予測」機能を提供している。

AI 分類予測は、今までの調査結果を教師データにして、母集団に対して予測をかける方法である。例えば SDI 調査(定期調査)の場合、7~8 割の特許がノイズとなるため、不要なものを含むデータから必要なものを探す必要がある。定期調査は知財部門ではなく開発部門の方が担当することも多いため、大きなストレスになる。AI 分類予測は、過去の調査結果を教師データとしてセットし、AI 分類予測する(AI が優先度をつける)ことで、必要なものから順に見ることができ、ストレスの軽減となる。

5) 導入コスト¹⁶⁷

Patentfield の料金体系(2024 年 2 月現在)には、1 月当たりの利用回数に制限がある「Free プラン」、個人事業主向けの「BASIC プラン」と法人向けの「Mini プラン」及び「Corp プラン」がある。

個人事業主向け「BASIC プラン」は、月額 10,000 円か年額 100,000 円のいずれかの支払方法を選択するものである。

法人向け「Mini プラン」と「Corp プラン」は、いずれも ID 数に応じた月額料金制であるが、「Mini プラン」については中小企業及び特許事務所を対象とする割引が設定されている。「Mini プラン」で最も低い月額料金設定は 1ID の 20,000 円(割引適用額 14,000 円)からであり、最も高い月額料金設定は 4ID の 29,800 円(割引適用額 26,820 円)である。「Corp プラン」で最も低い月額料金設定は 5ID の 30,000 円からであるが、50ID 以上の料金については個別に案内がなされることとされている。

その他、類似画像検索や PF レポート、日本語横断検索等のオプション機能に対して個別に料金が設定されている。

¹⁶⁷ Patentfield ホームページ:<https://patentfield.com/pricing#/>

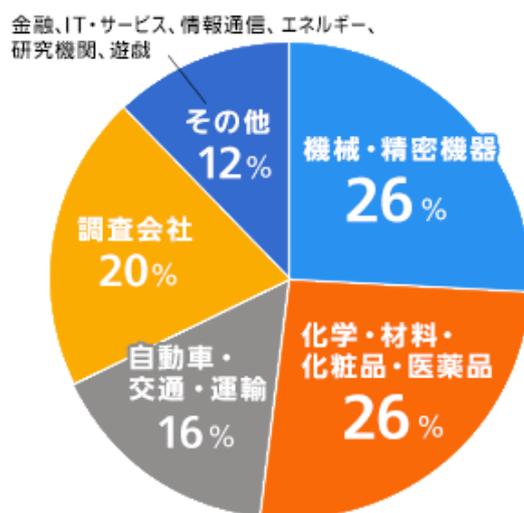
3.25 「PatentSQUARE」

1) 概要

PatentSQUARE¹⁶⁸は、パナソニックが提供する特許調査支援サービスで、1992年に誕生して以来、機械や精密機器・化学をはじめ、医薬品・情報通信などの幅広い業界で活用されている。図 3.25.1 に、PatentSQUARE が利用されている産業を示す。

PatentSQUARE は、もともとパナソニック社内で特許調査をするために生まれたサービスであり、知財担当だけでなく、現場の研究者や技術者にも使ってもらえるような形を第一のコンセプトとして提供している。そのため、知財担当向けには詳細な検索などの特許調査を行える機能、現場の人向けには簡単に結果にたどりつくことができるような検索スピードや簡単に描画できる機能を提供しているのが特徴である。また、知財担当と現場の技術者が一緒に特許調査するケースを想定し、両者で情報共有できるように設計していることも特徴の一つである。

図 3.25.1 PatentSQUARE が利用されている産業



出典：パナソニック ソリューションテクノロジー

(参考) パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社について

PatentSQUARE を提供しているパナソニック ソリューションテクノロジー¹⁶⁹は1988年に創業され、パナソニックグループの中で業務支援サービスを担う。主な事業内容は以下のとおりである。

¹⁶⁸ パナソニック ソリューションテクノロジーホームページ：
<https://www.panasonic.com/jp/business/its/patentsquare.html>

¹⁶⁹ パナソニック ソリューションテクノロジーホームページ：
<https://www.panasonic.com/jp/company/pstc.html>

- ・ ICT×AI×現場知見をコアとしたフルスタックソリューションの提供
- ・ 産業・製造現場の高度化・可視化・デジタル化ソリューションの提供
- ・ ニューノーマルに対応した時間・場所にとらわれない働き方と高い業務生産性を実現するソリューションの提供
- ・ 企業・従業員の人材育成を支援するeラーニング及び研修サービスの提供
- ・ 知財調査・分析・管理のためのソリューション・サービスの提供
- ・ ITインフラ基盤及びシステムの企画・設計・開発・導入から運用・保守・管理までの総合SIサービスの提供

2) 収録データ

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | 特許・実用新案：日本、米国、欧州、中国、WIPO(PCT)、他 DOCD ¹⁷⁰ 収録国 意匠：日本 |
| 収録範囲 | 特許・実用新案：国ごとに異なる 意匠：日本意匠（書誌、経過情報、全図） 登録公報：1988年以降 協議不成立意匠出願公報：2000年以降 |
| タイムラグ | 特許・実用新案：国ごとに異なる 意匠：3日 |
| 更新頻度 | 特許・実用新案：国ごとに異なる 意匠：3日 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|-------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報 |
| | | 意匠 | 出願番号、審判番号、優先権主張番号、登録番号、国際登録番号、意匠登録出願番号、意匠権者識別番号、出願人識別番号、代理人識別番号、ROMボリューム番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、日本語名検索、英語名検索、出願人検索支援機能 |
| | | 意匠 | 出願人検索支援機能（人名辞書（部分一致検索）を用意） |

¹⁷⁰ DOCD^B は、欧州特許庁が提供する世界各国の特許の書誌情報と要約文を収録したデータベース

| | | | |
|----|--------------|---|---|
| 検索 | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、外国文献の日本語検索 |
| | | 意匠 | 意匠に係る物品、意匠に係る物品の説明、意匠の説明、原本の説明、意匠の特徴 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日 |
| | | 意匠 | 出願日、登録日、公報発行日、優先日、審判請求日、国際登録日、国際公表日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC |
| | | 意匠 | (現行)日本意匠分類・Dターム、(旧)日本意匠分類、(旧)Dターム、国際意匠分類(ロカルノ分類) |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索 |
| | | 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | 関連意匠(類似意匠)検索 | 意匠 | - |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | - |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能、類似特許の検索・自然文検索(AI検索機能・概念検索)、AI自動分類 |
| | | 意匠 | 入力支援機能(一括入力機能、人名辞書、分類辞書) |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 意匠 | | 検索条件保存・参照(「検索式登録」「登録式呼び出し」機能あり)、検索履歴の保存・再利用 | |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示、ライセンス情報の確認、外国文献の日本語表示 |
| | | 意匠 | 書誌情報、図面、経過情報の表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOCファミリー、独自のパテントファミリー(Familyソート機能) |

| | | | |
|-----------|--------------------|---|--|
| 閲覧 | 関連意匠(類似意匠) | 意匠 | 関連/類似意匠の系図表示 |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能 |
| | | 意匠 | ハイライト表示、検索結果のソート、表示のカスタマイズ |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | AI ランキング機能 |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | - |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | KK スコア (神戸大学と株式会社カネカによって開発されたアルゴリズムを使用) |
| | 審査無効文献の推定 | 特許・実用新案 | - |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | - |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | 該当公報の引用・被引用情報を表示するマップを作成 (サイテーションマップ) |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等) | 特許・実用新案 | ヒートマップ (AI 検索オプション機能で、類似度の高い関連特許を抽出して俯瞰分析) |
| データダウンロード | 特許・実用新案 意匠 | 書誌リスト、PDF 公報 | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 意匠 | 出願人名等の名寄せ、アラート機能 (SDI ¹⁷¹ ・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 | |
| | | アラート機能 (SDI 機能のみ)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 | |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

PatentSQUARE は、類似検索・概念検索機能として特許調査に不慣れな技術者でも簡易に検索可能な「AI 検索機能・概念検索」機能を提供している。また、独自のパテントファミリーとして「Family ソート機能」、価値評価として「KK スコア」及び「出願人名等の名寄せ」を提供している。また、高度な分析機能として「ヒートマップ (パテントランドスケープマップ)」及び「サイテーションマップ」機能を提供している。

¹⁷¹ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

【AI 検索機能・概念検索¹⁷²（類似検索・概念検索）】

AI 検索機能は、AI を使って類似特許を検索するもので、自然文で検索すると類似度に応じて AI スコアを表示してくれる。特許調査に慣れていない現場技術者にとっても使いやすい AI オプション機能である。新しい技術分野を調査したい、短時間で調査を行いたい、調査ツールを簡単に素早く使いこなしたい等、もっと手軽に、もっと素早く特許調査をしたいというニーズに応え、特許調査を強力にサポートする。表記ゆれを気にしたり、同義語などのキーワードを追加したりする必要がない。また、検索結果は、代表図又は全図面と一緒に AI スコアの降順に表示されるため、関連性の高いと思われる文献から査読できる。高速検索エンジンを搭載し、素早いレスポンスと、直感的に使えるユーザーインターフェースで快適な検索環境を提供する。なお、AI 再検索機能により、検索して見つかった文献の記載内容をもとに、技術内容が近い文献を更に検索可能である。

概念検索機能は、検索に利用した自然文と公報に出現するキーワードの出現頻度から類似特許を検索するもので、自然文を入力するだけで、それに該当する特許が関連度と共に表示されるため、検索式が思いつかないときや特許分類の当たりを付けたいときは、同義語などの考慮は必要だが文章だけで簡単に検索できる。検索条件を出願番号で入力することや、公報表示画面で閲覧中の文献に類似した文献をワンタッチで検索し「類似文書一覧（書誌一覧）」として表示する機能も搭載している。なお、概念検索は、特徴語、重みを使って検索するが、引用文献、被引用文献、FI を使った検索（拡張概念検索）も可能である。図 3.25.2 に、PatentSQUARE の AI 検索機能画面例を、図 3.25.3 に、PatentSQUARE の概念検索（自然文検索）画面例を、図 3.25.4 に、PatentSQUARE の概念検索（類似検索）画面例を示す。

¹⁷² パナソニック ソリューションテクノロジーホームページ：
<https://www.panasonic.com/jp/business/its/patentsquare.html>

図 3.25.2 PatentSQARE の AI 検索機能画面例

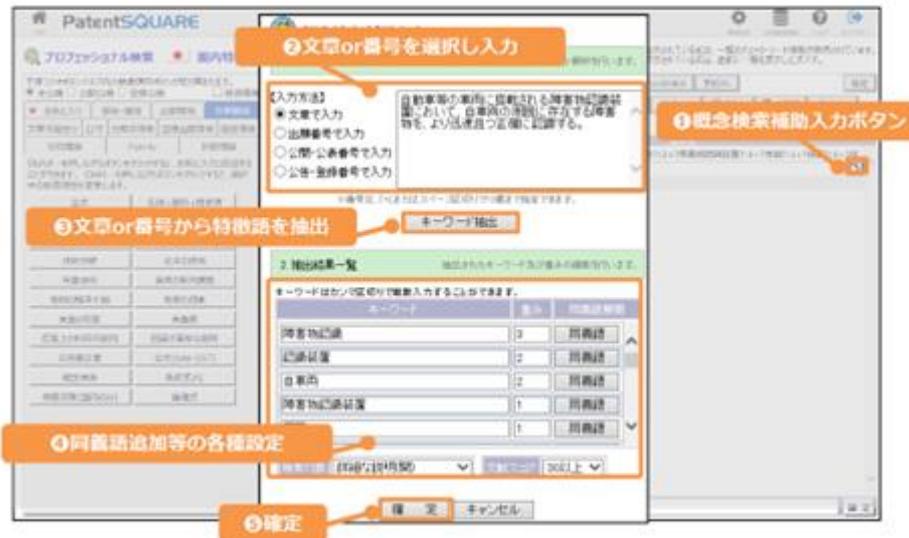


結果表示画面



出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

図 3.25.3 PatentSQARE の概念検索（自然文検索）画面例



出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

図 3.25.4 PatentSQUARE の概念検索（類似検索）画面例

The screenshot shows the PatentSQUARE search results interface. At the top, there are navigation links like '概念検索へ戻る' and 'かんたん公報明細表示'. Below that, a table lists search results with columns for No., スコア, 出願番号, 出願日, 公開・公表番号, and 公開・公表日. Two entries are highlighted with red boxes: entry 1 (特開2001-214987) and entry 2 (特開2004-519230). Below the table, there is a section for '公報明細表示' (Detailed Publication) for the selected patent, showing various metadata and a list of related patents.

| No. | スコア | 出願番号 | 出願日 | 公開・公表番号 | 公開・公表日 |
|-----|------|---------------|------------|--------------|--------------------------|
| 1 | 80.4 | 特開2001-214987 | 2001.07.16 | 特開2003-28437 | 2003.01.29 |
| 2 | 78.2 | 特開2004-519230 | 2003.07.02 | WO04/004809 | 2005.11.04 2004.01.15 |

出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

【Family ソート機能（独自のpatentファミリー）】

Family ソート機能は、世界特許だけのオプション機能である。ファミリー (FamilyID・S_FamilyID) によるソートが可能で、同一ファミリーの文献内における表示順を設定できる。Family は、優先権情報・国際出願情報・関連文献情報に紐づいたすべての特許文献のグループ (INPADOC Family に類似したデータ)、S_Family は、優先権番号が完全に同一である特許文献のグループ (Simple Patent Family)、F_Family (第1世代 Family) は、1世代先の優先権番号までが一致する特許文献のグループである。

【KK スコア（価値評価）¹⁷²⁾】

KK スコアは、神戸大学と株式会社カネカによって開発されたアルゴリズムを使用したランキング分析方法で、牽制度、注目度、出願時期期待度の3軸で分析している。KK スコアを用いて、選択した複数の特許文献を特許価値の高い順にランキングすることができる。表示項目を追加・変更することも可能で、対象技術ごとに必要な項目を選択できる。また、自社特許と競合他社特許を合わせた集合を分析し、価値が高い順番にランキング表示する

こともできる。KK スコアにより、注目特許を素早く把握することが可能となる。

また、一度表示した分析結果に対してノイズを除去した再分析が可能である。

図 3.25.5 に、KK スコアを用いた分析結果表示例を、図 3.25.6 に、ノイズ除去・再分析の手順を示す。

図 3.25.5 KK スコアを用いた分析結果表示例

| 順位 | 特許番号 | KKスコア | 発日 | 出願日 | 発明数 | 出願上の特許の有無 | 特許利用の有無 | 特許権の取得日 | 特許権の提供日 | 特許権の権利の維持日 | 特許権の権利の有無 | 特許権の権利の有無 | 特許権の権利の有無 |
|----|---------------|-------|-------|-------|-------|-----------|---------|---------|---------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 | 特許2002-57002 | 9.43 | 312 | 0.74 | 555 | 無 | 無 | 15 | 3 | 0 | 無 | 無 | 15 |
| 2 | 特許2002-09060 | 8.92 | 360 | 1.09 | 391 | 無 | 無 | 1 | 1 | 0 | 無 | 無 | 20 |
| 3 | 特許2002-00024 | 8.23 | 2.22 | 0.52 | 5.48 | 無 | 無 | 5 | 2 | 0 | 無 | 無 | 11 |
| 4 | 特許2003-281871 | 7.79 | 2.01 | 0.60 | 517 | 無 | 無 | 7 | 2 | 0 | 無 | 無 | 10 |
| 5 | 特許2011-504124 | 7.72 | 0.73 | 1.17 | 581 | 無 | 無 | 6 | 1 | 0 | 無 | 有 | 6 |
| 6 | 特許2006-196353 | 7.71 | 3.70 | -0.76 | 4.76 | 無 | 無 | 7 | 2 | 0 | 無 | 無 | 24 |
| 7 | 特許2010-145657 | 6.54 | 3.95 | -0.73 | 3.91 | 無 | 無 | 6 | 0 | 0 | 無 | 無 | 42 |
| 8 | 特許2010-212145 | 6.52 | 2.69 | -0.71 | 453 | 無 | 無 | 3 | 1 | 0 | 無 | 有 | 13 |
| 9 | 特許2006-030713 | 6.06 | 1.38 | 0.58 | 400 | 無 | 無 | 1 | 1 | 0 | 無 | 無 | 8 |
| 10 | 特許2007-506051 | 6.00 | 0.05 | 0.49 | 5.40 | 無 | 無 | 3 | 1 | 0 | 無 | 無 | 4 |
| 11 | 特許2005-249139 | 5.96 | 1.17 | -0.16 | 4.95 | 無 | 無 | 2 | 1 | 0 | 無 | 無 | 7 |
| 12 | 特許2006-551695 | 5.94 | -0.16 | 0.57 | 553 | 無 | 無 | 3 | 1 | 0 | 無 | 無 | 3 |
| 13 | 特許2007-543345 | 5.53 | 3.24 | 2.78 | -0.50 | 無 | 無 | 0 | 0 | 0 | 無 | 無 | 16 |
| 14 | 特許2006-387888 | 5.00 | 3.82 | 2.70 | -1.03 | 無 | 無 | 0 | 0 | 0 | 無 | 無 | 32 |

出典： パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

図 3.25.6 ノイズ除去・再分析の手順

① 特許ランキン分析 (KKスコア) の結果表示画面

② チェックされた文獻を「一括操作」する

③ 再分析

④ 公報明細表示

マトリクスマップが表示されます

再分析結果が表示されます

| 順位 | 特許番号 | KKスコア | 発日 | 出願日 | 発明数 | 出願上の特許の有無 | 特許利用の有無 | 特許権の取得日 | 特許権の提供日 | 特許権の権利の維持日 | 特許権の権利の有無 | 特許権の権利の有無 | 特許権の権利の有無 |
|----|---------------|-------|-------|-------|-------|-----------|---------|---------|---------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 | 特許2002-57002 | 9.43 | 312 | 0.74 | 555 | 無 | 無 | 15 | 3 | 0 | 無 | 無 | 15 |
| 2 | 特許2002-09060 | 8.92 | 360 | 1.09 | 391 | 無 | 無 | 1 | 1 | 0 | 無 | 無 | 20 |
| 3 | 特許2002-00024 | 8.23 | 2.22 | 0.52 | 5.48 | 無 | 無 | 5 | 2 | 0 | 無 | 無 | 11 |
| 4 | 特許2003-281871 | 7.79 | 2.01 | 0.60 | 517 | 無 | 無 | 7 | 2 | 0 | 無 | 無 | 10 |
| 5 | 特許2011-504124 | 7.72 | 0.73 | 1.17 | 581 | 無 | 無 | 6 | 1 | 0 | 無 | 有 | 6 |
| 6 | 特許2006-196353 | 7.71 | 3.70 | -0.76 | 4.76 | 無 | 無 | 7 | 2 | 0 | 無 | 無 | 24 |
| 7 | 特許2010-145657 | 6.54 | 3.95 | -0.73 | 3.91 | 無 | 無 | 6 | 0 | 0 | 無 | 無 | 42 |
| 8 | 特許2010-212145 | 6.52 | 2.69 | -0.71 | 453 | 無 | 無 | 3 | 1 | 0 | 無 | 有 | 13 |
| 9 | 特許2006-030713 | 6.06 | 1.38 | 0.58 | 400 | 無 | 無 | 1 | 1 | 0 | 無 | 無 | 8 |
| 10 | 特許2007-506051 | 6.00 | 0.05 | 0.49 | 5.40 | 無 | 無 | 3 | 1 | 0 | 無 | 無 | 4 |
| 11 | 特許2005-249139 | 5.96 | 1.17 | -0.16 | 4.95 | 無 | 無 | 2 | 1 | 0 | 無 | 無 | 7 |
| 12 | 特許2006-551695 | 5.94 | -0.16 | 0.57 | 553 | 無 | 無 | 3 | 1 | 0 | 無 | 無 | 3 |
| 13 | 特許2007-543345 | 5.53 | 3.24 | 2.78 | -0.50 | 無 | 無 | 0 | 0 | 0 | 無 | 無 | 16 |
| 14 | 特許2006-387888 | 5.00 | 3.82 | 2.70 | -1.03 | 無 | 無 | 0 | 0 | 0 | 無 | 無 | 32 |

出典： パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

【出願人名等の名寄せ¹⁷³⁾】

マップ作成時（マトリクスマップ、ポートフォリオマップ）に件数をまとめた部分を結合する機能で、これを利用して社名変更後の会社名にまとめることや、複数に分かれたデータや関連会社のデータをまとめることができる。すなわち、マトリクスマップやポートフォリオマップで件数をまとめた部分を結合し、項目リストに表示された旧社名、関連会社等を選択すると、マップ上で結合することが可能である。図 3.25.7 に、マップ作成時における出願人名等の名寄せ手順を示す。

図 3.25.7 マップ作成時における出願人名等の名寄せ手順

出典：パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料

【ヒートマップ（特許情報分析（IP ランドスケープ等））】

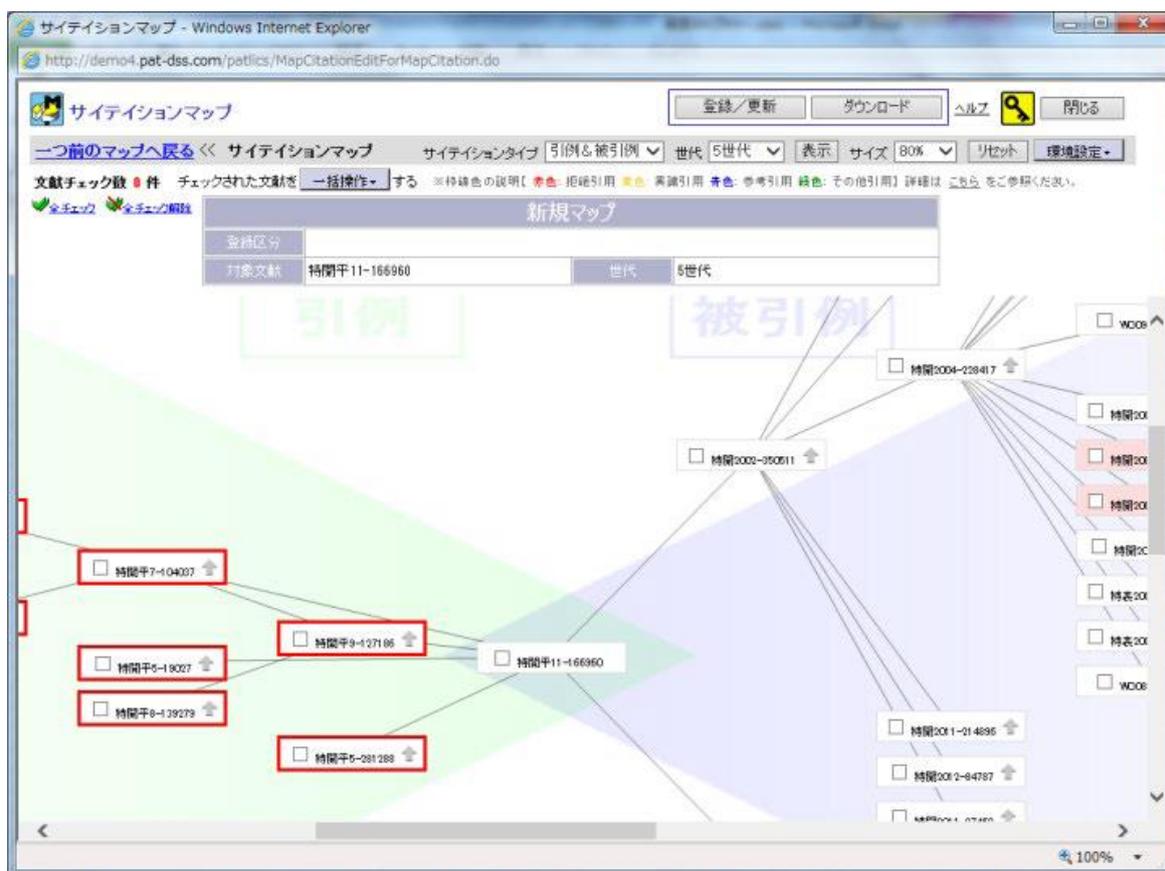
AI 検索オプション機能で、類似度の高い関連特許を抽出して俯瞰分析できる。いわゆるパテントランドスケープマップである。IP ランドスケープの入口としての、知財情報の分析に役立てられる。

【サイテーションマップ（引用ネットワークの可視化）】

検索結果や評価情報の一覧表示から公報を選択し、該当公報の引用・被引用情報を表示するマップを作成する機能である。世代数の切り替えやマップサイズの切り替え等、表示操作を行える。図 3.25.8 に、サイテーションマップの表示例を示す。

¹⁷³⁾ パナソニック ソリューションテクノロジー 提供資料「特許調査支援サービス PatentSQUARE Tips 集」

図 3.25.8 サイテーションマップの表示例



出典：ジー・サーチ

5) 導入コスト¹⁷⁴

PatentSQUARE の契約形態は、1つの契約で全社員が使えるコーポレート契約、コーポレート契約のメリットは維持しつつ最大 250 人に限定したクラウド型契約、1ID 単位で契約可能な ID 契約である。ID 契約の導入コスト（2024 年 2 月現在）は、外国特許を含まないパターン（サービス D）で月額利用料が 15,000 円（税抜）である。なお、初期費用は月額利用料 1 カ月分である。AI 検索機能は追加オプション（有償）で、国内・外国の検索に対して月額利用料が 50,000 円（税抜）、初期費用が 50,000 円（税抜）である。

¹⁷⁴ パナソニック ソリューションテクノロジーホームページ：
<https://www.panasonic.com/jp/business/its/patentsquare.html#price>

3.26 「PatSnap Analytics」

1) 概要

PatSnap Analytics¹⁷⁵はグローバル特許検索・分析ツールで、世界約 170 カ国以上の特許・意匠データ（意匠は 96 カ国）及び 1 億 4000 万以上の非特許文献、81 カ国のリーガルステータス、69 カ国のライセンス情報などの豊富なデータを収録している。インターフェースの言語として、英語、中国語、日本語に対応しており、また、収録している全ての特許データに対して日本語の翻訳データがついている。幅広い検索方法で知財調査業務を支援し、全収録特許を日本語で検索・表示することや、簡単な操作で世界各国の特許・意匠を分析することが可能である。調査業務を効率化するワークスペース機能や非特許文献検索（NPL 検索）機能も持つ。また、各国の意匠を横断検索することや画像を使用した類似画像検索も可能である。

（参考）PatSnap 社及び中央光学出版株式会社（日本販売代理店）について

PatSnap¹⁷⁶は、2007 年にシンガポールで設立した企業である。知的財産部門及び R&D に対して、インテリジェンスによる優れた決定とチームの生産性の強化を可能にするイノベーションインテリジェンスソフトウェアを提供している。三大陸にまたがる 1,200 人以上のチームを持ち、世界中の 12,000 人以上のイノベーターと提携し、50 カ国以上にわたる 12,000 機関以上の顧客を擁する。

PatSnap の日本販売代理店のひとつである中央光学出版¹⁷⁷は 1975 年 9 月に設立され、知的財産に関連する情報提供サービス（特許情報の各種データ販売及び出版、文献複写サービス、特許抄録誌の発行及び特許情報の SDI¹⁷⁸サービス）、知的財産に関連するソフトウェア等の開発及び販売（国内外特許情報のインターネット検索サービス、特許出願・年金管理システム、知的財産の価値・評価・分析等 R&D/IP 戦略ツール）、知的財産アウトソーシング（国内外特許調査サービス、特許出願包袋などの電子化サービス、特許資料等の翻訳サービス）を事業内容とする。

2) 収録データ

| | |
|--------|----------------------------|
| 収録国・地域 | 特許・実用新案：170 カ国 意匠：96 カ国 |
|--------|----------------------------|

¹⁷⁵ 中央光学出版ホームページ：

<https://www.cks.co.jp/home/Products/PatSnapAnalytics.html>

¹⁷⁶ PatSnap ホームページ：<https://www.patsnap.com/why-patsnap/about-us/>

¹⁷⁷ 中央光学出版ホームページ：<https://www.cks.co.jp/home/about/profile.html>

¹⁷⁸ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

| | |
|-------|--|
| 収録範囲 | 特許・実用新案：WIPO(PCT) 1978年～／米国 1790年～／日本 1926年～ 等 意匠：WIPO 1985年～／中国 1985年～／米国 1842年～／日本 1962年～ |
| タイムラグ | 0～1カ月 |
| 更新頻度 | 随時 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|------|--------------|----------------|---|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報 |
| | | 意匠 | 出願番号、意匠公報番号、審判番号、優先権主張番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、日本語名検索（海外特許の出願人の和訳は行っていない）、英語名検索（特定国（ベトナム、タイなど）の出願人の英訳は行っていない）、出願人検索支援機能、譲渡後の現出願人の検索が可能 |
| | | 意匠 | 出願時情報検索、日本語名検索、英語名検索、出願人検索支援機能 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、外国文献の日本語検索 |
| | | 意匠 | 名称等を検索 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日 |
| | | 意匠 | 出願日、登録日、公報発行日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC、独自分類 2種類を付与 |
| | | 意匠 | 国際意匠分類（ロカルノ分類） |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | 関連意匠（類似意匠）検索 | 意匠 | イメージで類似意匠を検索可能 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| | 類似画像検索 | 意匠 | 類似画像検索 |
| 要素検索 | 意匠 | イメージで類似意匠を検索可能 | |

| | | | |
|----|-------------|---------------|--|
| 検索 | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能、 <u>セマンティック検索（類似特許の検索）</u> 、自然文検索（概念検索：英文、中文入力に対応） |
| | | 意匠 | 入力支援機能 |
| | 辞書機能 | 意匠 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 意匠 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録（PAJは利用せず独自翻訳を利用）、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示、ライセンス情報の確認、外国文献の日本語表示 |
| | | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報、図面、経過情報の表示、外国文献の日本語表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 意匠 | 3種類の表示方法を持つ |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | シンプルファミリー、INPADOCファミリー、 <u>独自のパテントファミリー</u> |
| | 関連意匠(類似意匠) | 意匠 | 関連・類似意匠の一覧表示 |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能（指定規則による自動分類と、AIを使用した自動分類機能あり） |
| | | 意匠 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、表示のカスタマイズ（ヒットリストの表示フィールドの変更が可能）、自動分類機能（指定規則による分類付与のみ可能） |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 意匠 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 意匠 | カスタム分析、検索後のフィルタ機能にて確認可能 |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 意匠 | <u>マップ表示</u> |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | <u>特許評価ツール</u> |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | Insights 上にて代表特許のタイムライン表示可能 |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | Insights 上にてレポートの生成が可能 |

| | | | |
|-----------|--------------------|---------------|---|
| 分析 | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | 引用分析図 |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等) | 特許・実用新案 | 3D ランドスケープ機能 |
| | その他分析機能 | 特許・実用新案 意匠 | 20 種類のチャートに対応、3 軸対応の分析が可能 |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 意匠 | 書誌リスト、PDF 公報 |
| その他の機能 | | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正、出願人名等の名寄せ、アラート機能 (SDI・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 (IPC やキーワードなどのヘルプ機能を搭載) |
| | | 意匠 | 書誌情報の訂正、出願人名等の名寄せ、アラート機能 (SDI・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 (イメージ検索など、併せて実用新案もイメージ検索対象に追加)、拡張検索 |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

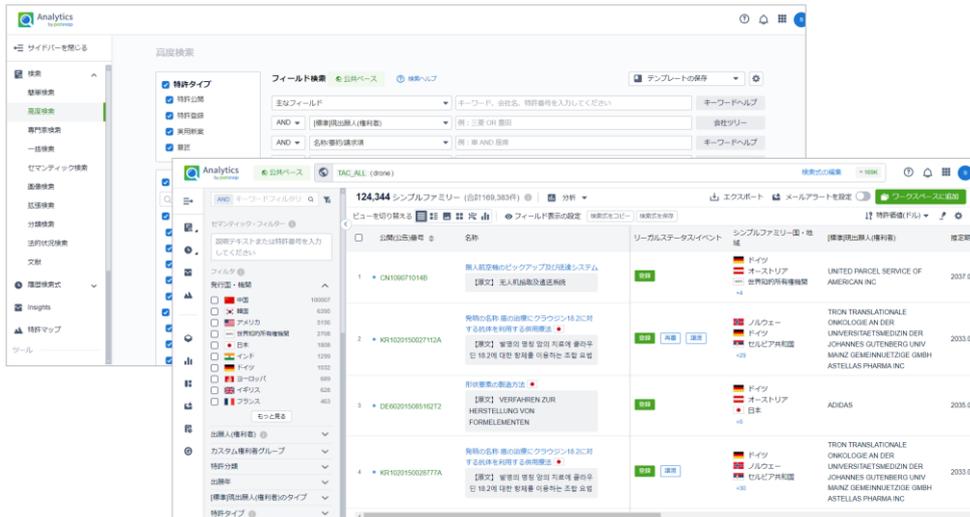
4) 高度な機能

PatSnap Analytics は、類似特許の検索・概念検索機能として「セマンティック検索」機能、意匠については類似画像検索機能を提供している。また、特許情報分析 (IP ランドスケープ等) 機能として「3D ランドスケープ機能」、閲覧機能として独自のパテントファミリー表示機能、引用ネットワークの可視化機能として「引用分析図」、価値評価機能として「特許評価ツール」を提供している。その他、マップ表示機能 (特許・実用新案・意匠)、出願人名等の名寄せ機能を提供している。

【セマンティック検索¹⁷⁵ (類似検索・概念検索)】

様々な検索機能を提供する共通のインターフェースからタブを切り替えることで、AI を利用した特許・実用新案の検索モードであるセマンティック検索に対応する。検索結果からはパワフルなフィルタや出力機能、ワークスペースなどが利用でき、利用者の調査業務を支援する。図 3.26.1 に PatSnap Analytics の検索画面例を示す。

図 3.26.1 PatSnap Analytics の検索画面例

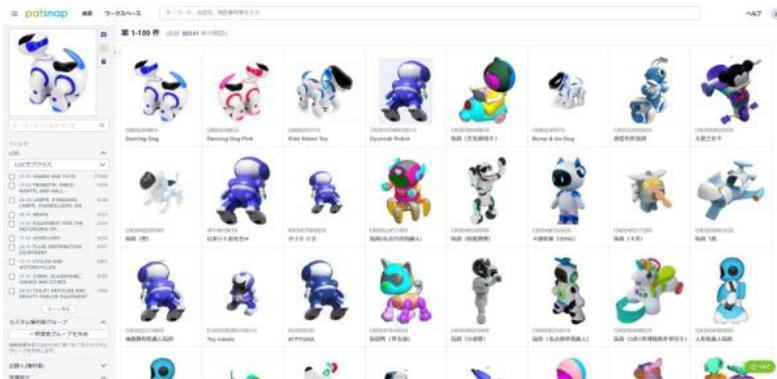


出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

【類似画像検索¹⁷⁵（意匠）】

画像をドラッグ&ドロップするだけで簡単に類似意匠の検索ができる。図 3.26.2 に PatSnap Analytics の意匠検索結果の例を示す。

図 3.26.2 PatSnap Analytics の意匠検索結果の例



出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

【3D ランドスケープ機能¹⁷⁵（特許情報分析（IP ランドスケープ等））】

3D ランドスケープ機能は、特許情報を視覚的に評価するものである。これを利用して特許情報を視覚的な地形に変換することで、膨大な量のデータを評価する。出願された発明（又は類似の発明）がすでに特許化されているかどうか、又は特定技術分野及び主要な出願人の特許活動のレベルに関する質問について答え、イノベーションの新しい機会を特定することを手助けする。図 3.26.3 に 3D ランドスケープ機能の表示例を示す。

図 3.26.3 3D ランドスケープ機能の表示例



出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

【独自の Patent ファミリー】

PatSnap Analytics は、公報、リーガルステータス等の情報を 3 種類のファミリーの括り方で表示することができる¹⁷⁹。そのうちの 하나가独自の Patent ファミリー (PatSnap ファミリー) で、INPADOC ファミリーに最新の公報データを含めた形で構成されている。

【引用分析図 (引用ネットワークの可視化)】

引用分析図は、世代を問わず、特許の引用／被引用の関係性を見える化した (ツリー形式でつなぐ) 機能であり、一目でより多くの情報を確認できるようになっている。

【特許評価ツール¹⁸⁰ (価値評価)】

一般に特許価値はスコアで表示されることが多いが、PatSnap Analytics では US ドルで表示する。これにより、市場価値の高い特許を特定することができる。PatSnap の特許評価ツールを使用することで、例えば「ある企業の特許が他社からどれだけ引用されているか」は特定の技術分野における影響力を示している。また、企業のポートフォリオにおいて、上位の特許がどれだけ価値があると評価されているかを調べることもできる。図 3.26.4 に特許評価ツールによる価値評価を示す。

¹⁷⁹ ATIS ホームページ: <https://www.atis.gr.jp/topics/2023/第459回例会報告/>

¹⁸⁰ 中央光学出版ホームページ: <https://www.cks.co.jp/home/Products/PatSnapInsights.html>

図 3.26.4 PatSnap の特許評価ツールによる価値評価



出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

【マップ表示機能¹⁷⁵ (特実・意匠)】

PatSnap Analytics のマップ表示機能は、データの出力を含め、表示形式としては 24 種類のグラフが用意されている。また、分析の軸の項目は 89 種類以上あり、ユーザー独自の分類などを使って項目をカスタマイズする機能もある。検索結果の母集団を簡単なボタン操作で統計及びグラフ分析が可能である。分析を開始すると、「概要」ページが表示され、6 つのデフォルトのグラフ形式で結果のスナップショットを確認できる。さらに、カスタム分析で詳細な分析も可能である。作成した分析結果は Excel としてデータ出力やイメージデータとしての出力が可能である。図 3.26.5 に分析グラフの表示例を示す。

図 3.26.5 分析グラフの表示例



出典：PatSnap Analytics を利用し中央光学出版が作成

【出願人名等の名寄せ機能】

PatSnap Analytics は、検索時に出願人を指定する際に、コーポレートツリーを表示する機能を提供している。

5) 導入コスト

PatSnap Analyticsの導入コスト（2024年2月現在）は、中央光学出版のホームページ上に開示されていない。

3.27 「Quid」

1) 概要

人工知能（AI）を用いたテキスト情報解析プラットフォーム Quid は、あらゆる業界・製品・文化のトレンドを膨大なテキスト情報に基づき、AI エンジンが高速に解析・視覚化するクラウドサービスで、ビジネス戦略に「新しい気づき」を提供するトレンド分析 AI である。自然言語処理とディープラーニングを含めた AI 技術を用いて、世界中のテキスト情報を検索・分類し、独自の視覚化エンジンによりネットワークマップを表示させる。

Quid は、膨大なテキスト情報を迅速に検索し、分析と視覚化で企業の事業戦略における意志決定を支援する。また、データソースとして、ニュースやブログ、企業・特許データベース、また、自社で良く用いる情報をカスタムデータとしてアップロードすることで、膨大なテキスト情報が視覚的に体系化され、即座に新しい気づきや発見へ導く。さらに、Quid を用いたテキスト情報解析と視覚化により、人間の直観力を強化し、データに基づいた組織の意志決定を可能にするとしている。

(参考) Quid, inc. 及び伊藤忠テクノソリューションズ株式会社（日本販売代理店）について

Quid は、テキストベースのデータ分析を専門とする米国の会社で、2010 年に設立された。Quid は、AI を活用した消費者と市場戦略情報を提供し、予測困難な社会でビジネスの改革を可能にすることを使命としている。また、2016 年には、World Economic Forum から、Technology Pioneer 2016 に選ばれている¹⁸¹。なお、Quid は、2020 年 1 月に NetBase と合併している。

Quid の日本での販売代理店である伊藤忠テクノソリューションズは、1972 年創立で、社員 5,019 名で構成される。また、コンピュータ・ネットワークシステムの販売・保守、ソフトウェア受託開発、情報処理サービス、科学・工学系情報サービス、サポート等を事業内容とする。2019 年 3 月 25 日に、Quid とパートナー契約を締結し、Quid の提供を開始している。

¹⁸¹ World Economic Forum ホームページ: <https://widgets.weforum.org/techpioneers-2016/index.html>

2) 収録データ

| | |
|------|--|
| 収録範囲 | <ul style="list-style-type: none"> ・ The New York Times、BBC、Washington Post などトップクラスの情報誌の記事 10 億件以上を掲載 ・ 2,200 万以上のグローバル報道機関・ブログをカバー ・ 50 以上の国・地域及び機関にまたがる特許情報を網羅 ・ 上場・非上場 210 万企業のデータ |
| 更新頻度 | 毎日最大 200 万件の新規記事を追加 |

3) 機能一覧¹⁸²

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|-----------|--------------------|---------|--|
| 検索 | | 特許・実用新案 | 英語、日本語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、韓国語、スペイン語、中国語など数十カ国以上の言語に対応可能（具体的な検索項目及び検索機能の情報は得られなかった） |
| 閲覧 | | 特許・実用新案 | - |
| 分析 | 引用ネットワークの可視化、マップ表示 | 特許・実用新案 | <u>ネットワークマップ</u> 、散布図、タイムライン比較、クロス集計、 <u>カンパニーヒートマップ</u> （企業別分析）、バーチャート |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | トピックの時系列分析（クラスタ・特許権者の色分け） |
| | その他分析 | 特許・実用新案 | AI 活用テキスト情報解析プラットフォーム：Quid Social（ブランド認知の把握、消費者インサイトを発掘、消費者トレンドの特定） |
| データダウンロード | | 特許・実用新案 | ダッシュボードの自動配信 |

（注）概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Quid は、マップ表示機能として「ネットワークマップ」や「カンパニーヒートマップ」が提供されている。なお、「カンパニーヒートマップ」の詳細情報は得られなかった。

【ネットワークマップ¹⁸³】

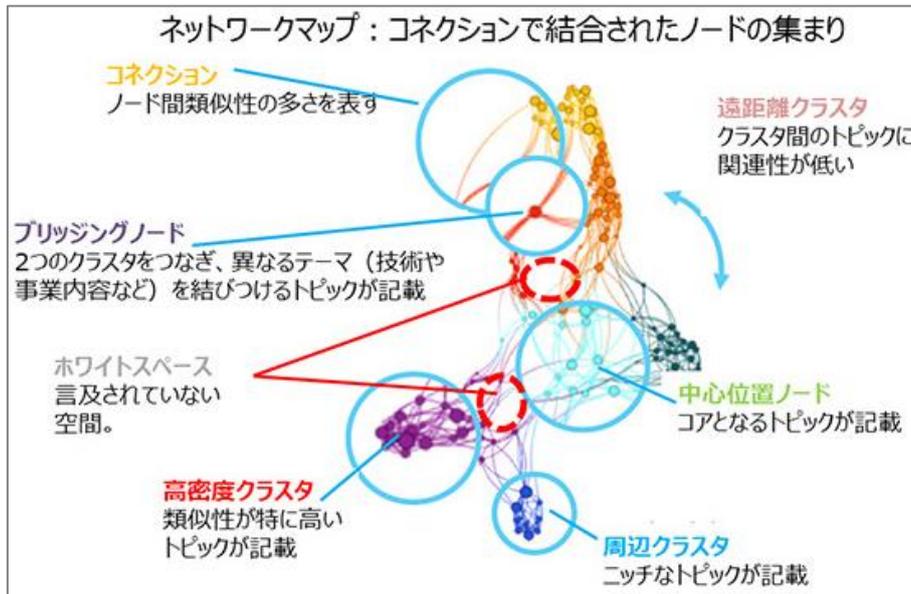
自然言語処理とディープラーニングを含めた AI 技術を用いて、様々なテキスト情報を検索・分類し、独自の視覚化エンジンによりネットワークマップを作成することができる。

¹⁸² 本機能一覧は、ウェブサイト上で公開された情報に基づいて作成されており、他にも実装されている機能が存在する可能性がある。

¹⁸³ 伊藤忠テクノソリューションズホームページ：<https://www.ctc-g.co.jp/solutions/quid/>
https://ls.ctc-g.co.jp/products/quid/quid_case_innovation.html

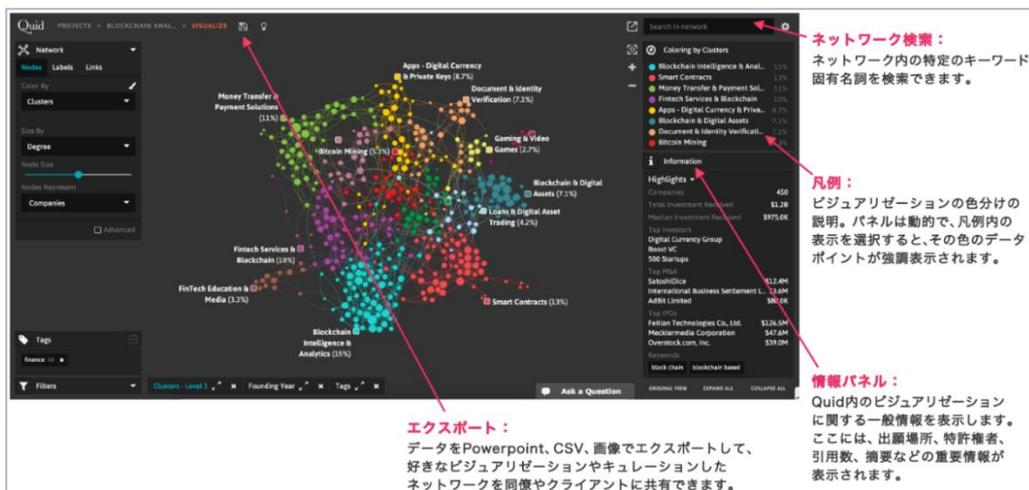
特に、データソースとして、ニュースやブログ、企業・特許データベース、また、自社でよく用いる情報をカスタムデータとしてアップロードすることで、膨大なテキスト情報が視覚的に体系化され、即座に新しい気付きや発見へと導くことができる。図 3.27.1 及び図 3.27.2 に、Quid のネットワークマップの表示イメージを示す。

図 3.27.1 ネットワークマップの表示イメージ



出典：伊藤忠テクノソリューションズ

図 3.27.2 特許データセットのネットワークマップの表示例



出典：伊藤忠テクノソリューションズ

5) 導入コスト

Quidの導入コストについては、伊藤忠テクノソリューションズのホームページ上で開示されていない。

3.28 「SAEGIS」

1) 概要

SAEGIS¹⁸⁴は、世界中の国・地域に対して商標候補の登録可能性を調べ、初期のロックアウト検索に活用できる商標スクリーニングソリューションである。SAEGIS Online Screening、SAEGIS Custom Search、SAEGIS AutoScreen から構成される。SAEGIS Online Screening は出願前に問題を抱えた商標をすばやく簡単に特定し、時間と費用の効率化を実現する。SAEGIS Custom Search はニーズに応じて検索条件を自在にカスタマイズし、スクリーニングの精度を最大化することができる。商標をすばやくスクリーニングし、関連する TTAB (米国特許商標庁の商標審判部) の情報にアクセスして、商標の所有者をすばやく簡単に調べられる。SAEGIS AutoScreen は同一、一文字違い又は一音違いなどの極めて類似している商標を検索し、一定の条件で自動的に商標、医薬品名等を検索できる。

Clarivate は、意匠・商標を検索するサービスとして SAEGIS の他に TM go365 を提供しているが、TM go365 は類似画像検索に特化されたデータベースである一方、SAEGIS は書誌情報に基づく検索を行うデータベースである。商標においては 116 の検索項目、意匠では 17 の検索項目が提供されており、テキストによる詳細な検索を行うことができる。

(参考) Clarivate Plc について

Clarivate¹⁸⁵は、信頼性の高い変革的なインテリジェンスを提供するグローバルリーダーで、知識と研究、そしてイノベーションの領域にわたる深い専門知識に基づき、充実したデータ、洞察、分析、さらに、ワークフローソリューションを提供する。水処理業界を変革するための知見の提供や重要なワクチンの供給加速にとどまらず、人間の創意工夫の力を活用して世界最高のブレークスルーを促進することを目標とする。そのサブスクリプションとテクノロジーベースのソリューションは、深いドメインの専門知識と共に、世界中の 45,000 以上の顧客から信頼を得ている。

2) 収録データ

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | 意匠：米国、CTM ¹⁸⁶ など 65 カ国・地域 商標：米国、EUIPO ¹⁸⁷ など 188 カ国・地域 |
| 収録範囲 | 国・地域により異なる（データベースで確認可能） |
| タイムラグ | 国・地域により異なる（データベースで確認可能） |

¹⁸⁴ Clarivate ホームページ: <https://clarivate.com/compumark/ja/solutions/trademark-screening/online-screening-tools/>

¹⁸⁵ Clarivate ホームページ: <https://clarivate.com/ja/about-us/>

¹⁸⁶ CTM は、Community Trade Mark の略で、欧州共同体商標のこと

¹⁸⁷ EUIPO は、European Union Intellectual Property Office の略で欧州連合知的財産庁のこと

| | |
|----------|---|
| 更新頻度 | 国・地域により異なる（データベースで確認可能） |
| 商標/失効データ | 失効日より3年間分の失効データが検索可能（日本のみ1992年4月1日以降の失効データ） |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 |
|------|--------------|--------------|---|
| 検索 | 番号検索 | 意匠 | 出願番号 |
| | | 商標 | 出願番号、登録番号、国際登録番号 |
| | 出願人検索 | 意匠 | 英語名検索、出願人検索支援機能（アルファベット表記あり（音訳）） |
| | | 商標 | 出願時情報検索（中国、日本のみ）、英語名検索、出願人検索支援機能（アルファベット表記あり（音訳））、その他の出願人検索機能 |
| | キーワード等検索 | 意匠 | 意匠に係る物品、意匠に係る物品の説明、意匠の説明 |
| | | 商標 | 商標、呼称（アルファベット表記あり（音訳）例）中国はピンインでデータエントリー） |
| | 日付検索 | 意匠 | 出願日、登録日 |
| | | 商標 | 出願日・国際登録日、登録日 |
| | 分類検索 | 意匠 | 国際意匠分類（ロカルノ分類） |
| | | 商標 | 図形等分類、類似群コード（SAEGIS 上では「国内分類」機能として搭載）、区分、商標のタイプ、その他分類検索機能 |
| | 検索式を用いた検索 | 意匠 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索 |
| | | 商標 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、その他検索式を用いた機能（検索項目数116） |
| | ステータスを加味した検索 | 意匠 商標 | - |
| | 日本国周知・著名商標検索 | 商標 | Darts-ip と連携 |
| | 類似画像検索 | 意匠、商標 | TM go365 と連携 |
| | 要素検索 | 意匠、商標 | TM go365 と連携 |
| 辞書機能 | 商標 | TM go365 と連携 | |

| | | | |
|-----------|----------------|----------|--|
| 検索 | 保存・参照機能 | 意匠 商標 | 検索条件保存・参照（1年間保存、参照可能）、 検索履歴の保存・再利用（4週間可能）、 検索結果の保存（1年間） |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報 |
| | | 商標 | 公開商標文献、書誌情報、経過情報の表示（米 国のみ）、外国文献の日本語表示（指定商品は 英訳） |
| | 検索結果の一覧 表示 | 意匠 商標 | - |
| | 関連意匠（類似意 匠） | 意匠 | 関連／類似意匠の一覧表示 |
| | その他閲覧機能 | 意匠 | 検索結果のソート、検索結果のフィルタリ ング、表示のカスタマイズ |
| | | 商標 | 検索結果のソート、検索結果のフィルタリ ング、表示のカスタマイズ、ハイライト表示（TM go365と連携） |
| | 検索結果の保存 | 意匠 商標 | - |
| 分析 | マップ表示 | 商標 | Brand Landscape Analyzerと連携 |
| データダウンロード | | 意匠 商標 | 書誌リスト |
| その他の機能 | | 意匠 | 情報共有機能（社内のみ、検索結果のみ可能） |
| | | 商標 | 書誌情報の訂正、情報共有機能（社内のみ、検 索結果のみ可能）、アラート機能（SDI ¹⁸⁸ ・ウォ ッチング機能はDarts-ipと連携） |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

SAEGISは、書誌情報に基づく検索で行うデータベースで、調査対象となる高度な機能の提供はない。ただし、商標では116以上、意匠では17以上の検索項目が用意されており、それらを組み合わせた詳細な検索が可能である。また、類似画像検索は、TM go365とリンクしている。類似画像検索の機能に関してはTM go365を参照のこと。

5) 導入コスト

SAEGISの導入コストについては、Clarivateのホームページ上で開示されていない。

¹⁸⁸ SDIは、Selective Dissemination of Informationの略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

3.29 「Shareresearch」

1) 概要

Shareresearch¹⁸⁹は、世界 98 の国・地域の高精度な特許情報をサポートし、精度の高い調査環境を提供している。新たにリリースした「分析オプション」は、Shareresearch の高精度な特許情報を利用した分析業務の質的向上を支援する。特許検索情報に必要なあらゆる業務に対応し、知財戦略に求められる「業務効率の向上」「戦略策定支援」「変化への即応」を実現する。調査業務の効率を高めるきめ細やかな機能、環境の変化への柔軟かつ迅速な対応、意思決定のための各種情報の蓄積・提供が可能な特許情報提供サービスである。国内外の特許情報を同一システム、インターフェースで調査でき、ファミリー単位での効率的な調査をサポートし、フォルダごとに管理・整理された作業履歴を再活用できる。利用者ごとにきめ細やかな設定が可能で、自由に調査環境を変更できる。また、公報にメモや評価を付与することができ、付与した情報をプロジェクトごとに共有することも可能である。

また、顧客ごとにアプリケーションサーバーを用意し、検索履歴や社内で付与している評価情報やプロジェクトメンバー間の情報は顧客環境のみで保存することで、セキュリティを確保する仕組みを取っていることも、特徴的である。

なお、Shareresearch は、一般企業をはじめ、大学・研究機関などにて、幅広く利用されている。

(参考) 株式会社日立製作所について

日立製作所¹⁹⁰は 1920 年 2 月に設立され、従業員数 28,672 名（2023 年 3 月末現在）の電気機器メーカーであり、知財ソリューションについても、豊富な実績にもとづく高度なノウハウを結集した、世界で戦うための特許情報検索環境を提供している。具体的には、知的財産管理システム「PALNET/MC6」、特許情報提供サービス「Shareresearch」を通じ、更なる効率化を実現しており、また、経営戦略・事業戦略のための知財分析業務向けには、新たに「特許情報分析サービス」を立ち上げるなど、各業務に最適なソリューションを提供している。

日立製作所は Shareresearch をリリースする以前は、日本特許情報機構と共同で、インハウス型の特許検索サービスを提供していたが、顧客の要望を受け、2004 年より SaaS 型のサービスである Shareresearch の提供を開始した。

¹⁸⁹ 日立製作所ホームページ:

<https://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/app/tokkyo/sr/index.html>

¹⁹⁰ 日立製作所ホームページ: <https://www.hitachi.co.jp/about/corporate/hitachi/index.html>

2) 収録データ

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | 約100の国と地域（日本、アメリカ、ヨーロッパ、中国、韓国、ドイツ、フランス、台湾、ロシア、ブラジル他） |
| 収録範囲 | 国内特許・実用新案： 書誌／表示（レイアウト）データ：1971年以降 全文データ：1983年以降 代表図面データ：1980年以降 全図面データ：1993年以降（特許は、1986年以降サポート） 国外特許・実用新案：国地域により異なる 意匠：2000年以降（1990年以降とする予定） |
| タイムラグ | 国内：公報発行日翌日、国外：国地域により異なる |
| 更新頻度 | 公報発行の都度 |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|---------|--------------|-----------------------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、連携している他社システムの番号検索も可能 |
| | | 意匠 | 出願番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索（英語と中国語が可能）、英語名検索、出願人検索支援機能 |
| | | 意匠 | 出願時情報検索 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、外国文献の日本語検索（主要国での概念検索に対応） |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、審査請求日、国際出願日 他多数 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC |
| | | 意匠 | 独自分類設定機能 |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | - |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能（番号検索機能は、様々なフォーマットで検索可能等）、類似特許の検索、 <u>自然文検索（概念検索）</u> 、対話型での検索機能 |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | 辞書機能 |
| 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 | |

| | | | |
|-----------|--------------------------------|--|---|
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示、ライセンス情報の確認、外国文献の日本語表示 |
| | | 意匠 | 図面(代表図設定機能) |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | - |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | シンプルファミリー、 <u>拡張ファミリー(独自のパテントファミリー)</u> |
| | 関連意匠(類似意匠) | 意匠 | 関連/類似意匠の一覧表示、関連/類似意匠の系図表示 |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能 |
| | | 意匠 | 吹き出しメモ設定機能 |
| 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | - | |
| 分析 | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | 価値スコア |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | - |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | <u>被引用分析</u> |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等)、マップ表示、ランキング | 特許・実用新案 | <u>特許情報分析サービス</u> |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報、本文など検索項目で指定できる項目の大部分がダウンロード可能 | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 出願人名等の名寄せ、アラート機能(SDI ¹⁹¹ ・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能(対話型ユーザーインターフェースでの検索)、類似技術を自動的に仕分けるクラスタリング機能、検索結果一覧に発明の課題を表示する機能、英語又は日本語で入力したキーワードを変換し、国内公報と国外公報の両方を同時に検索できる機能 | |
| | 意匠 | アラート機能(SDI・ウォッチング機能)、評価コメント付与機能 | |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

¹⁹¹ SDIは、Selective Dissemination of Informationの略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

4) 高度な機能

Shareresearch は、類似検索・概念検索機能として「概念検索」機能、被引用ネットワークの可視化機能として「被引用分析」機能、価値評価の提供機能として「価値スコア」機能を提供している。また、辞書機能および独自のパテントファミリーも提供している。なお、IP ランドスケープ、マップ、ランキングなどの特許情報分析は、「特許情報分析サービス」で提供している。

【概念検索（類似検索・概念検索）¹⁹²】

概念検索は、文書にて類似した公報を検索する。探している技術情報から似ている特許を広く検索し、書誌事項等で絞り込みを行える。また、概念検索機能を活用し、検索結果一覧にて目的にあった類似公報を上位にソートできる。（類似順ソート）

検索結果一覧から類似している公報を指定し、指定公報に類似するものを再度抽出（再検索）することも可能であり、概念検索を繰り返し行うことで、精度を高めながら目的にあった特許にたどりつくことができる。また、初心者向けの概念検索機能として対話型検索を提供している。ガイドにより調査の進め方をサジェストしてくれる。必要な文献に絞り込む（フィルタ）機能にも特化しており、目的の特許を初心者でも容易に探し出せる。図 3.29.1 に、Shareresearch の概念検索機能を活用した対話型検索画面を、図 3.29.2 に、Shareresearch の類似順ソートを示す。

図 3.29.1 Shareresearch の概念検索機能を活用した対話型検索画面



出典：日立製作所

¹⁹² 日立製作所から提供された情報を基に記載

図 3.29.2 Shareresearch の類似順ソート

| 順位 | 特許番号 | 特許名称 | 出願人 | IPC | 発明日 | 特許権の有無 | 公開日 | 特許権の有無 | IPC | 特許権の有無 | IPC | 特許権の有無 |
|----|-------------|----------------|-----------|------|------------|--------|------------|--------|------|--------|------|--------|
| 1 | 2023-000001 | 特許権の取得に関するシステム | 株式会社日立製作所 | H04L | 2023.01.01 | 特許権あり | 2023.01.01 | 特許権あり | H04L | 特許権あり | H04L | 特許権あり |
| 2 | 2023-000002 | 特許権の取得に関するシステム | 株式会社日立製作所 | H04L | 2023.01.01 | 特許権あり | 2023.01.01 | 特許権あり | H04L | 特許権あり | H04L | 特許権あり |
| 3 | 2023-000003 | 特許権の取得に関するシステム | 株式会社日立製作所 | H04L | 2023.01.01 | 特許権あり | 2023.01.01 | 特許権あり | H04L | 特許権あり | H04L | 特許権あり |
| 4 | 2023-000004 | 特許権の取得に関するシステム | 株式会社日立製作所 | H04L | 2023.01.01 | 特許権あり | 2023.01.01 | 特許権あり | H04L | 特許権あり | H04L | 特許権あり |
| 5 | 2023-000005 | 特許権の取得に関するシステム | 株式会社日立製作所 | H04L | 2023.01.01 | 特許権あり | 2023.01.01 | 特許権あり | H04L | 特許権あり | H04L | 特許権あり |

出典：日立製作所

【特許情報分析サービス（IP ランドスケープ、マップ、ランキング等）¹⁹²】

日立製作所では、2023 年 10 月より、IP ランドスケープの支援を目的とした「特許情報分析サービス」の提供を開始している。

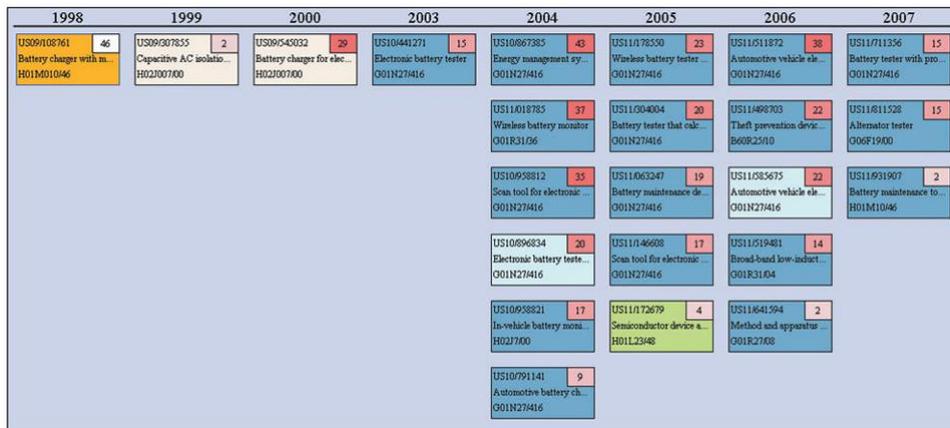
特許情報分析サービスでは、分析の目的に沿った効果的なグラフを自動生成する機能や、だれでも迷うことなく分析ができるようガイドを表示し、より多くの方がご自身で特許情報を効率的に分析し、IP ランドスケープを推進できるよう IT の力で支援する。また、Shareresearch で検索して得られた特許情報をシームレスに取り込むことが可能であり、分析実行までにかかる時間を大幅に短縮することが可能となる。

各特許出願技術の動向を、複雑な操作なく簡単にマップ形式に可視化するクラスタマップ機能についても、この「特許情報分析サービス」にて提供している。

【被引用分析（引用ネットワークの可視化）¹⁹²】

出願人や特許の年代別の被引用数により、自社技術の先行度合いを把握し、ツリー上に当該公報の被引用数を表示でき、注目すべき技術を一目で確認できる。図 3.29.3 に、被引用分析の被引用ツリー画面の表示例を示す。

図 3.29.3 被引用分析の被引用ツリー画面の表示例

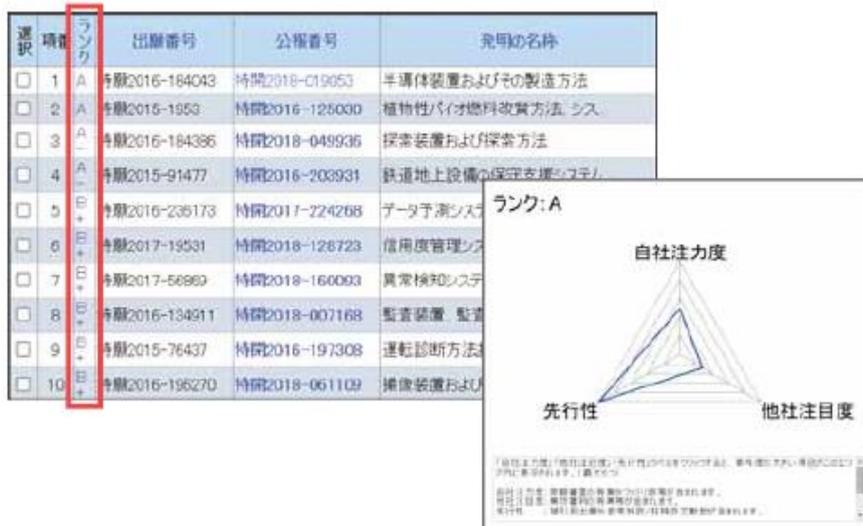


出典：日立製作所

【価値スコア（価値評価）¹⁹³】

Sharersearch では、各社の技術判定をより高度化するために、日本及び米国の全特許に対し、先行性、他社注目度、自社注力度の3つの観点で価値スコアを提供している。従来、各社の特許件数の比較のみで行っていた知財分析に、価値という要素を付加することにより、更に高度な比較判断を行えるようになった。同社では、今後も重要技術内容の自動サジェストなどのユーザーニーズに対し、これらの知見を応用して新たな価値を提供していく方針である。図 3.29.4 に、Sharersearch 価値スコアの概要を示す。

図 3.29.4 Sharersearch 価値スコアの概要



出典：日立製作所

¹⁹³ 日立評論: <https://www.hitachihyoron.com/jp/archive/2010s/2018/01/13/index.html>

【辞書機能¹⁹²】

検索キーワード欄に日本語キーワードを入力すると、実際の公報で使われる表現が類義語リストに表示され、そこで選択したキーワードに対応する英単語を AI がサジェストして表示する。この機能により、特許文章に適した英単語を選択することができ、専門用語の英単語を調べるといった作業の手間を省くことができる。

【独自の Patent ファミリー¹⁹²】

Shareresearch の Patent ファミリーは優先権ベースのファミリーと権利範囲が内包されると考えられるファミリーの 2 種類があり、使用場面に応じて切替えて活用いただける支援機能となっている。また、DOCDB 未登録の公報も保持しているため、ファミリーの範囲が広く、公報で確認ができる量も多くなっているのが特徴である。

5) 導入コスト

Shareresearch の導入コスト（2024 年 2 月現在）は、日立製作所のホームページ上で開示されていない。なお、日立製作所ホームページより 30 日間の試行利用が可能である。

3.30 「TM go365」

1) 概要

TM go365¹⁹⁴は、文字商標、図形商標、また、意匠及びトレードドレスの調査プロセスにおいて、信頼性の高い結果を提供する。使いやすくシンプルで、高度な機械学習と画像認識技術を組み合わせ、素早く、かつ、コスト効率良く、ブランドに関する重要な意思決定を可能にする。品質検証を経た商標データを用い、高度な機械学習テクノロジーと画像認識技術を組み合わせ、業界特有の包括的なデータソース（数百万件の図形商標や意匠を含む）を使って検索時間を節約し、意思決定を支援する。

(参考) Clarivate Plc について

Clarivate¹⁹⁵は、信頼性の高い変革的なインテリジェンスを提供するグローバルリーダーで、知識と研究、そしてイノベーションの領域にわたる深い専門知識に基づき、充実したデータ、洞察、分析、さらに、ワークフローソリューションを提供する。水処理業界を変革するための知見の提供や重要なワクチンの供給加速にとどまらず、人間の創意工夫の力を活用して世界最高のブレイクスルーを促進することを目標とする。そのサブスクリプションとテクノロジーベースのソリューションは、深いドメインの専門知識と共に、世界中の 45,000 以上の顧客から信頼を得ている。

2) 収録データ

| | |
|----------|---|
| 収録国・地域 | 意匠：米国、CTM ¹⁹⁶ など 65 カ国・地域 商標：米国、EUIPO ¹⁹⁷ など 188 カ国・地域 |
| 収録範囲 | 国・地域により異なる（データベースで確認可能） |
| タイムラグ | 国・地域により異なる（データベースで確認可能） |
| 更新頻度 | 国・地域により異なる（データベースで確認可能） |
| 商標/失効データ | 失効日より 3 年間分の失効データが検索可能（日本のみ 1992 年 4 月 1 日以降の失効データ） |

¹⁹⁴ Clarivate ホームページ： <https://clarivate.com/compumark/ja/solutions/trademark-searching/diy-trademark-searching/>

¹⁹⁵ Clarivate ホームページ： <https://clarivate.com/ja/about-us/>

¹⁹⁶ CTM は、Community Trade Mark の略で、欧州共同体商標のこと

¹⁹⁷ EUIPO は、European Union Intellectual Property Office の略で欧州連合知的財産庁のこと

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|-----------|------------|--|---|
| 検索 | キーワード等検索 | 商標 | 商標、呼称（アルファベット表記あり、音訳）例）中国はピンインでデータエントリー |
| | 分類検索 | 意匠 | 国際意匠分類（ロカルノ分類） |
| | | 商標 | 区分 |
| | 類似画像検索 | 意匠 商標 | <u>DIY 商標検索（類似画像検索）</u> |
| | 要素検索 | 意匠 商標 | - |
| | 辞書機能 | 商標 | - |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 意匠 | 公開意匠文献、書誌情報 |
| | | 商標 | 公開商標文献、書誌情報、経過情報の表示（米国のみ）、外国文献の日本語表示（指定商品は英訳） |
| | 検索結果の一覧表示 | 意匠 商標 | - |
| | 関連意匠（類似意匠） | 意匠 | 関連/類似意匠の一覧表示 |
| | その他閲覧機能 | 意匠 | 検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、表示のカスタマイズ |
| | | 商標 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、表示のカスタマイズ |
| | 検索結果の保存 | 意匠 商標 | - |
| データダウンロード | 意匠 商標 | 書誌リスト | |
| その他の機能 | 意匠 | 情報共有機能（社内のみ、検索結果のみ可能）、AI 活用（イメージマッチング） | |
| | 商標 | 書誌情報の訂正、情報共有機能（社内のみ、検索結果のみ可能）、AI 活用（イメージマッチング） | |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

TM go365 では、類似画像検索機能として「DIY 商標検索」機能が提供されている。

【DIY 商標検索¹⁹⁸（類似画像検索）】

TM go365 の類似画像検索は、イメージデータをドラッグ&ドロップするだけでイメージマッチングが可能で、AI による画像認識技術により高い精度の調査を実現する。画像の中から自動的に重要な要素を特定し、それらを Clarivate の図形商標データベースに含まれる数百万件の図形と比較して、視覚的に類似した商標を特定し、類似性の高い順に結果を表示する。TM go365 の画像認識アルゴリズムは特許登録済であり、アルゴリズムとディープラーニングを使用して、対象を認識するものである。

5) 導入コスト

TM go365 の導入コスト（2024 年 2 月現在）は、Clarivate のホームページ上に開示されていない。

¹⁹⁸ Clarivate TM go365 紹介資料を参考に記載

3.31 「Tokkyo. Ai」

1) 概要

Tokkyo. Ai^{199,200}は、ChatGPT API を活用した特許出願のための特許明細書と請求範囲の自動生成 AI を持つ、プライベート特許検索ツールである。問題解決のためのシーズとして活用でき、検索クエリを社外に出さない特許検索で、情報の機密性の維持と AI のためのデータ蓄積を実現できる。独自のビッグデータ処理技術「X システム」で低コストを実現し、最適化されたデータ処理アルゴリズムとデータ量に左右されない設計、AI との高い親和性を持つ。技術情報、権利情報、経営情報を素早く検索し、専門知識がなくても活用しやすいよう開発されている。簡単、最新知財データベース、クエリの保護、楽な管理、低コストを特徴とする。

(参考) Tokkyo. Ai 株式会社²⁰¹及び株式会社プロパティ²⁰² (販売代理店) について

Tokkyo. Ai は 2021 年 3 月に設立され、知財ポータル「Tokkyo. Ai」の運営、知財生成 AI・AI 検索・分析ツール「プライベート特許検索」の提供、知財マーケットプレイス「IP マーケットプレイス」の運営、オンライン商標サービスの運営、オープンイノベーションクラウドソーシングプラットフォーム「Innovation マーケットプレイス」の運営を主な事業内容とする。

プロパティは、1996 年の創立以来、特許調査業務を基幹業務としつつ、知的財産分野で必要とされるさまざまな商品の開発・サービスの充実に努めている。また、海外の知的財産情報に対する顧客アプローチの円滑化を促進するため、国内外の幅広い人材の登用とともに、数多くの分野の海外ネットワークを築いてきた。主な業務内容は、知財情報サービス、特許等の知財調査・コンサルティング、データベースの作成・技術翻訳、人材派遣である。

2) 収録データ

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 収録国・地域 | フルテキスト 5 カ国(日本・米国・欧州・中国・韓国) |
| 収録範囲 | 日本：特許・実用新案 1993 年～、意匠、商標、審決 2000 年～ |
| タイムラグ | 3 週間前後 |
| 更新頻度 | 3 週間前後 |

¹⁹⁹ Tokkyo. Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/pvt/>

²⁰⁰ プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/sysytem/tokkyoai-検索システム日本α/>

²⁰¹ Tokkyo. Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/company/>

²⁰² プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/company/profile/>

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|-----------|--------------------------|--|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報、審判、引例、Docket(米国裁判)、標準番号(SEP)等 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、日本語名検索(検索式の翻訳)、英語名検索、日本の四法横断検索 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、項目化されていないフルテキスト、図面の符号説明 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、公報発行日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC、US クラス |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | <u>AI テキスト検索(類似特許の検索、自然文検索(概念検索))</u> |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、引用・被引用情報、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | リスト形式での表示 |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | 検索結果のソート、検索結果のフィルタリング |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | クラウド上での保存、Excel ダウンロード |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | 上位 15 件まで表示可能 |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | 出願経過情報の表示 |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | - |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | <u>引用関係の分析、引用・被引用特許マップ</u> |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等)、マップ表示 | 特許・実用新案 | <u>検索結果の分析、パテントマップ、技術分野分析</u> |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報 | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 情報共有機能、チャットボット機能、不慣れなユーザー向け機能、 <u>特許生成 AI (特許自動生成)</u> | |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

Tokkyo.Ai は、類似特許の検索・概念検索機能として「AI テキスト検索」機能を提供している。また、特許情報分析機能として「検索結果の分析」「パテントマップ」及び「技術分野分析」機能、引用ネットワークの可視化機能として「引用関係の分析」と「引用・被引用特許マップ」、マップ表示機能として「パテントマップ」、特許自動生成機能として「特許生成 AI」機能を提供している。

【AI テキスト検索²⁰³（類似検索・概念検索）】

AI テキスト検索は、文章を入力するだけで、簡単に類似特許検索を行う機能である。文脈（文章）で類似度を判断することが大きな特徴で、キーワード検索とは異なり文脈を意識した検索が可能である。出願したい特許の文章（請求項に関する記載等）をそのまま文章検索画面で入力して、類似する権利範囲の特許を確認することができる。

以下に代表的な特徴を示す。

- ・ 文章で簡単に検索
キーワードや複雑な検索式を使うことなく、簡単な文章の入力だけで高度な検索を行うことができる。これにより、専門的な検索式やキーワードの知識を必要とせず、特許検索のハードルが大きく下がる。
- ・ 入力した文章と特許の類似率を表示
AI 技術を用いて、入力された文章と特許文献の類似性を具体的な数値で示す。これにより、関連性の高い特許文献を効果的に特定することができ、情報の優先順位付けが容易になる。
- ・ わずか数秒で結果を表示
AI の高度な計算能力を活用し、膨大な特許データベースを高速にスキャンする。入力後、わずか数秒で関連する文献とその類似度を表示する。

図 3.31.1 に、AI テキスト検索画面例を示す。

²⁰³ Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/pvt/function/>

図 3.31.1 AI テキスト検索画面例



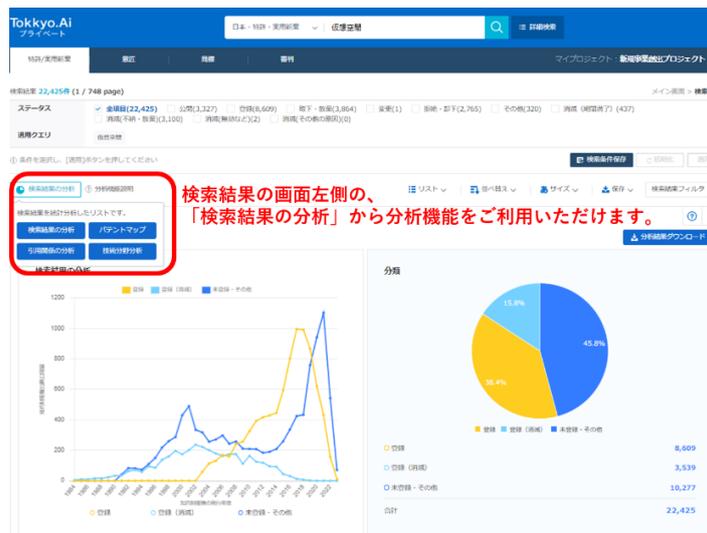
出典：Tokkyo.Ai

【検索結果の分析²⁰⁴（特許情報分析（IP ランドスケープ等））】

特定期間内に出願や登録がどれほど行われているかを即座に表示する。ワンクリックで、過去の特許出願数や登録数の傾向を確認できる。これにより、特許活動の時間的な流れを把握し、新たな技術トレンドを読み取ることに役立つ。

図 3.31.2 に、検索結果の分析機能の画面例を示す。

図 3.31.2 検索結果の分析機能の画面例



出典：Tokkyo.Ai

²⁰⁴ Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/tokkyo-wiki/patent-analysis-function/>

【特許マップ²⁰⁴（特許情報分析（IP ランドスケープ等）、マップ表示）】

X軸やY軸に出願人、出願年度、特許分類（IPC、FI、Fターム、テーマコードなど）を設定して、特許情報を可視化できる。このマッピングにより、特許の分布、動向、競争状況などを視覚的に理解しやすくする。また、特許の件数ランキングを表示することも可能である。

図 3.31.3 に、特許マップの表示例を示す。

図 3.31.3 パテントマップの表示例



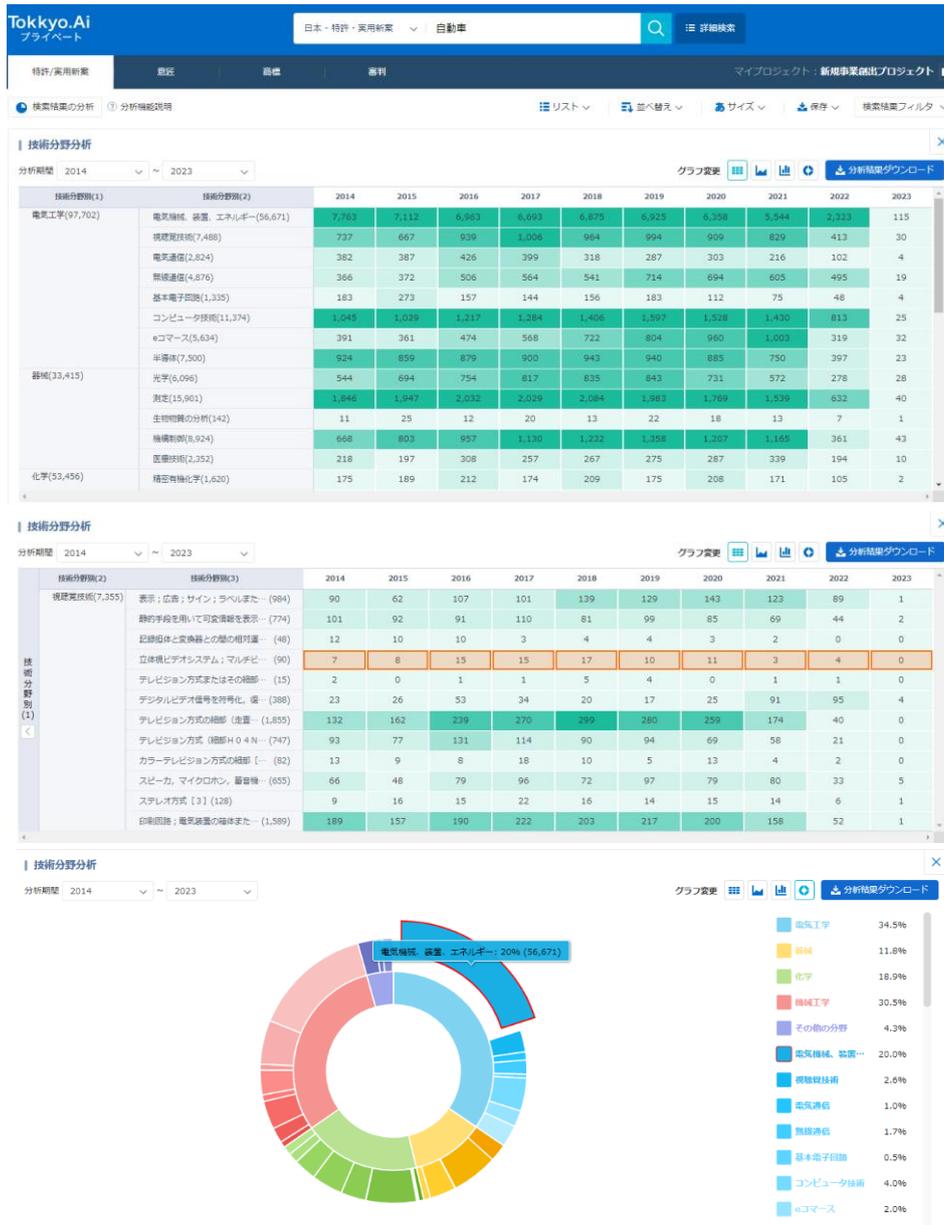
出典：Tokkyo.Ai

【技術分野分析²⁰⁴（特許情報分析（IP ランドスケープ等））】

技術分野分析機能では、特許がどのような産業で活用されているかを視覚化する。様々なマップ表示を切り替えることで、特定の技術分野の動向を詳しく調査し、特許の具体的な内容を深く理解することができる。また、各産業での特許出願動向を俯瞰的に知ることが可能になる。

図 3.31.4 に、技術分野分析機能の画面例を示す。画面の右上の「グラフ変更」ボタンでいくつかのパターンを切り替えることができる。

図 3.31.4 技術分野分析機能の画面例



出典：Tokkyo.Ai

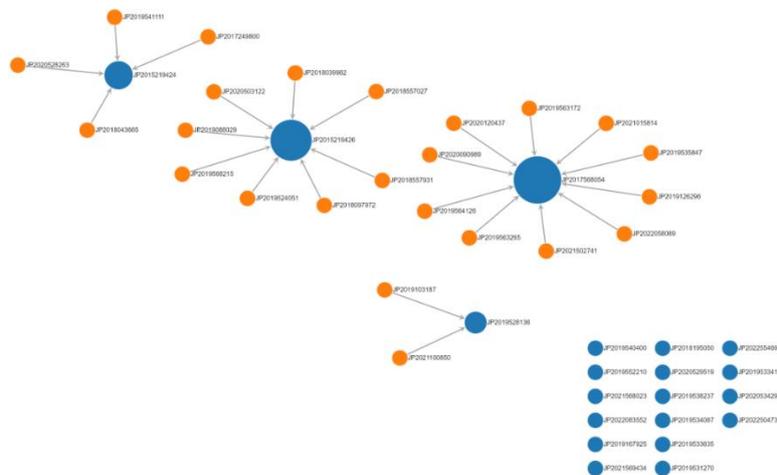
【引用関係の分析²⁰⁴（引用ネットワークの可視化）】

引用関係の分析機能は、特許間の関連性や影響力を評価し、特定の技術領域での競争の激しさを把握するために役立つ。

引用関係の分析には、個別特許ごとに引用関係を孫引用までたどる機能と、検索結果の集合に対して引用関係を見て行く機能がある。前者は、個別に見たい場合に有効で、後者は、被引用件数などの検索結果をベースに企業間の特許の引用関係を見るのに有効である。

図 3.31.5 に、引用関係の分析機能の画面例を示す。

図 3.31.5 引用関係の分析機能の画面例



出典：Tokkyo.Ai

【引用・被引用特許マップ²⁰⁵（引用ネットワークの可視化）】

引用・被引用特許をマップ形式で可視化し、どの企業がどの企業の特許を引用しているかといった複雑な引用特許の関連性を把握できる。

キーワード類似率と引用数に基づき関連文献を可視化した例では、該当するキーワードを含んだ知財の該当率と件数を円の大きさで示している。年ごとに示しているため、経過する年の変化を見ることによって、それらのキーワードを含んだ出願状況などの興味度を見ることができる。

また、特許文献における引用の状況を見ることにより、その特許が注目をされているのか、価値があるものなのかという複雑な引用関係を素早く把握ができる。さらに、図をクリックすることで、すぐに該当の特許情報を表示できるため、効率的な特許調査が可能である。

図 3.31.6 に、キーワード類似率と引用数に基づく関連文献の可視化例、図 3.31.7 に、複雑な引用関係の相関図による可視化例、図 3.31.8 に、引用・被引用特許のビジュアル化例を示す。

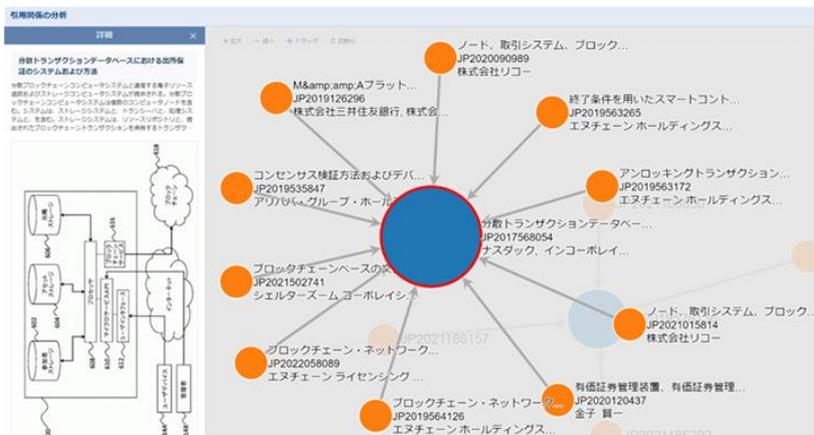
²⁰⁵ Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/pvt/function/#allusion>

図 3.31.6 キーワード類似率と引用数に基づく関連文献の可視化例



出典：Tokkyo.Ai

図 3.31.7 複雑な引用関係の相関図による可視化例



出典：Tokkyo.Ai

図 3.31.8 引用・被引用特許のビジュアル化例



出典：Tokkyo.Ai

【特許生成 AI^{206, 207}（特許自動生成）】

特許生成 AI は、特許明細書の作成を支援する。OpenAI の最新技術 GPT を活用し、特許明細書の生成を効率的に行う。ChatGPT API を活用した特許生成 AI により、複雑な明細書を、簡単な概要文の入力のみで自動生成する。

特許生成 AI は、ビジネスアイデアを簡単に特許文案にすることが特徴で、初期ドラフト（明細書のイントロの部分）をわずか数十秒で素早く作成することが可能である。文章（発明の概要）を入力して生成ボタンを押せば、それに基づいて発明の概要を出力する。その概要をベースに、知財部門と開発部門とのコミュニケーションギャップを埋めたり、弁理士への相談の文案のベースにしたりするという使い方ができる。また、請求項を生成してすぐに類似特許検索を行うことが可能で、類似率を見て、類似率が高い特許があれば発明の内容を変えることや、知財部門と開発部門でリストを共有して認識の共通化を図るといったことにも利用できる。

図 3.31.9 に、特許生成 AI の画面例を示す。

²⁰⁶ Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/pvt/gpt/>
²⁰⁷ Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/info/chatgpt/>

図 3.31.9 特許生成 AI の画面例

Tokkyo生成AI 明細書リスト

発明の名称

技術分野

背景技術

発明が解決しようとする課題

産業上の利用可能性

請求項

要約

選択項目生成

AI生成は入力した概要に基づいてChatGPTが項目の内容を生成して提供します。
ChatGPTを活用して明細書のドラフトを作成することができます。



1
項目選択
生成する明細書の項目を選択します。



2
概要作成
生成する項目の概要を作成します。



3
結果確認
AIの生成結果を確認します。

| 発明の名称 | 技術分野 | 背景技術 | 発明が解決しようとする課題 | 産業上の利用可能性 | 請求項 | 要約 |
|--|------|------|---------------|-----------|-----|----|
| <p>【課題】 発明者は、自分の専門分野を一般に便利な方法で広報して、顧客は、自分が抱えた特許の出願相談の情報や発明資料と適切な発明士を提供する発明士マッチングサービス、発明士マッチングサービスの提供方法、発明士マッチングサービスの顧客端末アプリおよび発明士マッチングサービスの発明士端末アプリを提供することを目的とする。【解決手段】 発明士マッチングサービスは、顧客端末から入力される特許の出願相談の情報とこれに対応する発明資料を受信して、発明資料を保存し、受信された特許の出願相談の情報に基づいて、これに対応する条件を1つ以上の分野に分類し、該分類された分野を抽出可能な登録済みの発明士の少なくとも一人以上を前記条件の発明士として選択し、該発明士の発明士端末に保存された前記発明資料を送信し、前記発明士端末から受信した同意の情報を受け付けることにより、少なくとも一人の発明士を再選択し、顧客とマッチングさせる。</p> <p>入力文字数 408/2000 修正 類似特許検索</p> <p>生成言語: <input checked="" type="radio"/> 日本語 <input type="radio"/> 英語 残り使用回数 190/200 内容再生成</p> <p>【背景技術】 発明士は、自身の専門分野を広報し、特許の出願相談に関する情報や発明資料と適切な発明士を提供するための方法やシステムの必要がある。特に、個々の顧客が必要とする専門知識を持つ発明士を見つけ、顧客が安心してサービスを受けることができる発明士マッチングサービスの開発が求められている。</p> <p>従来の発明士マッチングサービスは、単に特許出願相談の情報を入力して発明士を検索するだけの機能が備わっているに過ぎず、顧客が適切な発明士を選定するには限定的な情報しか提供されていなかった。また、特許出願相談の情報を提供している顧客側のシステムも独立しており、特許出願相談と対応する発明資料をセットで保存することや、発明士の推薦などの機能は提供されていなかった。</p> <p>そのため、本発明は、上記の問題点を解決するために開発されたものであり、顧客から入力される特許出願相談の情報とこれに対応する発明資料を受け付け、保存することができる発明士マッチングサービス(発明士マッチングサービスの提供方法、顧客端末アプリおよび発明士端末アプリ)に関する技術を開示している。</p> <p>本発明によれば、発明士マッチングサービスは、顧客から入力される特許出願相談の情報とこれに対応する発明資料を受信し、保存することができる。さらに、受信された情報に基づいて、複数の分野に分類された既存の発明士のうち、特定の案件に選定した発明士を選定することが可能である。発明士マッチングサービスにより、選定された発明士の端末に保存された発明資料を送信し、発明士側からの受信した同意の情報を受け付けることにより、最終的な発明士と顧客のマッチングが実現される。</p> <p>以上が、本発明の背景技術に関する一般的な説明である。以下では、本発明の詳細な技術構成や機能について、さらに具体的に説明する。</p> <p style="border: 1px solid #ccc; display: inline-block; padding: 2px;">2023-08-28 16:44:27生成</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">修正する</p> | | | | | | |

出典：Tokkyo.Ai

5) 導入コスト²⁰⁸

Tokkyo.Ai の導入コスト（2024年2月現在）は初期費用不要で、月額利用料 15,000 円 /ID である。複数 ID での導入の場合はボリュームディスカウントにて提供している。

²⁰⁸ Tokkyo.Ai ホームページ: <https://www.tokkyo.ai/pvt/price/>

3.32 「Toreru 商標登録」

1) 概要

Toreru 商標登録²⁰⁹は、面倒な手続きが必要な商標登録を簡単、安心して提供するために生み出された新しい Web サービスである。特徴は、商標の簡易調査（Toreru 商標検索及び Toreru 商標登録サービス内の AI 調査）が何回でも無料で利用可能なことである。AI を活用したシステムが区分選択のアシストや、入力した画像と似たような商標をピックアップしてくれる。ただし、Toreru 商標検索及び AI 調査は最低限のリスク排除ができるだけで、重要な商標については専門家による調査（Toreru 調査）を勧めている。

（参考）株式会社 Toreru²¹⁰について

Toreru は、平成 29 年に設立された企業で、速い、簡単、専門的、安心等のバリューを提供することにより、知財価値の最大化を実現するというミッションを掲げている。

2) 収録データ

収録国・地域、収録範囲、タイムラグ、更新頻度、失効データなどの情報は得られなかった。

3) 機能一覧²¹¹

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|----------|----|-------------------|
| 検索 | キーワード等検索 | 商標 | 商標（ひらがな又はカタカナ）、呼称 |
| | 類似画像検索 | 商標 | <u>画像商標検索</u> |

4) 高度な機能

Toreru 商標検索では、類似画像検索機能として「画像商標検索」が提供されている。

【画像商標検索²¹²（類似画像検索）】

Toreru 商標検索は、商標検索に慣れていないユーザーでも簡単に商標を検索することができる簡易商標検索サイトで、誰でも無料で使える。初めてのユーザーにとってもわかり

²⁰⁹ Toreru ホームページ: <https://toreru.jp/>

²¹⁰ Toreru ホームページ: <https://toreru.co.jp/about>

²¹¹ 本機能一覧は、ウェブサイト上で公開された情報に基づいて作成されており、他にも実装されている機能が存在する可能性がある。

²¹² Toreru 商標検索ホームページ: <https://search.toreru.jp/>

やすい検索画面で、これまでわかりにくかった商標調査がもっと簡単になる。図 3.32.1 に、Toreru 商標検索の検索画面を示す。

図 3.32.1 Toreru 商標検索の検索画面



出典：Toreru

5) 導入コスト

Toreru 商標検索及び Toreru 商標登録サービス内の AI 調査の導入コスト（2024 年 2 月現在）は無料である。Toreru 調査も、商標出願の際に Toreru 商標登録の利用を約束するユーザーに限定して無料となる。

3.33 「ULTRA Patent」

1) 概要

ULTRA Patent は、ウィズドメインが開発した独自のシステムにより、世界主要国家の特許情報を素早く、的確に検索・分析をすることができる特許検索・分析総合ソリューション・サービスである。知的財産分野の専門家だけでなく、専門知識がないユーザーでも簡単に特許検索や分析ができるよう設計されている。

スマートビューア、マイフォルダー、クラスナビ（自動技術分類）、サイテーション検索・分析、特許紛争情報、テキストマイニング（ワードクラウド・キーワードマップ）、チャート及びフィルタ（統計チャート・3D分析チャート・検索結果フィルタ）、ファミリー（特許系譜図・ファミリーツリー・ファミリー拡張・ファミリー重複除去・ファミリーグループ化）、評価レポート（特許評価・発明者評価・特許価格推算）、分析レポート（主要特許分析・企業技術力分析）の機能を備える。

（参考）株式会社ウィズドメインについて

1999年に韓国で創業したウィズドメインは、当初から特許分析に強みを持ち、米国IBM本社へ特許分析ソリューションの提供を始めた。ウィズドメインは、WISDOM(知恵)とDOMAIN(根源)の造語である。その後、特許データを加工して戦略的な知財経営のためにポートフォリオマネジメントシステムを確立し、米国HPと韓国サムスン社へ提供してきた。

2014年には財務データを含めた分析評価「自動特許価値評価」システムを開発・提供し、顧客から高い信頼を得ている。最近では株式投資に関するデータを分析し、独自の技術投資指標（PTR：株価技術比率）を開発し、その指標に基づき、株式にてファンド運営（子会社）を行い、PTRの価値を証明した。日本には2006年から事務所を構え、日本国内でも数多くの顧客へサービスを提供し、グローバルな特許情報の提供事業を拡大し続けている。

事業内容は、特許検索・分析サービス、自動分析レポート提供、データ分析・開発、ソフトウェア開発、PTR指標提供である。今後も長年培ってきた知財情報サービスを活かし、ビッグデータを活用した知財分野に留まらないグローバル戦略経営のサポートなど、付加価値の高い情報を提供し続けていくとしている。

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 104カ国・地域（日本、米国、欧州、韓国、中国、ドイツ、英国、フランス、台湾、インド、ロシア、カナダ、豪州、シンガポール、メキシコ、その他） |
| タイムラグ | 基本的に1週間（データ提供元により異なる） |
| 更新頻度 | 毎週 |

3) 機能一覧²¹³

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | ファミリー情報（ファミリー拡張・重複除去）、電子データ以前の公報 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索（出願人、発明者、代理人、審査官、副審査官）、現権利者、名寄せ（出願人代表名） |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 詳細な説明（特許全文）、フィールド検索・コマンド検索、推薦機能 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム（ファセット）、CPC、UPC（全て下位分類を含んだ検索が可能）、特許評価分類、発明者評価分類 |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索（AND, OR, NOT 検索）、部分一致（前方一致／完全一致）、ワイルドカードによる検索（ステミングなど）、近接検索、近傍検索（Within／Near／Order／Contains／Jorder／Jcontains） |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 所有権変動検索、特許権利状態検索、権利移行特許検索、紛争関連特許検索、生死情報、法的状態、審査経過情報ステータス、経過情報コードによる検索 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能（キーワード自動完成）、自動技術階層分類、複数特許の引用／被引用検索 |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | 技術用語辞書 |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照（保存検索式と演算）、検索履歴の保存・再利用（検索履歴の短縮キー有、検索履歴とキーワードの演算可能、ユーザーフォルダの演算可能） |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献（抄録／全文）、書誌情報、図面（代表図面）、英文抄録（機械翻訳）、パテントファミリー、法的ステータスの表示（生死情報／権利状態又は権利満了予想日、法的状態経過表示）、法的紛争情報の表示（訴状、原告、被告等）、引用・被引用情報、経過情報の表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | <u>スマートビューアー</u> |

²¹³ 本機能一覧は、ウェブサイト上で公開された情報に基づいて作成されており、他にも実装されている機能が存在する可能性がある

| | | | |
|-----------|--------------------|---|---|
| 検索 | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー（自動でグループ化、法的状態表示）、ファミリー拡張・重複除去 |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示（入力したキーワードを多様な色でハイライト）、特許評価等級／発明者評価等級、検索式の履歴の表示、高速全図面スライドショー、発明のポイント、全文比較ビューア、検索結果のフィルタリング、クラスナビ（自動技術分類） |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | マイフォルダー、ユーザー間共有 |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | 被引用数ランキング |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | 統計チャート、3D 分析チャート、ワードクラウド・キーワードマップ、ファミリーツリー、ジネオロジー |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | 引用・被引用分析、特許評価・発明者評価・特許価格推算 |
| | 審査無効文献の推定 | 特許・実用新案 | - |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | 権利満了予想日、平均技術有効期間 |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | <u>主要特許・企業技術力・特許価格推算分析レポート</u> |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | <u>サイテーション検索・分析</u> |
| | 特許情報分析(IPランドスケープ等) | 特許・実用新案 | <u>テキストマイニング（ワードクラウド・キーワードマップ）</u> 、 <u>企業技術力分析レポート</u> |
| その他分析 | 特許・実用新案 | データ分布分析、特許定量分析、技術用語関連度分析、自動技術分類 | |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト（Excel/XML/CSV/Word）、PDF 公報（要約レポート、公報イメージ）、特許評価情報・発明者評価情報（Excel）、分析レポート／時系列要約書／翻訳データ／状態情報／アドバンスト情報 | |

| | | |
|--------|---------|---|
| その他の機能 | 特許・実用新案 | アラート機能 (SDI ²¹⁴ ・ウォッチング機能) (サーチ SDI、サイテーション (引用関係) SDI、経過情報 SDI、保存検索式 SDI、自社特許被引用特許 SDI サービス)、発明の名称、要約、請求の範囲を対象に英和機械翻訳 |
|--------|---------|---|

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

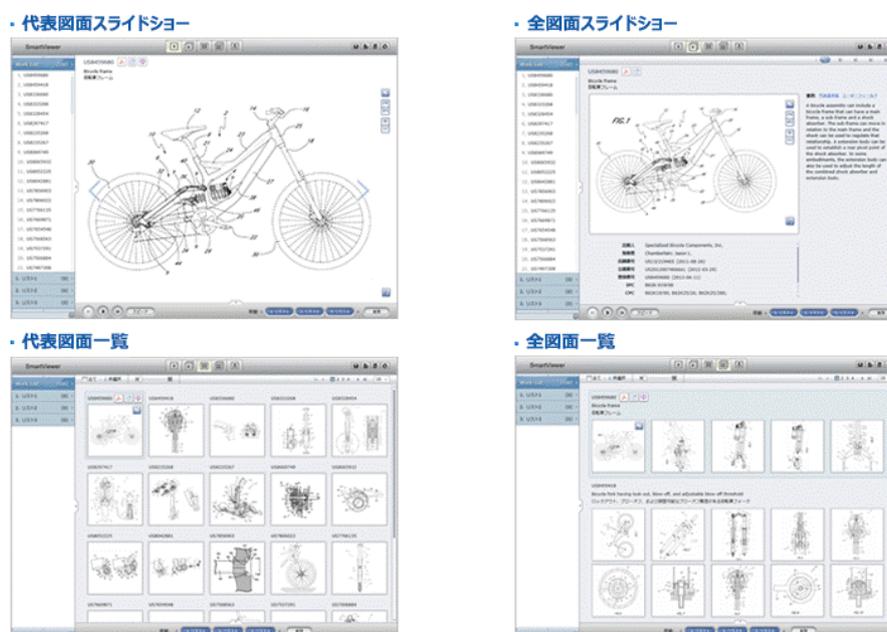
4) 高度な機能

ULTRA Patent は、高度な閲覧機能として「スマートビューア」を有する。また、豊富な分析機能を有し、「テキストマイニング」「サイテーション検索・分析」「統計チャート」「3D分析チャート」「分析レポート」などを提供している。

【スマートビューア²¹⁵】

スマートビューアは代表図面だけでなく、全図面を書誌事項、要約、代表請求項とともに、スライドショー形式で閲覧ができる機能である。主に図面のみを検討する際、サムネイル方式でも表示が可能である。また、保存フォルダに、該当の特許情報を自由に分類しながらメモを追加することができる。スマートビューアの表示例を図 3.33.1 に示す。

図 3.33.1 スマートビューアの表示例



出典：ウィズドメイン

²¹⁴ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

²¹⁵ ウィズドメインホームページ: <https://www.ultra-patent.jp/About/Features>

【テキストマイニング（ワードクラウド・キーワードマップ）²¹⁵】

テキストマイニングのワードクラウドでは、リストで選択した特許又は検索結果リスト内の頻出単語をマップで表示する。発明の名称・要約を分析し、出現頻度が高いほど単語が大きく表示される。キーワードマップでは、特許情報の技術用語を分析し、関係性を把握して大量の特許情報を分かりやすくマップ形式で表示する。技術分野の IP 環境や特定技術分野の中で優位がある企業、競争関係がある企業などを素早く把握できる。ワードクラウドの表示例を図 3.33.2 に示す。

図 3.33.2 ワードクラウドの表示例



出典：ウィズドメイン

【サイテーション検索・分析²¹⁵】

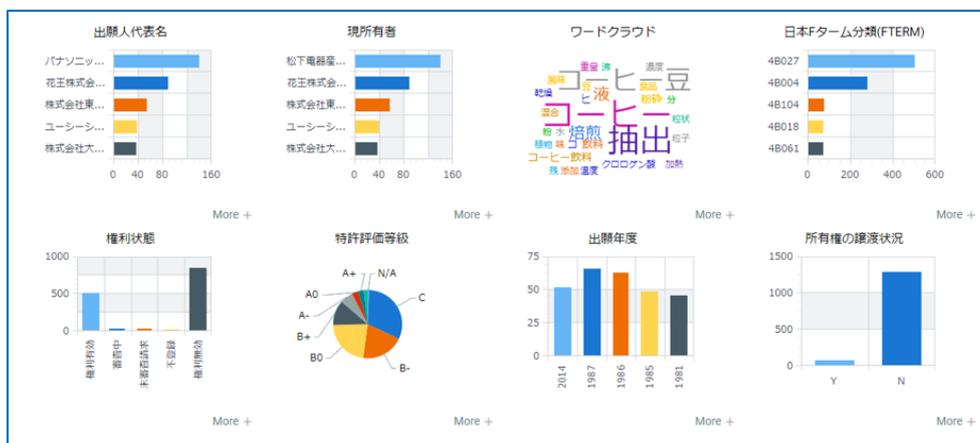
対象特許群の一括引用又は被引用特許情報の検索、及び引用関係をつリー構造に表示し、様々な機能を活用し、より深い分析ができる。

また、サイテーション SDI サービスを使うことで、毎週更新される特許情報の中でユーザーが設定した引用関係のある特許情報のリストを表示又はメールに送信することができる。サイテーション検索例を図 3.33.3 に、その分析例を図 3.33.4 に示す。

【統計チャート 215】

特許結果を出願人、出願年度、特許評価等級、権利状態、国別特許件数などの項目に分け、チャート化する。また、チャート内で確認したい部分をクリックすると検索結果が表示される。統計チャートの出力例を図 3.33.5 に示す。

図 3.33.5 統計チャートの出力例

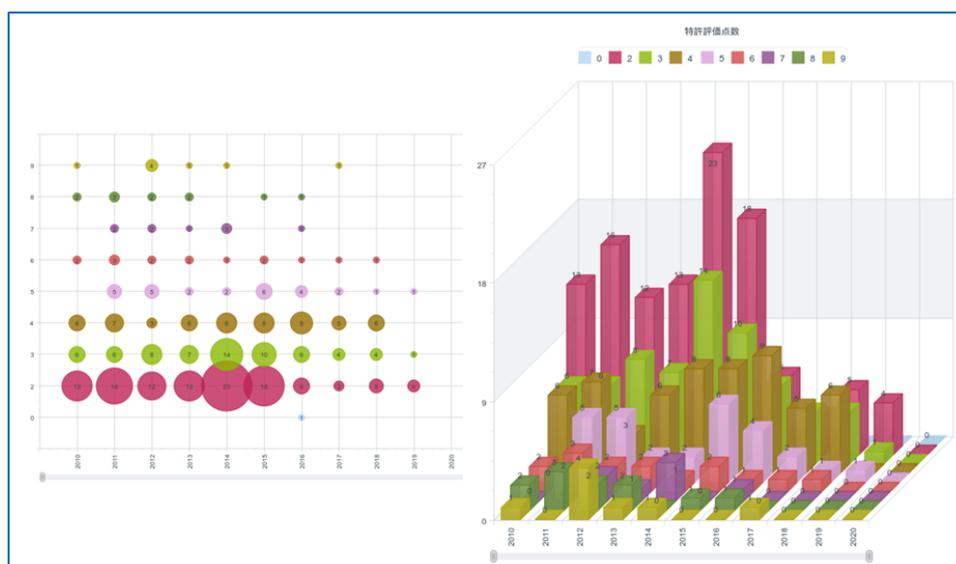


出典：ウィズドメイン

【3D 分析チャート 215】

検索結果を多様な項目で統計分析し、その内容を多様なチャートで表示する。チャート上の項目を選択し、必要な情報を絞り込むことができる。3D 分析チャートの出力例を図 3.33.6 に示す。

図 3.33.6 3D 分析チャートの出力例



出典：ウィズドメイン

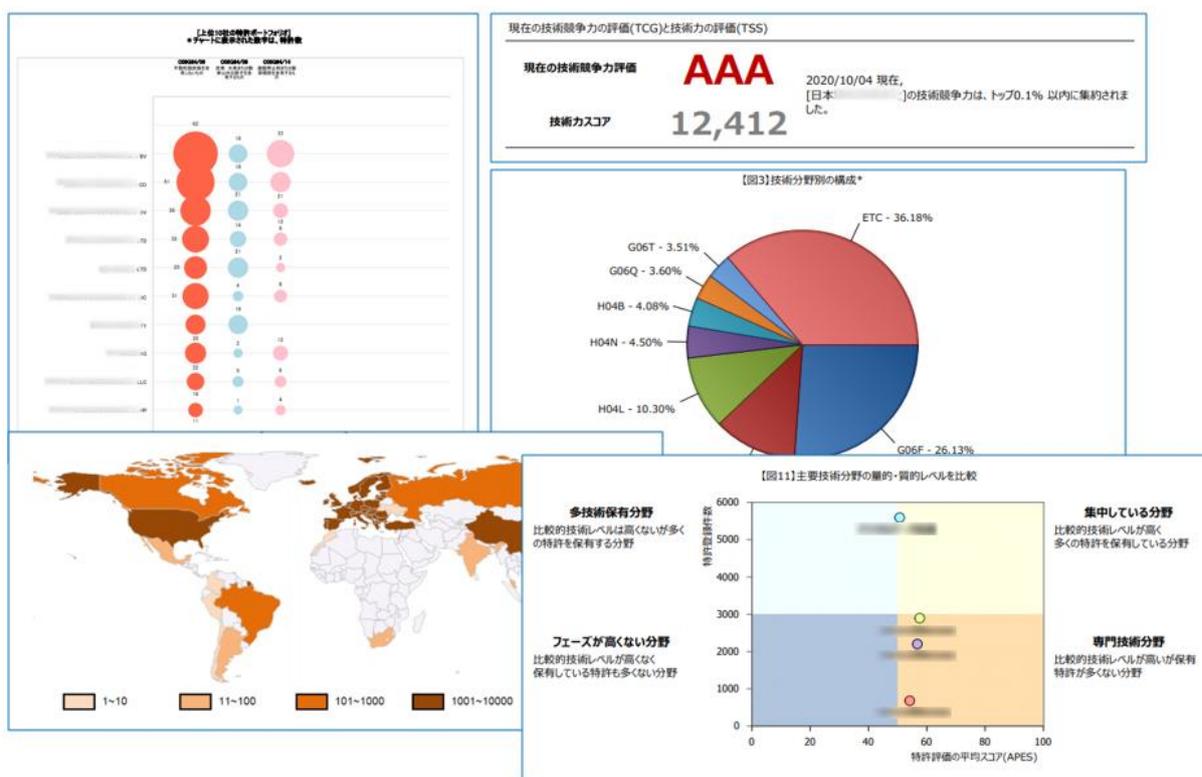
【分析レポート 215】

ULTRA Patent は、以下の定量分析レポートの作成ができる。

- ・ 主要特許分析レポート：
選択特許情報の技術分野において主要出願人別・年度別出願動向、研究活動期間、主要特許、類似特許及び最新特許等を収録した PDF 形式レポート
- ・ 企業技術力分析レポート：
企業の保有特許を基にその企業の技術力を分析したレポート
- ・ 特許価格推算分析レポート：
特許評価に基づいて特許の金銭的な価値を定量的かつ客観的に分析したレポート

図 3.33.7 に、分析レポートの例を示す。

図 3.33.7 分析レポートの例



出典：ウィズドメイン

5) 導入コスト

ULTRA Patent の利用料金プラン（2024年1月現在）は、次のとおりである。

- ① Free：特許情報の簡単な検索と結果の閲覧機能を無料で利用できる。
- ② Basic：特許情報の基本検索と結果のダウンロード及び SDI 機能を利用できる。
- ③ Special：特許情報の詳細検索とビューア機能など簡単な分析機能を利用できる。
- ④ Premium：テキストマイニングや引用分析など全ての機能を利用できる。

いずれも定額制の料金体系で、年間利用料が、それぞれ 12 万円/ID (Basic) 、36 万円/ID (Special) 、120 万円/ID (Premium) である。なお、Basic のみ別途初期導入費 1 万円が必要で、また、分析レポートはオプションである。

3.34 「WebPat」

1) 概要

WebPat は、台湾の特許庁データを作成している台湾の民間企業が作成した台湾専用のオンラインデータベースである。台湾の企業や大学、研究所などでは、最も良く知られたデータベースで、全文検索機能を搭載し、複合検索、式の保存、統計機能、ダウンロード機能等を備えている。また、図面の表示形態に優れている。特に台湾の調査に対して高いパフォーマンスを提供する。

(参考) InnoVue LTD²¹⁶及び株式会社プロパティ²¹⁷（日本販売代理店）について

InnoVue は、2000年10月10日に設立された、台湾で唯一、知的財産を研究するための情報技術ソリューションの開発に注力している企業で、革新的な研究開発への投資、学界や産業界へのサービス提供の更なる経験、そしてその経験を製品開発に反映させながら、卓越した企業となることを目指している。

プロパティは、1996年の創立以来、特許調査業務を基幹業務としつつ、知的財産分野で必要とされるさまざまな商品の開発・サービスの充実に努めている。また、海外の知的財産情報に対する顧客アプローチの円滑化を促進するため、国内外の幅広い人材の登用とともに、数多くの分野の海外ネットワークを築いてきた。主な業務内容は、知財情報サービス、特許等の知財調査・コンサルティング、データベースの作成・技術翻訳、人材派遣である。

2) 収録データ

| | |
|--------|--|
| 収録国・地域 | 台湾の特許と意匠、米国／中国／欧州特許庁／WIPO(PCT)／韓国／日本／カナダ ²¹⁸ のフルテキスト、DOCDB ²¹⁹ |
| 収録範囲 | 台湾 登録：1950年～、公開：2003年～ DOCDB/カナダ 1982年～、中国 1985年～、韓国 1979年～ 欧州特許庁 登録：1980年～、公開：1978年～ WIPO (PCT) 1978年～、 米国 登録：1976年～、公開：2001年～ 日本 登録：1996年～、公開：1993年～、PAJ：2001年～ |
| タイムラグ | 台湾に関してはタイムラグ無し |
| 更新頻度 | 1week 程度 |

²¹⁶ InnoVue ホームページ: <https://apply.innovue.ltd/en/about-history.html>

²¹⁷ プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/company/>

²¹⁸ プロパティから提供された情報を基に記載

²¹⁹ DOCDB は、欧州特許庁が提供する世界各国の特許の書誌情報と要約文を収録したデータベース

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|-----------|--------------|---------------------------------------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、日本語名検索、英語名検索 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、その他検索日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC、US クラス |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 生、死、審査中の絞り込みができる |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 概念検索 (AI 類似特許)、引例検索 ²¹⁸ (国内引例、国外引例、非特許文献) |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開及び登録の全文フルテキスト、書誌情報、全図面、英文抄録、特許の引用・被引用情報、非特許文献引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示 (年金情報を含む)、法的紛争情報の表示、クレームツリー |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | 四つの表示形式を自由に選べる。なお、表示項目も自由に設定できる。 |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | 検索母集団の保存は可能 |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト (第一請求項を含む)、PDF 公報 | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | アラート機能 (SDI ²²⁰ ・ウォッチング機能) | |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

²²⁰ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

3.35 「WIPS-Global」

1) 概要

WIPS-Global²²²は、世界の特許情報を横断検索できるオンライン検索サービスである。世界 100 カ国以上の特許データを英語と出願国の原語で検索できる。日本国内の検索コンセプトと等価的に海外情報を取得するための様々な工夫があるだけでなく、年間の利用料もフルパッケージで低価格で固定されている。DOCDB²²³データだけでなく、WIPS が独自に所蔵する特許データが収録され、1文字検索、ファミリーインデックス (FIPC/FCPC) による他国の分類コードを使った高精度な検索、主要国の全文テキスト検索との組み合わせなどが可能である。また、独自の抄録範囲を検索できるフィールドを作成して全文検索でのノイズを回避することや、統計解析機能を標準で装備することが特徴である。

(参考) 株式会社 WIPS 及び株式会社プロパティ (日本販売代理店) について

WIPS²²⁴は、1999 年に韓国で最初にオンライン全世界特許情報サービスを実施した会社であり、特許、商標、意匠の知的財産全般にわたる調査、分析及びコンサルティングを提供している。なお、WIPS は、韓国政府が認める民間知的財産調査機関である。韓国特許庁により、先行技術専門調査機関として指定され、また、特許、意匠、商標の専門調査機関としても指定されている。

プロパティ²²⁵は、1996 年の創立以来、特許調査業務を基幹業務としつつ、知的財産分野で必要とされる様々な商品の開発・サービスの充実に努めている。また、海外の知的財産情報に対する顧客アプローチの円滑化を促進するため、国内外の幅広い人材の登用とともに、数多くの分野の海外ネットワークを築いてきた。主な業務内容は、知財情報サービス、特許等の知財調査・コンサルティング、データベースの作成・技術翻訳、人材派遣である。

2) 収録データ

| | |
|--------|---|
| 収録国・地域 | アブストラクトテキスト 7 カ国、フルテキスト 16 カ国(日本・米国・欧州・中国・台湾・韓国・インド等)、DOCDB 100 カ国以上、IPC/USPC/CPC/FI/F ターム、米国・中国・台湾の意匠データ |
| 収録範囲 | 米国が最も古く、1790 年～ |
| タイムラグ | 2 週間前後 |
| 更新頻度 | 1 週間程度 |

²²² プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/syssystem/wips-global/>

²²³ DOCDB は、欧州特許庁が提供する世界各国の特許の書誌情報と要約文を収録したデータベース

²²⁴ WIPS ホームページ: <https://global.wipscorp.com/jp/>

²²⁵ プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/company/profile/>

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 出願番号、公報番号、優先権番号、ファミリー情報、審判、引例、Docket(米国裁判)、標準番号(SEP)等 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、英語名検索、出願人検索支援機能、コード検索 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、項目化されていないフルテキスト、図面の符号説明 |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日、公報発行日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC、US クラス |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 一部の国に限って可能 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | 入力支援機能、AIサーチ(類似特許の検索： <u>ニユーラルによる類似文書検索、自然文検索：概念検索</u>) |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | - |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報の表示、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示、ライセンス情報の確認 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | Step Search にて可能 |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー、 <u>ファミリータイムライン</u> (独自のパテントファミリー) |
| | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能、2文書比較閲覧等 |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | - |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | - |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | - |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | - |

| | | | |
|-----------|---------------------|---|--------------------------|
| 分析 | 審査無効文献の推定 | 特許・実用新案 | - |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | Application History 提供 |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | - |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | <u>Citation Analysis</u> |
| | 特許情報分析(IP ランドスケープ等) | 特許・実用新案 | <u>SmartAngle</u> |
| | その他分析 | 特許・実用新案 | 特許図面の分析用編集機能 |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報 | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正、出願人編集機能（出願人名等の名寄せ）、アラート機能（SDI ²²⁶ ・ウォッチング機能）、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能 | |

(注) 概要欄において「-」は、当該機能は有するが具体的な情報が得られなかったことを示す。

4) 高度な機能

WIPS-Global は、類似検索・概念検索機能として「AI サーチ」が提供されている。また、特許情報分析（IP ランドスケープ等）機能として「SmartAngle」、独自の Patent Family 表示機能として「ファミリータイムライン」、引用ネットワークの可視化機能として「Citation Analysis」及び出願人名等の名寄せ機能として「出願人編集機能」を提供している。

【AI サーチ²²⁷（類似検索・概念検索）】

WIPS-Global は基本的な特許検索の入口として、FIELD サーチ、NUMBER サーチ、STEP サーチ、AI サーチの 4 つを設けている。AI サーチは、文章又は特許番号による類似特許検索を可能とする。図 3.35.1 に、WIPS-Global の画面例を示す。

²²⁶ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

²²⁷ プロパティホームページ: <https://www.property.ne.jp/sysytem/wipsglobal-search/>

図 3.35.1 WIPS-Global の画面例

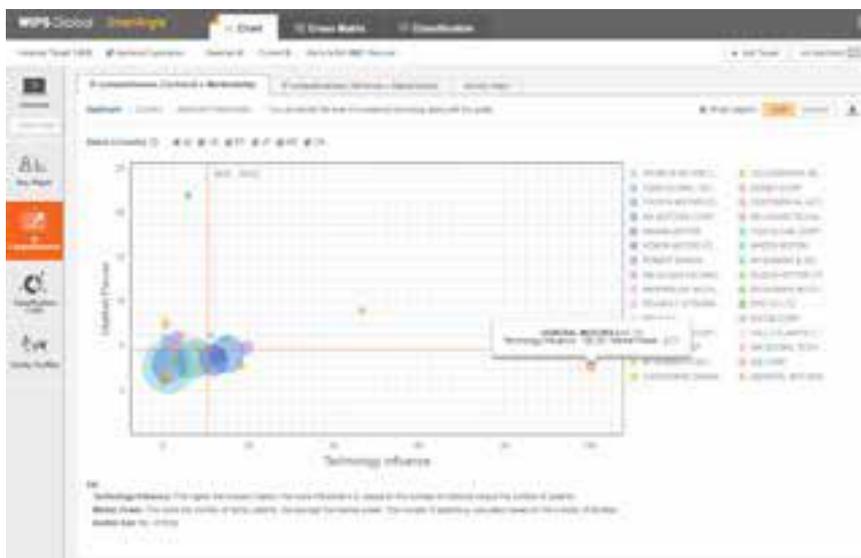


出典：プロパティ

【SmartAngle²²⁸（特許情報分析（IP ランドスケープ等））】

SmartAngle は、Web 上で特許を様々な角度から可視化できる統計分析機能である。例えば、知財競争力として、技術力と市場性や技術力と市場シェアの関係、特許活動指数 (Patent activity index) を可視化したり、キープレイヤー情報として出願人から見た各種分析 (出願人ランキング、共同出願人情報、出願人の国籍分布、出願人別技術分布など) を可視化したりできる。図 3.35.2 に、知財競争力の可視化イメージを、図 3.35.3 に、キープレイヤーの可視化イメージを示す。

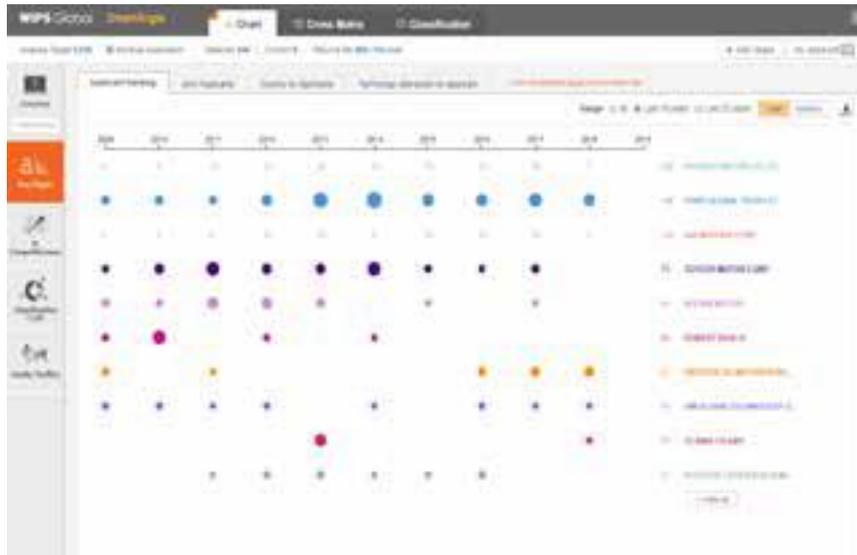
図 3.35.2 知財競争力の可視化イメージ



出典：WIPS

²²⁸ WIPS ホームページ: <https://www.wipsglobal.com/service/mai/main.wips> の e-Brochure

図 3.35.3 キープレイヤーの可視化イメージ



出典：WIPS

【ファミリータイムライン²²⁹（独自の Patent ファミリー）】

WIPS-Global では、ファミリー特許に対する情報をより素早く把握できるように「ファミリータイムライン」を提供している。ファミリータイムラインは、「ファミリー時系列ビュー」「統計&リスト」「ファミリー国」「リーガルステータス」の4つのタブで構成されている。

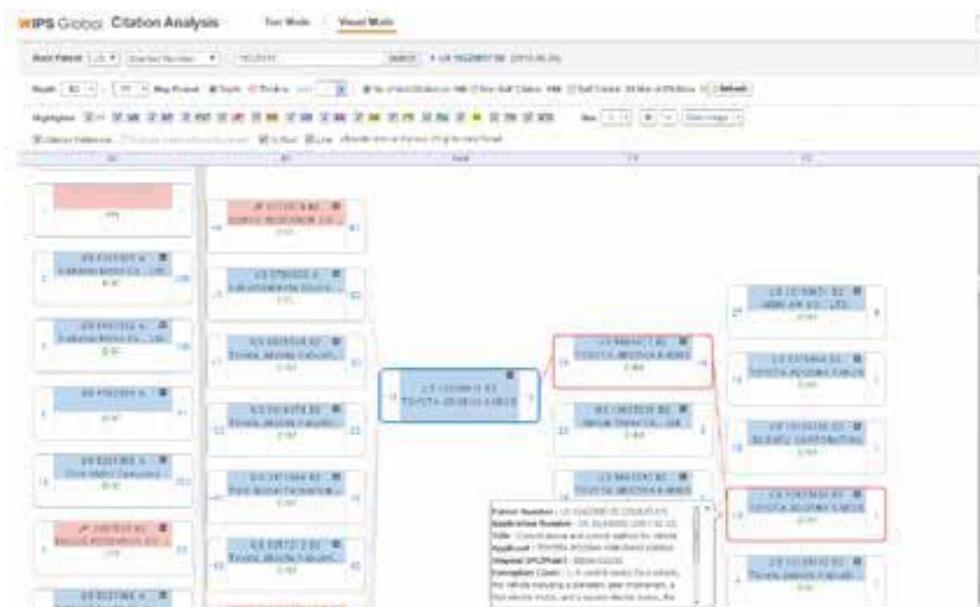
ファミリー時系列ビューでは、ファミリー特許の優先権主張期間や出願日、公開日、登録日などを棒型グラフにより一目で把握でき、統計&リストでは、ファミリー特許の年度別、国別数値とリストを確認できる。そして、ファミリー国では、ファミリー分布現況を地図上で確認でき、リーガルステータスを通じてファミリー特許の現在の法的状況や消滅可否などを確認できる。

【Citation Analysis²²⁹（引用ネットワークの可視化）】

Citation Analysis では、引用／被引用文献をテキストモードとビジュアルモードで提供する。引用には、自己引用／被自己引用がある。図 3.35.4 に、引用分析の表示イメージを示す。

²²⁹ WIPS ホームページ: https://global.wipscorp.com/download/e-brochure_jp.pdf

図 3.35.4 引用分析の表示イメージ



出典：WIPS

【出願人編集機能²³⁰（出願人名等の名寄せ）】

SmartAngle 機能の中に搭載されている出願人の編集機能を使ってプレのある出願人の名寄せや、一定の意味の下に出願人をグループ化して再統計を行うことができる。また、要素を指定して元のデータを参照することもできるため、分析結果を調査に応用することに適している。

5) 導入コスト

WIPS-Global の導入コストについては、プロパティのホームページ上に開示されていない。

²³⁰ プロパティホームページ： <https://www.property.ne.jp/sysytem/wipsglobal-ouyou/>

3.36 「XLSCOUT」

1) 概要

XLSCOUT²³¹は、1億5000万件以上の特許と2億万件以上の研究論文を含む人工知能(AI)対応テクノロジーデータベースで、知的財産分析プラットフォームである。特許データ、その他のデータソースをもとに、自然言語処理(NLP)と機械学習(ML)を組み合わせ、データの検索精度を高めている。プロフェッショナルのための高度な検索オプションと、スキルレベルに関係なく直感的で使いやすいインターフェースの両方を提供するプラットフォームである。データに基づいた戦略的な意思決定において、信頼できる洞察を提供し、研究開発、知的財産、イノベーション部門が、直面する課題の戦略的解決策を迅速、包括的かつ正確に見つけられるよう支援する。

また、XLSCOUTは、ユーザーのアイデアが漏洩しないようにというセキュリティの観点から、ユーザーのアイデアや入力内容を外部に流すことなく、検索精度を向上させる目的でそれらをシステムに学習させないということを重要視している。学習させるのは公開されている情報のみである。

XLSCOUTの現在の顧客数は、日本国内・国外合わせて、100社程度である。

(参考) XLSCOUT XLPAT LLC 及び株式会社レイテック(国内販売代理店の1社)について

XLSCOUT²³²は、アメリカに本社、カナダとインドにオフィスがあり、強力なパートナーネットワークと世界中にクライアントを持っている。2006年に、親会社のTT Consultants(特許調査会社)が設立され、2012年頃から、AIの特許分析の開発を始めた。その後日本に進出し、当初はXLPATというツールを提供していたが、コロナ禍になり、その間に開発に力を入れて生み出したのがXLSCOUTである。なお、XLPATはアメリカのシリコンバレーで作っていたが、XLSCOUTはカナダのトロント大学・ケベック大学・ウェスタン大学の3校と一緒に、カナダ政府の資金援助を受けて開発している。

レイテック²³³は、1995年4月に設立され、内外国特許調査・解析の受託業務、外国特許出願代行及び翻訳業務、世界の特許情報を解析できるシステム「PAT-LIST-GLS」の開発・販売業務、中国、韓国、台湾をはじめ、ASEAN他グローバルな特許情報に関するサービスの提供、特許価値評価システム「PAT-ValueAs」の開発・販売業務、特許価値評価に関するサービス提供(IPランドスケープを用いた事業戦略、経営戦略立案)、知的財産に関する各種コンサルティング、AIを用いた調査解析システム「XLSCOUT」、プロセス自動化システム「WinActor」の販売代理を業務内容とする。

²³¹ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/>

²³² XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/contact-us>

²³³ レイテックホームページ: <https://www.raytec.co.jp/aboutus/company-profile>

2) 収録データ

| | |
|--------|--------------|
| 収録国・地域 | 108 力国／地域 |
| 収録範囲 | 1782 年から現在まで |
| タイムラグ | なし |
| 更新頻度 | 毎日（リアルタイム更新） |

3) 機能一覧

| 種別 | 機能 | 法域 | 概要 ※下線は高度な機能 |
|----|--------------|---------|--|
| 検索 | 番号検索 | 特許・実用新案 | 公報番号、優先権番号、ファミリー情報 |
| | 出願人検索 | 特許・実用新案 | 出願時情報検索、日本語名検索、英語名検索、出願人検索支援機能（出願人名等の名寄せ）、発明者検索機能 |
| | キーワード等検索 | 特許・実用新案 | 発明の名称、要約、請求項、詳細な説明、課題・従来技術などのその他の項目での検索、外国文献の日本語検索、国による検索（最初の出願国、出願国、公開国、出願人国籍、発明者国籍） |
| | 日付検索 | 特許・実用新案 | 出願日、公開日、登録日、優先権主張日 |
| | 分類検索 | 特許・実用新案 | IPC、FI、Fターム、CPC、UPC |
| | 検索式を用いた検索 | 特許・実用新案 | 論理式による検索、部分一致、ワイルドカードによる検索、近接検索、近傍検索、検索式のエディット支援、完全一致検索 |
| | ステータスを加味した検索 | 特許・実用新案 | 再譲渡、法的状態 |
| | その他検索機能 | 特許・実用新案 | <u>NOVELTY CHECKER（類似検索・概念検索）</u> 、 <u>INVALIDATOR（無効資料検索）</u> 、入力支援機能、引用／被引用検索、GXTI に基づく検索、課題検索 |
| | 辞書機能 | 特許・実用新案 | <u>コーパス辞書</u> |
| | 保存・参照機能 | 特許・実用新案 | 検索条件保存・参照、検索履歴の保存・再利用 |
| 閲覧 | 閲覧項目 | 特許・実用新案 | 公開特許文献、書誌情報、図面、英文抄録）、引用・被引用情報、パテントファミリー、経過情報、優先権主張データの表示、法的ステータスの表示、法的紛争情報の表示 |
| | 検索結果の一覧表示 | 特許・実用新案 | マイクロソフト社の Marian NMT をベースにカスタマイズした英日機械翻訳機能により、結果一覧上のタイトルと要約を日本語表示 |
| | パテントファミリー種別 | 特許・実用新案 | INPADOC ファミリー、 <u>独自のパテントファミリー</u> 二 |

| | | | |
|-----------|---------------------|---|--|
| 閲覧 | その他閲覧機能 | 特許・実用新案 | ハイライト表示、検索結果のソート、検索結果のフィルタリング、自動分類機能、訴訟情報、標準必須特許(SEP)情報、出願のタイムライン、法的状態(経過情報) |
| | 検索結果の保存 | 特許・実用新案 | 検索履歴によって母集団を表示、検索履歴を演算子で結合可能 |
| 分析 | ランキング | 特許・実用新案 | 特許のランキングは、検索条件に対する類似度スコアに基づいて提供 |
| | マップ表示 | 特許・実用新案 | マップ表示(各種 2D 分析チャート) |
| | 価値評価の提供 | 特許・実用新案 | Patdigger、Claim Chart LLM |
| | 審査無効文献の推定 | 特許・実用新案 | 審査官引用を含む引用文献を提供 |
| | タイムライン表示 | 特許・実用新案 | 個別特許文献においてタイムラインを表示 |
| | 分析レポートの生成 | 特許・実用新案 | NOVELTY CHECKER と INVALIDATOR において分析レポートを提供 |
| | 引用ネットワークの可視化 | 特許・実用新案 | 引用ネットワークの可視化 |
| | 特許情報分析(IP ランドスケープ等) | 特許・実用新案 | TECH SCAPER、COMPANY EXPLORER |
| | その他分析 | 特許・実用新案 | NOVELTY CHECKER (特許性判断)、IDEACUE (アイデア自動提案システム・特許生成) |
| データダウンロード | 特許・実用新案 | 書誌リスト、PDF 公報、自動及び手動で設定した項目でのダウンロード、類似性スコアのダウンロード | |
| その他の機能 | 特許・実用新案 | 書誌情報の訂正、出願人名等の名寄せ、アラート機能(SDI ²³⁴ ・ウォッチング機能)、情報共有機能、不慣れなユーザー向け機能、ユニバーサルデザイン対応、IDEACUE (アイデア自動提案システム・特許生成)、Drafting LLM (ドラフト作成) | |

4) 高度な機能

XLSCOUT は、類似検索・概念検索機能、特許性判断機能として「NOVELTY CHECKER」を提供している。また、無効資料検索機能として「INVALIDATOR」、特許情報分析(IP ランドスケープ等) 機能として「TECH SCAPER」及び「COMPANY EXPLORER」、独自のパテントファミ

²³⁴ SDI は、Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法

リー表示機能、引用ネットワークの可視化機能、価値評価の機能として「Patdigger」及び「ClaimChart LLM」、出願人名等の名寄せ機能、辞書機能として「コーパス辞書」、マップ表示機能、アイデア自動提案システム及び特許生成機能として「IDEACUE」を提供している。

【NOVELTY CHECKER²³⁵（類似検索・概念検索、特許性判断）】

NOVELTY CHECKER は、AI を利用してアイデアを検証できる。自然言語処理と機械学習を利用した迅速な先行技術分析により、手作業による時間を削減し、検索を迅速化し、最初の方向性を提示する。簡単な言葉でアイデアを送信、AI の提案から関連するものを選択、高精度の分析と自動化されたレポートへのアクセスの 3 ステップでシンプルに使える。そのメリットは、次のとおりである。

- ・ 数回のクリックで、初回のアイデア類似性レポートを提供する。
- ・ 迅速なアイデア検証及びイノベーション・インテリジェンス・ツールとして機能する。
- ・ 特許及び非特許の先行技術を含む。
- ・ 専門家を必要としない。

図 3.36.1 に、XLSCOUT の NOVELTY CHECKER 画面例を示す。

図 3.36.1 XLSCOUT の NOVELTY CHECKER 画面例



出典：XLSCOUT

【INVALIDATOR²³⁶（無効資料検索）】

INVALIDATOR は、AI と事前学習済の独自コーパス辞書を利用して、特定の競合他社の特許請求項に焦点を当て、先行技術に素早くアクセスできる。「対象となる特許番号を入力」「興味のあるクレームや技術的バリエーション、キーワードを選択して AI に指示する」「分析結果やレポートとともに、ランク付けされた先行技術文献を入手する」の 3 ステップでシンプルに使える。そのメリットは、次のとおりである。

²³⁵ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/novelty-checker>

²³⁶ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/invalidator>

- ・ 完全に自動化された迅速な無効資料調査レポート
- ・ 特定のクレームに焦点を当てた分析
- ・ 使いやすいインターフェース
- ・ 事前学習済の独自コーパス辞書との統合
- ・ 特許番号を入力してクイック検索が可能

XLSCOUT の特徴としては、母集団を作った段階で IP ランドスケープの画面ができていますので、検索した結果や無効資料・先行技術文献調査の結果を、IP ランドスケープですぐに見ることができる。図 3.36.2 に、XLSCOUT の INVALIDATOR 画面例を示す。

図 3.36.2 XLSCOUT の INVALIDATOR 画面例



出典：XLSCOUT

【TECH SCAPER²³⁷ (特許情報分析 (IP ランドスケープ等))】

TECH SCAPER は、技術を軸とした IP ランドスケープである。TECH SCAPER には、SDG Analytics Dashboard(SDGs 分析ダッシュボード)及び GXTI Analytics Dashboard(GXTI 分析ダッシュボード)機能があり、それぞれにあらかじめ各階層の検索式と技術分類が組み込まれている。図 3.36.3 に、分析ダッシュボードの表示イメージの例を示す。

²³⁷ レイテックホームページ:

<https://www.raytec.co.jp/application/files/6316/8428/9594/XLSCOUT.pdf>

図 3.36.3 分析ダッシュボードの表示イメージ



(SDGs 分析ダッシュボード)



(GXTI 分析ダッシュボード)

出典：レイテック

【COMPANY EXPLORER²³⁷ (特許情報分析 (IP ランドスケープ等))】

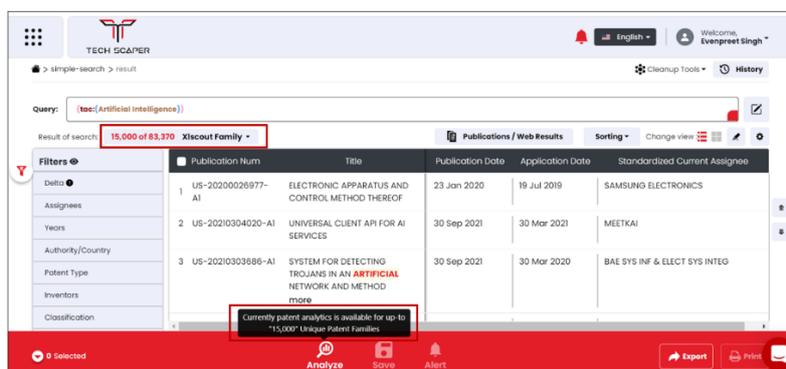
COMPANY EXPLORER は、企業を軸とした IP ランドスケープである。COMPANY EXPLORER では、比較する企業(企業グループ/名寄せ可能)を 5 社まで選択でき、選択した企業の母集団が作成される。また、技術分野を最大 10 件まで追加して分析することができる。

【独自の特許ファミリー²³⁸】

最大 15,000 件の特許ファミリーに対する特許分析を表示させることが可能となっている。XLSCOUT のファミリーは、欧州特許庁の INPADOC 拡張ファミリーとほぼ同じであるが、ユーザーから指摘があればファミリーメンバーが正しいか調査して更新したものが、XLSCOUT のファミリーの特徴である。図 3.36.4 に、XLSCOUT 特許ファミリー分析画面表示例を示す。

²³⁸ XLSCOUT ホームページ: <https://pages.services/info.xlscout.ai/1-11-ja-copy-xlscout-version-release-update/?ts=1665120370443>

図 3.36.4 XLSCOUT 特許ファミリー分析画面表示例



出典：XLSCOUT

【引用ネットワークの可視化】

5社までの会社の引用関係を可視化することができる機能である。現在は審査官被引用には対応していないが、データ自体は持っており開発予定である。

【Patdigger²³⁹及び ClaimChart LLM（価値評価）】

XLSCOUTでは、特許評価機能として拒絶理由・引用・係争・SEP等公開された情報をもとに、簡単なステップで競合他社の特許をゴールド、シルバー、ブロンズの各カテゴリにランク付けする「Patdigger」が提供されていたが、2024年1月現在カスタマイズモデルで提供されている。また、従来の特許評価に加え、クレームの各要素に競合製品をマッピングさせる ClaimChart LLM 機能も提供している。

【出願人名等の名寄せ²⁴⁰】

出願人や譲受人の名称情報が、複数の法人格（例：Sumitomo Chemical Corporation、Sumitomo Chemical Co. Ltd.など）やスペルミス（例：Fitbit, Inc.）などによって一貫性を欠く状況は、特許所有権データ分析を行う際の最も重要な要素である正確なデータセット抽出の障害となり得る。また、多くの国の特許庁は、翻訳された出願人名を管理しておらず、出願人名を母国語のみで提供している。これに対して多くのユーザーは、英語名のみを入力して譲受人／出願人検索を行うため、一貫性のない名称情報と同様に分析の妨げとなる。

XLSCOUTは、出願人名のデータと会社年鑑のデータをもとに「譲受人クラスター」という名寄せ機能を提供している。

特許分析のためのもう一つの重要なデータ分野として、特許の元の所有者及び現在の所有者の情報がある。XLSCOUTは独自のアルゴリズムを用いて分析対象特許のすべての法的

²³⁹ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/patdigger>

²⁴⁰ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/patent-data-accuracy-is-the-base>

取引と企業名の変更を処理し、元の所有者と現在の所有者を特定し、豊富なデータフィールドとして提供している。

【コーパス辞書²³⁷】

コーパス辞書機能により、同義語・類義語の参照と追加が簡単にできる。図 3.36.5 に、XLSCOUT の検索画面例を示す。

図 3.36.5 XLSCOUT の検索画面例



出典：レイテック

【マップ表示²³⁷】

XLSCOUT では、検索画面から解析画面への切り替えをスムーズに行うことができ、それぞれの検索結果をすぐにグラフ化して分析することができる。

【IDEACUE²⁴¹（アイデア自動提案システム・特許生成）】

IDEACUE は、ユーザーオリジナルのアイデアと組み合わせることができる、他の技術要素や革新的なコンセプトを表示する。システムは、特許やその他の技術文献でファインチューニングされた大規模言語モデルを使用し、課題解決発明理論に基づいて新しいアイデアを提案する。アイデアの元となる課題をベースに、AI が技術的要素を組み合わせた課題解決策を提案する。具体的には、AI が提案する文章を 1 つ選択すると、その文章がユーザーのアイデアに追加される。「Draft Claim」をクリックすると、AI が作成した独立クレームのドラフトが表示される。

最初の提案段階では新規性があるかはまだわからないが、そこにユーザーのアイデアを足して新規性をチェックすることを何度も繰り返すことによって、新規性を含むドラフト作成ができるという流れになる。自動的に特許を作るという機能ではなく、あくまでもユーザーをサポートする機能である。

²⁴¹ XLSCOUT ホームページ: <https://xlscout.ai/ja/ideacue>

5) 導入コスト

XLSCOUT はサブスクリプションベースの SaaS²⁴²プラットフォームである。

また、クレームチャートやドラフティングなどの LLM を用いたサービスは、オプションで、従量制の価格設定である。

²⁴² SAAS は、Software as a Service の略で、ユーザーがインターネットなどのネットワークを経由して、ソフトウェアやアプリケーションを利用できるサービス形態のこと

4. まとめ

本調査では、36の特許情報に係る商用データベースについて、特に、実装されている高度な機能の調査を行なった。また、これら商用データベースを提供している事業者のうち10者に対してヒアリングを行い、これら高度な機能の現状や今後についての把握を行った。また、ヒアリングでは、J-PlatPatの機能向上に対する商用データベースを提供している事業者への影響や、J-PlatPatの今後のあるべき姿などについての率直な意見を得たので本章でまとめる。

4.1 高度な機能の現状と今後

1) 類似検索・概念検索などの検索機能

「類似検索・概念検索（自然文検索）」機能は、特許や実用新案を検索する場合に、検索キーワードや検索式を考える必要がなく、特許調査に精通していないユーザーでも、特許や実用新案などを簡便に検索することができる。また、発明の概要文をそのまま入力すると、類似する特許や実用新案などを検索することができる商用データベースも多数ある。

「類似検索・概念検索（自然文検索）」機能は、ユーザーにとって非常に有用であることから、今回調査した特許・実用新案を扱う商用データベース26種のうち、22種でこの機能を提供している。自然文の解析方法として、機械学習による単語等のベクトル化により類似度を計算して一覧で表示する手法が用いられているものがあるが、近年、ChatGPTなどで活用されている大規模言語モデルを用いて類似度を計算しているものもある。単語のベクトル化による自然言語処理は、前処理を行うことで、類似度計算が比較的高速に処理できストレスなく検索することができる。一方、大規模言語モデルは、大量のテキストデータを学習して類似を判定する手法で、文章の意味などを含めた比較が可能であるが、検索に時間を要し、また、実行ごとに結果が変わる場合がある。特許や実用新案の明細書の記載形式は定式化されているためベクトル化等の機械学習で十分と考える事業者と、文脈まで理解することを価値とする事業者とで分かれる。

海外の商用データベースでも、日本語に対応した「類似検索・概念検索（自然文検索）」を提供しているデータベースもあるが、日本語文章の単語単位でスペースを入れる必要があるものや、日本語の特許公報との比較のみ、また、入力した日本語本文を英訳して英語文で検索するなど、英語での自然文検索に比べ制約がある。また、今後、海外の商用データベース事業者が日本語対応の「概念検索（自然文検索）」機能を強化するか否かは、事業者により異なる。

「類似検索・概念検索（自然文検索）」は、特許概要の全文を入力して類似特許検索が可能で商用データベースもあるが、新たに発明した技術の特許概要自体、機密性が高い情報である。そのため、これら情報の扱いの安全性を担保することを売りにしている事業者

もいる。また、自然文検索に大規模言語モデルを活用している事業者の中には、これら機密情報を大規模言語モデルに学習させないことで安全性を謳っている事業者もいる。

「類似検索・概念検索（自然文検索）」の精度等の向上については、多くの事業者が取り組んでいるが、アルゴリズム等検索機能の強化を図っている事業者と、検索の元となる書誌情報の前処理などにより精度向上を行っている事業者があり、それぞれの強みで差別化を図っている。

なお、「類似検索・概念検索（自然文検索）」ではないが、AI チャットボットを利用して、AI の質問に答えながら検索条件を絞り込んで、特許や実用新案を検索するユーザーインターフェースを提供する商用データベースも出てきており、このような機能も、特許検索に不慣れなユーザーにとって有益な機能と考えられる。

2) 類似画像検索機能

類似画像検索機能は、意匠検索や商標検索では一般的な機能で、工業所有権情報・研修館でも画像意匠公報検索支援ツール Graphic Image Park を無償で公開している¹。一方で、商用データベースでは、複数の画像を用いての検索、書誌情報等の組み合わせでの検索、画像の類似度での絞り込み検索などの付加価値を提供している。また、検索精度についても、Graphic Image Park よりも優れている商用データベースが多数ある印象である。

また、意匠検索や商標検索だけでなく、実用新案や特許の明細書に記載されている図を検索して類似特許を検索する機能を提供する事業者も出始めている。特許調査時に関連する特許を選別する際、明細書本文を読む前に明細書の図を見て振り分けをすることもあるので、特許や実用新案の類似画像検索は有用と考える。ただし、意匠や商標では、検索対象の画像そのものが主張する権利を表すのに対し、特許や実用新案で使われる図は、発明の説明のためのもので、出願人により記載方法がまちまちであるため、特許や実用新案の類似画像検索は、非常に難しい面もあると考える。

3) 特許情報分析機能（IP ランドスケープ・マップ表示）

特許情報分析機能、特に IP ランドスケープは、経営・事業情報に知財情報を取り込んで分析し、経営・事業戦略などのための情報を得るための機能であり、特許出願や抵触性調査などの特許調査とは目的が異なる。今回調査した特許・実用新案を扱う商用データベース 26 種のうち、20 種でこの機能を提供しており、商用データベースによっては、これら、特許情報分析機能をオプションとしたり、別のアプリケーションやサービスで提供したりと、特許検索に対しての付加価値機能として提供している。

商用データベースにより提供している機能は様々で、数種のシンプルなマップを提供す

¹ Graphic Image Park のサイト:画像意匠公報検索支援ツール | Graphic Image Park[GrIP] (inpit.go.jp)

る商用データベースや、数多くの種類のマップや多くのパラメータの設定機能を提供しユーザー自身で様々なマップを描画することができる商用データベース、検索結果からそのまま分析レポートを作成する機能を提供している商用データベースなどがある。

また、経営や事業戦略策定などのためのマップ作製だけでなく、検索機能と連携させて、マップから直接特許等の絞り込み検索を行う機能を提供している商用データベースもある。類似特許との絞り込みや読み込みの優先順は、類似度や出願年、引用数などの特許価値等で判断するが、マップを用いることで、多次元の情報を直感的に把握して絞り込むことができるため、有用な機能である。

なお、AI を用いてテキストマイニング等の分析を行い、マップや IP ランドスケープを作成している商用データベースがある。

4) 引用ネットワークの可視化機能

引用や被引用の情報を見える化する引用ネットワークの可視化機能も、今回調査した特許・実用新案を扱う商用データベース 26 種のうち、16 種でこの機能を提供している。引用・被引用情報をツリー形式でつないだネットワーク図の表示や、キーワードなどの情報を基に技術分野でクラスタリングした俯瞰的な表示、出願人により色分けした表示など、商用データベースにより、引用ネットワークの提示方法は様々である。

また、扱う情報も商用データベースにより異なり、明細書記載の引用や被引用だけでなく、審査官被引用数や、審査官引用に加え、拒絶コードの参照可能な商用データベースがある。

さらに、検索機能と連携させ、可視化した引用ネットワークをクリックすることでフィルタリングして検索する機能を提供している商用データベースもある。

5) 価値評価の提供機能

特許の価値評価は、特許の抵触性調査などでの重要特許の把握だけでなく、M&A や業務提携などの調査の際の相手企業の保有特許の資産価値等を把握など、経営サイドでも有効な機能である。

価値評価は、引用・被引用情報を用いている商用データベースが多いが、様々な書誌情報等を用い、独自ロジックで複数の評価軸で特許の価値を評価している商用データベースがある。また、対象とする特許の書誌情報だけでなく、出願人のこれまでの出願や登録情報などを加味し、将来の予測も含めて評価を行っている商用データベースもある。

また、価値評価を単なる指数（数値）でなく、対象とする特許の市場規模を鑑みて US ドルで表すことで、市場が異なる特許の価値を横並びで評価できるようにしている商用データベースもある。

さらに、商品のパンフレット等の情報を基に AI を活用して、調査対象の特許が使われて

いる商品を推定して価値評価する機能をリリースした商用データベースもある。

6) 独自の Patent ファミリー表示機能

無効資料調査²や技術動向調査などで、全世界の特許文献を調査対象にしたい場合、Patent ファミリーを用いることで、同一又は類似する技術内容をまとめて把握することができ有効である。また、同じ Patent ファミリーに属する複数言語の特許文献を参照することもできる。

Patent ファミリーには、欧州特許庁が定義している DOCDB simple patent family (シンプルファミリー) と INPADOC extended patent family (拡張ファミリー) が一般的であるが、独自の Patent ファミリーを提供している商用データベースもある。ただし、欧州特許庁が提供している拡張ファミリーの補正や特許の追加のみを行った Patent ファミリーを提供している商用データベースが多い。

また、もともと欧州特許庁が提供している拡張ファミリーの精度が低かったため、独自の Patent ファミリーを提供している商用データベース事業者もいるが、最近は拡張ファミリーの精度が上がり、あまり差がなくなってきたと感じている事業者もいる。

一方、シンプルファミリーでは狭すぎ、拡張ファミリーでは広すぎるため、優先権情報以外の情報を組み合わせて、独自の Patent ファミリーを提供している商用データベースがある。さらに、特許の書誌情報の中身を調査員が読み込んで、技術的に共通するものでファミリー化した独自の Patent ファミリーを提供している商用データベースもある。

7) 出願人名等の名寄せ機能

特許明細書等に記載されている出願人名には揺れがあるため、調査対象の出願人の保有特許を調査する場合、出願人名の名寄せ機能は有効である。また、調査対象の出願人のグループ会社や M&A した企業などを含めて調査するときにも有効である。

出願人名の名寄せを独自に行った情報を提供している商用データベースや、グループ会社や M&A した企業を含めた出願人の独自コードを提供している商用データベースもあるが、独自の名寄せ情報は持たず、代わりに企業リストを提示して、ユーザーが選択して検索を行う商用データベースが多い。

企業リストは、蓄積している書誌情報を基に作成している商用データベースや IFI CLAIMS Patent Services (知的財産関連サービス企業リスト)、科学技術・学術政策研究所の企業名辞書などを利用している商用データベースもある。

² 無効資料調査は、第三者の保有する特許権を無効にする資料が存在するかどうかを調査

8) 特許自動生成機能

ChatGPTなどで生成AIが注目されているが、生成AIを用いて特許明細書を生成することができる機能を持つ商用データベースがある。

発明の概要を入力すると、明細書のドラフトを作成するが、現状では完全な明細書を作成することはできない。ただし、弁理士への相談の文案や知財部門と開発部門のコミュニケーション等に活用するには有効である。また、生成したドラフトを基に類似特許検索を行い、類似率を基に発明の内容を修正やアイデアの追加などを繰り返すことで、新規性を高めることができる。

特許自動生成機能は、現状では、自動で特許を作る機能ではなく、ユーザーをサポートする機能として提供されている。

4.2 J-PlatPatの今後について

1) 商用データベース提供事業者からのJ-PlatPatに対する意見

商用データベースを提供している事業者のうち10者に対してヒアリングを実施し、J-PlatPatのあるべき姿などについての意見収集を行った。多くの商用データベースがある中で、一部の限られた事業者の意見ではあるが、以下に示す。

J-PlatPatの高度化については、自社事業への圧迫を危惧する事業者と、初めて特許検索を行う人の入口として有益だと考えている事業者に分かれる。事業への圧迫を危惧している事業者は、商用データベースでは、IPランドスケープなど付加価値が高い機能を提供しているが、多くのユーザーが利用する機能は単純な特許検索であるため、J-PlatPatなどの無償の検索ツールがより使いやすくなると、有償で契約しているユーザーが減ることを懸念している。そのため、何らかの制約をつけて、民業圧迫にならない配慮を望んでいる。

一方で、特許調査のニーズがそれほど高くないユーザーにとっては、月額数万円程度の安価な商用データベースでも利用するハードルが高いため、無償の検索ツールの存在は貴重であると考えている事業者もいる。これら事業者の中には、初めて特許検索するユーザーが有償ツールを使うのはハードルがある中で、まずは無償ツールでスタートして徐々に慣れて、より効率良く調査を行なうニーズが生じた際に、有償の商用データベースのサービスに声がかかるのが健全と考えている。ただし、より便利な商用データベースの存在を知らないユーザーも多いため、J-PlatPatを入口として、より高度な機能を望むユーザーに対して商用データベースを紹介する流れがあると良いと考えている事業者もいる。

また、昨今、IPランドスケープが注目されているが、現状、有償のツールでしか出来ないため、何らかの制約を付けた上で、今まで知財情報に関心はなかったが重要と考えているR&Dのユーザーなどが、利用しやすい可視化機能や分析機能を提供して、知財情報の大

衆化を図るのが良いと考えている事業者もいる。

機能面では、自然文検索や類似特許検索機能は、特許検索に不慣れなユーザーにとって有用な機能であるが、検索する AI のロジックにより検索結果が変わる。もし、このような機能が J-PlatPat に搭載された場合、自社の検索結果と J-PlatPat で検索結果に差が生じた際は J-PlatPat が正しいと考えるユーザーが多く、クレームになることを危惧している事業者がいる。

なお、J-PlatPat のリーガルステータス機能はタイムラグが無く、公開された瞬間に誰よりも早かつ確に、インパクトを含めた情報を出すことができるため非常に意味があると考え、このような一次情報の拡充を望む事業者もいる。

2) J-PlatPat に望まれる高度な機能

J-PlatPat のユーザーの多くは、日頃から特許検索をあまり行わない不慣れなユーザーであると考えられる。特許検索に不慣れなユーザーにとっては、検索キーワードの選定や検索式の作成などが難しく、自然文で検索できる自然文検索や類似特許検索の機能は、これらユーザーにとっては非常に有益と考える。ただし、自然文検索や類似特許検索の検索結果は、検索 AI のロジックにより変わり、J-PlatPat と他のデータベースとで異なる結果が出る可能性がある。商用データベースの事業者が、検索 AI の精度をいくら向上させても、特許庁が提供する J-PlatPat の結果が正しいと考えるユーザーが多いと考えられるため、J-PlatPat の検索結果は、曖昧さを極力排除しロジカルな結果を提示すべきと考える。そのため、大規模言語モデル等を活用して、入力した自然文から直接検索結果を提示するのではなく、入力された自然文からキーワード抽出や検索式作成を行って、検索条件を明示した上で検索結果を提示する方が望ましいと考える。また、自然文検索の場合、ユーザーが自身の発明の概要を直接入力する可能性があることから、入力された自然文の扱いには注意が必要である。

また、AI チャットボットなどを利用して、ユーザーが AI からの質問に答える形式で、特許等の検索の条件を絞り込んでいく仕組みは、特許検索に不慣れなユーザーにとって有益と考える。

高度な機能では無いが、検索結果に対してフィルタを行う機能は、検索結果を更に絞り込んで調査を行なうことができ、調査の効率化を図るために有用な機能であると考えられる。検索結果のフィルタリング機能は、ほとんどの商用データベースで提供されており、また、欧州特許庁の Espacenet³などの無償のデータベースでも提供されているので、J-PlatPat でも提供しても良いと考える。

出願人名の名寄せに関しては、J-PlatPat の場合、国内文献の国内の出願人に関しては比較的、記載揺れは少ないと考えられるが、外国籍出願人や外国文献に関しては、記載揺

³ Espacenet のサイト: <https://worldwide.espacenet.com/>

れがあり、検索条件策定で労力がかかる。J-PlatPat への書誌情報の登録の際に名寄せを実施するのがベターではあるが、検索時に出願人名の一部を入力するとその候補となる出願人名を提示する機能は、欧州連合知的財産庁が提供する DESIGN view⁴でも提供されていることから、J-PlatPat に取り込んでも良いかと考える。なお、出願人名の名寄せは、特許調査を行なうユーザーでも、また、商用データベースの事業者でも苦労している事項であることから、特許庁サイドからの名寄せ情報の提供があると、ユーザーにとっても商用データベース事業者にとっても有益である。

一部の商用データベース事業者から提案があったが、知財情報を経営など幅広く活用するための IP ランドスケープ等の分析機能の提供は、特許情報を広く普及していくのには有用である。ただし、これら分析機能は、商用データベース事業者もオプション機能とし、サービスの付加価値機能として提供している事業者も多いことから、民業圧迫にならないよう機能制限などある一定の制約をつけて提供する必要があると考える。

⁴ DESING view のサイト: <https://www.tmdn.org/tmdsview-web/#/dsview>

用語集・略語集

| 用語・略語 | 説明 |
|---------------|---|
| BLAST ホモロジー検索 | 局所的に類似した配列を検索するプログラム |
| CAplus ファイル | 世界中の科学技術分野の学術論文、107 特許発行機関の特許及び 2 技術公開誌を収録する文献データベース。2024年2月現在、6,300 万件以上のレコードを収録。 |
| CDR 配列検索 | 抗体と T 細胞受容体の CDR を指定し検索するプログラム |
| CTM | Community Trade Mark の略で、欧州共同体商標のこと |
| DOCDB | 欧州特許庁が提供する世界各国の特許の書誌情報と要約文を収録したデータベース |
| DWPI | Derwent World Patents Index の略で、クラリベイトが提供する専門家による抄録、注釈が追加された、包括的な特許情報のコレクションのこと |
| EMBASE | Excerpta Medica Database の略で、出版文献の生物医学及び薬理学の書誌データベース |
| EUIPO | European Union Intellectual Property Office の略で欧州連合知的財産庁のこと |
| FTO 調査 | 侵害予防調査のことで、新製品などを市場に出す前に、その製品が既存の特許、あるいは公開された潜在的特許に抵触しないか様々な観点から行う調査のこと |
| INPADOC | 欧州特許庁が作成している世界各国・地域の特許の書誌事項のデータベース。 |
| MEDLINE | Medical Literature Analysis and Retrieval System On-Line の略で、米国医学図書館 (National Library of Medicine) が医学を中心とする生命科学の文献情報を収集した書誌データベース |
| Motif 配列 | DNA、RNA、タンパク質中の短いパターン配列のこと |
| SaaS | Software as a Service の略で、ユーザーがインターネットなどのネットワークを経由して、ソフトウェアやアプリケーションを利用できるサービス形態のこと |
| SDI | Selective Dissemination of Information の略で、あらかじめ設定した特許検索式でヒットした文献を登録ユーザーに配信する調査手法 |
| ファーマコビジランス業務 | 医薬品に関連する有害な事象を世界中から収集し、医学・薬学的に安全性を評価する業務 |
| マルクーシュ構造 | 置換基などを複数の選択肢として記載することで、多数の化学物質を表現した構造式 |
| 情報提供制度 | 審査の的確性及び迅速性の向上のために、審査に有用な情報（商標登録出願に係る商標が商標の登録要件を満たしていない、商標の不登録事由に該当する等）を提供する制度 |

登録商標および商標一覧

- ・ AcclaimIP は、Anaqua, Inc. の登録商標または商標
- ・ Amplified は、アンプリファイド エーアイ インクの登録商標
- ・ BBC は、ザ ブリテイッシュ ブロードキャスティング コーポレーションの登録商標
- ・ Biz Cruncher は、株式会社パテント・リザルトの登録商標
- ・ Brand Landscape Analyzer は、Clarivate Plc の登録商標または商標
- ・ Brand Mark Search は、日本パテントデータサービス株式会社の登録商標または商標
- ・ Caplus は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標または商標
- ・ CAS Contents Collection は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標または商標
- ・ CAS Insights は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標または商標
- ・ CAS Patents は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標または商標
- ・ CAS References は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標または商標
- ・ CAS REGISTRY は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標
- ・ CAS RN は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標
- ・ CAS Scientific Patent Explorer は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標または商標
- ・ CAS SciFinder-n は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標または商標
- ・ CAS STNext は、AMERICAN CHEMICAL SOCIETY の登録商標または商標
- ・ ChatGPT は、OpenAI OpCo, LLC の登録商標
- ・ CKS Web は、中央光学出版株式会社の登録商標
- ・ Cotobox は、c o t o b o x 株式会社の登録商標
- ・ CyberPatent Desk は、サイバーパテント株式会社の登録商標
- ・ Darts-ip は、DARTS-IP CASE LAW, SPRL の登録商標
- ・ Derwent Data Analyzer は、Clarivate Plc の登録商標または商標
- ・ Derwent Innovation は、Clarivate Plc の登録商標または商標
- ・ Design Scope は、知識産権出版社有限責任会社の登録商標
- ・ Design Search は、InQuartik Corporation の登録商標または商標
- ・ Dialog は、トムソン サイエントフィック インコーポレーテッドの登録商標
- ・ EMBASE は、Elsevier B.V. の登録商標または商標
- ・ G-Search は、株式会社ジー・サーチの登録商標
- ・ HYPAT-i2 は、発明通信社の登録商標または商標
- ・ HYPATWeb は、株式会社発明通信社の登録商標
- ・ incoPat は、BEIJING INCOPAT の登録商標または商標
- ・ IP DATAKE は、株式会社発明通信社の登録商標
- ・ IP Drive は、日本パテントデータサービス株式会社の登録商標
- ・ IP Vision は、日本パテントデータサービス株式会社の登録商標

- ・ Japio AI 翻訳は、株式会社発明通信社の登録商標または商標
- ・ Japio YEAR BOOK は、株式会社発明通信社の登録商標または商標
- ・ Japio 世界特許情報全文検索サービス (Japio-GPG/FX) は、一般財団法人日本特許情報機構の登録商標または商標
- ・ JdreamIIIは、株式会社ジー・サーチの登録商標
- ・ JP-NET は、日本パテントデータサービス株式会社の登録商標
- ・ JP-NET/NewCSS は、日本パテントデータサービス株式会社の登録商標または商標
- ・ Kangxin IP Platform は、Kangxin Partners, P.C.の登録商標または商標
- ・ Markify は、Markify AB の登録商標
- ・ MC6 は、株式会社日立製作所の登録商標または商標
- ・ ODI-GAZETTE は、株式会社オーデイスの登録商標または商標
- ・ ODIS-NET は、株式会社オーデイスの登録商標または商標
- ・ Orbit Intelligence は、Questel SAS の登録商標または商標
- ・ PALNET は、株式会社日立製作所の登録商標
- ・ PATAS は、日本パテントデータサービス株式会社の登録商標
- ・ PatBase は、アールダブリュエス グループ リミテッドの登録商標
- ・ PATDATA は、日本パテントデータサービス株式会社の登録商標
- ・ Patentfield は、P a t e n t f i e l d 株式会社の登録商標
- ・ PatentSight は、PatentSight GmbH の登録商標
- ・ PatentSQUARE は、パナソニックホールディングス株式会社の登録商標
- ・ PAT-LIST-GLS は、株式会社レイテックの登録商標または商標
- ・ PatSnap は、パットスナップ リミテッドの登録商標
- ・ PatSnap Analytics は、パットスナップ リミテッドの登録商標または商標
- ・ PAT-ValueAs は、株式会社レイテックの登録商標または商標
- ・ Quid は、クウィード、インコーポレイテッドの登録商標
- ・ SAEGIS は、キャメロット ユーケイ ビッドコ・リミテッドの登録商標
- ・ Shareresearch は、株式会社日立製作所の登録商標
- ・ The New York Times は、ザ ニューヨーク タイムズ カンパニーの登録商標
- ・ TM go365 は、キャメロット ユーケイ ビッドコ・リミテッドの登録商標
- ・ Tokkyo.Ai は、Tokkyo.Ai の登録商標または商標
- ・ Toreru は、株式会社T o r e r u 他の登録商標
- ・ Toreru 商標検索は、株式会社T o r e r u 他の登録商標
- ・ Toreru 商標登録は、株式会社T o r e r u 他の登録商標
- ・ Toreru 調査は、株式会社T o r e r u 他の登録商標
- ・ ULTRA Patent は、株式会社ウィズドメインの登録商標または商標
- ・ Washington Post は、WP Company LLC の登録商標または商標

- ・ WebPat は、InnoVue LTD の登録商標または商標
- ・ WinActor は、エヌ・ティ・ティ・アドバンステクノロジー株式会社の登録商標
- ・ WIPS-Global は、株式会社 WIPS の登録商標または商標
- ・ XLPAT は、ティーティー コンサルタンツ エルエルシーの登録商標
- ・ XLSCOUT は、XLSCOUT LTD の登録商標または商標
- ・ ぱっとマイニング JP は、日本パテントデータサービス株式会社の登録商標または商標

令和5年度 特許庁請負事業

令和5年度 特許情報に係る商用データベースの
機能水準に関する調査報告書

2024年3月

NTT アドバンステクノロジー株式会社

〒163-1436 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー

電話：03-5843-5100（代表）

